

少子化等に関する県民意識調査 報告書



平成31年3月

鹿児島県

目 次

I 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査時期	1
3 調査の種類及び調査対象	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 集計上の留意点	1

II 調査結果総括

回答者本人の現状について	5
結婚観について	6
子育てについて	7
仕事と育児の両立について	8
少子化問題について	9

III 調査結果（一般）

一般調査結果	13
--------	----

IV 調査結果（事業所）

事業所調査結果	149
---------	-----

V 調査票

一般用調査票	167
事業所用調査票	193

I 調査概要

1 調査の目的

少子化の進行の一因となっている未婚・晩婚化が年々進んでいることから、結婚や育児に関する県民の意識を把握し、今後の少子化対策の参考にするとともに、次世代育成支援対策推進法に基づく計画「かごしま子ども未来プラン 2015」改訂の基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査時期

平成 30 年 11 月に実施

3 調査の種類及び調査対象

(1) 県民を対象とした調査

- ア 調査地域 鹿児島県内全域
- イ 調査対象者 無作為に抽出した県内在住の 18 歳以上の男女
- ウ 調査数 5,000 人

(2) 県内企業を対象とした調査

- ア 調査対象企業 鹿児島県内の一般企業及び子育て応援企業から県が無作為に抽出
- イ 調査数 200 社（一般企業 100 社、子育て応援企業 100 社）

4 調査方法

(1) 県民を対象とした調査

郵送による発送回収、インターネットによる回答、大学による配布回収

(2) 県内企業を対象とした調査

郵送による発送・回収

5 回収状況

区 分	一般	事業所
配布数	5,000 件	200 件
回収数	1,794 件	98 件
回収率	35.9%	49.0%

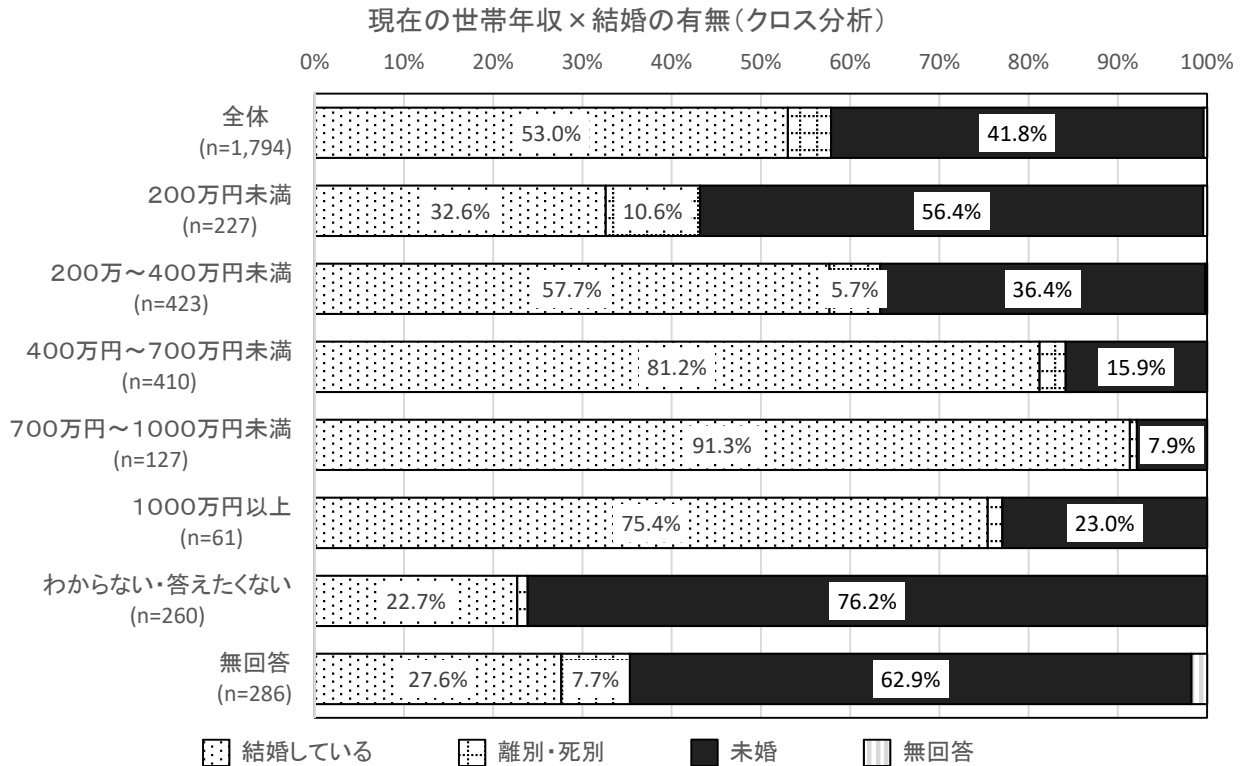
6 集計上の留意点

- ・グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- ・集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。

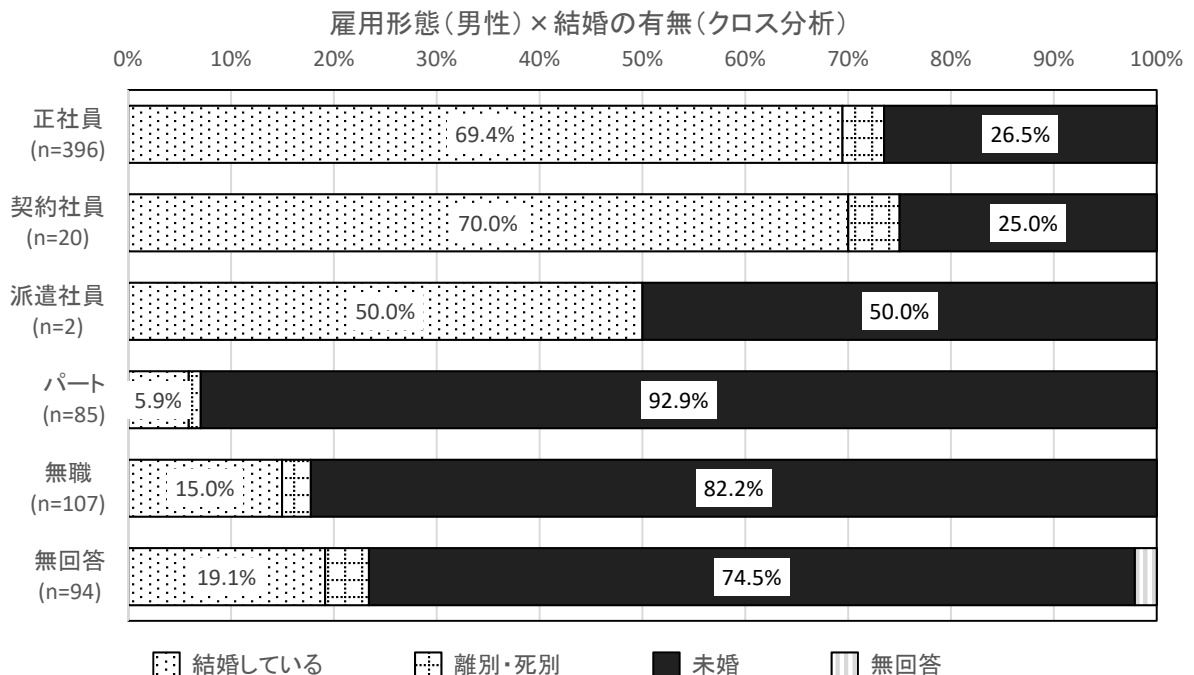
Ⅱ 調査結果総括

【回答者本人の現状について】

結婚の有無については、全体でみると「結婚している」(53.0%)、「未婚」(41.8%)で「未婚」が前回調査より18ポイント増している。また、結婚の有無と現在の年収との関係を見てみると、年収が多くなるほど、「結婚している」の割合が高くなる傾向がある。



結婚の有無と男性における雇用形態との関係を見てみると、「パート」及び「無職」の場合には未婚の割合が高くなっており、結婚には、男性の雇用形態・経済的基盤への評価も含まれていると考えられる。



【結婚観について】

特定のパートナーの有無については、「いる」が3割弱、「いない」については、年齢別でみると年代が上がるほど増加している傾向にある。

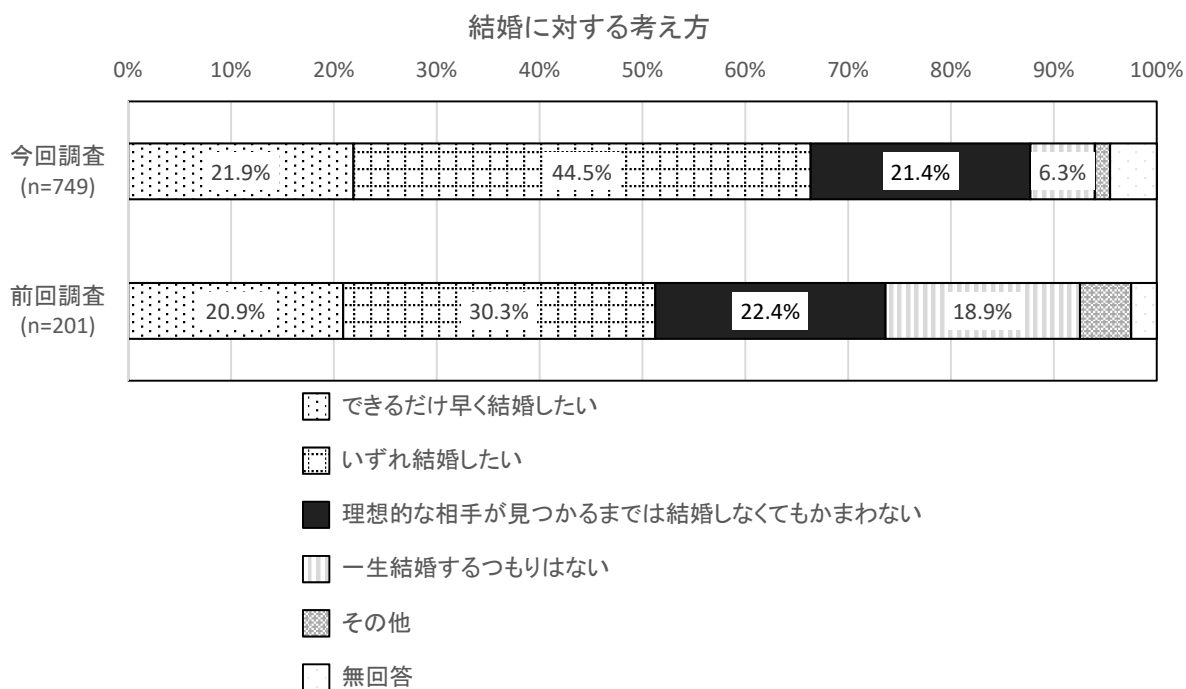
現状、独身でいる理由については、20歳代～60歳代で「適当な相手にまだめぐり会わないから」（43.5%）が最も多い回答であるが、前回調査より10ポイント以上減少している。

また、希望する出会い方（出会いの場）については、「友人や知人等からの紹介」（41.6%）が最も多い回答となっているものの、出会いの場の提供の利用については、6割強が「利用してみたいと思う」としている。

一方、本県が出会いの場のひとつとして提供する「かごしま出会いサポートセンター」を8割弱が「知らない」としており、かごしま出会いサポートセンターの広報周知や、パートナーとの出会いの場（きっかけ）づくりの創出等の工夫が今後の課題である。

将来における結婚観として、10歳代・20歳代は「25～29歳」が最も多く、30歳代以降については、年齢が増すにつれ、「こだわらない」が多くなっている。

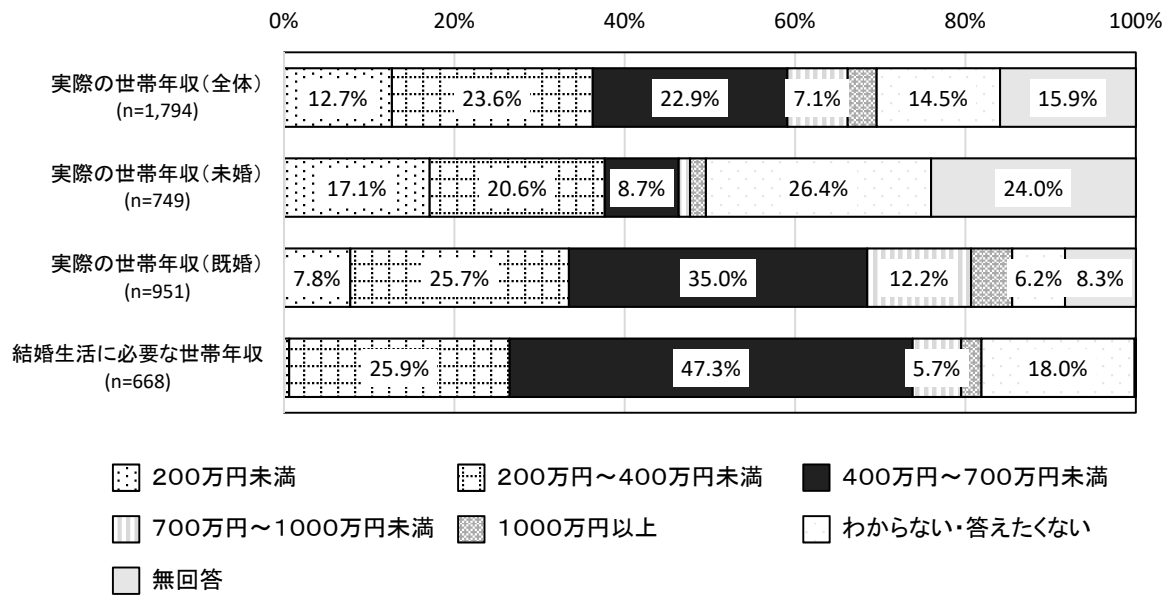
また、結婚に対する考え方については「いずれは結婚したい」と考えている20歳代の割合は73.5%と前回調査より増加している。



結婚相手へ重要視する事項については、約9割が「相手の人柄」とし、前回調査より微増となっている。また、前回調査より「相手の収入などの経済力」は微減しているが、「家事・育児に対する能力や姿勢」については約10ポイント増加している。

結婚生活に必要なと思う世帯年収については、「400万円～700万円未満」（47.3%）が最も多くなっているが、未婚者の「400万円～700万円未満」（8.7%）の割合は1割弱となっており、理想と現状の大きな乖離も未婚の原因の一つと考えられる。

実際の世帯年収×結婚生活に必要な世帯年収(クロス分析)



結婚して子供ができた後の働き方については、『「夫婦ともに働き続ける」(55.4%) + 「夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職」(24.0%)』と約8割が夫婦共働きを望んでいる。

一方、将来結婚したくない人の理由については、「一人であるほうが楽」(66.0%)が最も多く、男性の約5割に対し、女性は約8割と独身意向が高くなっている。

【子育てについて】

子育てをしておいた感想『「全くそのとおり」 + 「まあそのとおり」』については、前回調査より「自分の子どもは結構うまく育てていると思う」(4ポイント増)、「子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」(約7ポイント増)、「子どもがかわいくてたまらない」(約8ポイント増)となっており、子育てや子どもへの愛情の増加が伺える。

子育て上の悩みや不安については、『「少しはある(少しはあった)」 + 「かなりある(かなりあった)」』は、前回調査より8ポイント減少している。

なお、子育ての心理面での悩みについては、「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」(38.8%)が最も多く、前回調査より13.1ポイント増加し、子育ての環境面での悩みについては、「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」(49.3%)が最も多く、前回調査より16.9ポイント増加していることから、これらに対応した施策の検討も必要である。

子育て支援サービスの認知度として、「子育て世代包括支援センター」、「ファミリーサポートセンター」が5割以上、「子育て短期支援(ショートステイ)」については6割以上が「知らない」となっており、結果として、サービス利用も低い結果となったことから、サービス内容の普及啓発も課題である。

子育て費用が家計に占める割合については、20～40歳代については「もう少し子育てにお金をかけたい」とする回答が多く、60歳代については「もう少し子育てのお金を減らしたい」の回答が多くなっている。

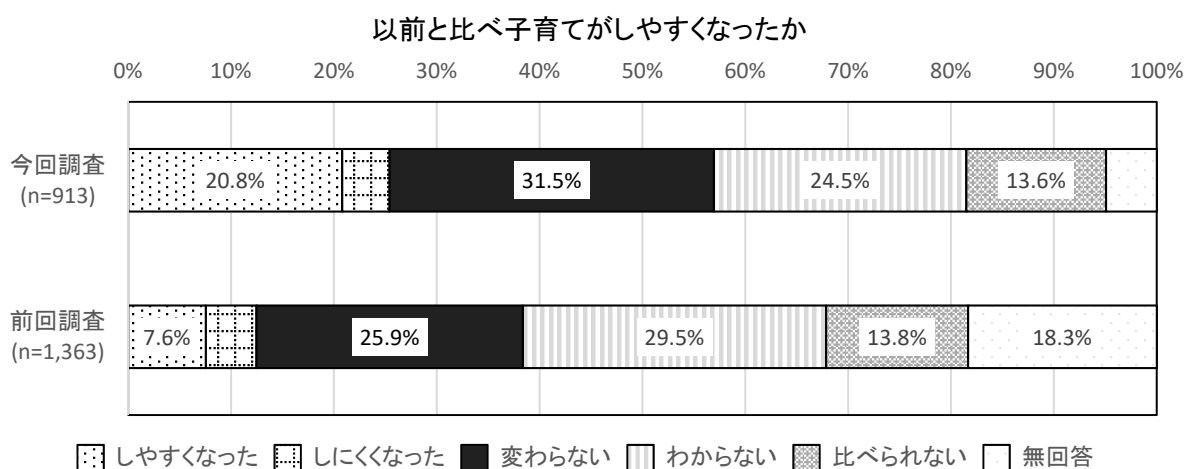
お子さんの進学目標（最終学歴）については、「大学かそれ以上」（53.5%）が最も多くなっている。

子育てに関する主な情報は、「近所の人、知人、友人」（60.0%）、「保育所、幼稚園、学校」（53.7%）の順となっているが、前回調査と比較して、特に「インターネット」（31.3ポイント）の利用が顕著となっている。

男性の子育て参加については、『「必要だと思う」（78.9%）＋「どちらかといえば必要だと思う」（16.3%）』と9割以上が必要性を強く感じている。

家庭での配偶者の育児等への評価は、12項目全てで前回評価を上回り、また、自身の子育てのやりやすさについても、「しやすくなった」（20.8%）が、前回調査より13.2ポイント増加していることから、家庭における子育ての環境が充実してきていることが伺える。

なお、働きながら子どもを安心して育てるためには、職場を含めた就労環境及び保育体制の充実の双方からの支援も必要である。



【仕事と育児の両立について】

事業所におけるワーク・ライフ・バランスについては、『「あまり取り組んでいない」（28.8%）＋「全く取り組んでいない」（13.5%）』と約4割の事業所が取り組んでいないとしている。

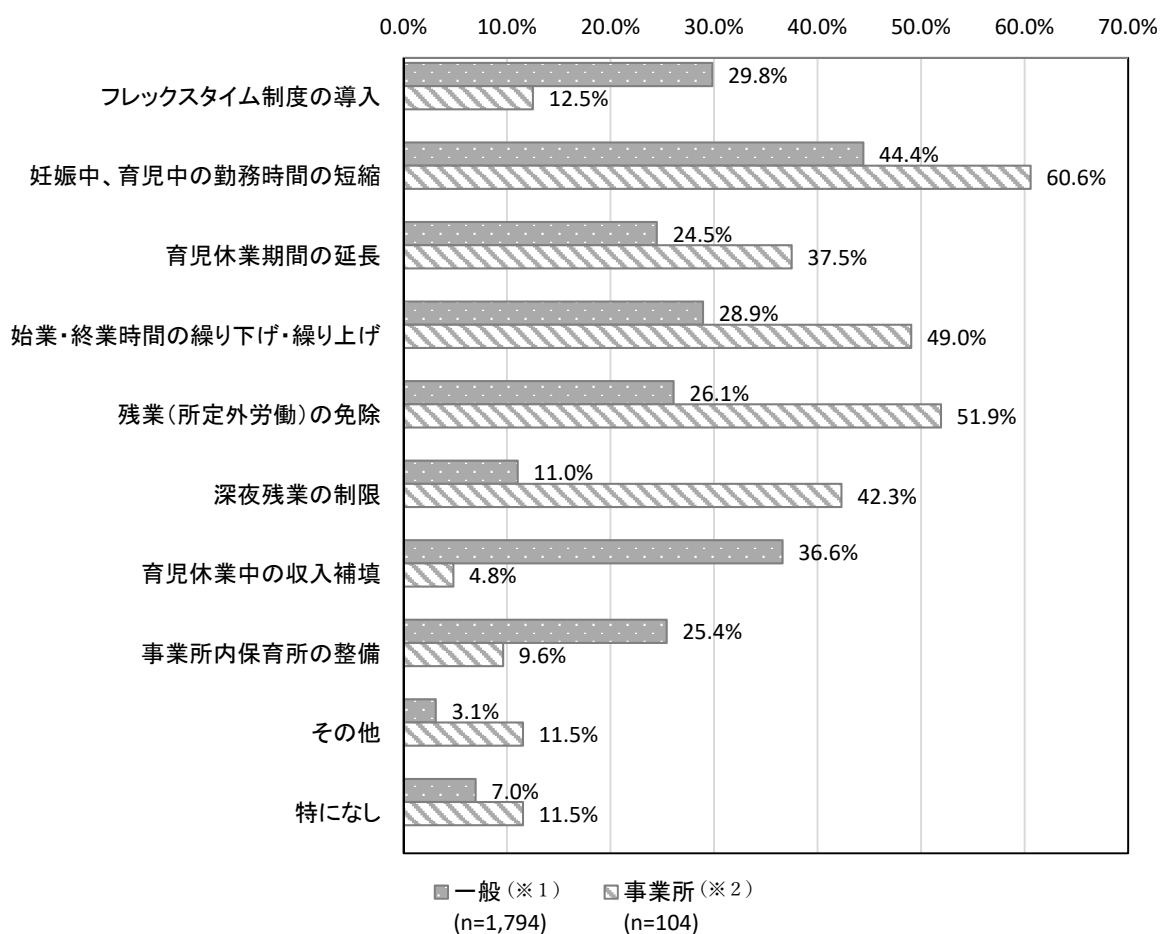
県民を対象とした調査では、子育て支援のため企業に整備して欲しい制度について、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」（44.4%）、「育児休業中の収入補填」（36.6%）等を上位にあげている。

一方、事業所は取り組んでいる子育て支援の内容として、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」（60.6%）を上位にあげていることから、事業所側の取組が十分に理解されていない状況が伺える。

また、男性における育児休業制度利用の認知度及び利用希望も増加傾向にある中、99%の事業所が「育児休業制度」規定が「ある」と回答しているのに対し、本人の勤めている会社の「育児休業制度」規定の有無について、約4割が「わからない」としている。このことから、事業所における社員への周知ならびに利用促進を促す必要がある。

さらには、非正規雇用者の待遇改善とともに、男女がともに仕事も家事も担えるようワーク・ライフ・バランスの理解への促進、固定的性別役割分担意識の解消の周知・指導も必要である。

子育て支援について



※1 一般調査において、企業に取り組んで欲しい子育て支援の内容

※2 事業所調査において、取り組んでいる子育て支援の内容

【少子化問題について】

県民における調査の大半が「何らかに関心がある（大変関心がある＋多少関心がある）」とし、子どもの減少についても「問題である（非常に問題である＋やや問題である）」と回答している。

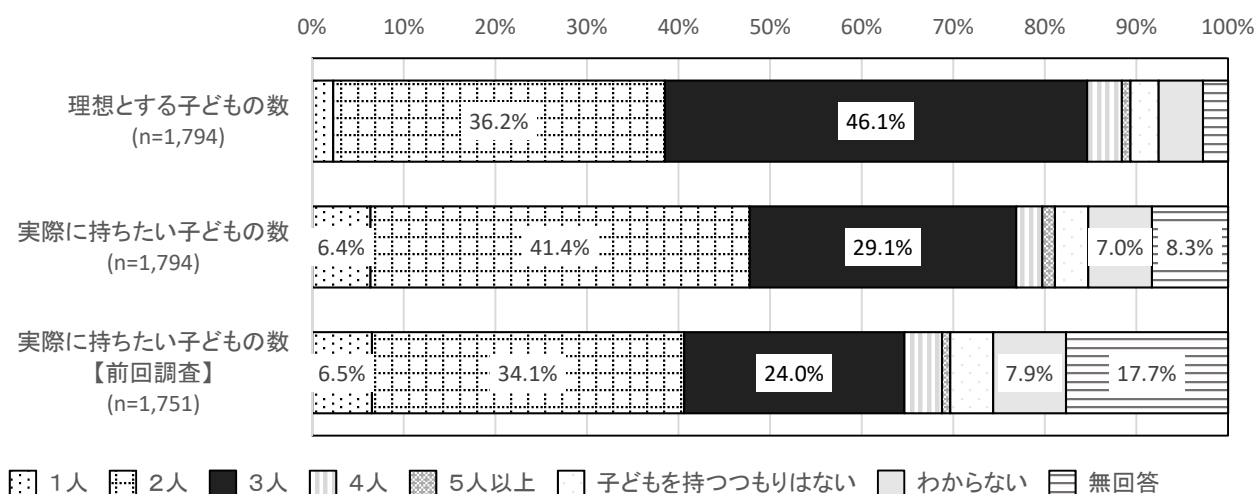
子どもの減少理由については、「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」（64.8%）、「結婚しない人が増えたから」（53.7%）、「働く女性が増え、家庭と仕事の両立が困難だから」（42.7%）を上位にあげている。

また、理想とする子どもの数については、「3人」（46.1%）が最も多いのに対し、実際に持ちたい子どもの数については、「3人」（29.1%）と理想を17ポイント下回っている。その理由としては、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（39.8%）を上位にあげており、経済面から理想とする子どもの数に至っていない現状が伺える。

実際に持ちたい子どもの数については、「2人以上」と回答した割合が、前回調査と比較して11.6ポイント増加している。

世帯収入が少子化に与える影響は大きく、子育ての経済的負担の軽減とともに、雇用の安定化や賃金の引上げを支援することで、世帯収入の増加を後押しする取り組みも必要である。

理想とする子どもの数×実際に持ちたい子どもの数(クロス集計)



結婚を希望する人を支援する施策としては、「安定した雇用環境を提供すること」(50.2%)、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」(48.3%)、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」(47.0%)を上位にあげている。

また、晩婚化の主な理由については、男性は「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」や「フリーターなど定職につけず、収入の少ない若者が増えたから」、女性は「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」と回答している。

行政の取組に対する評価としては、「子育ての経済的負担軽減」、「子どもの貧困対策の推進」、「仕事と生活の両立の推進」、「雇用の場の確保」が、「重要度が高く・満足度が低い」という重点改善施策に位置付けられていることから、施策を見直し満足度を高めるためには、行政機関だけでなく、事業所や地域、教育機関を含めた総合的な少子化対策が必要である。

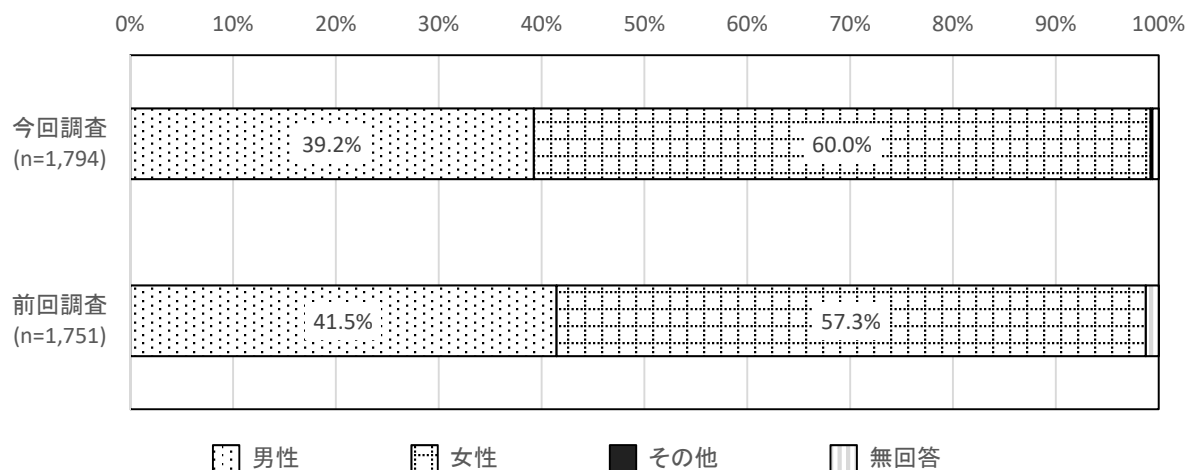
Ⅲ 調査結果（一般）

① あなたの性別と年齢を教えてください。(〇はひとつ)

※ 性別を選択することに違和感や抵抗感がある場合は、回答をいただかなくても結構です。

<性別>

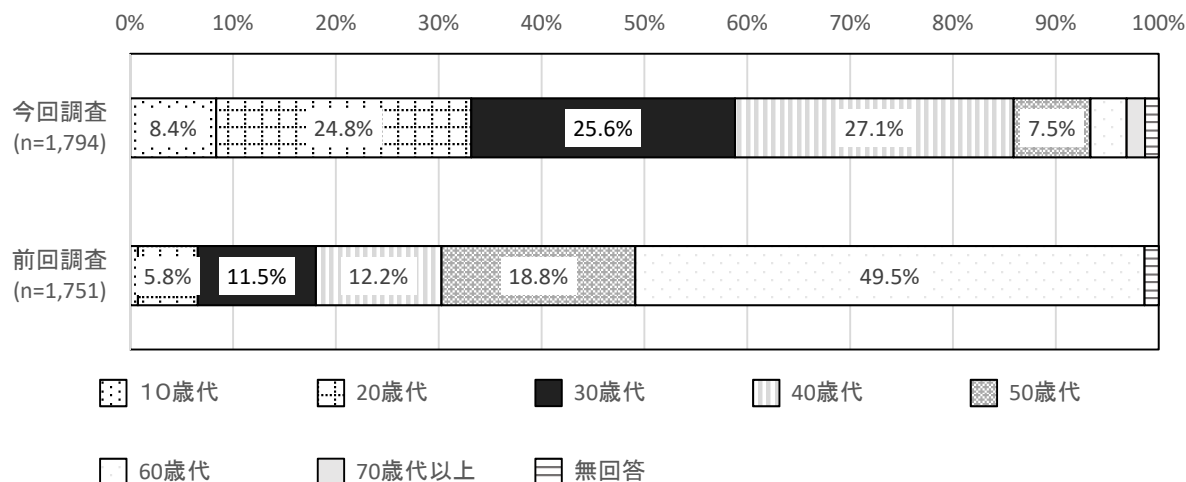
性別は「男性」が39.2%、「女性」が60.0%となっている。



		サンプル数	男性	女性	その他	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)						
今回調査		1,794	704	1076	3	11
		100.0%	39.2%	60.0%	0.2%	0.6%
前回調査		1,751	726	1003	0	22
		100.0%	41.5%	57.3%	0.0%	1.3%
性別	男性	704	704	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	女性	1,076	0	1076	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	150	87	61	1	1
		100.0%	58.0%	40.7%	0.7%	0.7%
	20歳代	445	184	258	2	1
		100.0%	41.3%	58.0%	0.4%	0.2%
	30歳代	460	134	324	0	2
		100.0%	29.1%	70.4%	0.0%	0.4%
	40歳代	486	193	292	0	1
		100.0%	39.7%	60.1%	0.0%	0.2%
年齢	50歳代	134	53	81	0	0
		100.0%	39.6%	60.4%	0.0%	0.0%
	60歳代	63	28	34	0	1
	100.0%	44.4%	54.0%	0.0%	1.6%	
年齢	70歳代以上	32	18	14	0	0
		100.0%	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%
地域別	鹿児島地区	911	363	542	2	4
		100.0%	39.8%	59.5%	0.2%	0.4%
	南薩地区	117	42	75	0	0
		100.0%	35.9%	64.1%	0.0%	0.0%
	北薩地区	187	68	119	0	0
		100.0%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
	始良・伊佐地区	239	95	142	1	1
		100.0%	39.7%	59.4%	0.4%	0.4%
	大隅地区	218	91	127	0	0
	100.0%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	
地域別	熊毛地区	34	10	23	0	1
		100.0%	29.4%	67.6%	0.0%	2.9%
地域別	大島地区	78	33	44	0	1
		100.0%	42.3%	56.4%	0.0%	1.3%

<年齢>

年齢は「40歳代」が27.1%で最も多く、次いで「30歳代」が25.6%、「20歳代」が24.8%となっている。



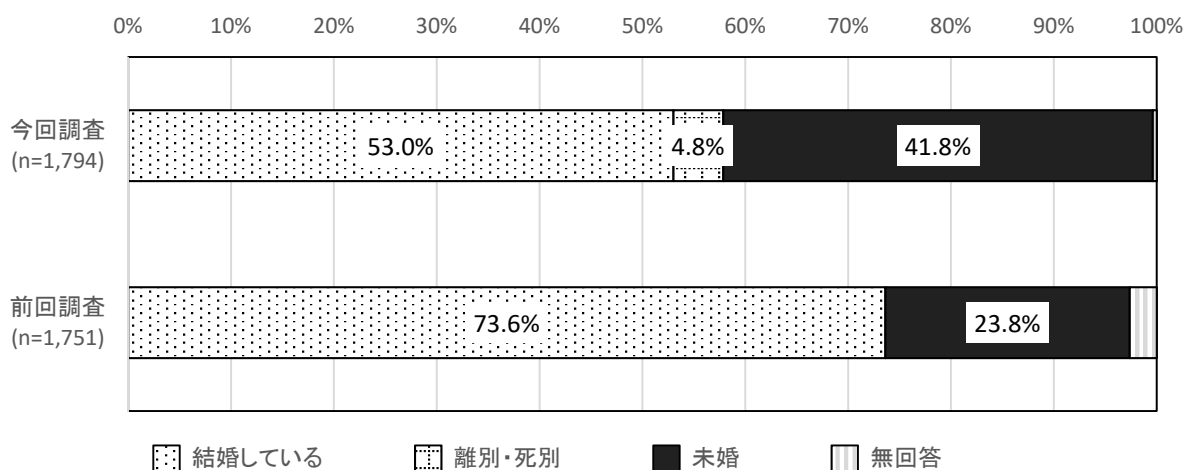
		サンプル数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
上段: 度数										
下段: 構成比 (%)										
今回調査		1,794	150	445	460	486	134	63	32	24
		100.0%	8.4%	24.8%	25.6%	27.1%	7.5%	3.5%	1.8%	1.3%
前回調査		1,751	13	102	201	214	330	867		24
		100.0%	0.7%	5.8%	11.5%	12.2%	18.8%	49.5%	0.0%	1.4%
性別	男性	704	87	184	134	193	53	28	18	7
		100.0%	12.4%	26.1%	19.0%	27.4%	7.5%	4.0%	2.6%	1.0%
性別	女性	1,076	61	258	324	292	81	34	14	12
		100.0%	5.7%	24.0%	30.1%	27.1%	7.5%	3.2%	1.3%	1.1%
年齢	10歳代	150	150	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	445	0	445	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	460	0	0	460	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	486	0	0	0	486	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢	50歳代	134	0	0	0	0	134	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	63	0	0	0	0	0	63	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
年齢	70歳代以上	32	0	0	0	0	0	0	32	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域別	鹿児島地区	911	105	234	229	240	62	18	9	14
		100.0%	11.5%	25.7%	25.1%	26.3%	6.8%	2.0%	1.0%	1.5%
	南薩地区	117	8	25	22	29	10	12	9	2
		100.0%	6.8%	21.4%	18.8%	24.8%	8.5%	10.3%	7.7%	1.7%
	北薩地区	187	10	41	55	53	14	8	5	1
		100.0%	5.3%	21.9%	29.4%	28.3%	7.5%	4.3%	2.7%	0.5%
	始良・伊佐地区	239	14	55	68	68	24	7	2	1
		100.0%	5.9%	23.0%	28.5%	28.5%	10.0%	2.9%	0.8%	0.4%
大隅地区	218	12	71	51	53	13	14	3	1	
	100.0%	5.5%	32.6%	23.4%	24.3%	6.0%	6.4%	1.4%	0.5%	
熊毛地区	34	0	3	13	12	3	2	1	0	
	100.0%	0.0%	8.8%	38.2%	35.3%	8.8%	5.9%	2.9%	0.0%	
大島地区	78	0	15	21	30	7	2	3	0	
	100.0%	0.0%	19.2%	26.9%	38.5%	9.0%	2.6%	3.8%	0.0%	

② あなたは結婚されていますか。結婚されている場合は、配偶者の方の年齢を教えてください。
(〇はひとつ)

結婚しているかについては、「結婚している」が53.0%で最も多く、次いで「未婚」が41.8%、「離別・死別」が4.8%の順となっている。

年齢別では、20歳代以下で「未婚」が8割を超え、30歳代以上では「結婚している」が約7割を超えている。

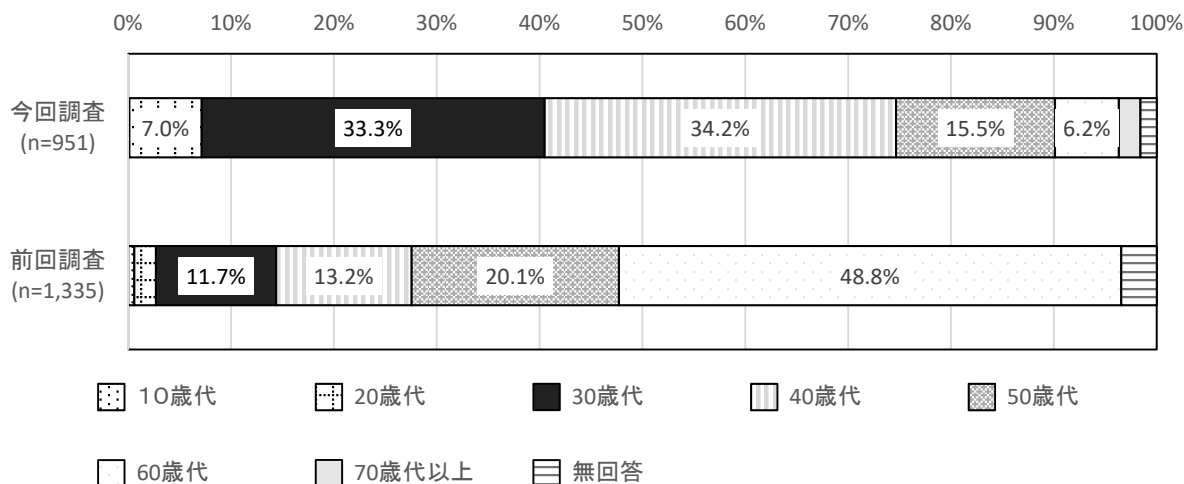
前回調査と比較すると「結婚している」の割合は20.6ポイント減少している。



		サンプル数	結婚している	離別・死別	未婚	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)						
今回調査		1,794	951	87	749	7
		100.0%	53.0%	4.8%	41.8%	0.4%
前回調査		1,751	1289		416	46
		100.0%	73.6%	0.0%	23.8%	2.6%
性別	男性	704	329	25	349	2
		100.0%	46.7%	3.6%	49.4%	0.3%
女性		1,076	618	62	395	1
		100.0%	57.4%	5.8%	36.7%	0.1%
年齢	10歳代	150	0	0	149	1
		100.0%	0.0%	0.0%	99.3%	0.7%
	20歳代	445	79	4	362	0
		100.0%	17.8%	0.9%	81.3%	0.0%
	30歳代	460	328	17	114	1
		100.0%	71.3%	3.7%	24.8%	0.2%
	40歳代	486	369	34	83	0
		100.0%	75.9%	7.0%	17.1%	0.0%
50歳代	134	99	12	23	0	
	100.0%	73.9%	9.0%	17.2%	0.0%	
60歳代	63	50	8	5	0	
	100.0%	79.4%	12.7%	7.9%	0.0%	
70歳代以上	32	21	9	1	1	
	100.0%	65.6%	28.1%	3.1%	3.1%	
地域別	鹿児島地区	911	450	38	421	2
		100.0%	49.4%	4.2%	46.2%	0.2%
	南薩地区	117	59	11	46	1
		100.0%	50.4%	9.4%	39.3%	0.9%
	北薩地区	187	104	7	76	0
		100.0%	55.6%	3.7%	40.6%	0.0%
	姶良・伊佐地区	239	144	7	88	0
		100.0%	60.3%	2.9%	36.8%	0.0%
	大隅地区	218	115	15	88	0
	100.0%	52.8%	6.9%	40.4%	0.0%	
熊毛地区	34	23	4	7	0	
	100.0%	67.6%	11.8%	20.6%	0.0%	
大島地区	78	53	5	20	0	
	100.0%	67.9%	6.4%	25.6%	0.0%	

<年齢>

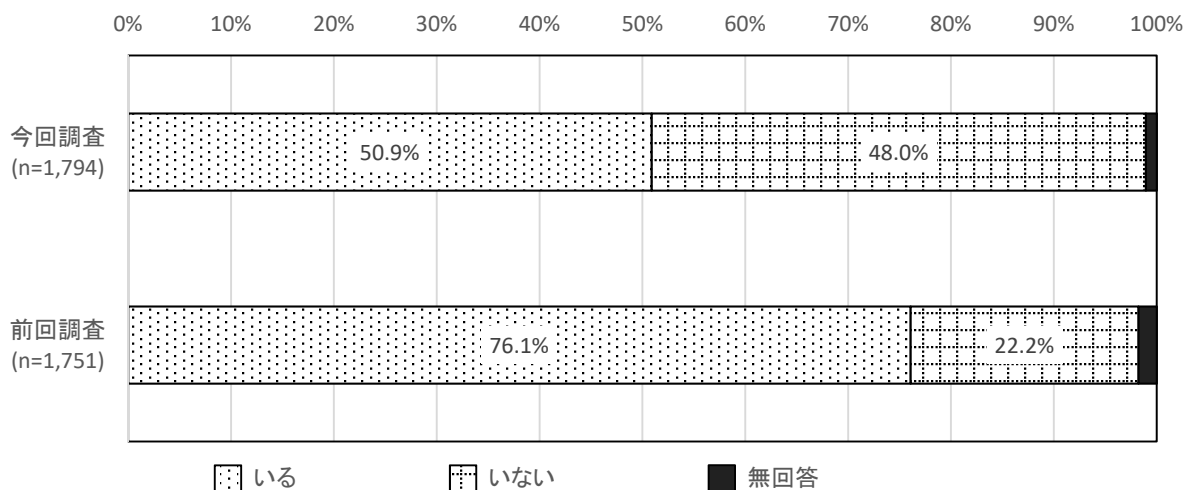
配偶者の年齢は「40歳代」が34.2%で最も多く、次いで「30歳代」が33.3%、「50歳代」が15.5%となっている。



		サンプル数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)										
今回調査		951	1	67	317	325	147	59	20	15
		100.0%	0.1%	7.0%	33.3%	34.2%	15.5%	6.2%	2.1%	1.6%
前回調査		1,335	8	28	156	176	269	652		46
		100.0%	0.6%	2.1%	11.7%	13.2%	20.1%	48.8%	0.0%	3.4%
性別	男性	329	0	21	100	123	52	19	10	4
		100.0%	0.0%	6.4%	30.4%	37.4%	15.8%	5.8%	3.0%	1.2%
性別	女性	618	1	46	216	200	95	40	10	10
		100.0%	0.2%	7.4%	35.0%	32.4%	15.4%	6.5%	1.6%	1.6%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	79	0	52	23	1	0	0	0	3
		100.0%	0.0%	65.8%	29.1%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
	30歳代	328	1	13	247	57	4	0	0	6
		100.0%	0.3%	4.0%	75.3%	17.4%	1.2%	0.0%	0.0%	1.8%
	40歳代	369	0	1	46	250	66	3	0	3
		100.0%	0.0%	0.3%	12.5%	67.8%	17.9%	0.8%	0.0%	0.8%
50歳代	99	0	0	0	14	65	20	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.1%	65.7%	20.2%	0.0%	0.0%	
60歳代	50	0	1	0	1	12	31	4	1	
	100.0%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%	24.0%	62.0%	8.0%	2.0%	
70歳代以上	21	0	0	0	0	0	5	16	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.8%	76.2%	0.0%	
地域別	鹿児島地区	450	1	29	159	163	66	19	5	8
		100.0%	0.2%	6.4%	35.3%	36.2%	14.7%	4.2%	1.1%	1.8%
	南薩地区	59	0	4	11	22	7	7	8	0
		100.0%	0.0%	6.8%	18.6%	37.3%	11.9%	11.9%	13.6%	0.0%
	北薩地区	104	0	7	38	28	21	6	3	1
		100.0%	0.0%	6.7%	36.5%	26.9%	20.2%	5.8%	2.9%	1.0%
	始良・伊佐地区	144	0	12	48	47	22	12	2	1
		100.0%	0.0%	8.3%	33.3%	32.6%	15.3%	8.3%	1.4%	0.7%
大隅地区	115	0	11	40	34	20	7	1	2	
	100.0%	0.0%	9.6%	34.8%	29.6%	17.4%	6.1%	0.9%	1.7%	
熊毛地区	23	0	1	6	10	3	2	0	1	
	100.0%	0.0%	4.3%	26.1%	43.5%	13.0%	8.7%	0.0%	4.3%	
大島地区	53	0	3	14	21	8	5	1	1	
	100.0%	0.0%	5.7%	26.4%	39.6%	15.1%	9.4%	1.9%	1.9%	

③ あなたはお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、お子さんの人数を教えてください。
(〇はひとつ)

子どもがいるかについては、「いる」が50.9%、「いない」が48.0%となっている。

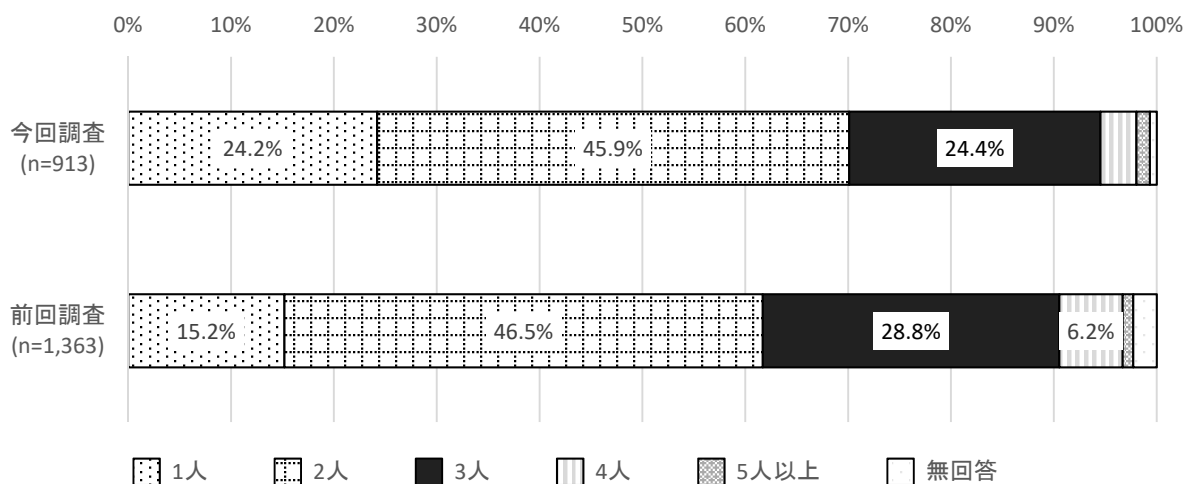


		サンプル数	いる	いない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比 (%)					
今回調査		1,794	913	862	19
		100.0%	50.9%	48.0%	1.1%
前回調査		1,751	1332	388	31
		100.0%	76.1%	22.2%	1.8%
性別	男性	704	309	384	11
		100.0%	43.9%	54.5%	1.6%
女性	女性	1,076	601	471	4
		100.0%	55.9%	43.8%	0.4%
年齢	10歳代	150	0	147	3
		100.0%	0.0%	98.0%	2.0%
	20歳代	445	54	385	6
		100.0%	12.1%	86.5%	1.3%
	30歳代	460	304	152	4
		100.0%	66.1%	33.0%	0.9%
	40歳代	486	359	126	1
		100.0%	73.9%	25.9%	0.2%
50歳代	50歳代	134	105	29	0
		100.0%	78.4%	21.6%	0.0%
	60歳代	63	56	7	0
		100.0%	88.9%	11.1%	0.0%
70歳代以上	70歳代以上	32	29	3	0
		100.0%	90.6%	9.4%	0.0%
地域別	鹿児島地区	911	421	480	10
		100.0%	46.2%	52.7%	1.1%
	南薩地区	117	65	52	0
		100.0%	55.6%	44.4%	0.0%
	北薩地区	187	100	86	1
		100.0%	53.5%	46.0%	0.5%
	始良・伊佐地区	239	138	100	1
		100.0%	57.7%	41.8%	0.4%
	大隅地区	218	111	105	2
	100.0%	50.9%	48.2%	0.9%	
熊毛地区	34	25	9	0	
	100.0%	73.5%	26.5%	0.0%	
大島地区	78	50	27	1	
	100.0%	64.1%	34.6%	1.3%	

＜お子さんの数＞

お子さんの数については、「2人」が45.9%、次いで「3人」が24.4%、「1人」が24.2%となっている。

前回調査と比較すると「1人」が9ポイント増加し、「3人」が4.4ポイント減少している。

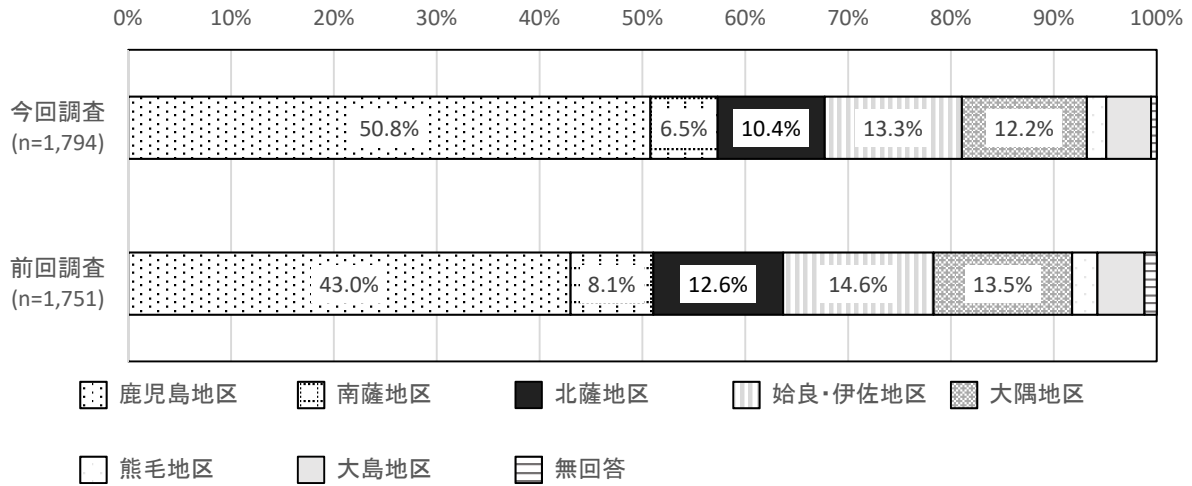


		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)								
今回調査		913	221	419	223	32	12	6
		100.0%	24.2%	45.9%	24.4%	3.5%	1.3%	0.7%
前回調査		1,363	207	634	393	84	14	31
		100.0%	15.2%	46.5%	28.8%	6.2%	1.0%	2.3%
性別	男性	309	70	147	83	6	3	0
		100.0%	22.7%	47.6%	26.9%	1.9%	1.0%	0.0%
女性	601	151	269	140	26	9	6	
		100.0%	25.1%	44.8%	23.3%	4.3%	1.5%	1.0%
年齢	10歳代	-	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	34	15	3	1	0	1
		100.0%	63.0%	27.8%	5.6%	1.9%	0.0%	1.9%
	30歳代	304	89	130	70	6	7	2
		100.0%	29.3%	42.8%	23.0%	2.0%	2.3%	0.7%
	40歳代	359	76	173	93	13	3	1
		100.0%	21.2%	48.2%	25.9%	3.6%	0.8%	0.3%
50歳代	105	16	55	28	4	2	0	
	100.0%	15.2%	52.4%	26.7%	3.8%	1.9%	0.0%	
60歳代	56	4	31	16	4	0	1	
	100.0%	7.1%	55.4%	28.6%	7.1%	0.0%	1.8%	
70歳代以上	29	1	13	12	3	0	0	
	100.0%	3.4%	44.8%	41.4%	10.3%	0.0%	0.0%	
地域別	鹿児島地区	421	106	204	93	8	6	4
		100.0%	25.2%	48.5%	22.1%	1.9%	1.4%	1.0%
	南薩地区	65	17	25	21	2	0	0
		100.0%	26.2%	38.5%	32.3%	3.1%	0.0%	0.0%
	北薩地区	100	26	42	27	4	1	0
		100.0%	26.0%	42.0%	27.0%	4.0%	1.0%	0.0%
	始良・伊佐地区	138	29	68	30	10	0	1
		100.0%	21.0%	49.3%	21.7%	7.2%	0.0%	0.7%
大隅地区	111	26	44	37	2	1	1	
	100.0%	23.4%	39.6%	33.3%	1.8%	0.9%	0.9%	
熊毛地区	25	7	13	3	1	1	0	
	100.0%	28.0%	52.0%	12.0%	4.0%	4.0%	0.0%	
大島地区	50	9	22	11	5	3	0	
	100.0%	18.0%	44.0%	22.0%	10.0%	6.0%	0.0%	

④ あなたのお住まいはどちらですか。(〇はひとつ)

住まいの地域については、「鹿児島地区」が50.8%で最も多く、次いで「始良・伊佐地区」が13.3%、「大隅地区」が12.2%となっている。

前回調査と比較すると「鹿児島地区」は7.8ポイント増加している。



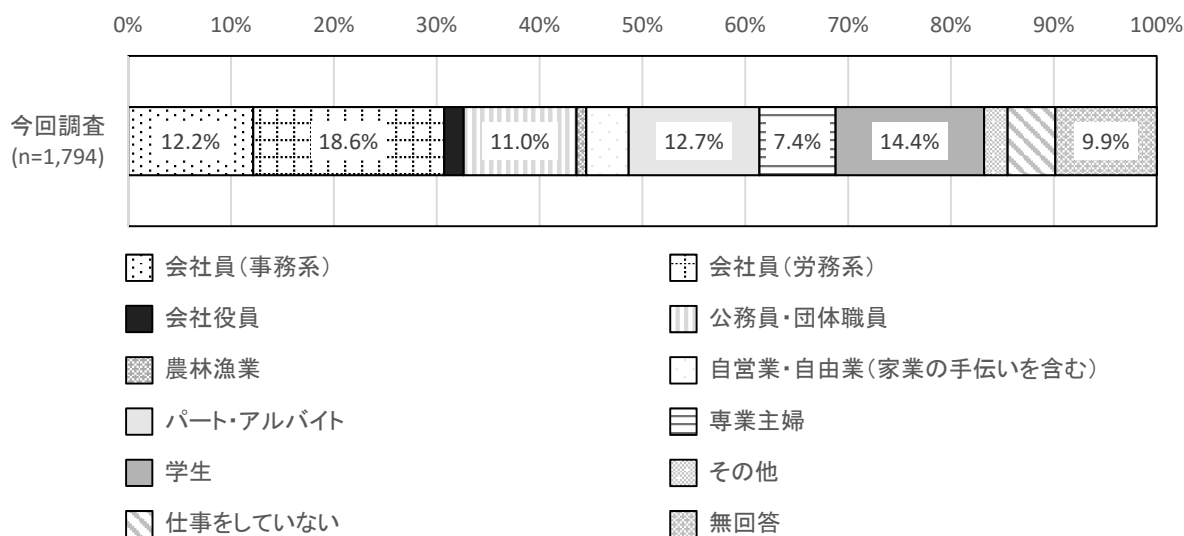
		サンプル数	鹿児島地区	南薩地区	北薩地区	始良・伊佐地区	大隅地区	熊毛地区	大島地区	無回答
上段: 度数 下段: 構成比 (%)										
今回調査		1,794	911	117	187	239	218	34	78	10
		100.0%	50.8%	6.5%	10.4%	13.3%	12.2%	1.9%	4.3%	0.6%
前回調査		1,751	753	141	221	256	236	43	80	21
		100.0%	43.0%	8.1%	12.6%	14.6%	13.5%	2.5%	4.6%	1.2%
性別	男性	704	363	42	68	95	91	10	33	2
		100.0%	51.6%	6.0%	9.7%	13.5%	12.9%	1.4%	4.7%	0.3%
性別	女性	1,076	542	75	119	142	127	23	44	4
		100.0%	50.4%	7.0%	11.1%	13.2%	11.8%	2.1%	4.1%	0.4%
年齢	10歳代	150	105	8	10	14	12	0	0	1
		100.0%	70.0%	5.3%	6.7%	9.3%	8.0%	0.0%	0.0%	0.7%
	20歳代	445	234	25	41	55	71	3	15	1
		100.0%	52.8%	5.6%	9.2%	12.4%	16.0%	0.7%	3.4%	0.2%
	30歳代	460	229	22	55	68	51	13	21	1
		100.0%	49.8%	4.8%	12.0%	14.8%	11.1%	2.8%	4.6%	0.2%
	40歳代	486	240	29	53	68	53	12	30	1
		100.0%	49.4%	6.0%	10.9%	14.0%	10.9%	2.5%	6.2%	0.2%
50歳代	134	62	10	14	24	13	3	7	1	
	100.0%	46.3%	7.5%	10.4%	17.9%	9.7%	2.2%	5.2%	0.7%	
60歳代	63	18	12	8	7	14	2	2	0	
	100.0%	28.6%	19.0%	12.7%	11.1%	22.2%	3.2%	3.2%	0.0%	
70歳代以上	32	9	9	5	2	3	1	3	0	
	100.0%	28.1%	28.1%	15.6%	6.3%	9.4%	3.1%	9.4%	0.0%	
地域別	鹿児島地区	911	911	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	南薩地区	117	0	117	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	北薩地区	187	0	0	187	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	始良・伊佐地区	239	0	0	0	239	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大隅地区	218	0	0	0	0	218	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
熊毛地区	34	0	0	0	0	0	34	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
大島地区	78	0	0	0	0	0	0	78	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

⑤ あなたと配偶者の方のご職業と雇用形態をお聞かせください。(A) あなた、(B) 配偶者のそれぞれにあてはまる番号を1つずつ選んで、その番号を下の解答欄に記入してください。

＜あなたの職業＞

職業については、「会社員（労務系）」が18.6%で最も多く、次いで「学生」が14.4%、「パート・アルバイト」が12.7%、となっている。

性別でみると、男性は「会社員（労務系）」が27.8%で最も多く、女性は「パート・アルバイト」が19.2%で最も多くなっている。

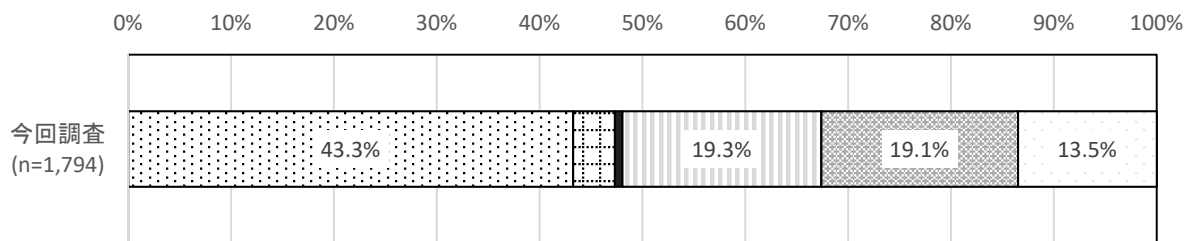


- 会社員(事務系)
- 会社員(労務系)
- 会社役員
- 公務員・団体職員
- 農林漁業
- 自営業・自由業(家業の手伝いを含む)
- パート・アルバイト
- 専業主婦
- 学生
- その他
- 仕事をしていない
- 無回答

		サンプル数	会社員(事務系)	会社員(労務系)	会社役員	公務員・団体職員	農林漁業	自営業・自由業(家業の手伝いを含む)	パート・アルバイト	専業主婦	学生	その他	仕事をしていない	無回答
今回調査		1,794	218	333	34	197	17	74	228	133	259	41	83	177
		100.0%	12.2%	18.6%	1.9%	11.0%	0.9%	4.1%	12.7%	7.4%	14.4%	2.3%	4.6%	9.9%
性別	男性	704	76	196	19	100	8	30	18	0	155	9	33	60
		100.0%	10.8%	27.8%	2.7%	14.2%	1.1%	4.3%	2.6%	0.0%	22.0%	1.3%	4.7%	8.5%
性別	女性	1,078	142	135	15	97	8	44	207	133	102	32	47	114
		100.0%	13.2%	12.5%	1.4%	9.0%	0.7%	4.1%	19.2%	12.4%	9.5%	3.0%	4.4%	10.6%
年齢	10歳代	150	2	6	0	0	0	0	1	0	106	1	2	32
		100.0%	1.3%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	70.7%	0.7%	1.3%	21.3%
	20歳代	445	47	78	1	39	0	5	35	13	146	12	12	57
		100.0%	10.6%	17.5%	0.2%	8.8%	0.0%	1.1%	7.9%	2.9%	32.8%	2.7%	2.7%	12.8%
	30歳代	460	66	104	6	47	5	21	80	70	3	14	16	28
		100.0%	14.3%	22.6%	1.3%	10.2%	1.1%	4.6%	17.4%	15.2%	0.7%	3.0%	3.5%	6.1%
	40歳代	486	70	113	18	82	6	31	78	32	0	10	12	34
		100.0%	14.4%	23.3%	3.7%	16.9%	1.2%	6.4%	16.0%	6.6%	0.0%	2.1%	2.5%	7.0%
50歳代	134	19	26	6	19	2	9	20	10	0	4	6	13	
	100.0%	14.2%	19.4%	4.5%	14.2%	1.5%	6.7%	14.9%	7.5%	0.0%	3.0%	4.5%	9.7%	
60歳代	63	8	4	2	6	2	4	11	7	0	0	13	6	
	100.0%	12.7%	6.3%	3.2%	9.5%	3.2%	6.3%	17.5%	11.1%	0.0%	0.0%	20.6%	9.5%	
70歳代以上	32	1	0	1	3	2	2	2	2	1	0	0	18	
	100.0%	3.1%	0.0%	3.1%	9.4%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%	56.3%	
地域別	鹿児島地区	911	118	171	16	85	0	27	107	76	169	20	38	84
		100.0%	13.0%	18.8%	1.8%	9.3%	0.0%	3.0%	11.7%	8.3%	18.6%	2.2%	4.2%	9.2%
	南薩地区	117	13	20	2	15	3	9	13	4	9	5	10	14
		100.0%	11.1%	17.1%	1.7%	12.8%	2.6%	7.7%	11.1%	3.4%	7.7%	4.3%	8.5%	12.0%
	北薩地区	187	22	46	5	25	1	7	22	8	12	5	9	25
		100.0%	11.8%	24.6%	2.7%	13.4%	0.5%	3.7%	11.8%	4.3%	6.4%	2.7%	4.8%	13.4%
	姪良・伊佐地区	239	29	35	6	23	5	15	42	23	29	5	10	17
		100.0%	12.1%	14.6%	2.5%	9.6%	2.1%	6.3%	17.6%	9.6%	12.1%	2.1%	4.2%	7.1%
大隅地区	218	25	42	3	26	4	9	28	12	38	2	7	22	
	100.0%	11.5%	19.3%	1.4%	11.9%	1.8%	4.1%	12.8%	5.5%	17.4%	0.9%	3.2%	10.1%	
熊毛地区	34	2	7	1	3	4	1	4	5	0	2	3	2	
	100.0%	5.9%	20.6%	2.9%	8.8%	11.8%	2.9%	11.8%	14.7%	0.0%	5.9%	8.8%	5.9%	
大島地区	78	9	10	1	20	0	6	11	4	1	2	5	9	
	100.0%	11.5%	12.8%	1.3%	25.6%	0.0%	7.7%	14.1%	5.1%	1.3%	2.6%	6.4%	11.5%	

＜あなたの雇用形態＞

雇用形態については、「正社員」が43.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が19.3%、「仕事をしていない」が19.1%となっている。

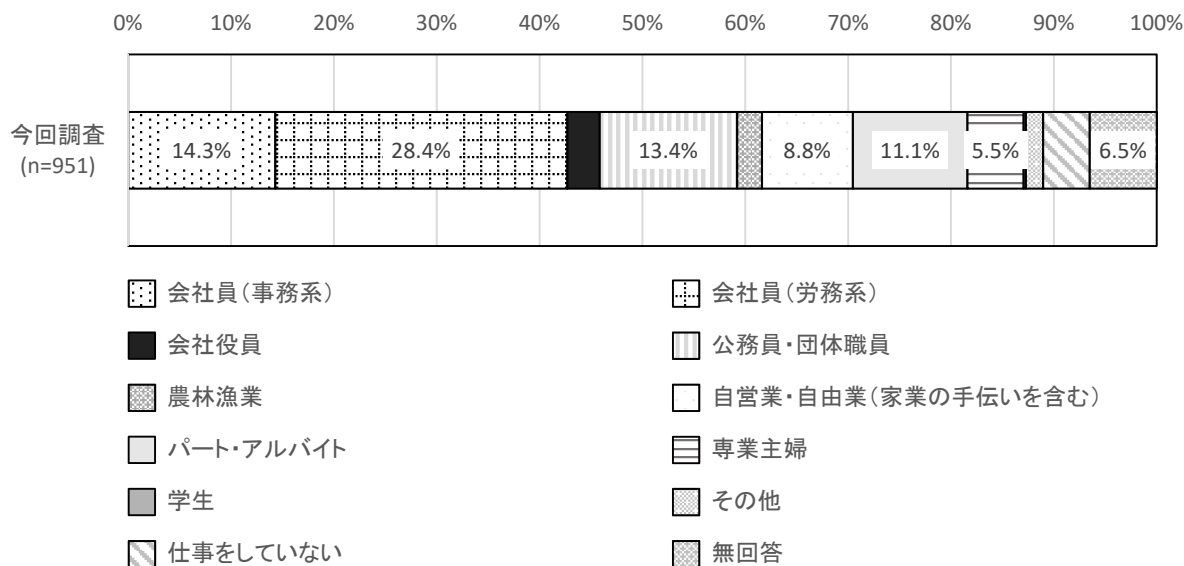


正社員
 契約社員
 派遣社員
 パート・アルバイト
 仕事をしていない
 無回答

		サンプル数	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	仕事をしていない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		1,794	776	73	13	347	343	242
		100.0%	43.3%	4.1%	0.7%	19.3%	19.1%	13.5%
性別	男性	704	396	20	2	85	107	94
		100.0%	56.3%	2.8%	0.3%	12.1%	15.2%	13.4%
女性		1,076	377	53	11	259	231	145
		100.0%	35.0%	4.9%	1.0%	24.1%	21.5%	13.5%
年齢	10歳代	150	8	0	0	47	50	45
		100.0%	5.3%	0.0%	0.0%	31.3%	33.3%	30.0%
	20歳代	445	160	12	3	96	100	74
		100.0%	36.0%	2.7%	0.7%	21.6%	22.5%	16.6%
	30歳代	460	226	24	2	84	87	37
		100.0%	49.1%	5.2%	0.4%	18.3%	18.9%	8.0%
	40歳代	486	276	27	6	82	46	49
		100.0%	56.8%	5.6%	1.2%	16.9%	9.5%	10.1%
50歳代	134	73	6	1	22	15	17	
	100.0%	54.5%	4.5%	0.7%	16.4%	11.2%	12.7%	
60歳代	63	19	4	1	11	20	8	
	100.0%	30.2%	6.3%	1.6%	17.5%	31.7%	12.7%	
70歳代以上	32	6	0	0	2	19	5	
	100.0%	18.8%	0.0%	0.0%	6.3%	59.4%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	375	30	9	196	184	117
		100.0%	41.2%	3.3%	1.0%	21.5%	20.2%	12.8%
	南薩地区	117	57	2	1	16	19	22
		100.0%	48.7%	1.7%	0.9%	13.7%	16.2%	18.8%
	北薩地区	187	94	11	2	25	27	28
		100.0%	50.3%	5.9%	1.1%	13.4%	14.4%	15.0%
	始良・伊佐地区	239	102	9	0	54	48	26
		100.0%	42.7%	3.8%	0.0%	22.6%	20.1%	10.9%
大隅地区	218	96	12	1	38	45	26	
	100.0%	44.0%	5.5%	0.5%	17.4%	20.6%	11.9%	
熊毛地区	34	14	2	0	5	7	6	
	100.0%	41.2%	5.9%	0.0%	14.7%	20.6%	17.6%	
大島地区	78	36	7	0	12	10	13	
	100.0%	46.2%	9.0%	0.0%	15.4%	12.8%	16.7%	

<配偶者の職業>

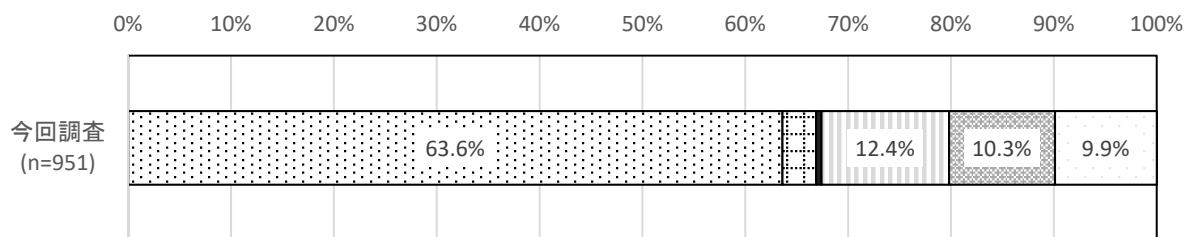
配偶者の職業については、「会社員（労務系）」が 28.4%で最も多く、次いで「会社員（事務系）」が 14.3%、「公務員・団体職員」が 13.4%となっている。



		サンプル数	会社員(事務系)	会社員(労務系)	会社役員	公務員・団体職員	農林漁業	自営業・自由業(家業の手伝いを含む)	パート・アルバイト	専業主婦	学生	その他	仕事をしていない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)														
今回調査		951	136	270	30	127	23	84	106	52	2	16	43	62
		100.0%	14.3%	28.4%	3.2%	13.4%	2.4%	8.8%	11.1%	5.5%	0.2%	1.7%	4.5%	6.5%
性別	男性	329	36	42	6	22	6	18	100	50	0	6	29	14
		100.0%	10.9%	12.8%	1.8%	6.7%	1.8%	5.5%	30.4%	15.2%	0.0%	1.8%	8.8%	4.3%
性別	女性	618	100	226	24	105	17	66	6	2	2	10	13	47
		100.0%	16.2%	36.6%	3.9%	17.0%	2.8%	10.7%	1.0%	0.3%	0.3%	1.6%	2.1%	7.6%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	79	14	32	1	14	2	4	2	5	0	1	1	3
		100.0%	17.7%	40.5%	1.3%	17.7%	2.5%	5.1%	2.5%	6.3%	0.0%	1.3%	1.3%	3.8%
	30歳代	328	51	108	10	41	7	30	30	14	1	8	7	21
		100.0%	15.5%	32.9%	3.0%	12.5%	2.1%	9.1%	9.1%	4.3%	0.3%	2.4%	2.1%	6.4%
	40歳代	369	57	100	14	56	4	33	50	22	0	5	7	21
		100.0%	15.4%	27.1%	3.8%	15.2%	1.1%	8.9%	13.6%	6.0%	0.0%	1.4%	1.9%	5.7%
50歳代	99	11	21	3	13	5	8	15	6	1	1	6	9	
	100.0%	11.1%	21.2%	3.0%	13.1%	5.1%	8.1%	15.2%	6.1%	1.0%	1.0%	6.1%	9.1%	
60歳代	50	2	8	2	3	3	7	8	3	0	1	9	4	
	100.0%	4.0%	16.0%	4.0%	6.0%	6.0%	14.0%	16.0%	6.0%	0.0%	2.0%	18.0%	8.0%	
70歳代以上	21	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	12	3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	
地域別	鹿児島地区	450	79	134	16	52	2	33	53	28	2	6	18	27
		100.0%	17.6%	29.8%	3.6%	11.6%	0.4%	7.3%	11.8%	6.2%	0.4%	1.3%	4.0%	6.0%
	南薩地区	59	3	11	1	7	7	8	6	5	0	0	9	2
		100.0%	5.1%	18.6%	1.7%	11.9%	11.9%	13.6%	10.2%	8.5%	0.0%	0.0%	15.3%	3.4%
	北薩地区	104	13	32	4	17	4	4	11	4	0	3	2	10
		100.0%	12.5%	30.8%	3.8%	16.3%	3.8%	3.8%	10.6%	3.8%	0.0%	2.9%	1.9%	9.6%
	始良・伊佐地区	144	25	41	3	16	3	17	20	4	0	6	4	5
	100.0%	17.4%	28.5%	2.1%	11.1%	2.1%	11.8%	13.9%	2.8%	0.0%	4.2%	2.8%	3.5%	
大隅地区	115	10	37	4	14	3	17	11	5	0	1	7	6	
	100.0%	8.7%	32.2%	3.5%	12.2%	2.6%	14.8%	9.6%	4.3%	0.0%	0.9%	6.1%	5.2%	
熊本地区	23	1	4	0	7	3	1	1	2	0	0	1	3	
	100.0%	4.3%	17.4%	0.0%	30.4%	13.0%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	13.0%	
大島地区	53	4	10	2	14	1	4	4	4	0	0	2	8	
	100.0%	7.5%	18.9%	3.8%	26.4%	1.9%	7.5%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	3.8%	15.1%	

<配偶者の雇用形態>

配偶者の雇用形態については、「正社員」が63.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が12.4%、「仕事をしていない」が10.3%となっている。



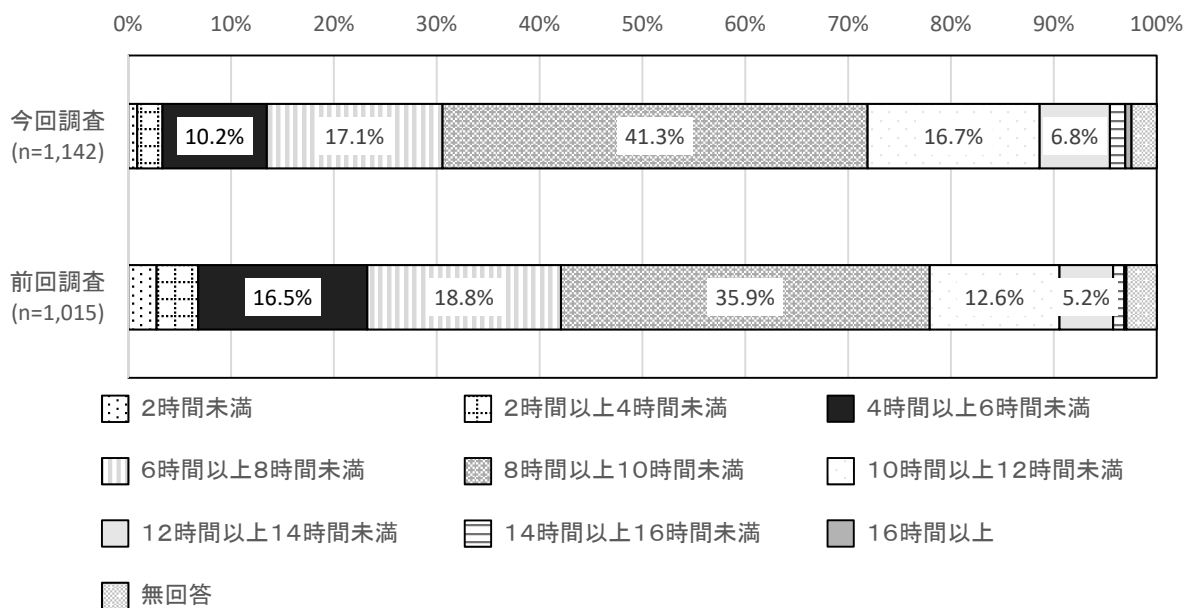
正社員
 契約社員
 派遣社員
 パート・アルバイト
 仕事をしていない
 無回答

		サンプル数	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	仕事をしていない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		951	605	31	5	118	98	94
		100.0%	63.6%	3.3%	0.5%	12.4%	10.3%	9.9%
性別	男性	329	104	15	2	106	79	23
		100.0%	31.6%	4.6%	0.6%	32.2%	24.0%	7.0%
女性	618	499	16	3	12	18	70	
	100.0%	80.7%	2.6%	0.5%	1.9%	2.9%	11.3%	
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	79	63	2	0	2	6	6
		100.0%	79.7%	2.5%	0.0%	2.5%	7.6%	7.6%
	30歳代	328	234	10	1	34	23	26
		100.0%	71.3%	3.0%	0.3%	10.4%	7.0%	7.9%
	40歳代	369	239	12	4	50	31	33
		100.0%	64.8%	3.3%	1.1%	13.6%	8.4%	8.9%
	50歳代	99	50	3	0	21	13	12
	100.0%	50.5%	3.0%	0.0%	21.2%	13.1%	12.1%	
地域別	鹿児島地区	450	289	16	3	57	48	37
		100.0%	64.2%	3.6%	0.7%	12.7%	10.7%	8.2%
	南薩地区	59	27	1	0	9	13	9
		100.0%	45.8%	1.7%	0.0%	15.3%	22.0%	15.3%
	北薩地区	104	75	0	0	11	6	12
		100.0%	72.1%	0.0%	0.0%	10.6%	5.8%	11.5%
	始良・伊佐地区	144	96	5	1	21	10	11
		100.0%	66.7%	3.5%	0.7%	14.6%	6.9%	7.6%
大隅地区	115	74	4	1	16	12	8	
	100.0%	64.3%	3.5%	0.9%	13.9%	10.4%	7.0%	
熊本地区	23	13	1	0	1	3	5	
	100.0%	56.5%	4.3%	0.0%	4.3%	13.0%	21.7%	
大島地区	53	29	4	0	3	6	11	
	100.0%	54.7%	7.5%	0.0%	5.7%	11.3%	20.8%	

⑥ 【⑤（A）あなたで「ご職業」が「専業主婦」・「学生」・「仕事をしていない」以外の方のみにおたずねします。】平均的な1日のあなたの労働時間（残業を含む）と通勤時間を合計した時間はどの程度ですか。（〇はひとつ）

平均的な労働時間と通勤時間の合計時間では、「8 時間以上 10 時間未満」が 41.3%で最も多く、次いで「6 時間以上 8 時間未満」が 17.1%、「10 時間以上 12 時間未満」が 16.7%となっている。

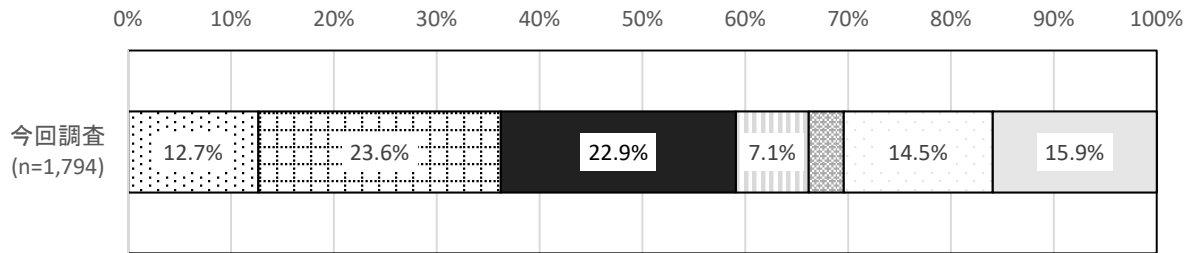
前回調査と比較すると、「8 時間以上 10 時間未満」の割合は、5.4 ポイント増加し、「8 時間未満」は減少、「8 時間以上」は増加している。



上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	2時間未満	2時間以上4時間未満	4時間以上6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上10時間未満	満10時間以上12時間未満	満12時間以上14時間未満	満14時間以上16時間未満	16時間以上	無回答
今回調査		1,142	10	28	116	195	472	191	78	17	7	28
		100.0%	0.9%	2.5%	10.2%	17.1%	41.3%	16.7%	6.8%	1.5%	0.6%	2.5%
前回調査		1,015	28	41	167	191	364	128	53	11	2	30
		100.0%	2.8%	4.0%	16.5%	18.8%	35.9%	12.6%	5.2%	1.1%	0.2%	3.0%
性別	男性	456	5	2	8	49	210	107	48	11	6	10
		100.0%	1.1%	0.4%	1.8%	10.7%	46.1%	23.5%	10.5%	2.4%	1.3%	2.2%
女性	680	5	26	107	144	261	84	30	6	1	16	
		100.0%	0.7%	3.8%	15.7%	21.2%	38.4%	12.4%	4.4%	0.9%	0.1%	2.4%
年齢	10歳代	10	0	0	0	2	4	1	1	0	0	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	20歳代	217	2	5	8	34	99	44	20	1	1	3
		100.0%	0.9%	2.3%	3.7%	15.7%	45.6%	20.3%	9.2%	0.5%	0.5%	1.4%
	30歳代	343	4	13	41	60	145	46	19	5	3	7
		100.0%	1.2%	3.8%	12.0%	17.5%	42.3%	13.4%	5.5%	1.5%	0.9%	2.0%
	40歳代	408	4	4	48	70	169	69	27	9	3	5
		100.0%	1.0%	1.0%	11.8%	17.2%	41.4%	16.9%	6.6%	2.2%	0.7%	1.2%
50歳代	105	0	4	10	19	38	19	10	2	0	3	
	100.0%	0.0%	3.8%	9.5%	18.1%	36.2%	18.1%	9.5%	1.9%	0.0%	2.9%	
60歳代	37	0	2	4	6	15	5	1	0	0	4	
	100.0%	0.0%	5.4%	10.8%	16.2%	40.5%	13.5%	2.7%	0.0%	0.0%	10.8%	
70歳代以上	11	0	0	4	3	0	2	0	0	0	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	36.4%	27.3%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	
地域別	鹿児島地区	544	4	13	57	92	183	119	52	11	4	9
		100.0%	0.7%	2.4%	10.5%	16.9%	33.6%	21.9%	9.6%	2.0%	0.7%	1.7%
	南薩地区	80	0	2	6	16	42	7	3	1	1	2
		100.0%	0.0%	2.5%	7.5%	20.0%	52.5%	8.8%	3.8%	1.3%	1.3%	2.5%
	北薩地区	133	0	4	15	19	63	20	2	3	0	7
		100.0%	0.0%	3.0%	11.3%	14.3%	47.4%	15.0%	1.5%	2.3%	0.0%	5.3%
	始良・伊佐地区	160	2	3	17	26	76	17	11	2	2	4
		100.0%	1.3%	1.9%	10.6%	16.3%	47.5%	10.6%	6.9%	1.3%	1.3%	2.5%
大隅地区	139	2	3	11	24	71	18	6	0	0	4	
	100.0%	1.4%	2.2%	7.9%	17.3%	51.1%	12.9%	4.3%	0.0%	0.0%	2.9%	
熊毛地区	24	1	2	3	6	9	1	1	0	0	1	
	100.0%	4.2%	8.3%	12.5%	25.0%	37.5%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	
大島地区	59	1	1	7	11	27	9	3	0	0	0	
	100.0%	1.7%	1.7%	11.9%	18.6%	45.8%	15.3%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	

⑦ あなたの世帯年収はどのくらいですか。(〇はひとつ)

世帯年収については、「200万円～400万円未満」が23.6%で最も多く、次いで「400万円～700万円未満」が22.9%となっている。



- 200万円未満
- 200万円～400万円未満
- 400万円～700万円未満
- 700万円～1000万円未満
- 1000万円以上
- わからない・答えたくない
- 無回答

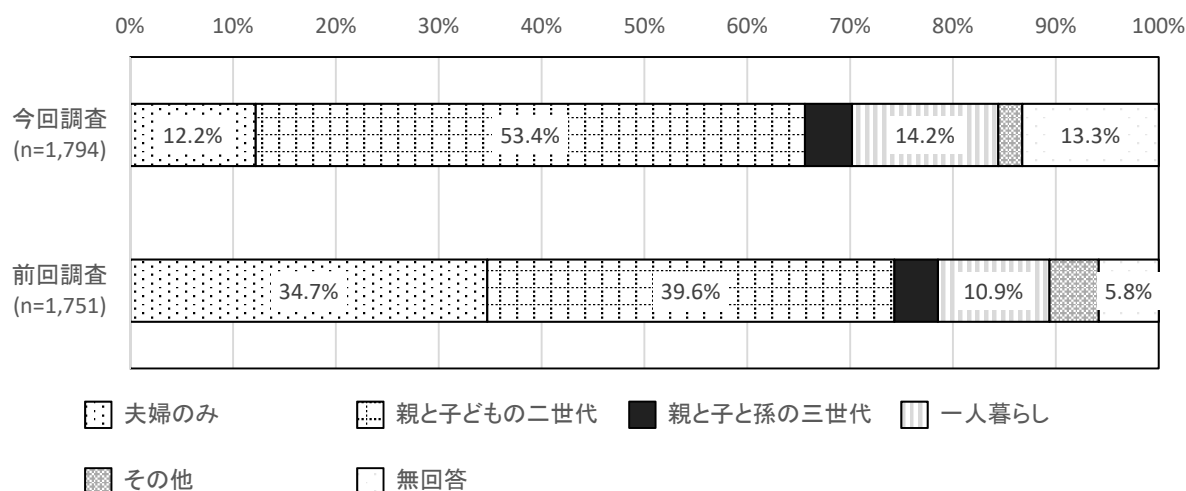
		サンプル数	200万円未満	200万円～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円～1000万円未満	1000万円以上	わからない・答えたくない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)									
今回調査		1,794	227	423	410	127	61	260	286
		100.0%	12.7%	23.6%	22.9%	7.1%	3.4%	14.5%	15.9%
性別	男性	704	78	150	165	66	29	111	105
		100.0%	11.1%	21.3%	23.4%	9.4%	4.1%	15.8%	14.9%
性別	女性	1,076	146	271	244	61	32	146	176
		100.0%	13.6%	25.2%	22.7%	5.7%	3.0%	13.6%	16.4%
年齢	10歳代	150	13	3	2	3	1	66	62
		100.0%	8.7%	2.0%	1.3%	2.0%	0.7%	44.0%	41.3%
	20歳代	445	68	114	47	9	8	109	90
		100.0%	15.3%	25.6%	10.6%	2.0%	1.8%	24.5%	20.2%
	30歳代	460	54	154	142	31	10	28	41
		100.0%	11.7%	33.5%	30.9%	6.7%	2.2%	6.1%	8.9%
	40歳代	486	51	102	167	58	30	33	45
		100.0%	10.5%	21.0%	34.4%	11.9%	6.2%	6.8%	9.3%
50歳代	134	16	24	36	19	11	12	16	
	100.0%	11.9%	17.9%	26.9%	14.2%	8.2%	9.0%	11.9%	
60歳代	63	15	17	7	6	1	6	11	
	100.0%	23.8%	27.0%	11.1%	9.5%	1.6%	9.5%	17.5%	
70歳代以上	32	9	5	5	1	0	1	11	
	100.0%	28.1%	15.6%	15.6%	3.1%	0.0%	3.1%	34.4%	
地域別	鹿児島地区	911	112	213	209	60	39	140	138
		100.0%	12.3%	23.4%	22.9%	6.6%	4.3%	15.4%	15.1%
	南薩地区	117	16	30	24	5	2	16	24
		100.0%	13.7%	25.6%	20.5%	4.3%	1.7%	13.7%	20.5%
	北薩地区	187	18	40	43	16	5	28	37
		100.0%	9.6%	21.4%	23.0%	8.6%	2.7%	15.0%	19.8%
	始良・伊佐地区	239	36	53	60	26	7	27	30
		100.0%	15.1%	22.2%	25.1%	10.9%	2.9%	11.3%	12.6%
大隅地区	218	25	51	52	11	5	38	36	
	100.0%	11.5%	23.4%	23.9%	5.0%	2.3%	17.4%	16.5%	
熊毛地区	34	6	8	10	2	0	5	3	
	100.0%	17.6%	23.5%	29.4%	5.9%	0.0%	14.7%	8.8%	
大島地区	78	14	26	12	7	3	6	10	
	100.0%	17.9%	33.3%	15.4%	9.0%	3.8%	7.7%	12.8%	

⑧ あなたの世帯構成は以下のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

※ 同居している家族の構成をお選びください。

世帯構成については、「親と子どもの二世帯」が53.4%で最も多く、次いで「一人暮らし」が14.2%、「夫婦のみ」が12.2%となっている。

前回調査と比較すると、「夫婦のみ」の割合が22.5ポイント減少し、「親と子の二世帯」の割合は13.8ポイント増加している。



		サンプル数	夫婦のみ	親と子どもの二世帯	親と子と孫の三世帯	一人暮らし	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		1,794	219	958	82	255	42	238
		100.0%	12.2%	53.4%	4.6%	14.2%	2.3%	13.3%
前回調査		1,751	608	693	74	190	84	102
		100.0%	34.7%	39.6%	4.2%	10.9%	4.8%	5.8%
性別	男性	704	81	347	36	133	15	92
		100.0%	11.5%	49.3%	5.1%	18.9%	2.1%	13.1%
女性	1,076	137	604	46	120	27	142	
		100.0%	12.7%	56.1%	4.3%	11.2%	2.5%	13.2%
年齢	10歳代	150	0	56	12	25	3	54
		100.0%	0.0%	37.3%	8.0%	16.7%	2.0%	36.0%
	20歳代	445	32	194	19	113	10	77
		100.0%	7.2%	43.6%	4.3%	25.4%	2.2%	17.3%
	30歳代	460	54	297	17	44	14	34
		100.0%	11.7%	64.6%	3.7%	9.6%	3.0%	7.4%
	40歳代	486	59	305	28	47	8	39
		100.0%	12.1%	62.8%	5.8%	9.7%	1.6%	8.0%
50歳代	134	36	66	3	12	2	15	
	100.0%	26.9%	49.3%	2.2%	9.0%	1.5%	11.2%	
60歳代	63	25	25	0	6	1	6	
	100.0%	39.7%	39.7%	0.0%	9.5%	1.6%	9.5%	
70歳代以上	32	12	5	2	6	2	5	
	100.0%	37.5%	15.6%	6.3%	18.8%	6.3%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	104	488	41	138	21	119
		100.0%	11.4%	53.6%	4.5%	15.1%	2.3%	13.1%
	南薩地区	117	19	63	3	10	4	18
		100.0%	16.2%	53.8%	2.6%	8.5%	3.4%	15.4%
	北薩地区	187	23	97	10	20	6	31
		100.0%	12.3%	51.9%	5.3%	10.7%	3.2%	16.6%
	姶良・伊佐地区	239	27	145	14	29	2	22
		100.0%	11.3%	60.7%	5.9%	12.1%	0.8%	9.2%
大隅地区	218	26	104	8	43	6	31	
	100.0%	11.9%	47.7%	3.7%	19.7%	2.8%	14.2%	
熊毛地区	34	6	22	2	2	1	1	
	100.0%	17.6%	64.7%	5.9%	5.9%	2.9%	2.9%	
大島地区	78	14	37	4	13	2	8	
	100.0%	17.9%	47.4%	5.1%	16.7%	2.6%	10.3%	

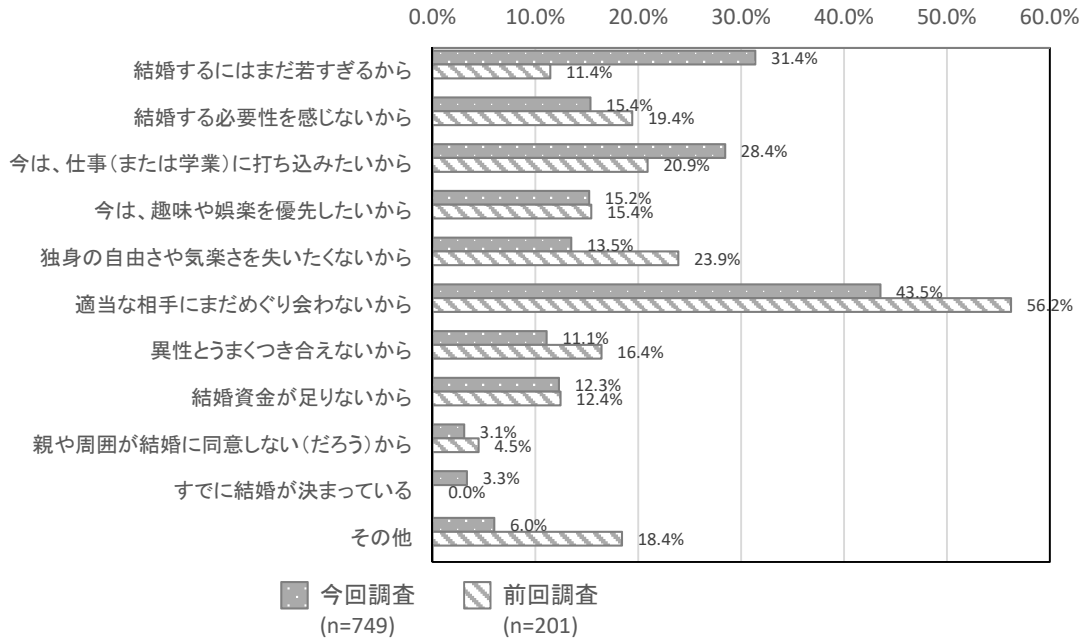
【問1～20は「未婚」を選択した方のみ回答】

問1 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。(〇は3つまで)

独身でいる理由については、「適当な相手にまだめぐり合わないから」が43.5%で最も多く、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」が31.4%、「今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから」が28.4%となっている。

年齢別でみると、10歳代・20歳代の約4割が「今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから」と回答し、30歳代・40歳代の約2割が「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」、50歳代の約3割が「結婚する必要性を感じないから」と回答している。

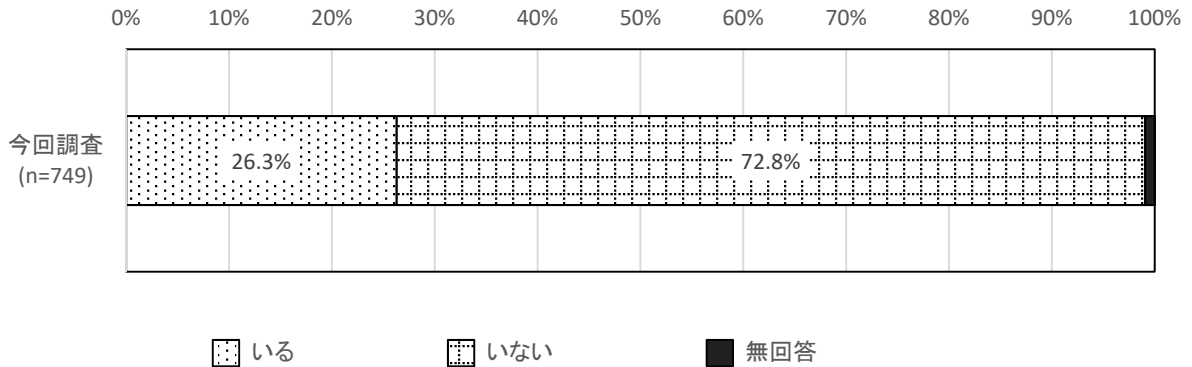
前回調査と比較すると「適当な相手にまだめぐり合わないから」の割合が12.7ポイント減少し、「結婚するにはまだ若すぎるから」が20ポイント増加している。



	サンプル数	理由										
		結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性を感じないから	今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を優先したいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり合わないから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が足りないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	すでに結婚が決まっている	その他
上段: 度数		235	115	213	114	101	326	83	92	23	25	45
下段: 構成比(%)		31.4%	15.4%	28.4%	15.2%	13.5%	43.5%	11.1%	12.3%	3.1%	3.3%	6.0%
今回調査	749	235	115	213	114	101	326	83	92	23	25	45
前回調査	201	23	39	42	31	48	113	33	25	9	0	37
		11.4%	19.4%	20.9%	15.4%	23.9%	56.2%	16.4%	12.4%	4.5%	0.0%	18.4%
性別												
男性	348	128	41	101	55	42	131	40	61	8	7	17
		36.8%	11.8%	29.0%	15.8%	12.1%	37.6%	11.5%	17.5%	2.3%	2.0%	4.9%
女性	395	103	72	112	58	59	194	43	31	15	18	26
		26.1%	18.2%	28.4%	14.7%	14.9%	49.1%	10.9%	7.8%	3.8%	4.6%	6.6%
年齢												
10歳代	149	106	14	65	28	6	28	11	11	9	1	2
		71.1%	9.4%	43.6%	18.8%	4.0%	18.8%	7.4%	7.4%	6.0%	0.7%	1.3%
20歳代	362	128	47	130	69	36	147	30	51	6	14	18
		35.4%	13.0%	35.9%	19.1%	9.9%	40.6%	8.3%	14.1%	1.7%	3.9%	5.0%
30歳代	114	0	20	8	11	28	73	21	20	6	10	6
		0.0%	17.5%	7.0%	9.6%	24.6%	64.0%	18.4%	17.5%	5.3%	8.8%	5.3%
40歳代	83	0	20	6	2	21	59	16	8	1	0	8
		0.0%	24.1%	7.2%	2.4%	25.3%	71.1%	19.3%	9.6%	1.2%	0.0%	9.6%
50歳代	23	0	8	2	1	3	14	3	1	1	0	5
		0.0%	34.8%	8.7%	4.3%	13.0%	60.9%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%	21.7%
60歳代	5	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	2
		0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
70歳代以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域別												
鹿児島地区	421	150	72	135	69	62	172	44	56	16	11	20
		35.8%	17.1%	32.1%	16.4%	14.7%	40.9%	10.5%	13.3%	3.8%	2.6%	4.8%
南薩地区	46	9	5	10	9	10	20	6	4	3	1	5
		19.6%	10.9%	21.7%	19.6%	21.7%	43.5%	13.0%	8.7%	6.5%	2.2%	10.9%
北薩地区	76	18	13	15	4	7	39	10	12	1	6	8
		23.7%	17.1%	19.7%	5.3%	9.2%	51.3%	13.2%	15.8%	1.3%	7.9%	10.5%
始良・伊佐地区	88	21	13	21	13	13	42	12	8	0	3	5
		23.9%	14.8%	23.9%	14.8%	14.8%	47.7%	13.6%	9.1%	0.0%	3.4%	5.7%
大隅地区	88	36	6	26	14	6	37	10	8	3	1	3
		40.9%	6.8%	29.5%	15.9%	6.8%	42.0%	11.4%	9.1%	3.4%	1.1%	3.4%
熊毛地区	7	0	3	1	1	1	3	1	0	0	0	2
		0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
大島地区	20	1	2	3	4	2	12	0	4	0	3	1
		5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	10.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	15.0%	5.0%

問2 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）はいますか。（〇はひとつ）

特定のパートナーがいるかについては、「いる」が26.3%、「いない」が72.8%となっている。
年齢別でみると、「いない」は年代が上がるほど増加傾向にある。

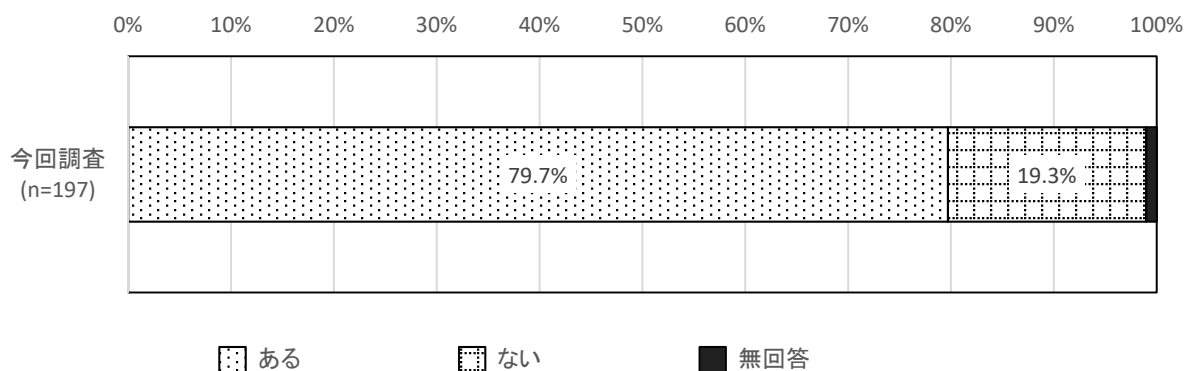


		サンプル数	いる	いない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		749	197	545	7
		100.0%	26.3%	72.8%	0.9%
性別	男性	348	85	258	5
		100.0%	24.4%	74.1%	1.4%
女性	女性	395	111	282	2
		100.0%	28.1%	71.4%	0.5%
年齢	10歳代	149	42	103	4
		100.0%	28.2%	69.1%	2.7%
	20歳代	362	113	249	0
		100.0%	31.2%	68.8%	0.0%
	30歳代	114	23	90	1
		100.0%	20.2%	78.9%	0.9%
	40歳代	83	14	68	1
		100.0%	16.9%	81.9%	1.2%
50歳代	23	2	20	1	
	100.0%	8.7%	87.0%	4.3%	
60歳代	5	1	4	0	
	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%	
70歳代以上	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
地域別	鹿児島地区	421	108	309	4
		100.0%	25.7%	73.4%	1.0%
	南薩地区	46	8	37	1
		100.0%	17.4%	80.4%	2.2%
	北薩地区	76	20	56	0
		100.0%	26.3%	73.7%	0.0%
	始良・伊佐地区	88	21	67	0
		100.0%	23.9%	76.1%	0.0%
大隅地区	88	31	56	1	
	100.0%	35.2%	63.6%	1.1%	
熊毛地区	7	1	6	0	
	100.0%	14.3%	85.7%	0.0%	
大島地区	20	8	11	1	
	100.0%	40.0%	55.0%	5.0%	

【問2でパートナーが「いる」を選択した方のみ】

問3 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）と結婚する意志がありますか。
（〇はひとつ）

結婚の意思については、「ある」が79.7%、「ない」が19.3%となっている。
年齢別でみると、「ない」は年代が上がるほど増加傾向にある。

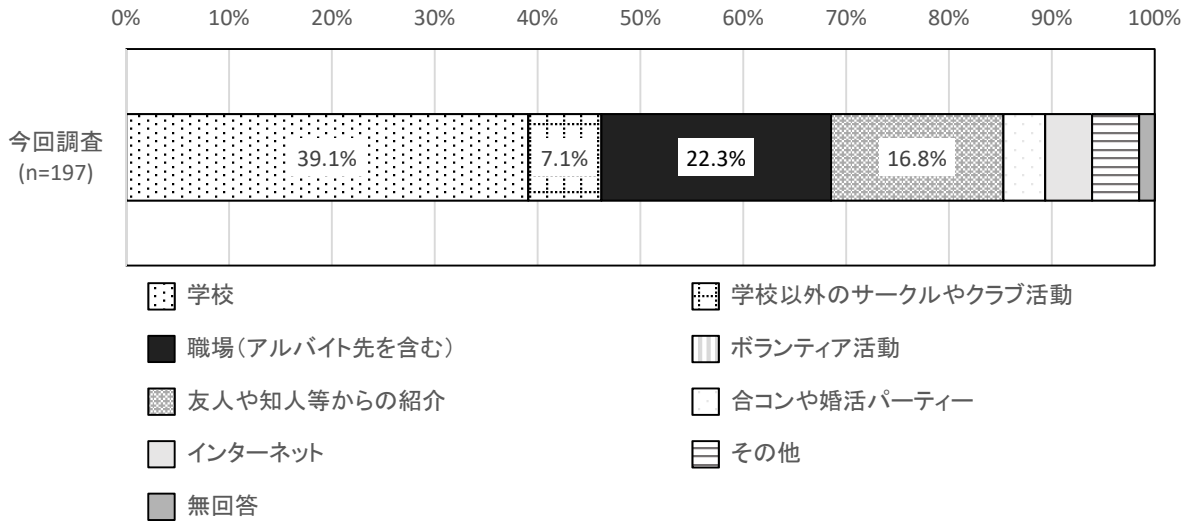


		サンプル数	ある	ない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		197	157	38	2
		100.0%	79.7%	19.3%	1.0%
性別	男性	85	65	20	0
		100.0%	76.5%	23.5%	0.0%
女性	111	92	17	2	
	100.0%	82.9%	15.3%	1.8%	
年齢	10歳代	42	36	6	0
		100.0%	85.7%	14.3%	0.0%
	20歳代	113	91	20	2
		100.0%	80.5%	17.7%	1.8%
	30歳代	23	17	6	0
		100.0%	73.9%	26.1%	0.0%
	40歳代	14	10	4	0
		100.0%	71.4%	28.6%	0.0%
50歳代	2	1	1	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
60歳代	1	1	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	
	-	-	-	-	
地域別	鹿児島地区	108	84	23	1
		100.0%	77.8%	21.3%	0.9%
	南薩地区	8	7	1	0
		100.0%	87.5%	12.5%	0.0%
	北薩地区	20	16	4	0
		100.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	始良・伊佐地区	21	18	3	0
		100.0%	85.7%	14.3%	0.0%
大隅地区	31	24	6	1	
	100.0%	77.4%	19.4%	3.2%	
熊毛地区	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
大島地区	8	8	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

【問2でパートナーが「いる」を選択した方のみ】

問4 現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）と出会ったきっかけは何ですか。（〇はひとつ）

出会ったきっかけについては、「学校」が39.1%で最も多く、次いで「職場（アルバイト先を含む）」が22.3%、「友人や知人等からの紹介」が16.8%となっている。



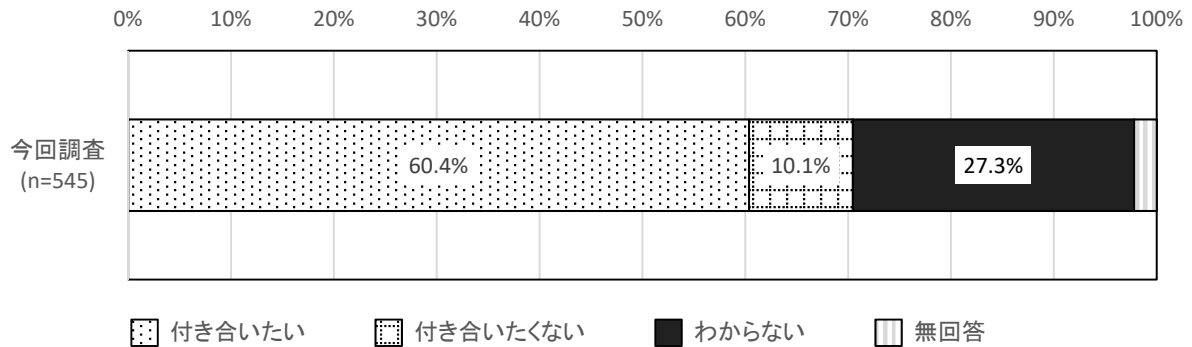
		サンプル数	学校	学校以外のサークルやクラブ活動	職場（アルバイト先を含む）	ボランティア活動	友人や知人等からの紹介	合コンや婚活パーティー	インターネット	その他	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)											
今回調査		197	77	14	44	0	33	8	9	9	3
		100.0%	39.1%	7.1%	22.3%	0.0%	16.8%	4.1%	4.6%	4.6%	1.5%
性別	男性	85	35	8	15	0	15	2	6	2	2
		100.0%	41.2%	9.4%	17.6%	0.0%	17.6%	2.4%	7.1%	2.4%	2.4%
女性	111	41	6	29	0	18	6	3	7	1	
		100.0%	36.9%	5.4%	26.1%	0.0%	16.2%	5.4%	2.7%	6.3%	0.9%
年齢	10歳代	42	33	4	1	0	2	0	0	1	1
		100.0%	78.6%	9.5%	2.4%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%
	20歳代	113	40	9	26	0	21	4	7	5	1
		100.0%	35.4%	8.0%	23.0%	0.0%	18.6%	3.5%	6.2%	4.4%	0.9%
	30歳代	23	3	1	7	0	7	3	1	1	0
		100.0%	13.0%	4.3%	30.4%	0.0%	30.4%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%
	40歳代	14	0	0	8	0	3	0	1	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%
50歳代	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域別	鹿児島地区	108	48	10	24	0	12	5	2	4	3
		100.0%	44.4%	9.3%	22.2%	0.0%	11.1%	4.6%	1.9%	3.7%	2.8%
	南薩地区	8	1	1	2	0	2	2	0	0	0
		100.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	北薩地区	20	9	0	5	0	4	0	2	0	0
		100.0%	45.0%	0.0%	25.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	姶良・伊佐地区	21	6	1	3	0	8	0	0	3	0
		100.0%	28.6%	4.8%	14.3%	0.0%	38.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
大隅地区	31	10	2	8	0	4	1	5	1	0	
	100.0%	32.3%	6.5%	25.8%	0.0%	12.9%	3.2%	16.1%	3.2%	0.0%	
熊本地区	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
大島地区	8	3	0	1	0	3	0	0	1	0	
	100.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	

【問2でパートナーが「いない」を選択した方のみ】

問5 あなたは、特定のパートナーとお付き合いしたいと思いますか。(〇はひとつ)

お付き合いしたいかについては、「付き合いたい」が60.4%、「付き合いたくない」が10.1%、「わからない」が27.3%となっている。

年齢別でみると、10歳代～40歳代で「付き合いたい」と回答した割合は5割を超えている。



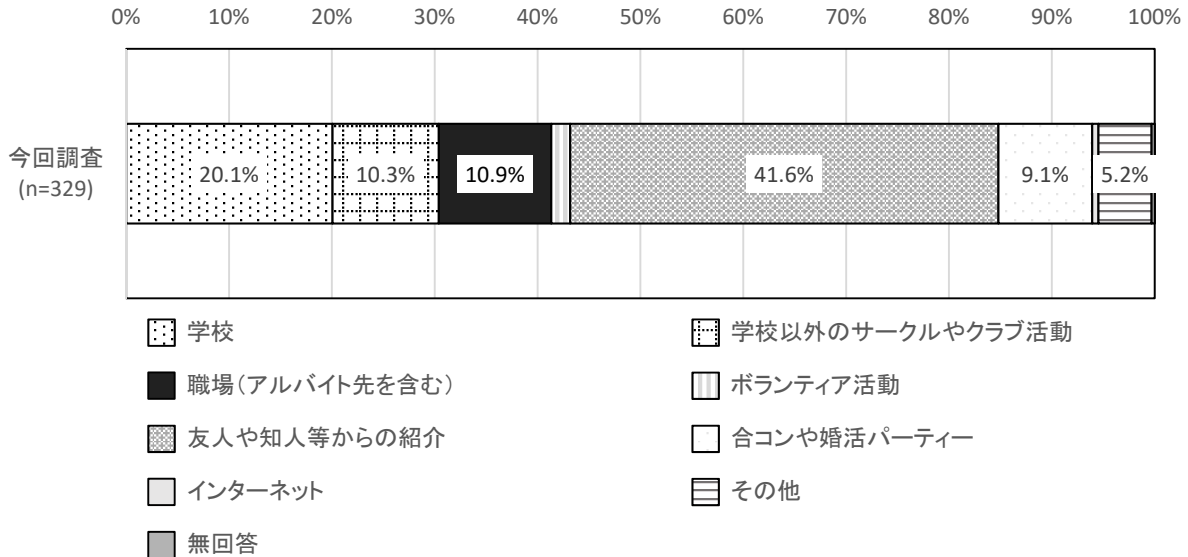
		サンプル数	付き合いたい	付き合いたくない	わからない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)						
今回調査		545	329	55	149	12
		100.0%	60.4%	10.1%	27.3%	2.2%
性別	男性	258	159	25	68	6
		100.0%	61.6%	9.7%	26.4%	2.3%
女性	282	170	26	80	6	
		100.0%	60.3%	9.2%	28.4%	2.1%
年齢	10歳代	103	53	11	36	3
		100.0%	51.5%	10.7%	35.0%	2.9%
	20歳代	249	165	19	60	5
		100.0%	66.3%	7.6%	24.1%	2.0%
	30歳代	90	62	6	21	1
		100.0%	68.9%	6.7%	23.3%	1.1%
	40歳代	68	41	11	15	1
		100.0%	60.3%	16.2%	22.1%	1.5%
50歳代	20	6	4	9	1	
	100.0%	30.0%	20.0%	45.0%	5.0%	
60歳代	4	0	1	3	0	
	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	
70歳代以上	1	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
地域別	鹿児島地区	309	179	38	84	8
		100.0%	57.9%	12.3%	27.2%	2.6%
	南薩地区	37	19	1	15	2
		100.0%	51.4%	2.7%	40.5%	5.4%
	北薩地区	56	36	8	12	0
		100.0%	64.3%	14.3%	21.4%	0.0%
	姶良・伊佐地区	67	40	6	20	1
		100.0%	59.7%	9.0%	29.9%	1.5%
大隅地区	56	42	1	12	1	
	100.0%	75.0%	1.8%	21.4%	1.8%	
熊毛地区	6	1	1	4	0	
	100.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	
大島地区	11	10	0	1	0	
	100.0%	90.9%	0.0%	9.1%	0.0%	

【問5で「付き合いたい」を選択した方のみ】

問6 あなたは、どのような出会い方（出会いの場）を望んでいますか。（〇はひとつ）

どのような出会いを望んでいるかについては、「友人や知人等からの紹介」が41.6%で最も多く、次いで「学校」が20.1%、「職場（アルバイト先を含む）」が10.9%となっている。

年齢別にみると、10歳代で「学校」「学校以外のサークルやクラブ活動」、20歳代で「友人や知人等からの紹介」「学校」「職場（アルバイト先を含む）」、30歳代で「友人や知人等からの紹介」と回答した割合が高い傾向にある。



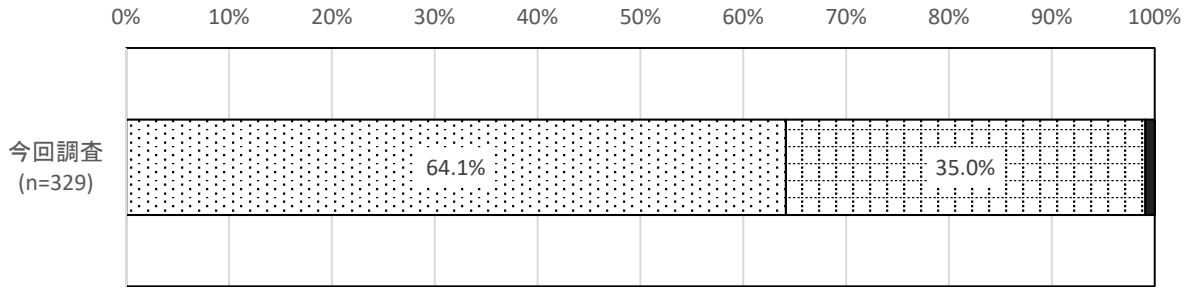
	サンプル数	学校	学校以外のサークルやクラブ活動	職場（アルバイト先を含む）	ボランティア活動	友人や知人等からの紹介	合コンや婚活パーティー	インターネット	その他	無回答
		度数	構成比(%)	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)	度数	構成比(%)	度数
今回調査	329	66	34	36	6	137	30	2	17	1
性別										
男性	159	44	18	14	5	50	14	1	13	0
女性	170	22	16	22	1	87	16	1	4	1
年齢										
10歳代	53	31	10	0	2	9	1	0	0	0
20歳代	165	34	14	26	3	67	10	1	9	1
30歳代	62	1	3	6	0	41	7	1	3	0
40歳代	41	0	6	2	1	18	11	0	3	0
50歳代	6	0	1	1	0	2	1	0	1	0
60歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別										
鹿児島地区	179	44	19	23	2	74	10	1	5	1
南薩地区	19	2	0	2	1	8	6	0	0	0
北薩地区	36	1	4	4	0	19	5	0	3	0
始良・伊佐地区	40	8	3	3	1	17	5	0	3	0
大隅地区	42	11	6	4	2	13	4	1	1	0
熊毛地区	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
大島地区	10	0	2	0	0	5	0	0	3	0

【問5で「付き合いたい」を選択した方のみ】

問7 あなたは、出会いの場の提供があれば、利用してみたいですか。(〇はひとつ)

出会いの場の提供の利用については、「利用してみたいと思う」が64.1%、「利用してみたいと思わない」が35.0%となっている。

年齢別にみると、20歳代～50歳代で「利用してみたいと思う」と回答した割合は6割を超えている。



利用してみたいと思う
 利用してみたいと思わない
 無回答

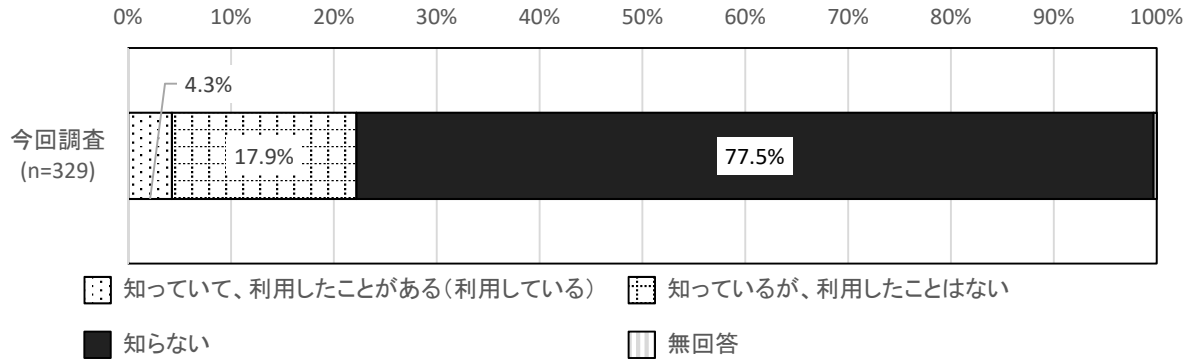
上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない	無回答
今回調査		329	211	115	3
		100.0%	64.1%	35.0%	0.9%
性別	男性	159	108	51	0
		100.0%	67.9%	32.1%	0.0%
女性	170	103	64	3	
		100.0%	60.6%	37.6%	1.8%
年齢	10歳代	53	24	29	0
		100.0%	45.3%	54.7%	0.0%
	20歳代	165	100	63	2
		100.0%	60.6%	38.2%	1.2%
	30歳代	62	49	12	1
		100.0%	79.0%	19.4%	1.6%
	40歳代	41	32	9	0
		100.0%	78.0%	22.0%	0.0%
50歳代	6	4	2	0	
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	60歳代	0	0	0	0
		-	-	-	-
70歳代以上	0	0	0	0	
	-	-	-	-	
地域別	鹿児島地区	179	109	69	1
		100.0%	60.9%	38.5%	0.6%
	南薩地区	19	12	7	0
		100.0%	63.2%	36.8%	0.0%
	北薩地区	36	26	10	0
		100.0%	72.2%	27.8%	0.0%
	姶良・伊佐地区	40	26	14	0
		100.0%	65.0%	35.0%	0.0%
	大隅地区	42	26	14	2
	100.0%	61.9%	33.3%	4.8%	
熊毛地区	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
大島地区	10	10	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

【問5で「付き合いたい」を選択した方のみ】

問8 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を知っていますか。(〇はひとつ)

かごしま出会いサポートセンターを知っているかについては、「知っていて、利用したことがある(利用している)」が4.3%、「知っているが、利用したことはない」が17.9%、「知らない」が77.5%となっている。

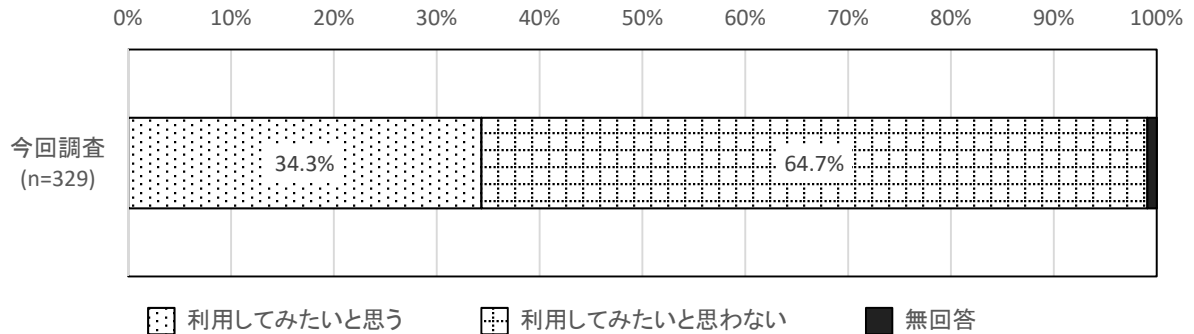
年齢別でみると、年代が低いほど、「知らない」と回答した割合が高い傾向にある。



		サンプル数	知っているが、利用したことはない	知っていて、利用したことがある(利用している)	知らない	無回答	
		上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)
今回調査		329	14	59	255	1	
		100.0%	4.3%	17.9%	77.5%	0.3%	
性別	男性	159	7	20	132	0	
		100.0%	4.4%	12.6%	83.0%	0.0%	
女性	170	7	39	123	1		
	100.0%	4.1%	22.9%	72.4%	0.6%		
年齢	10歳代	53	0	1	52	0	
		100.0%	0.0%	1.9%	98.1%	0.0%	
	20歳代	165	1	18	145	1	
		100.0%	0.6%	10.9%	87.9%	0.6%	
	30歳代	62	6	20	36	0	
		100.0%	9.7%	32.3%	58.1%	0.0%	
	40歳代	41	5	17	19	0	
		100.0%	12.2%	41.5%	46.3%	0.0%	
50歳代	6	2	1	3	0		
	100.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%		
60歳代	0	0	0	0	0		
70歳代以上	0	0	0	0	0		
地域別	鹿児島地区	179	8	30	140	1	
		100.0%	4.5%	16.8%	78.2%	0.6%	
	南薩地区	19	0	5	14	0	
		100.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%	
	北薩地区	36	2	8	26	0	
		100.0%	5.6%	22.2%	72.2%	0.0%	
	始良・伊佐地区	40	1	7	32	0	
		100.0%	2.5%	17.5%	80.0%	0.0%	
	大隅地区	42	2	7	33	0	
	100.0%	4.8%	16.7%	78.6%	0.0%		
熊毛地区	1	0	0	1	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
大島地区	10	1	1	8	0		
	100.0%	10.0%	10.0%	80.0%	0.0%		

問9 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を利用してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

かごしま出会いサポートセンターを利用したいかについては、「利用してみたいと思う」が34.3%、「利用してみたいと思わない」が64.7%となっている。



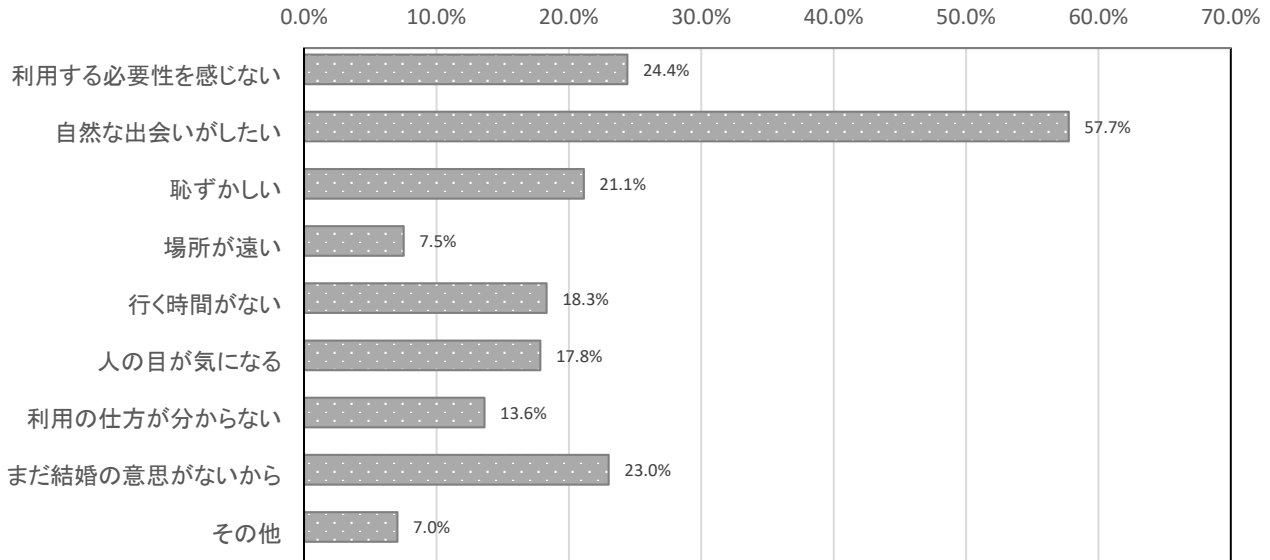
		サンプル数	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		329	113	213	3
		100.0%	34.3%	64.7%	0.9%
性別	男性	159	56	101	2
		100.0%	35.2%	63.5%	1.3%
	女性	170	57	112	1
		100.0%	33.5%	65.9%	0.6%
年齢	10歳代	53	10	43	0
		100.0%	18.9%	81.1%	0.0%
	20歳代	165	46	117	2
		100.0%	27.9%	70.9%	1.2%
	30歳代	62	30	32	0
		100.0%	48.4%	51.6%	0.0%
	40歳代	41	23	18	0
		100.0%	56.1%	43.9%	0.0%
50歳代	6	3	2	1	
	100.0%	50.0%	33.3%	16.7%	
60歳代	0	0	0	0	
	-	-	-	-	
70歳代以上	0	0	0	0	
	-	-	-	-	
地域別	鹿児島地区	179	59	119	1
		100.0%	33.0%	66.5%	0.6%
	南薩地区	19	4	14	1
		100.0%	21.1%	73.7%	5.3%
	北薩地区	36	14	22	0
		100.0%	38.9%	61.1%	0.0%
	始良・伊佐地区	40	15	24	1
		100.0%	37.5%	60.0%	2.5%
大隅地区	42	15	27	0	
	100.0%	35.7%	64.3%	0.0%	
熊毛地区	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
大島地区	10	5	5	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

【問9で「利用したくない」を選択した方のみ】

問10 利用したくない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

利用したくない理由については、「自然な出会いがしたい」が57.7%で最も多く、次いで「利用する必要性を感じない」が24.4%、「まだ結婚の意思がないから」が23.0%となっている。

性別でみると、「利用の仕方が分からない」と回答した男性の割合は、女性を8.0ポイント上回っている。



■ 今回調査
(n=213)

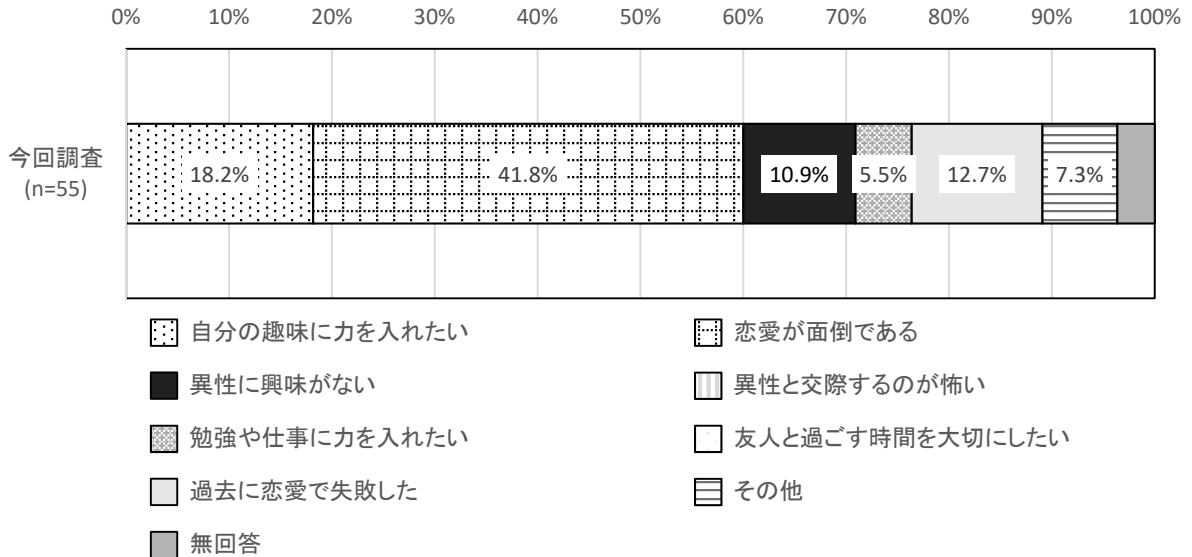
		サンプル数	利用する必要性を感じない	自然な出会いがしたい	恥ずかしい	場所が遠い	行く時間がない	人の目が気になる	利用の仕方が分からない	まだ結婚の意思がないか	その他
上段: 度数 下段: 構成比(%)											
今回調査		213	52 24.4%	123 57.7%	45 21.1%	16 7.5%	39 18.3%	38 17.8%	29 13.6%	49 23.0%	15 7.0%
性別	男性	101	27 26.7%	53 52.5%	20 19.8%	10 9.9%	20 19.8%	14 13.9%	18 17.8%	23 22.8%	9 8.9%
	女性	112	25 22.3%	70 62.5%	25 22.3%	6 5.4%	19 17.0%	24 21.4%	11 9.8%	26 23.2%	6 5.4%
年齢	10歳代	43	14 32.6%	29 67.4%	7 16.3%	0 0.0%	8 18.6%	5 11.6%	3 7.0%	11 25.6%	1 2.3%
	20歳代	117	31 26.5%	66 56.4%	29 24.8%	7 6.0%	20 17.1%	22 18.8%	14 12.0%	33 28.2%	4 3.4%
	30歳代	32	4 12.5%	21 65.6%	6 18.8%	4 12.5%	8 25.0%	7 21.9%	8 25.0%	5 15.6%	5 15.6%
	40歳代	18	2 11.1%	5 27.8%	3 16.7%	4 22.2%	3 16.7%	4 22.2%	4 22.2%	0 0.0%	4 22.2%
	50歳代	2	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域別										
鹿児島地区		119	32 26.9%	73 61.3%	26 21.8%	2 1.7%	18 15.1%	25 21.0%	16 13.4%	29 24.4%	5 4.2%
南薩地区		14	2 14.3%	8 57.1%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%
北薩地区		22	2 9.1%	11 50.0%	6 27.3%	4 18.2%	7 31.8%	4 18.2%	4 18.2%	0 0.0%	2 9.1%
姶良・伊佐地区		24	5 20.8%	12 50.0%	5 20.8%	0 0.0%	4 16.7%	4 16.7%	3 12.5%	6 25.0%	4 16.7%
大隅地区		27	10 37.0%	15 55.6%	7 25.9%	4 14.8%	6 22.2%	4 14.8%	4 14.8%	8 29.6%	1 3.7%
熊毛地区		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
大島地区		5	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%

【問5で「付き合いたくない」を選択した方のみ】

問11 特定のパートナーと付き合いたくない理由はどのようなことですか。(〇はひとつ)

特定のパートナーとつきあいたくない理由については、「恋愛が面倒である」が41.8%で最も多く、次いで「自分の趣味に力を入れたい」が18.2%、「過去に恋愛で失敗した」が12.7%となっている。

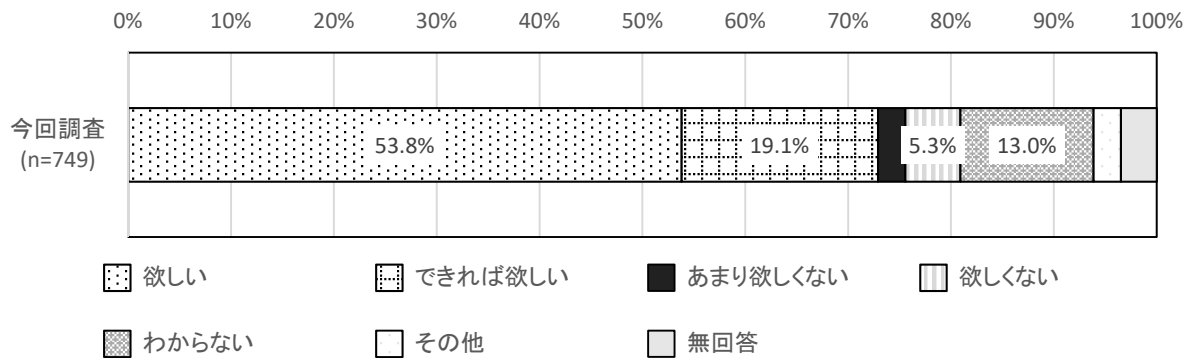
性別でみると、男性(28.0%)・女性(57.7%)ともに「恋愛が面倒である」が最も多くなっている。



	サンプル数	自分の趣味に力を入れた	恋愛が面倒である	異性に興味がない	異性と交際するのが怖い	勉強や仕事に力を入れた	友人と過ごす時間を大切にしたい	過去に恋愛で失敗した	その他	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)										
今回調査	55	10	23	6	0	3	0	7	4	2
	100.0%	18.2%	41.8%	10.9%	0.0%	5.5%	0.0%	12.7%	7.3%	3.6%
性別										
男性	25	6	7	3	0	1	0	5	2	1
	100.0%	24.0%	28.0%	12.0%	0.0%	4.0%	0.0%	20.0%	8.0%	4.0%
女性	26	4	15	2	0	2	0	2	1	0
	100.0%	15.4%	57.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	3.8%	0.0%
年齢										
10歳代	11	2	5	0	0	1	0	2	0	1
	100.0%	18.2%	45.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%
20歳代	19	6	7	1	0	1	0	1	2	1
	100.0%	31.6%	36.8%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%
30歳代	6	0	5	0	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
40歳代	11	1	4	2	0	0	0	2	2	0
	100.0%	9.1%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%
50歳代	4	0	1	1	0	1	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
60歳代	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別										
鹿児島地区	38	8	16	3	0	2	0	5	2	2
	100.0%	21.1%	42.1%	7.9%	0.0%	5.3%	0.0%	13.2%	5.3%	5.3%
南薩地区	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
北薩地区	8	1	2	2	0	1	0	0	2	0
	100.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
始良・伊佐地区	6	0	4	1	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
大隅地区	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
熊毛地区	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大島地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問12 将来子どもが欲しいと思いますか。(〇はひとつ)

将来子どもが欲しいかについては、「欲しい」が53.8%で最も多く、次いで「できれば欲しい」が19.1%、「わからない」が13.0%となっている。

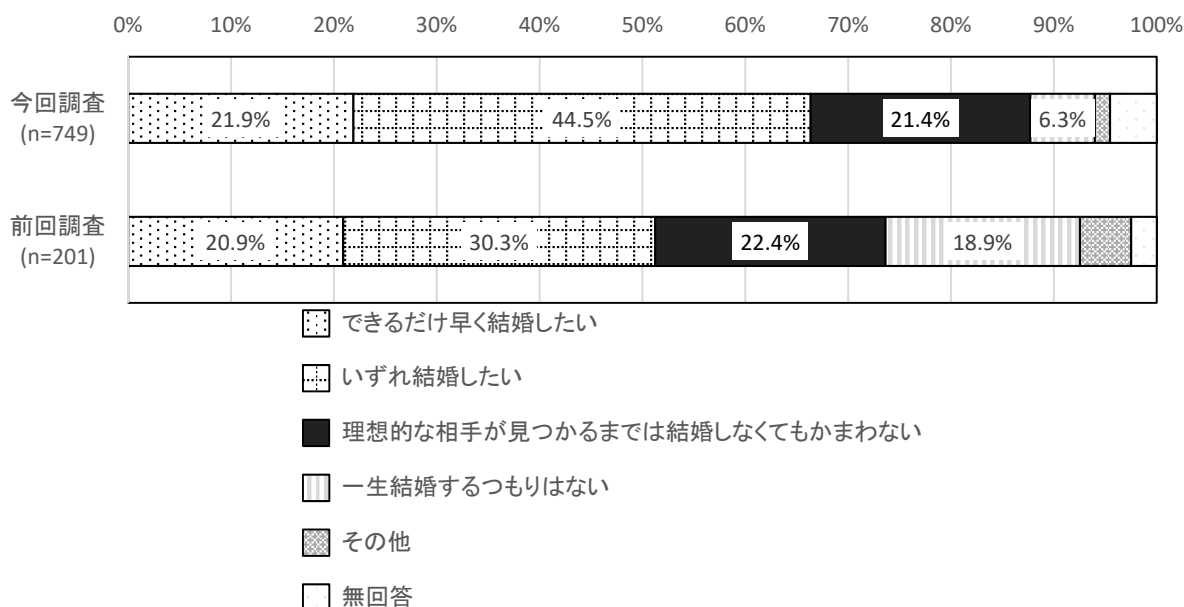


		サンプル数	欲しい	できれば欲しい	あまり欲しくない	欲しくない	わからない	その他	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)									
今回調査		749	403	143	20	40	97	20	26
		100.0%	53.8%	19.1%	2.7%	5.3%	13.0%	2.7%	3.5%
性別	男性	348	184	73	4	13	52	5	17
		100.0%	52.9%	21.0%	1.1%	3.7%	14.9%	1.4%	4.9%
女性	395	219	69	16	25	44	14	8	
	100.0%	55.4%	17.5%	4.1%	6.3%	11.1%	3.5%	2.0%	
年齢	10歳代	149	94	21	6	5	15	1	7
		100.0%	63.1%	14.1%	4.0%	3.4%	10.1%	0.7%	4.7%
	20歳代	362	226	67	10	12	35	1	11
		100.0%	62.4%	18.5%	2.8%	3.3%	9.7%	0.3%	3.0%
	30歳代	114	55	25	2	5	23	2	2
		100.0%	48.2%	21.9%	1.8%	4.4%	20.2%	1.8%	1.8%
	40歳代	83	18	23	0	11	18	8	5
		100.0%	21.7%	27.7%	0.0%	13.3%	21.7%	9.6%	6.0%
50歳代	23	3	4	2	4	4	5	1	
	100.0%	13.0%	17.4%	8.7%	17.4%	17.4%	21.7%	4.3%	
60歳代	5	0	0	0	2	1	2	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	
70歳代以上	1	1	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域別	鹿児島地区	421	231	70	13	22	60	13	12
		100.0%	54.9%	16.6%	3.1%	5.2%	14.3%	3.1%	2.9%
	南薩地区	46	22	8	2	1	8	2	3
		100.0%	47.8%	17.4%	4.3%	2.2%	17.4%	4.3%	6.5%
	北薩地区	76	44	13	0	7	8	1	3
		100.0%	57.9%	17.1%	0.0%	9.2%	10.5%	1.3%	3.9%
	始良・伊佐地区	88	43	22	4	7	8	2	2
		100.0%	48.9%	25.0%	4.5%	8.0%	9.1%	2.3%	2.3%
大隅地区	88	48	24	1	2	8	1	4	
	100.0%	54.5%	27.3%	1.1%	2.3%	9.1%	1.1%	4.5%	
熊毛地区	7	2	0	0	1	3	1	0	
	100.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	
大島地区	20	12	5	0	0	1	0	2	
	100.0%	60.0%	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	

問 1 3 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えについて最も近いものはどれですか。(〇はひとつ)

結婚に対して最も近い考えについては、「いずれ結婚したい」が 44.5%で最も多く、次いで「できるだけ早く結婚したい」が 21.9%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 21.4% 「一生結婚するつもりはない」が 6.3%となっている。

前回調査と比較すると、「できるだけ早く結婚したい」と「いずれ結婚したい」を合計した割合が 15.2 ポイント増加し、「一生結婚するつもりはない」の割合が 12.6 ポイント減少している。



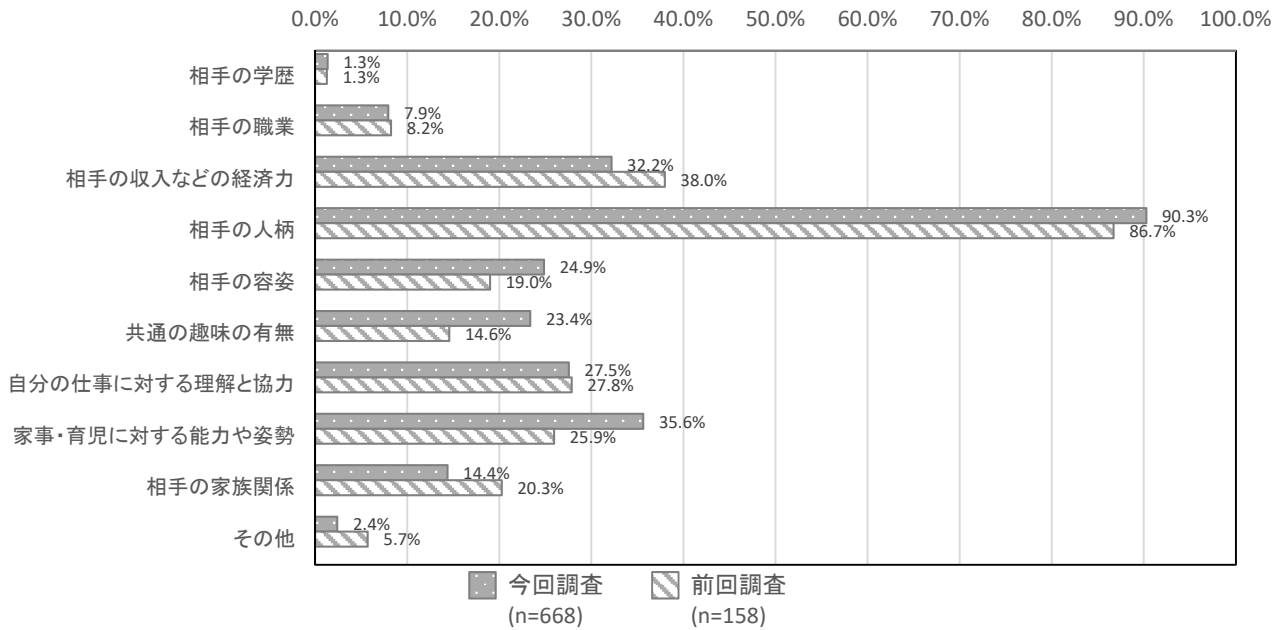
		サンプル数	できるだけ早く結婚したい	いずれ結婚したい	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	一生結婚するつもりはない	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		749	164	333	160	47	11	34
		100.0%	21.9%	44.5%	21.4%	6.3%	1.5%	4.5%
前回調査		201	42	61	45	38	10	5
		100.0%	20.9%	30.3%	22.4%	18.9%	5.0%	2.5%
性別	男性	348	69	168	64	21	5	21
		100.0%	19.8%	48.3%	18.4%	6.0%	1.4%	6.0%
女性	395	95	164	95	24	6	11	
		100.0%	24.1%	41.5%	24.1%	6.1%	1.5%	2.8%
年齢	10歳代	149	28	74	32	6	0	9
		100.0%	18.8%	49.7%	21.5%	4.0%	0.0%	6.0%
	20歳代	362	68	198	67	12	3	14
		100.0%	18.8%	54.7%	18.5%	3.3%	0.8%	3.9%
	30歳代	114	36	34	28	10	4	2
		100.0%	31.6%	29.8%	24.6%	8.8%	3.5%	1.8%
	40歳代	83	27	20	18	12	1	5
		100.0%	32.5%	24.1%	21.7%	14.5%	1.2%	6.0%
50歳代	23	4	5	8	4	1	1	
	100.0%	17.4%	21.7%	34.8%	17.4%	4.3%	4.3%	
60歳代	5	0	0	3	1	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
70歳代以上	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
地域別	鹿児島地区	421	100	177	96	27	5	16
		100.0%	23.8%	42.0%	22.8%	6.4%	1.2%	3.8%
	南薩地区	46	6	20	9	4	3	4
		100.0%	13.0%	43.5%	19.6%	8.7%	6.5%	8.7%
	北薩地区	76	22	31	13	4	1	5
		100.0%	28.9%	40.8%	17.1%	5.3%	1.3%	6.6%
	始良・伊佐地区	88	18	38	23	7	1	1
		100.0%	20.5%	43.2%	26.1%	8.0%	1.1%	1.1%
	大隅地区	88	12	58	11	2	0	5
	100.0%	13.6%	65.9%	12.5%	2.3%	0.0%	5.7%	
熊毛地区	7	0	3	1	3	0	0	
	100.0%	0.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	
大島地区	20	6	6	6	0	0	2	
	100.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	

【問14～19は問13で「結婚するつもりはない」以外を選択した方のみ】

問14 あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。(〇は3つまで)

結婚相手を決めるとき何を重視するかについては、「相手の人柄」が90.3%で最も多く、次いで「家事・育児に対する能力や姿勢」が35.6%、「相手の収入などの経済力」が32.2%となっている。

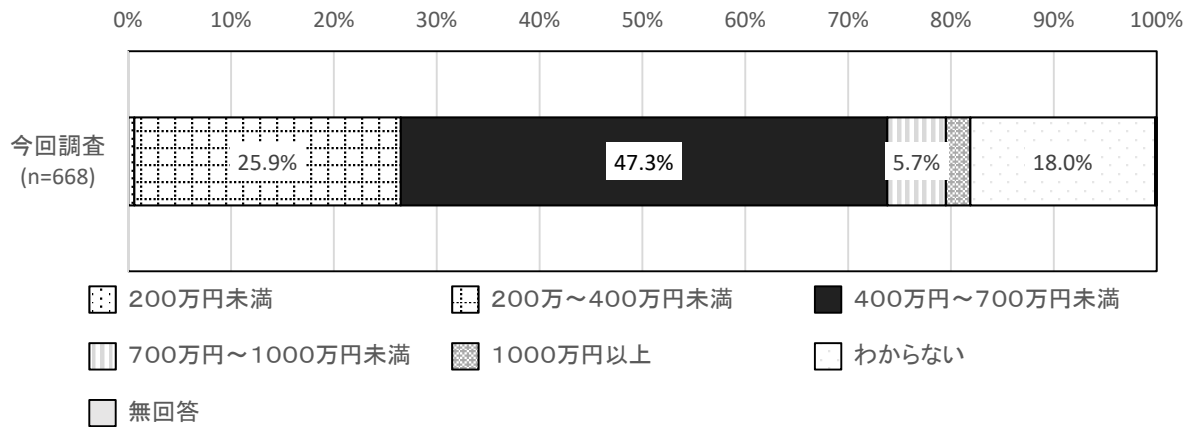
性別でみると、男性は「相手の容姿」が36.3%、女性は「相手の収入などの経済力」が53.3%と多くなっている



		サンプル数	相手の学歴	相手の職業	相手の収入などの経済力	相手の人柄	相手の容姿	共通の趣味の有無	と自分の仕事に対する理解	や家事・育児に対する能力	相手の家族関係	その他
上段:度数 下段:構成比(%)												
今回調査		668	9	53	215	603	166	156	184	238	96	16
前回調査		158	2	13	60	137	30	23	44	41	32	9
性別	男性	306	4	13	23	272	111	83	104	108	36	6
	女性	360	5	40	192	329	55	72	80	130	60	10
年齢	10歳代	134	1	11	39	111	46	36	34	52	9	2
	20歳代	336	5	27	110	309	88	72	102	124	45	4
	30歳代	102	1	13	39	90	17	23	21	33	16	5
	40歳代	66	1	1	18	64	11	18	19	17	18	4
	50歳代	18	0	0	6	17	2	4	6	9	3	0
	60歳代	4	0	0	2	4	0	1	0	1	3	0
	70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別	鹿児島地区	378	6	34	126	344	108	86	105	129	51	10
	南薩地区	38	0	5	13	34	6	10	7	14	7	1
	北薩地区	67	2	7	18	55	16	19	13	22	13	3
	始良・伊佐地区	80	1	3	22	74	13	24	27	30	12	1
	大隅地区	81	0	4	30	73	19	15	26	30	7	1
	熊毛地区	4	0	0	2	4	1	1	2	0	1	0
	大島地区	18	0	0	2	17	3	1	4	11	5	0
				0.0%	0.0%	11.1%	94.4%	16.7%	5.6%	22.2%	61.1%	27.8%

問15 結婚生活をスタートさせるに当たって必要だと思う世帯年収はどれくらいだとお考えですか。
(〇はひとつ)

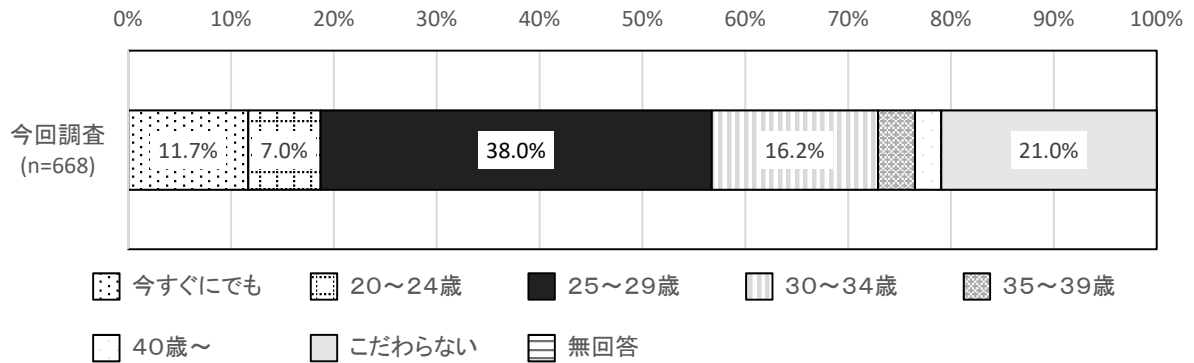
結婚生活をスタートさせるのに必要だと思う世帯年収については、「400万円～700万円未満」が47.3%で最も多く、「200万円～400万円未満」が25.9%、「わからない」が18.0%となっている。



	サンプル数	200万円未満						200万円～400万円未満						400万円～700万円未満						700万円～1000万円未満						1000万円以上						わからない						無回答					
		上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)	上段:度数	下段:構成比(%)																
今回調査	668	100.0%	0.6%	173	25.9%	316	47.3%	38	5.7%	16	2.4%	120	18.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
性別	男性	306	100.0%	2	0.7%	83	27.1%	142	46.4%	15	4.9%	10	3.3%	54	17.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	女性	360	100.0%	2	0.6%	90	25.0%	173	48.1%	23	6.4%	6	1.7%	65	18.1%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
年齢	10歳代	134	100.0%	2	1.5%	29	21.6%	52	38.8%	11	8.2%	4	3.0%	36	26.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	20歳代	336	100.0%	1	0.3%	93	27.7%	151	44.9%	18	5.4%	9	2.7%	64	19.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	30歳代	102	100.0%	0	0.0%	31	30.4%	55	53.9%	6	5.9%	1	1.0%	8	7.8%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	40歳代	66	100.0%	1	1.5%	11	16.7%	44	66.7%	2	3.0%	2	3.0%	6	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	50歳代	18	100.0%	0	0.0%	6	33.3%	10	55.6%	1	5.6%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	60歳代	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	70歳代以上	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
地域別	鹿児島地区	378	100.0%	1	0.3%	95	25.1%	178	47.1%	30	7.9%	9	2.4%	64	16.9%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	南薩地区	38	100.0%	0	0.0%	12	31.6%	16	42.1%	0	0.0%	1	2.6%	9	23.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	北薩地区	67	100.0%	1	1.5%	16	23.9%	33	49.3%	1	1.5%	2	3.0%	14	20.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	始良・伊佐地区	80	100.0%	1	1.3%	24	30.0%	40	50.0%	1	1.3%	2	2.5%	12	15.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	大隅地区	81	100.0%	1	1.2%	19	23.5%	35	43.2%	5	6.2%	2	2.5%	19	23.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	熊毛地区	4	100.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
	大島地区	18	100.0%	0	0.0%	6	33.3%	10	55.6%	1	5.6%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																

問16 あなたは、何歳までに結婚したいと思いますか。(〇はひとつ)

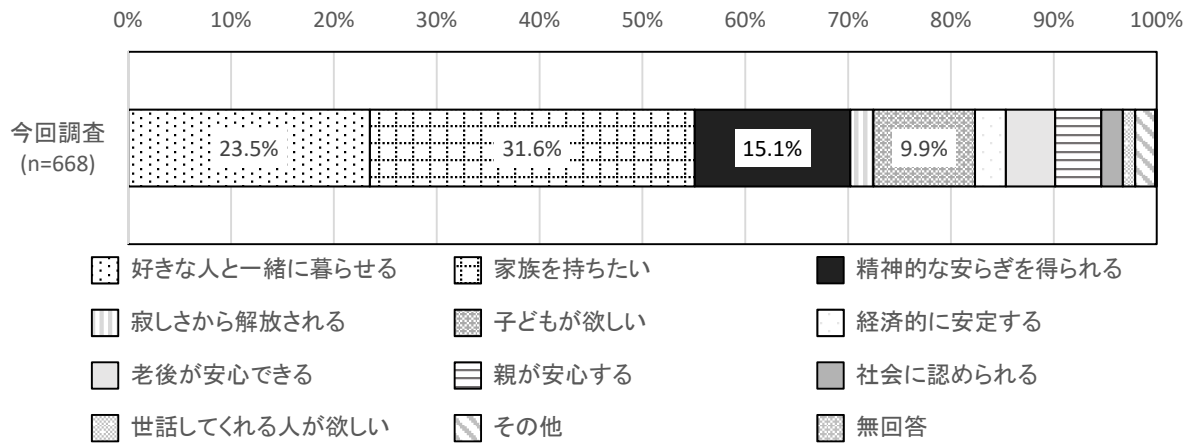
何歳までに結婚したいかについては、「25～29歳」が38.0%で最も多く、次いで「こだわらない」が21.0%、「30～34歳」が16.2%となっている。



		サンプル数	今すぐにも	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳～	こだわらない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比 (%)										
今回調査		668	78	47	254	108	24	17	140	0
		100.0%	11.7%	7.0%	38.0%	16.2%	3.6%	2.5%	21.0%	0.0%
性別	男性	306	36	24	116	51	11	7	61	0
		100.0%	11.8%	7.8%	37.9%	16.7%	3.6%	2.3%	19.9%	0.0%
女性	360	42	23	138	57	13	10	77	0	
		100.0%	11.7%	6.4%	38.3%	15.8%	3.6%	2.8%	21.4%	0.0%
年齢	10歳代	134	2	28	82	6	0	0	16	0
		100.0%	1.5%	20.9%	61.2%	4.5%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%
	20歳代	336	21	19	170	78	5	1	42	0
		100.0%	6.3%	5.7%	50.6%	23.2%	1.5%	0.3%	12.5%	0.0%
	30歳代	102	28	0	0	22	18	6	28	0
		100.0%	27.5%	0.0%	0.0%	21.6%	17.6%	5.9%	27.5%	0.0%
	40歳代	66	23	0	0	0	1	10	32	0
		100.0%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	15.2%	48.5%	0.0%
50歳代	18	3	0	0	1	0	0	14	0	
	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	
60歳代	4	0	0	0	0	0	0	4	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域別	鹿児島地区	378	42	36	154	60	15	5	66	0
		100.0%	11.1%	9.5%	40.7%	15.9%	4.0%	1.3%	17.5%	0.0%
	南薩地区	38	2	1	16	4	1	2	12	0
		100.0%	5.3%	2.6%	42.1%	10.5%	2.6%	5.3%	31.6%	0.0%
	北薩地区	67	11	4	18	9	2	5	18	0
		100.0%	16.4%	6.0%	26.9%	13.4%	3.0%	7.5%	26.9%	0.0%
	始良・伊佐地区	80	11	3	31	12	3	3	17	0
		100.0%	13.8%	3.8%	38.8%	15.0%	3.8%	3.8%	21.3%	0.0%
大隅地区	81	9	3	29	17	1	2	20	0	
	100.0%	11.1%	3.7%	35.8%	21.0%	1.2%	2.5%	24.7%	0.0%	
熊毛地区	4	0	0	0	2	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
大島地区	18	3	0	5	4	1	0	5	0	
	100.0%	16.7%	0.0%	27.8%	22.2%	5.6%	0.0%	27.8%	0.0%	

問17 将来結婚したいと思う理由は何ですか。(〇はひとつ)

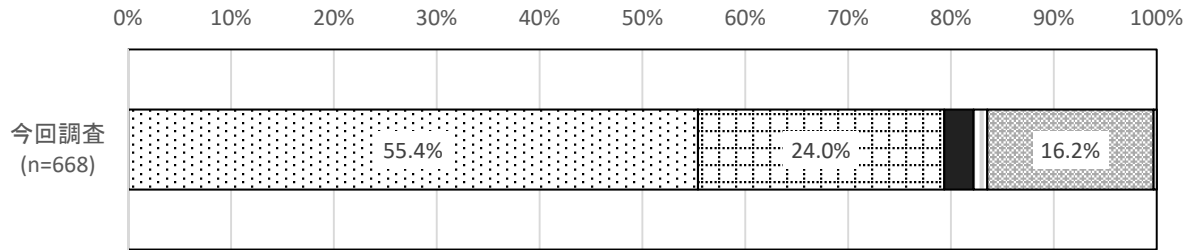
将来結婚したいと思う理由については、「家族を持ちたい」が31.6%で最も多く、次いで「好きな人と一緒に暮らせる」が23.5%、「精神的な安らぎを得られる」が15.1%となっている。



		サンプル数	好きな人と一緒に暮らせる	家族を持ちたい	精神的な安らぎを得られる	寂しさから解放される	子どもが欲しい	経済的に安定する	老後が安心できる	親が安心する	社会に認められる	世話してくれる人が欲しい	その他	無回答
今回調査		668	157	211	101	15	66	20	32	30	14	8	13	1
		100.0%	23.5%	31.6%	15.1%	2.2%	9.9%	3.0%	4.8%	4.5%	2.1%	1.2%	1.9%	0.1%
性別	男性	306	78	91	55	7	29	3	12	11	9	7	4	0
		100.0%	25.5%	29.7%	18.0%	2.3%	9.5%	1.0%	3.9%	3.6%	2.9%	2.3%	1.3%	0.0%
女性	360	78	120	46	8	37	16	20	19	5	1	9	1	
		100.0%	21.7%	33.3%	12.8%	2.2%	10.3%	4.4%	5.6%	5.3%	1.4%	0.3%	2.5%	0.3%
年齢	10歳代	134	49	29	19	2	8	7	7	5	5	1	1	1
		100.0%	36.6%	21.6%	14.2%	1.5%	6.0%	5.2%	5.2%	3.7%	3.7%	0.7%	0.7%	0.7%
	20歳代	336	83	114	48	7	39	7	9	15	6	3	5	0
		100.0%	24.7%	33.9%	14.3%	2.1%	11.6%	2.1%	2.7%	4.5%	1.8%	0.9%	1.5%	0.0%
	30歳代	102	13	40	14	2	15	4	3	7	1	1	2	0
		100.0%	12.7%	39.2%	13.7%	2.0%	14.7%	3.9%	2.9%	6.9%	1.0%	1.0%	2.0%	0.0%
	40歳代	66	8	22	11	3	2	1	10	3	2	1	3	0
	100.0%	12.1%	33.3%	16.7%	4.5%	3.0%	1.5%	15.2%	4.5%	3.0%	1.5%	4.5%	0.0%	
50歳代	18	3	3	7	1	1	1	1	0	0	0	0	1	
	100.0%	16.7%	16.7%	38.9%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	
60歳代	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別	鹿児島地区	378	79	123	58	10	39	12	24	13	8	6	5	1
		100.0%	20.9%	32.5%	15.3%	2.6%	10.3%	3.2%	6.3%	3.4%	2.1%	1.6%	1.3%	0.3%
	南薩地区	38	5	9	5	3	4	1	2	5	1	0	3	0
		100.0%	13.2%	23.7%	13.2%	7.9%	10.5%	2.6%	5.3%	13.2%	2.6%	0.0%	7.9%	0.0%
	北薩地区	67	23	13	10	1	8	0	3	4	2	2	1	0
		100.0%	34.3%	19.4%	14.9%	1.5%	11.9%	0.0%	4.5%	6.0%	3.0%	3.0%	1.5%	0.0%
	始良・伊佐地区	80	21	25	17	0	5	4	1	5	0	0	2	0
		100.0%	26.3%	31.3%	21.3%	0.0%	6.3%	5.0%	1.3%	6.3%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
大隅地区	81	23	33	7	1	7	1	2	3	3	0	1	0	
	100.0%	28.4%	40.7%	8.6%	1.2%	8.6%	1.2%	2.5%	3.7%	3.7%	0.0%	1.2%	0.0%	
熊本地区	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
大島地区	18	4	7	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	22.2%	38.9%	16.7%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問 18 結婚して子供ができた後、どのような働き方を望みますか。(〇はひとつ)

結婚して子供ができた後、どのような働き方を望むかについては、「夫婦ともに働き続ける」が 55.4%で最も多く、次いで「夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職」が 24.0%、「わからない」が 16.2%となっている。



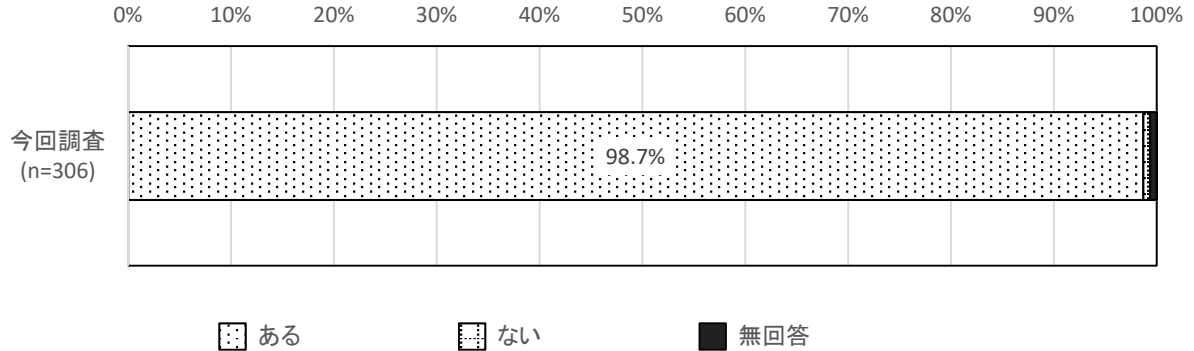
- 夫婦ともに働き続ける(育休、保育所等を利用して)
- 夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職
- 出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める
- 結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める
- わからない
- 無回答

	サンプル数	夫婦ともに働き続ける(育休、保育所等を利用して)	夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職	出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める	結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める	わからない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査	668	370	160	19	9	108	2
	100.0%	55.4%	24.0%	2.8%	1.3%	16.2%	0.3%
性別							
男性	306	175	68	7	2	54	0
	100.0%	57.2%	22.2%	2.3%	0.7%	17.6%	0.0%
女性	360	194	92	12	7	53	2
	100.0%	53.9%	25.6%	3.3%	1.9%	14.7%	0.6%
年齢							
10歳代	134	68	37	5	0	24	0
	100.0%	50.7%	27.6%	3.7%	0.0%	17.9%	0.0%
20歳代	336	190	87	10	7	42	0
	100.0%	56.5%	25.9%	3.0%	2.1%	12.5%	0.0%
30歳代	102	60	20	0	2	19	1
	100.0%	58.8%	19.6%	0.0%	2.0%	18.6%	1.0%
40歳代	66	38	13	2	0	13	0
	100.0%	57.6%	19.7%	3.0%	0.0%	19.7%	0.0%
50歳代	18	9	1	2	0	6	0
	100.0%	50.0%	5.6%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%
60歳代	4	0	0	0	0	3	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0
地域別							
鹿児島地区	378	202	96	14	4	61	1
	100.0%	53.4%	25.4%	3.7%	1.1%	16.1%	0.3%
南薩地区	38	21	7	0	1	9	0
	100.0%	55.3%	18.4%	0.0%	2.6%	23.7%	0.0%
北薩地区	67	41	13	1	1	11	0
	100.0%	61.2%	19.4%	1.5%	1.5%	16.4%	0.0%
始良・伊佐地区	80	41	20	4	2	12	1
	100.0%	51.3%	25.0%	5.0%	2.5%	15.0%	1.3%
大隅地区	81	53	15	0	1	12	0
	100.0%	65.4%	18.5%	0.0%	1.2%	14.8%	0.0%
熊本地区	4	1	3	0	0	0	0
	100.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大島地区	18	10	6	0	0	2	0
	100.0%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%

【男性のみ】

問19 結婚して子供ができた後、積極的に子育てに関わる意思はありますか。(〇はひとつ)

結婚して子供ができた後、積極的に子育てに関わる意思があるかについては、「ある」が98.7%、「ない」が0.7%となっている。

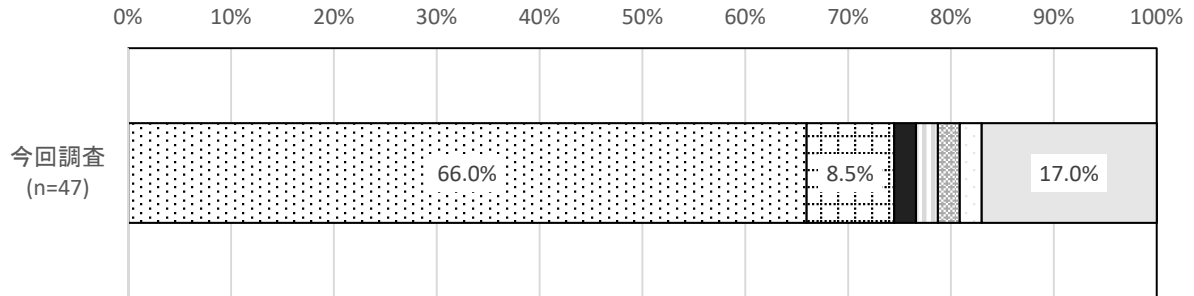


上段: 度数 下段: 構成比(%)		サンプル数	ある	ない	無回答
今回調査		306	302	2	2
		100.0%	98.7%	0.7%	0.7%
性別	男性	306	302	2	2
		100.0%	98.7%	0.7%	0.7%
	女性	0	0	0	0
		-	-	-	-
年齢	10歳代	74	74	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	152	150	2	0
		100.0%	98.7%	1.3%	0.0%
	30歳代	34	33	0	1
		100.0%	97.1%	0.0%	2.9%
	40歳代	31	30	0	1
		100.0%	96.8%	0.0%	3.2%
	50歳代	8	8	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	2	2	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	70歳代以上	0	0	0	0
		-	-	-	-
地域別	鹿児島地区	176	174	1	1
		100.0%	98.9%	0.6%	0.6%
	南薩地区	13	12	1	0
		100.0%	92.3%	7.7%	0.0%
	北薩地区	26	26	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	始良・伊佐地区	39	38	0	1
		100.0%	97.4%	0.0%	2.6%
	大隅地区	38	38	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	熊毛地区	1	1	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	大島地区	12	12	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

【問13で「一生結婚するつもりはない」を選択した方のみ】

問20 将来結婚したくない理由は何ですか。(〇はひとつ)

将来結婚したくない理由については、「一人であるほうが楽」が66.0%で最も多く、次いで「その他」が17.0%、「自由な時間が減る」が8.5%となっている。



- 1人であるほうが気楽
- 自由な時間が減る
- 配偶者の親や親せきと付き合いなければならない
- 家事に縛られる
- 仕事をする上で障害となる
- 家族を扶養する責任ができる
- その他
- 無回答

		サンプル数	1人であるほうが気楽	自由な時間が減る	配偶者の親や親せきと付き合いなければならない	家事に縛られる	仕事をする上で障害となる	家族を扶養する責任ができる	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)										
今回調査		47	31	4	1	1	1	1	8	0
		100.0%	66.0%	8.5%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	17.0%	0.0%
性別	男性	21	11	4	0	1	0	0	5	0
		100.0%	52.4%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	23.8%	0.0%
性別	女性	24	19	0	1	0	1	1	2	0
		100.0%	79.2%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	8.3%	0.0%
年齢	10歳代	6	5	0	0	0	0	0	1	0
		100.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	20歳代	12	6	3	0	0	0	0	3	0
		100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	30歳代	10	7	1	1	0	0	1	0	0
		100.0%	70.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	12	7	0	0	1	1	0	3	0
		100.0%	58.3%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%
50歳代	4	3	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
60歳代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域別	鹿児島地区	27	18	3	0	1	1	0	4	0
		100.0%	66.7%	11.1%	0.0%	3.7%	3.7%	0.0%	14.8%	0.0%
	南薩地区	4	1	0	1	0	0	1	1	0
		100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	北薩地区	4	2	0	0	0	0	0	2	0
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	始良・伊佐地区	7	6	1	0	0	0	0	0	0
		100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大隅地区	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
熊本地区	3	2	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
大島地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

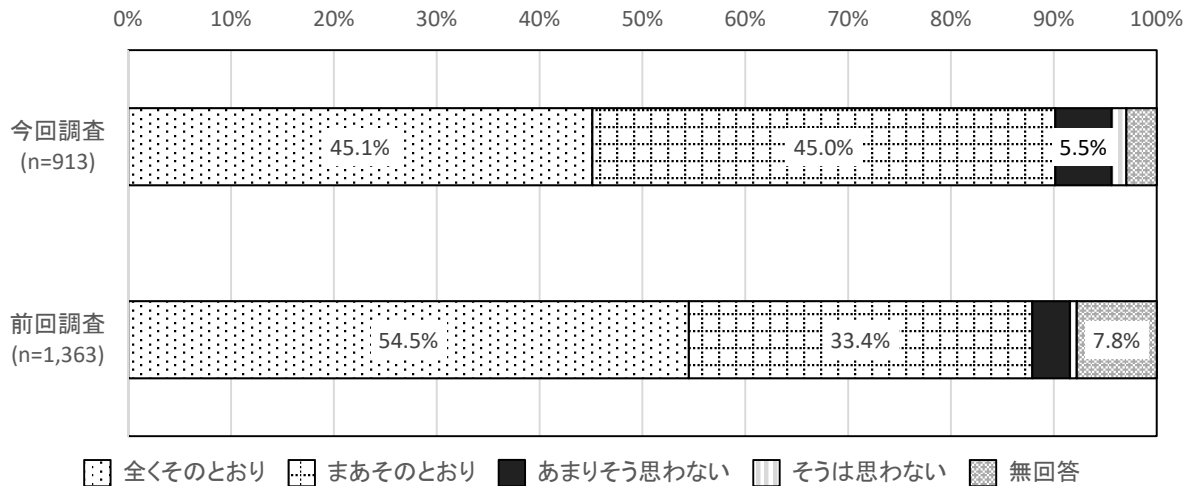
【問21～問34は子どもをお持ちの方のみ】

問21 あなたが、子育てをして感じたことについて、下の（A）～（H）の各項目にあてはまるものの番号に1つずつ○をつけてください。

＜A 家族との会話がはずむようになった＞

家族との会話がはずむようになったについては、「全くそのとおり」が45.1%、「まあそのとおり」が45.0%となっている。

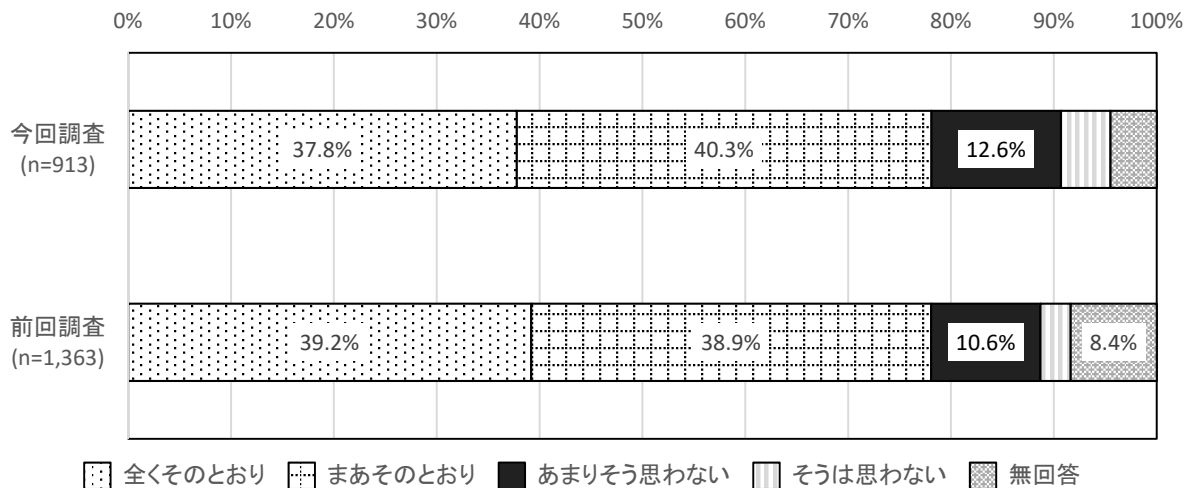
前回調査と比較すると、「そのとおり」「全くそのとおり」+「まあそのとおり」の割合は2.2ポイント増加している。



		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		913	412 45.1%	411 45.0%	50 5.5%	13 1.4%	27 3.0%
前回調査		1,363	743 54.5%	455 33.4%	50 3.7%	9 0.7%	106 7.8%
性別	男性	309	137 44.3%	139 45.0%	18 5.8%	4 1.3%	11 3.6%
	女性	601	273 45.4%	271 45.1%	32 5.3%	9 1.5%	16 2.7%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	24 44.4%	27 50.0%	2 3.7%	0 0.0%	1 1.9%
	30歳代	304	146 48.0%	131 43.1%	18 5.9%	6 2.0%	3 1.0%
	40歳代	359	159 44.3%	170 47.4%	18 5.0%	5 1.4%	7 1.9%
	50歳代	105	46 43.8%	45 42.9%	8 7.6%	1 1.0%	5 4.8%
	60歳代	56	20 35.7%	29 51.8%	3 5.4%	0 0.0%	4 7.1%
	70歳代以上	29	14 48.3%	6 20.7%	1 3.4%	1 3.4%	7 24.1%
地域別	鹿児島地区	421	200 47.5%	191 45.4%	20 4.8%	4 1.0%	6 1.4%
	南薩地区	65	28 43.1%	28 43.1%	1 1.5%	1 1.5%	7 10.8%
	北薩地区	100	43 43.0%	46 46.0%	7 7.0%	2 2.0%	2 2.0%
	姶良・伊佐地区	138	63 45.7%	63 45.7%	6 4.3%	1 0.7%	5 3.6%
	大隅地区	111	47 42.3%	47 42.3%	9 8.1%	2 1.8%	6 5.4%
	熊毛地区	25	13 52.0%	10 40.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%
	大島地区	50	18 36.0%	24 48.0%	5 10.0%	3 6.0%	0 0.0%

<B 配偶者との信頼が深まった>

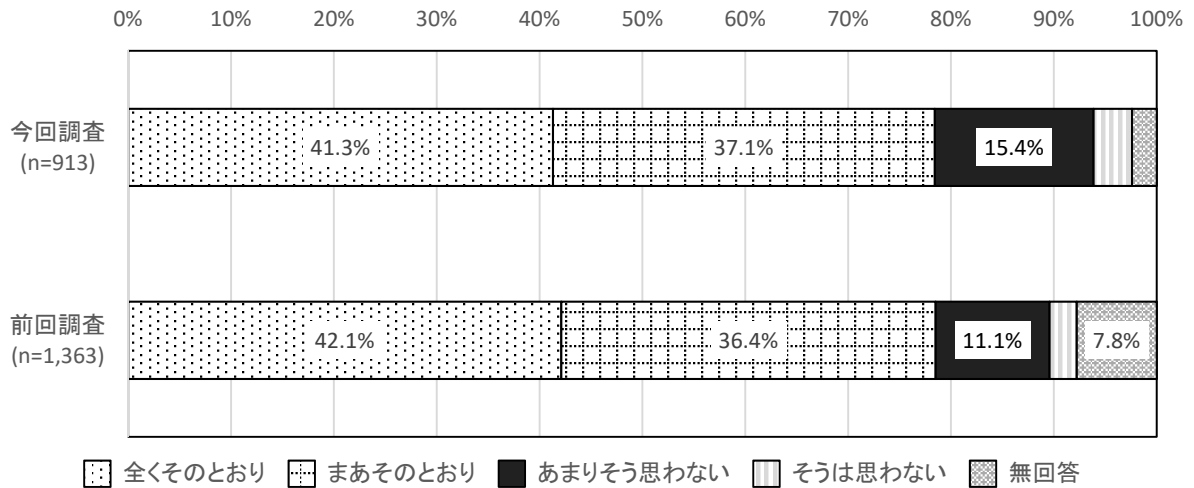
配偶者との信頼関係が深まったかについては、「まあそのとおり」が40.3%で最も多く、次いで「全くそのとおり」が37.8%、「あまりそう思わない」が12.6%となっている。



		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	345	368	115	44	41
		100.0%	37.8%	40.3%	12.6%	4.8%	4.5%
前回調査		1,363	534	530	145	40	114
		100.0%	39.2%	38.9%	10.6%	2.9%	8.4%
性別	男性	309	124	137	29	8	11
		100.0%	40.1%	44.3%	9.4%	2.6%	3.6%
女性	601	220	229	86	36	30	
		100.0%	36.6%	38.1%	14.3%	6.0%	5.0%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	26	21	4	2	1
		100.0%	48.1%	38.9%	7.4%	3.7%	1.9%
	30歳代	304	120	122	39	16	7
		100.0%	39.5%	40.1%	12.8%	5.3%	2.3%
	40歳代	359	126	151	51	17	14
		100.0%	35.1%	42.1%	14.2%	4.7%	3.9%
	50歳代	105	43	38	8	8	8
	100.0%	41.0%	36.2%	7.6%	7.6%	7.6%	
60歳代	56	17	27	8	0	4	
	100.0%	30.4%	48.2%	14.3%	0.0%	7.1%	
70歳代以上	29	11	8	3	0	7	
	100.0%	37.9%	27.6%	10.3%	0.0%	24.1%	
地域別	鹿児島地区	421	166	175	53	19	8
		100.0%	39.4%	41.6%	12.6%	4.5%	1.9%
	南薩地区	65	20	24	7	4	10
		100.0%	30.8%	36.9%	10.8%	6.2%	15.4%
	北薩地区	100	42	40	11	5	2
		100.0%	42.0%	40.0%	11.0%	5.0%	2.0%
	姶良・伊佐地区	138	49	57	20	4	8
		100.0%	35.5%	41.3%	14.5%	2.9%	5.8%
大隅地区	111	40	41	14	8	8	
	100.0%	36.0%	36.9%	12.6%	7.2%	7.2%	
熊毛地区	25	9	9	3	1	3	
	100.0%	36.0%	36.0%	12.0%	4.0%	12.0%	
大島地区	50	18	21	6	3	2	
	100.0%	36.0%	42.0%	12.0%	6.0%	4.0%	

<C 子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった>

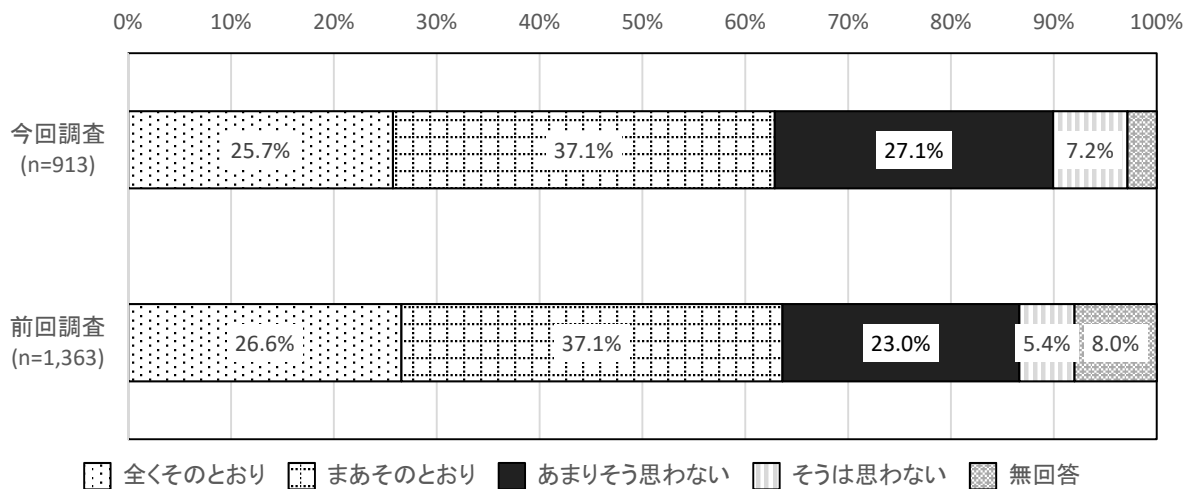
子どもを通じて付き合いが広がったかについては、「全くそのとおり」が41.3%「まあそのとおり」が37.1%、「あまりそう思わない」が15.4%となっている。



		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	377	339	141	34	22
		100.0%	41.3%	37.1%	15.4%	3.7%	2.4%
前回調査		1,363	574	496	151	36	106
		100.0%	42.1%	36.4%	11.1%	2.6%	7.8%
性別	男性	309	104	117	60	19	9
		100.0%	33.7%	37.9%	19.4%	6.1%	2.9%
女性	601	272	220	81	15	13	
		100.0%	45.3%	36.6%	13.5%	2.5%	2.2%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	20歳代	54	21	16	12	4	1
		100.0%	38.9%	29.6%	22.2%	7.4%	1.9%
	30歳代	304	127	106	54	16	1
		100.0%	41.8%	34.9%	17.8%	5.3%	0.3%
	40歳代	359	146	144	52	12	5
		100.0%	40.7%	40.1%	14.5%	3.3%	1.4%
50歳代	105	48	39	12	1	5	
	100.0%	45.7%	37.1%	11.4%	1.0%	4.8%	
60歳代	56	21	23	8	0	4	
	100.0%	37.5%	41.1%	14.3%	0.0%	7.1%	
70歳代以上	29	11	10	2	0	6	
	100.0%	37.9%	34.5%	6.9%	0.0%	20.7%	
地域別	鹿児島地区	421	185	148	65	19	4
		100.0%	43.9%	35.2%	15.4%	4.5%	1.0%
	南薩地区	65	26	22	10	1	6
		100.0%	40.0%	33.8%	15.4%	1.5%	9.2%
	北薩地区	100	36	47	14	2	1
		100.0%	36.0%	47.0%	14.0%	2.0%	1.0%
	姶良・伊佐地区	138	54	53	21	6	4
		100.0%	39.1%	38.4%	15.2%	4.3%	2.9%
	大隅地区	111	44	41	17	4	5
	100.0%	39.6%	36.9%	15.3%	3.6%	4.5%	
熊毛地区	25	12	8	3	0	2	
	100.0%	48.0%	32.0%	12.0%	0.0%	8.0%	
大島地区	50	20	19	10	1	0	
	100.0%	40.0%	38.0%	20.0%	2.0%	0.0%	

<D 子育ての経験が仕事や趣味の活動に役立った>

子育ての経験が役立ったかについては、「まあそのとおり」が37.1%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が27.1%、「全くそのとおり」が25.7%となっている。

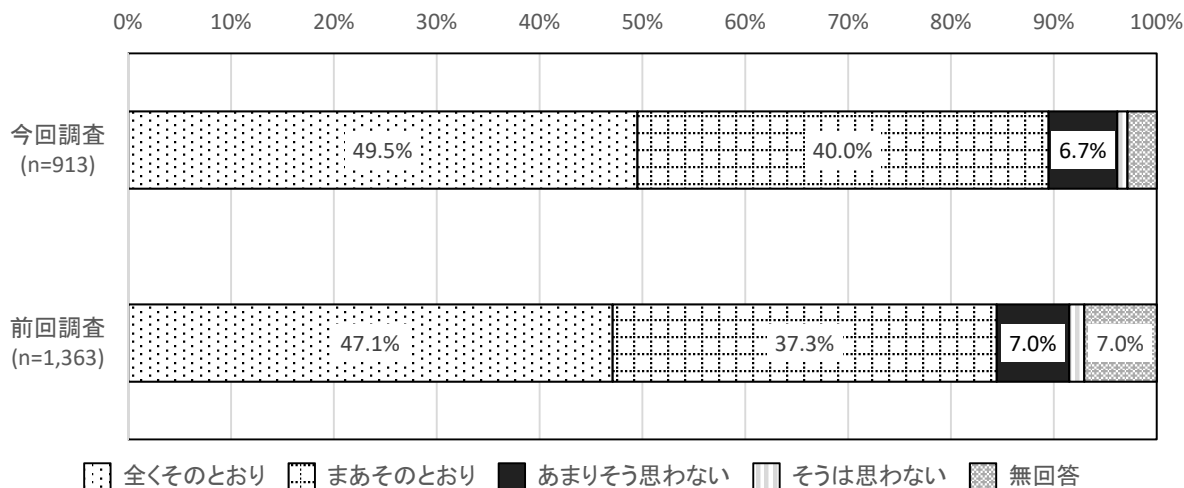


		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		913	235	339	247	66	26
		100.0%	25.7%	37.1%	27.1%	7.2%	2.8%
前回調査		1,363	362	505	314	73	109
		100.0%	26.6%	37.1%	23.0%	5.4%	8.0%
性別	男性	309	71	120	86	22	10
		100.0%	23.0%	38.8%	27.8%	7.1%	3.2%
性別	女性	601	163	218	160	44	16
		100.0%	27.1%	36.3%	26.6%	7.3%	2.7%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	20歳代	54	14	23	11	5	1
		100.0%	25.9%	42.6%	20.4%	9.3%	1.9%
	30歳代	304	67	100	99	35	3
		100.0%	22.0%	32.9%	32.6%	11.5%	1.0%
	40歳代	359	109	136	89	20	5
	100.0%	30.4%	37.9%	24.8%	5.6%	1.4%	
50歳代	105	29	43	24	4	5	
	100.0%	27.6%	41.0%	22.9%	3.8%	4.8%	
60歳代	56	8	28	15	0	5	
	100.0%	14.3%	50.0%	26.8%	0.0%	8.9%	
70歳代以上	29	6	8	7	1	7	
	100.0%	20.7%	27.6%	24.1%	3.4%	24.1%	
地域別	鹿児島地区	421	118	152	112	34	5
		100.0%	28.0%	36.1%	26.6%	8.1%	1.2%
	南薩地区	65	16	26	13	2	8
		100.0%	24.6%	40.0%	20.0%	3.1%	12.3%
	北薩地区	100	19	49	26	4	2
		100.0%	19.0%	49.0%	26.0%	4.0%	2.0%
	始良・伊佐地区	138	29	52	46	7	4
		100.0%	21.0%	37.7%	33.3%	5.1%	2.9%
大隅地区	111	29	36	31	10	5	
	100.0%	26.1%	32.4%	27.9%	9.0%	4.5%	
熊毛地区	25	7	8	5	3	2	
	100.0%	28.0%	32.0%	20.0%	12.0%	8.0%	
大島地区	50	17	16	12	5	0	
	100.0%	34.0%	32.0%	24.0%	10.0%	0.0%	

<E 子育てによって自分も成長していると感じられる>

子育てによって自分も成長していると感じるかについては、「全くそのとおり」が 49.5%、「まあそのとおり」が 40.0%、「あまりそう思わない」が 6.7%となっている。

前回調査と比較すると、「そのとおり（「全くそのとおり」＋「まあそのとおり」）」と回答した割合は 5.1 ポイント増加している。

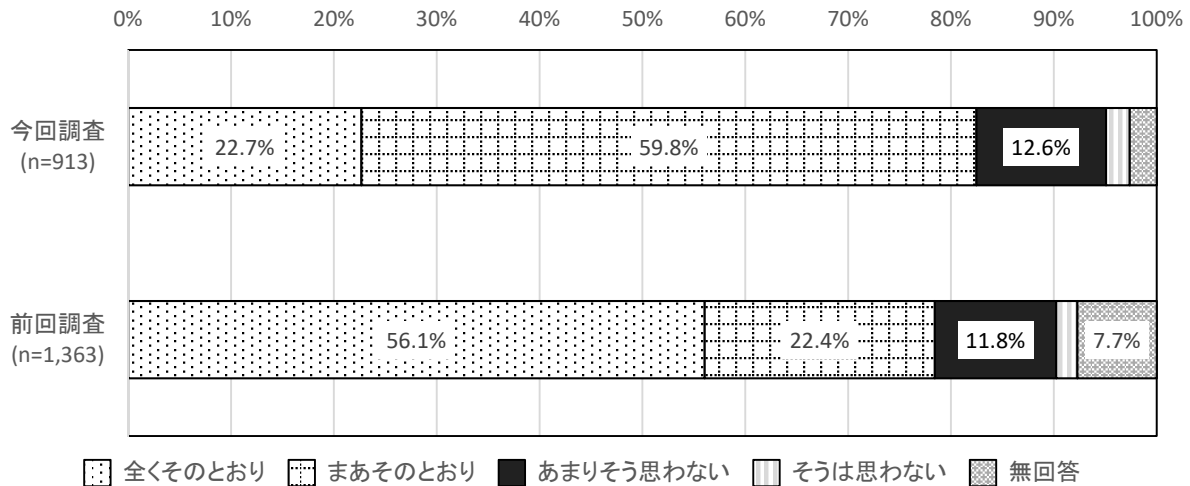


		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	452	365	61	9	26
		100.0%	49.5%	40.0%	6.7%	1.0%	2.8%
前回調査		1,363	642	509	96	20	96
		100.0%	47.1%	37.3%	7.0%	1.5%	7.0%
性別	男性	309	133	137	24	4	11
		100.0%	43.0%	44.3%	7.8%	1.3%	3.6%
女性	601	317	227	37	5	15	
		100.0%	52.7%	37.8%	6.2%	0.8%	2.5%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	32	16	4	1	1
		100.0%	59.3%	29.6%	7.4%	1.9%	1.9%
	30歳代	304	151	127	20	3	3
		100.0%	49.7%	41.8%	6.6%	1.0%	1.0%
	40歳代	359	181	143	25	5	5
		100.0%	50.4%	39.8%	7.0%	1.4%	1.4%
	50歳代	105	54	42	4	0	5
	100.0%	51.4%	40.0%	3.8%	0.0%	4.8%	
60歳代	56	20	27	5	0	4	
	100.0%	35.7%	48.2%	8.9%	0.0%	7.1%	
70歳代以上	29	11	7	3	0	8	
	100.0%	37.9%	24.1%	10.3%	0.0%	27.6%	
地域別	鹿児島地区	421	213	171	28	5	4
		100.0%	50.6%	40.6%	6.7%	1.2%	1.0%
	南薩地区	65	34	18	6	0	7
		100.0%	52.3%	27.7%	9.2%	0.0%	10.8%
	北薩地区	100	50	43	3	1	3
		100.0%	50.0%	43.0%	3.0%	1.0%	3.0%
	始良・伊佐地区	138	57	66	9	1	5
		100.0%	41.3%	47.8%	6.5%	0.7%	3.6%
大隅地区	111	53	40	11	2	5	
	100.0%	47.7%	36.0%	9.9%	1.8%	4.5%	
熊毛地区	25	14	7	2	0	2	
	100.0%	56.0%	28.0%	8.0%	0.0%	8.0%	
大島地区	50	31	17	2	0	0	
	100.0%	62.0%	34.0%	4.0%	0.0%	0.0%	

<F 自分の子どもは結構うまく育っていると思う>

自分の子どもはうまく育っていると思うかについては、「まあそのとおり」が59.8%で最も多く、次いで「全くそのとおり」が22.7%、「あまりそう思わない」が12.6%となっている。

前回調査と比較すると、「そのとおり（「全くそのとおり」＋「まあそのとおり」）」と回答した割合は4ポイント増加している。



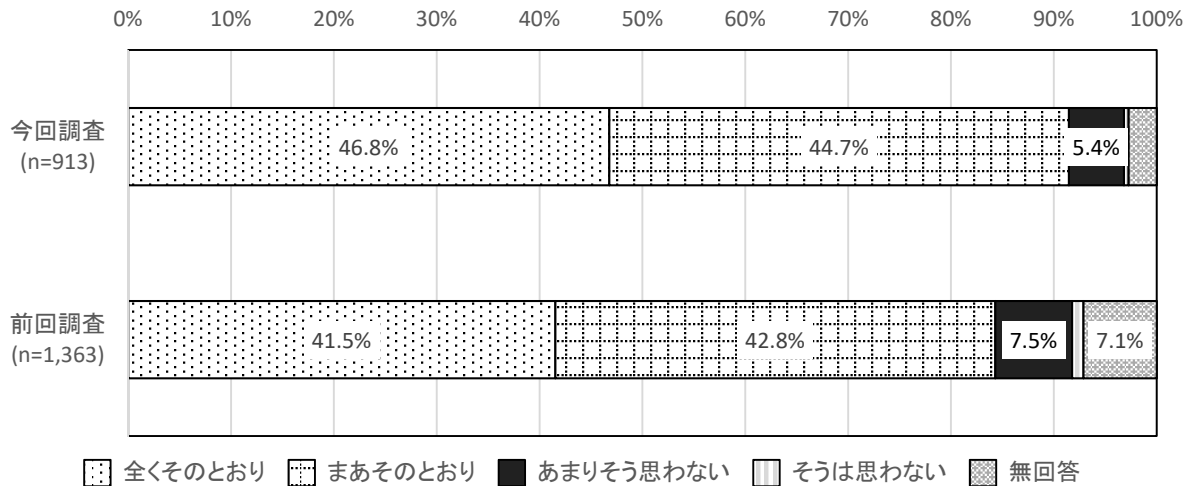
全くそのとおり
 まあそのとおり
 あまりそう思わない
 そうは思わない
 無回答

		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	207	546	115	21	24
		100.0%	22.7%	59.8%	12.6%	2.3%	2.6%
前回調査		1,363	764	305	161	28	105
		100.0%	56.1%	22.4%	11.8%	2.1%	7.7%
性別	男性	309	75	185	33	6	10
		100.0%	24.3%	59.9%	10.7%	1.9%	3.2%
女性	601	132	358	82	15	14	
		100.0%	22.0%	59.6%	13.6%	2.5%	2.3%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	18	30	3	2	1
		100.0%	33.3%	55.6%	5.6%	3.7%	1.9%
	30歳代	304	61	203	33	6	1
		100.0%	20.1%	66.8%	10.9%	2.0%	0.3%
	40歳代	359	85	202	57	10	5
		100.0%	23.7%	56.3%	15.9%	2.8%	1.4%
	50歳代	105	25	61	11	3	5
	100.0%	23.8%	58.1%	10.5%	2.9%	4.8%	
60歳代	56	10	31	10	0	5	
	100.0%	17.9%	55.4%	17.9%	0.0%	8.9%	
70歳代以上	29	5	16	1	0	7	
	100.0%	17.2%	55.2%	3.4%	0.0%	24.1%	
地域別	鹿児島地区	421	101	249	55	12	4
		100.0%	24.0%	59.1%	13.1%	2.9%	1.0%
	南薩地区	65	15	30	12	1	7
		100.0%	23.1%	46.2%	18.5%	1.5%	10.8%
	北薩地区	100	22	67	8	1	2
		100.0%	22.0%	67.0%	8.0%	1.0%	2.0%
	始良・伊佐地区	138	25	92	15	1	5
		100.0%	18.1%	66.7%	10.9%	0.7%	3.6%
大隅地区	111	25	62	17	3	4	
	100.0%	22.5%	55.9%	15.3%	2.7%	3.6%	
熊本地区	25	6	14	2	1	2	
	100.0%	24.0%	56.0%	8.0%	4.0%	8.0%	
大島地区	50	13	30	6	1	0	
	100.0%	26.0%	60.0%	12.0%	2.0%	0.0%	

<G 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う>

子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うかについては、「全くそのとおり」が46.8%、「まあそのとおり」が44.7%、「あまりそう思わない」が5.4%となっている。

前回調査と比較すると、「そのとおり（「全くそのとおり」＋「まあそのとおり」）」と回答した割合は7.2ポイント増加している。



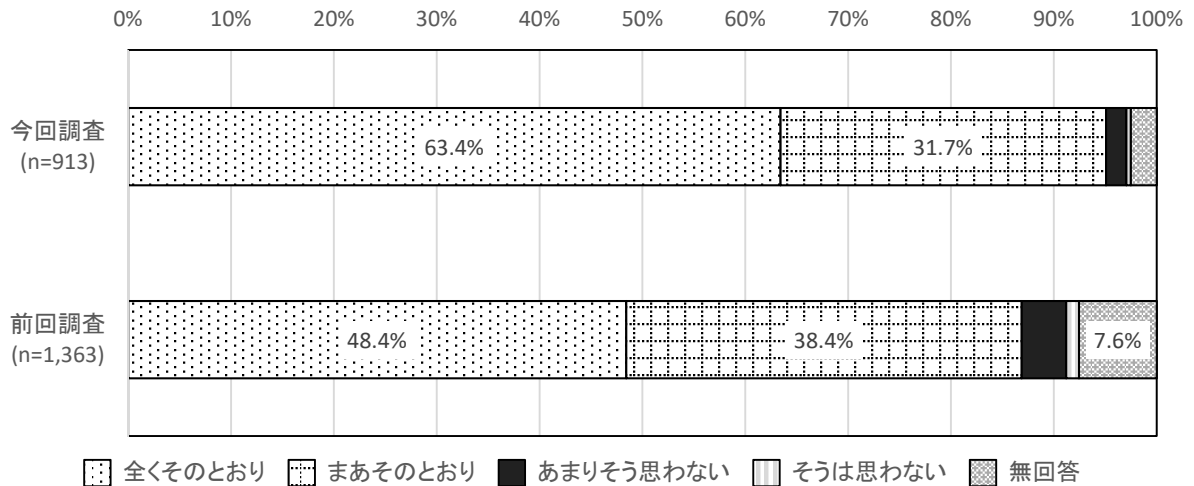
全くそのとおり
 まあそのとおり
 あまりそう思わない
 そうは思わない
 無回答

		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	427	408	49	4	25
		100.0%	46.8%	44.7%	5.4%	0.4%	2.7%
前回調査		1,363	566	583	102	15	97
		100.0%	41.5%	42.8%	7.5%	1.1%	7.1%
性別	男性	309	144	132	21	1	11
		100.0%	46.6%	42.7%	6.8%	0.3%	3.6%
女性	601	282	274	28	3	14	
		100.0%	46.9%	45.6%	4.7%	0.5%	2.3%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	34	17	2	0	1
		100.0%	63.0%	31.5%	3.7%	0.0%	1.9%
	30歳代	304	163	128	10	1	2
		100.0%	53.6%	42.1%	3.3%	0.3%	0.7%
	40歳代	359	167	163	21	2	6
		100.0%	46.5%	45.4%	5.8%	0.6%	1.7%
	50歳代	105	36	56	7	1	5
	100.0%	34.3%	53.3%	6.7%	1.0%	4.8%	
60歳代	56	13	34	5	0	4	
	100.0%	23.2%	60.7%	8.9%	0.0%	7.1%	
70歳代以上	29	10	8	4	0	7	
	100.0%	34.5%	27.6%	13.8%	0.0%	24.1%	
地域別	鹿児島地区	421	210	189	17	1	4
		100.0%	49.9%	44.9%	4.0%	0.2%	1.0%
	南薩地区	65	33	23	2	0	7
		100.0%	50.8%	35.4%	3.1%	0.0%	10.8%
	北薩地区	100	48	44	5	0	3
		100.0%	48.0%	44.0%	5.0%	0.0%	3.0%
	始良・伊佐地区	138	51	71	12	0	4
		100.0%	37.0%	51.4%	8.7%	0.0%	2.9%
大隅地区	111	50	47	8	1	5	
	100.0%	45.0%	42.3%	7.2%	0.9%	4.5%	
熊毛地区	25	11	10	2	0	2	
	100.0%	44.0%	40.0%	8.0%	0.0%	8.0%	
大島地区	50	24	22	3	1	0	
	100.0%	48.0%	44.0%	6.0%	2.0%	0.0%	

<H 子どもがかわいくてたまらない>

子どもがかわいくてたまらないかについては、「全くそのとおり」が63.4%、「まあそのとおり」が31.7%となっている。

前回調査と比較すると、「そのとおり（「全くそのとおり」＋「まあそのとおり」）」と回答した割合は8.3ポイント増加している。

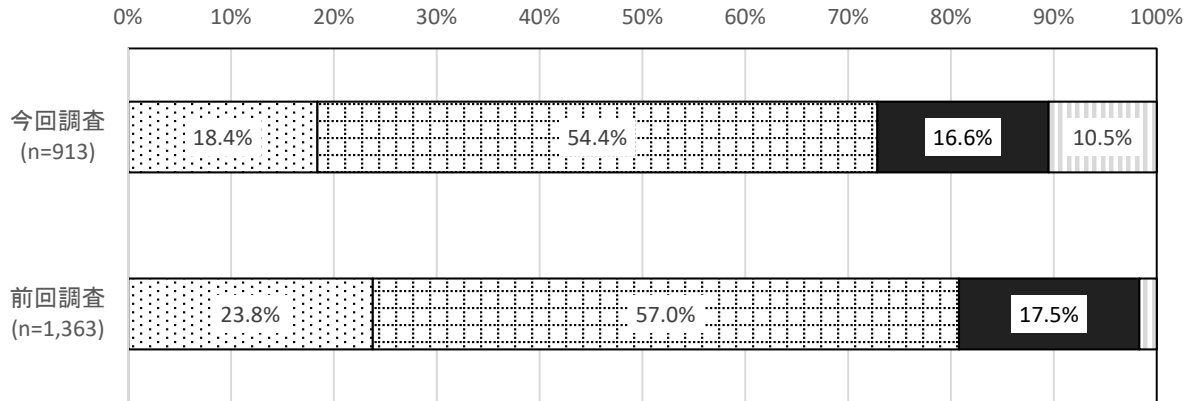


		サンプル数	全くそのとおり	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	579 63.4%	289	18 2.0%	4 0.4%	23 2.5%
前回調査		1,363	660 48.4%	524	59 4.3%	17 1.2%	103 7.6%
性別	男性	309	183 59.2%	105	10 3.2%	1 0.3%	10 3.2%
	女性	601	393 65.4%	184	8 1.3%	3 0.5%	13 2.2%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	47 87.0%	6	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%
	30歳代	304	227 74.7%	71	4 1.3%	1 0.3%	1 0.3%
	40歳代	359	219 61.0%	123	9 2.5%	3 0.8%	5 1.4%
	50歳代	105	53 50.5%	45	2 1.9%	0 0.0%	5 4.8%
	60歳代	56	18 32.1%	33 58.9%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.1%
	70歳代以上	29	10 34.5%	10 34.5%	2 6.9%	0 0.0%	7 24.1%
地域別	鹿児島地区	421	275 65.3%	133	5 1.2%	4 1.0%	4 1.0%
	南薩地区	65	41 63.1%	17	1 1.5%	0 0.0%	6 9.2%
	北薩地区	100	68 68.0%	27	3 3.0%	0 0.0%	2 2.0%
	始良・伊佐地区	138	77 55.8%	55	2 1.4%	0 0.0%	4 2.9%
	大隅地区	111	68 61.3%	33	5 4.5%	0 0.0%	5 4.5%
	熊毛地区	25	16 64.0%	5	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%
	大島地区	50	33 66.0%	17	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 2 2 あなたは、子育てをする上で悩みや不安がありますか。(〇はひとつ)

子育てをする上で悩みや不安があるかについては、「少しはある(少しはあった)」が54.4%で最も多く、次いで「かなりある(かなりあった)」が18.4%、「特にない(特になかった)」が16.6%の順になっている。

前回調査と比較すると、「かなりある(かなりあった)」の回答の割合は5.4ポイント減少している。



かなりある(かなりあった)

 少しはある(少しはあった)

 特にない(特になかった)

 無回答

		サンプル数	かなりある(かなりあった)	少しはある(少しはあった)	特にない(特になかった)	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)						
今回調査		913	168	497	152	96
		100.0%	18.4%	54.4%	16.6%	10.5%
前回調査		1,363	324	777	239	23
		100.0%	23.8%	57.0%	17.5%	1.7%
性別	男性	309	40	175	62	32
		100.0%	12.9%	56.6%	20.1%	10.4%
女性	601	127	321	89	64	
		100.0%	21.1%	53.4%	14.8%	10.6%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0
	20歳代	54	8	33	8	5
		100.0%	14.8%	61.1%	14.8%	9.3%
	30歳代	304	45	192	42	25
		100.0%	14.8%	63.2%	13.8%	8.2%
	40歳代	359	76	192	53	38
		100.0%	21.2%	53.5%	14.8%	10.6%
	50歳代	105	23	48	22	12
	100.0%	21.9%	45.7%	21.0%	11.4%	
60歳代	56	11	24	13	8	
	100.0%	19.6%	42.9%	23.2%	14.3%	
70歳代以上	29	4	4	13	8	
	100.0%	13.8%	13.8%	44.8%	27.6%	
地域別	鹿児島地区	421	91	237	58	35
		100.0%	21.6%	56.3%	13.8%	8.3%
	南薩地区	65	8	25	17	15
		100.0%	12.3%	38.5%	26.2%	23.1%
	北薩地区	100	10	58	18	14
		100.0%	10.0%	58.0%	18.0%	14.0%
	始良・伊佐地区	138	25	78	22	13
		100.0%	18.1%	56.5%	15.9%	9.4%
大隅地区	111	19	59	22	11	
	100.0%	17.1%	53.2%	19.8%	9.9%	
熊毛地区	25	0	14	5	6	
	100.0%	0.0%	56.0%	20.0%	24.0%	
大島地区	50	14	25	9	2	
	100.0%	28.0%	50.0%	18.0%	4.0%	

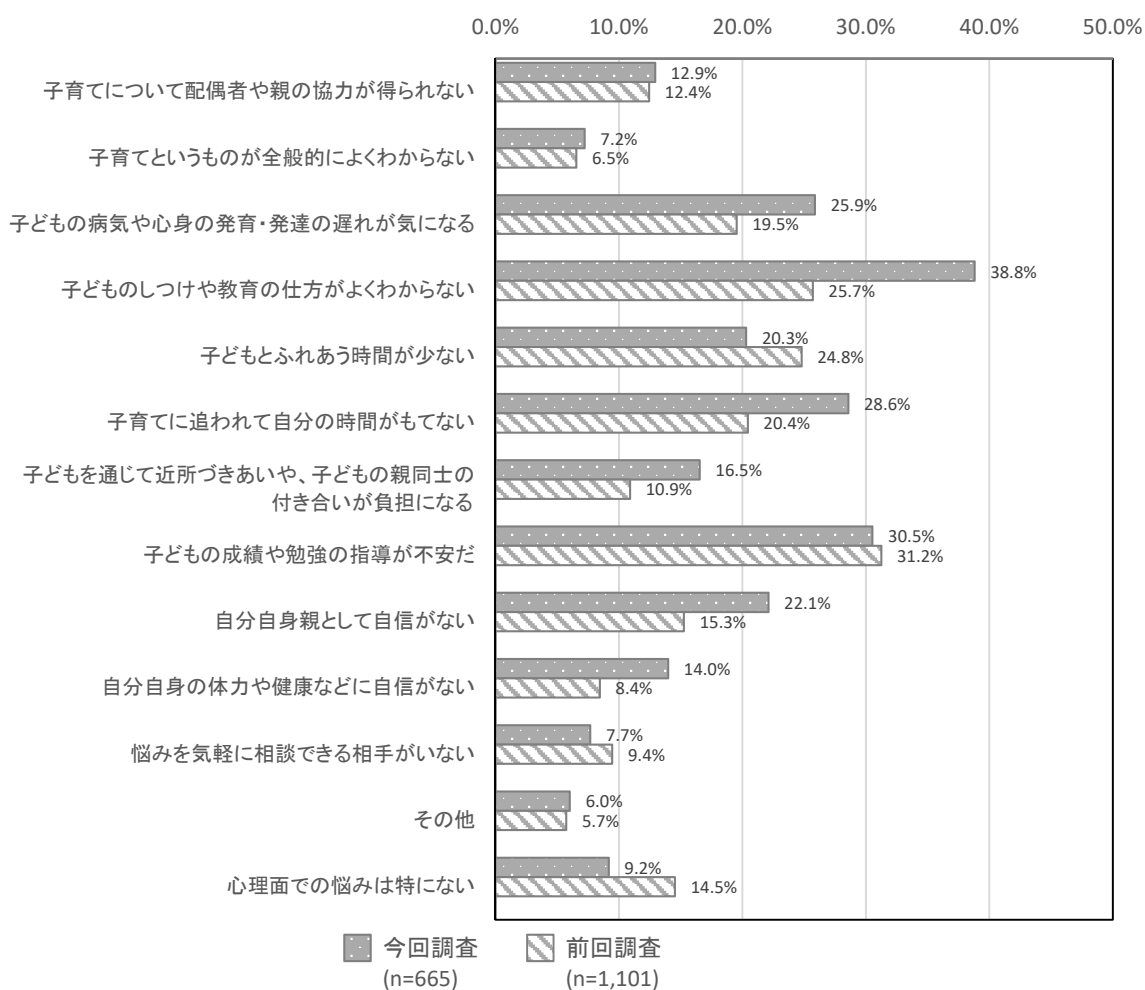
【問22で「かなりある（かなりあった）」「少しある（少しあった）」を選択した方のみ】

問23 あなたの子育ての心理面での悩みはどんなことですか。（〇はいくつでも）

子育ての心理面の悩みについては、「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」が38.8%で最も多く、次いで「子どもの成績や勉強の指導が不安だ」が30.5%、「子育てに追われて自分の時間がもてない」が28.6%となっている。

性別でみると、男性は「子どもとふれあう時間が少ない」が31.2%で最も多く、女性は「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」が42.6%で最も多くなっている。

前回調査と比較すると「子どものしつけや教育の仕方がよくわからない」が13.1ポイント増加している。

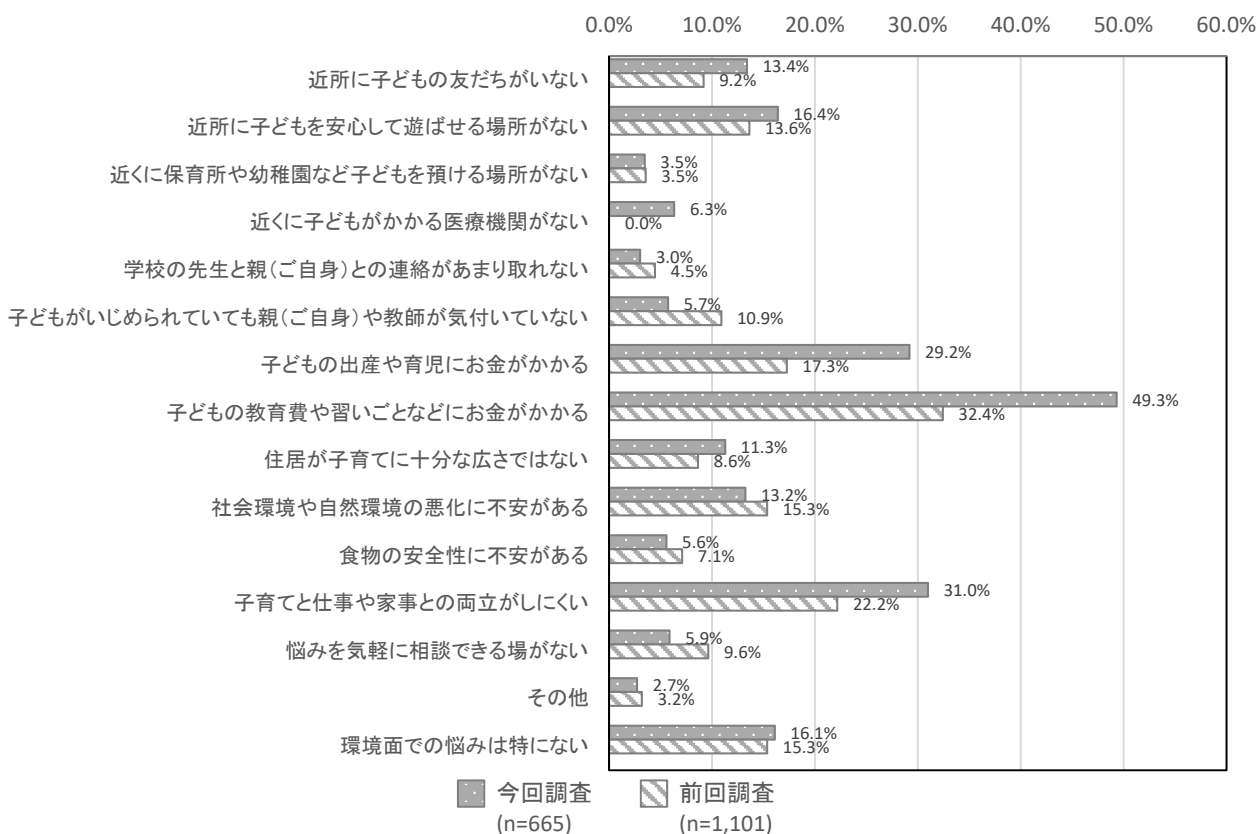


	サンプル数	親の協力が得ていない	子育てについて配偶者や	的によくわからない	子育てというものが全般	る子どもの病気や心身の発	育・発達の遅れが気になる	子どものしつけや教育の仕方がよくわからない	子どもとふれあう時間が少ない	子育てに追われて自分の時間がもてない	子育てに追われて自分の時間がもてない	あいや、子どもの親同士の付き合いが負担になる	子どもを通じて近所づき	導が不安だ	子どもの成績や勉強の指	ない	自分自身親として自信がない	自分に自信がない	自分に自身の体力や健康な	どに自信がない	悩みを気軽に相談できる	その他	心理面での悩みは特にな
上段:度数 下段:構成比(%)																							
今回調査	665	86	48	172	258	135	190	110	203	147	93	51	40	61									
	-	12.9%	7.2%	25.9%	38.8%	20.3%	28.6%	16.5%	30.5%	22.1%	14.0%	7.7%	6.0%	9.2%									
前回調査	1,101	137	72	215	283	273	225	120	344	168	93	104	63	160									
	-	12.4%	6.5%	19.5%	25.7%	24.8%	20.4%	10.9%	31.2%	15.3%	8.4%	9.4%	5.7%	14.5%									
性別																							
男性	215	7	14	49	66	67	26	20	66	26	21	12	10	38									
	-	3.3%	6.5%	22.8%	30.7%	31.2%	12.1%	9.3%	30.7%	12.1%	9.8%	5.6%	4.7%	17.7%									
女性	448	79	34	122	191	68	164	89	137	120	72	39	30	23									
	-	17.6%	7.6%	27.2%	42.8%	15.2%	36.6%	19.9%	30.6%	26.8%	16.1%	8.7%	6.7%	5.1%									
年齢																							
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
20歳代	41	1	5	9	22	8	15	9	7	12	6	1	3	4									
	-	2.4%	12.2%	22.0%	53.7%	19.5%	36.6%	22.0%	17.1%	29.3%	14.6%	2.4%	7.3%	9.8%									
30歳代	237	29	17	68	97	51	88	28	61	54	31	15	14	25									
	-	12.2%	7.2%	28.7%	40.9%	21.5%	37.1%	11.8%	25.7%	22.8%	13.1%	6.3%	5.9%	10.5%									
40歳代	268	37	19	66	106	57	63	57	99	59	41	22	15	20									
	-	13.8%	7.1%	24.6%	39.6%	21.3%	23.5%	21.3%	36.9%	22.0%	15.3%	8.2%	5.6%	7.5%									
50歳代	71	13	6	19	20	14	15	13	25	15	9	9	4	3									
	-	18.3%	8.5%	26.8%	28.2%	19.7%	21.1%	18.3%	35.2%	21.1%	12.7%	12.7%	5.6%	4.2%									
60歳代	35	4	1	9	11	3	5	0	8	6	4	3	4	4									
	-	11.4%	2.9%	25.7%	31.4%	8.6%	14.3%	0.0%	22.9%	17.1%	11.4%	8.6%	11.4%	11.4%									
70歳代以上	8	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	5									
	-	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	62.5%									
地域別																							
鹿児島地区	328	48	26	81	130	60	103	58	111	72	39	24	24	21									
	-	14.6%	7.9%	24.7%	39.6%	18.3%	31.4%	17.7%	33.8%	22.0%	11.9%	7.3%	7.3%	6.4%									
南薩地区	33	4	1	8	8	10	5	3	11	5	1	2	1	5									
	-	12.1%	3.0%	24.2%	24.2%	30.3%	15.2%	9.1%	33.3%	15.2%	3.0%	6.1%	3.0%	15.2%									
北薩地区	68	6	5	17	28	12	17	13	14	13	9	7	2	6									
	-	8.8%	7.4%	25.0%	41.2%	17.6%	25.0%	19.1%	20.6%	19.1%	13.2%	10.3%	2.9%	8.8%									
始良・伊佐地区	103	16	5	24	43	22	33	11	24	22	16	6	3	16									
	-	15.5%	4.9%	23.3%	41.7%	21.4%	32.0%	10.7%	23.3%	21.4%	15.5%	5.8%	2.9%	15.5%									
大隅地区	78	8	8	30	29	16	20	15	29	22	18	2	5	7									
	-	10.3%	10.3%	38.5%	37.2%	20.5%	25.6%	19.2%	37.2%	28.2%	23.1%	2.6%	6.4%	9.0%									
熊毛地区	14	0	1	5	7	4	1	2	4	3	1	3	1	0									
	-	0.0%	7.1%	35.7%	50.0%	28.6%	7.1%	14.3%	28.6%	21.4%	7.1%	21.4%	7.1%	0.0%									
大島地区	39	3	2	7	11	10	10	8	10	9	8	7	4	6									
	-	7.7%	5.1%	17.9%	28.2%	25.6%	25.6%	20.5%	25.6%	23.1%	20.5%	17.9%	10.3%	15.4%									

問24 あなたの子育ての環境面での悩みはどんなことですか。(〇はいくつでも)

子育ての環境面での悩みについては、「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」が49.3%で最も多く、次いで「子育てと仕事や家事との両立がしにくい」が31.0%、「子どもの出産や育児にお金がかかる」が29.2%となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる」が16.9ポイント、「子どもの出産や育児にお金がかかる」が11.9ポイント増加している。

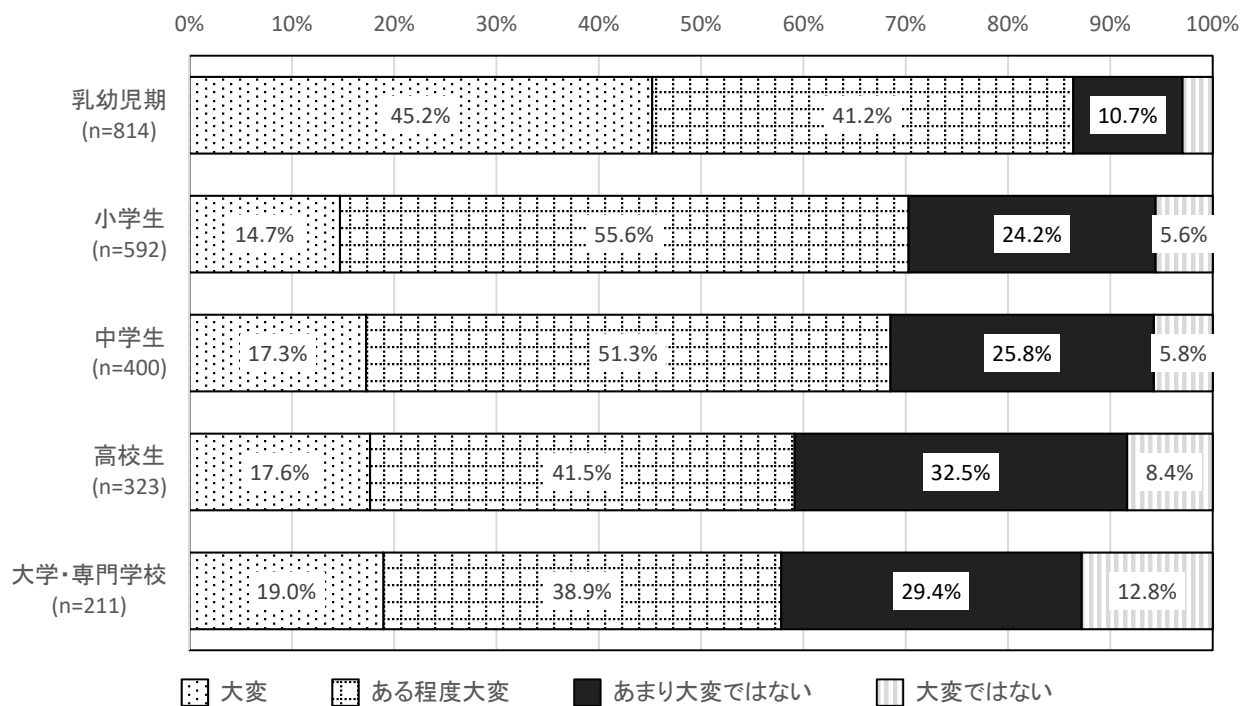


	サンプル数	近所に子どもがいない	近所に子どもを安心して遊ばせる場所がない	近くに保育所や幼稚園など子どもを預ける場所がない	近くに子どもがかかる医療機関がない	学校の先生と親(ご自身)との連絡があまり取れない	子どもがいじめられていても親(ご自身)や教師が気付いていない	子どもの出産や育児にお金がかかる	子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる	住居が子育てに十分な広さではない	社会環境や自然環境の悪化に不安がある	食物の安全性に不安がある	子育てと仕事や家事との両立がしにくい	悩みを気軽に相談できる場がない	その他	環境面での悩みは特にな
今回調査	665	89	109	23	42	20	38	194	328	75	88	37	206	39	18	107
前回調査	1,101	101	150	39	63	49	120	190	357	95	169	78	244	106	35	169
性別																
男性	215	26	34	7	12	5	12	51	98	24	27	14	45	10	5	43
女性	448	63	75	16	30	15	26	143	229	51	61	23	161	29	13	64
年齢																
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	41	6	6	2	1	0	0	24	18	8	3	1	16	1	2	3
30歳代	237	42	57	10	18	1	8	84	121	33	22	16	81	11	7	38
40歳代	268	32	39	8	15	14	15	67	146	27	49	13	85	11	4	41
50歳代	71	6	7	2	5	3	10	13	33	6	11	5	16	9	4	11
60歳代	35	3	0	0	3	2	4	4	6	0	3	2	7	7	1	8
70歳代以上	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
地域別																
鹿児島地区	328	43	57	13	13	9	22	111	172	45	57	24	101	17	11	53
南薩地区	33	7	4	1	3	1	3	9	10	2	1	1	7	2	0	8
北薩地区	68	5	12	0	5	4	11	20	32	5	11	7	24	5	1	11
始良・伊佐地区	103	14	13	5	3	2	4	23	55	10	7	1	35	3	2	15
大隅地区	78	14	11	3	6	1	3	17	33	7	7	4	24	1	1	16
熊毛地区	14	3	2	0	6	1	2	1	5	1	2	0	2	3	1	1
大島地区	39	3	10	1	6	2	2	12	20	5	3	0	12	7	2	3

問25 あなたが子育てをしていく上で、最も大変だった時期はいつですか。それぞれの時期について、あてはまる程度に○を付けてください。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(○はひとつ)

※ 未経験・無回答を除く

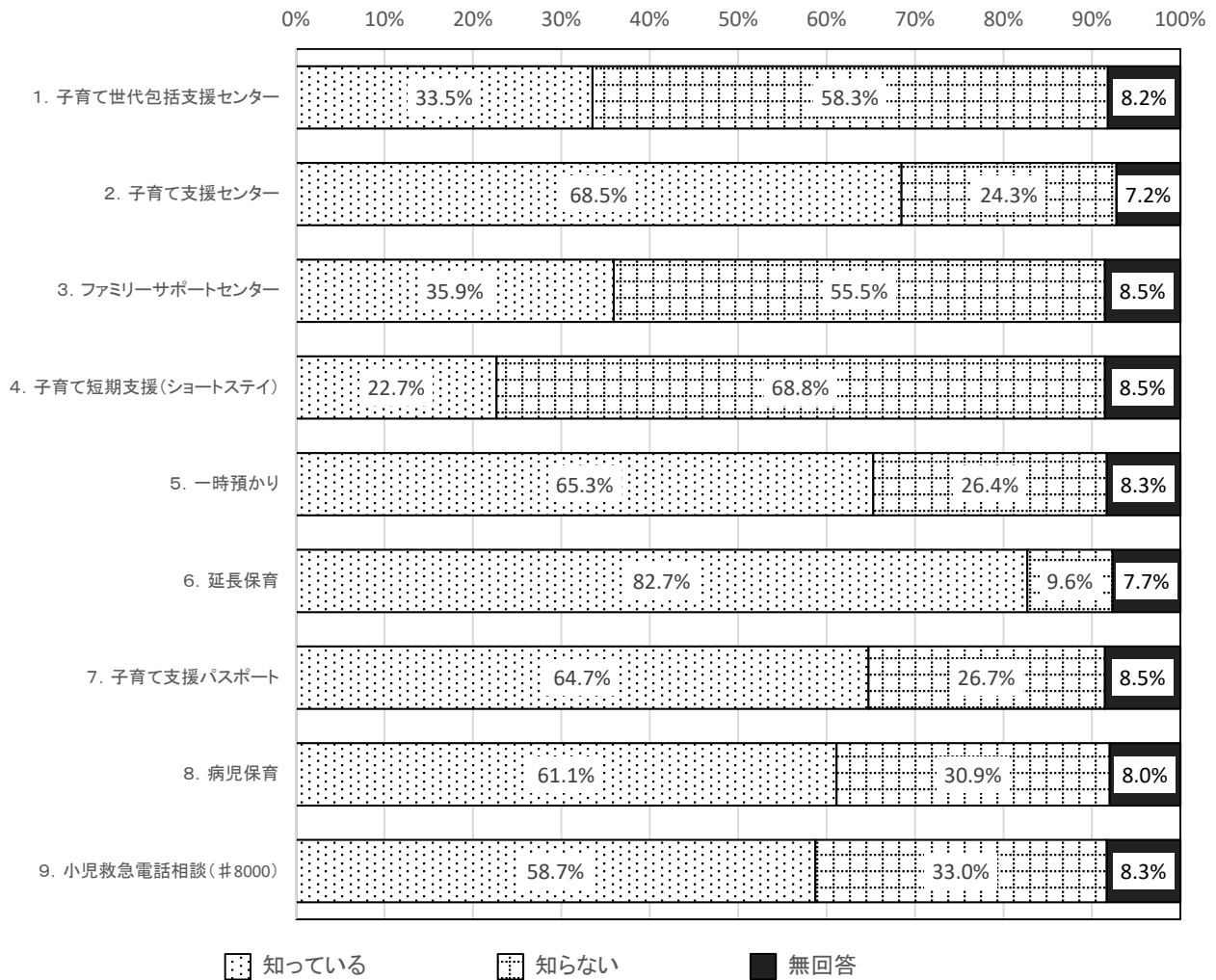
乳幼児期は「大変」または「ある程度大変」と回答した割合が合わせて86.4%となっているが、子どもが成長するにつれてその割合が少なくなっている。



問26 あなたは以下の子育て支援サービスをご存知ですか。また、利用したことがありますか。
(※ 知っているかどうか、利用したことがあるか、それぞれに○をひとつずつ)

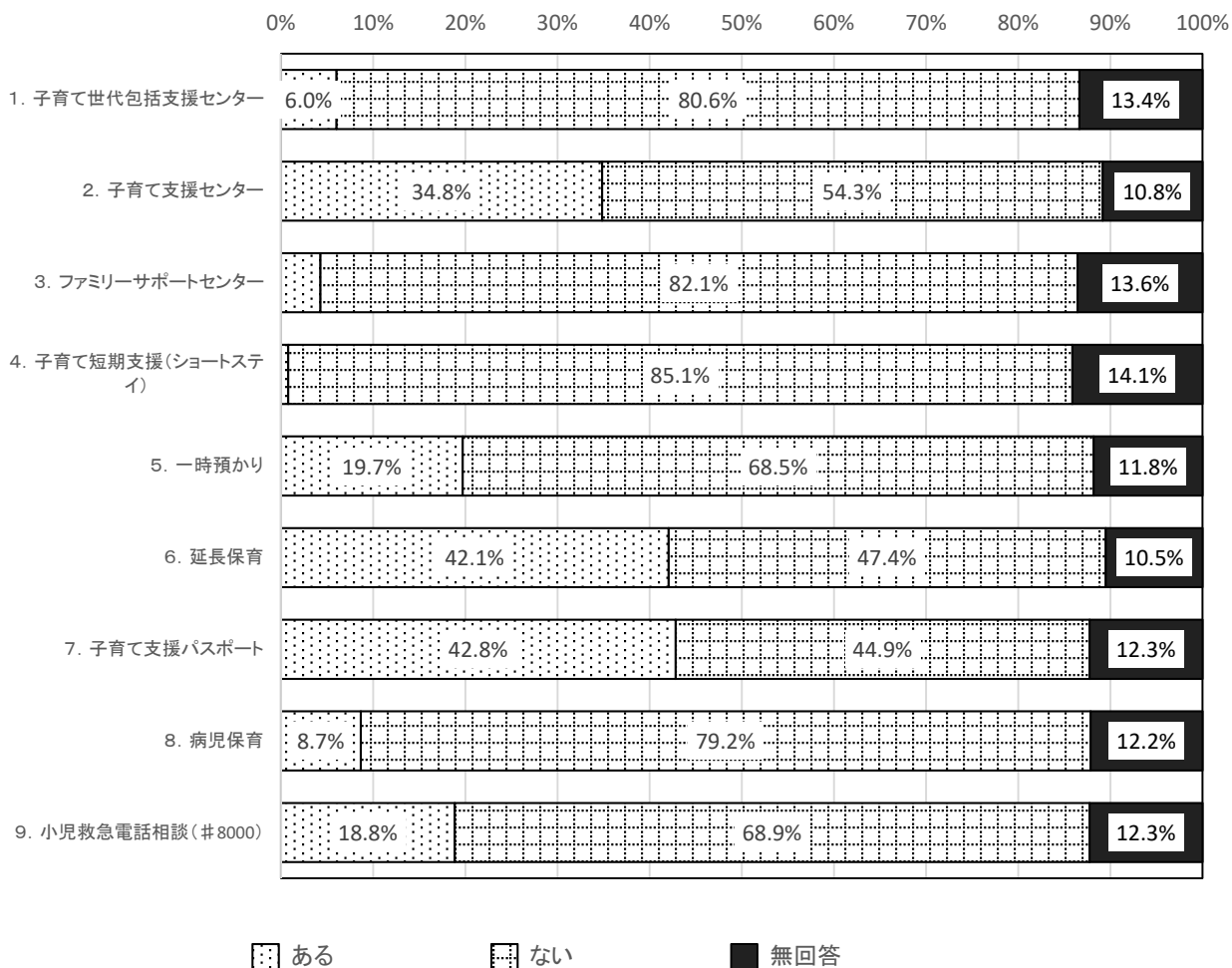
<認知度>

子育て支援サービスの認知度は「延長保育」が82.7%で最も高く、次いで「子育て支援センター」が68.5%、「一時預かり」が65.3%となっている。



<利用状況>

子育て支援サービスの利用状況は「子育て支援パスポート」が42.8%で最も高く、次いで「延長保育」が42.1%、「子育て支援センター」が34.8%となっている。



< 1. 子育て世代包括支援センター >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	306	532	75
		100.0%	33.5%	58.3%	8.2%
性別	男性	309	95	185	29
		100.0%	30.7%	59.9%	9.4%
女性		601	210	346	45
		100.0%	34.9%	57.6%	7.5%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	21	30	3
		100.0%	38.9%	55.6%	5.6%
	30歳代	304	114	179	11
		100.0%	37.5%	58.9%	3.6%
	40歳代	359	117	219	23
		100.0%	32.6%	61.0%	6.4%
	50歳代	105	34	62	9
	100.0%	32.4%	59.0%	8.6%	
60歳代	56	14	23	19	
	100.0%	25.0%	41.1%	33.9%	
70歳代以上	29	5	15	9	
	100.0%	17.2%	51.7%	31.0%	
地域別	鹿児島地区	421	147	251	23
		100.0%	34.9%	59.6%	5.5%
	南薩地区	65	11	38	16
		100.0%	16.9%	58.5%	24.6%
	北薩地区	100	33	59	8
		100.0%	33.0%	59.0%	8.0%
	始良・伊佐地区	138	50	79	9
		100.0%	36.2%	57.2%	6.5%
大隅地区	111	40	59	12	
	100.0%	36.0%	53.2%	10.8%	
熊毛地区	25	7	15	3	
	100.0%	28.0%	60.0%	12.0%	
大島地区	50	18	28	4	
	100.0%	36.0%	56.0%	8.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	55	736	122
		100.0%	6.0%	80.6%	13.4%
性別	男性	309	21	240	48
		100.0%	6.8%	77.7%	15.5%
女性		601	34	493	74
		100.0%	5.7%	82.0%	12.3%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	5	44	5
		100.0%	9.3%	81.5%	9.3%
	30歳代	304	23	252	29
		100.0%	7.6%	82.9%	9.5%
	40歳代	359	26	298	35
		100.0%	7.2%	83.0%	9.7%
	50歳代	105	1	85	19
	100.0%	1.0%	81.0%	18.1%	
60歳代	56	0	38	18	
	100.0%	0.0%	67.9%	32.1%	
70歳代以上	29	0	14	15	
	100.0%	0.0%	48.3%	51.7%	
地域別	鹿児島地区	421	27	361	33
		100.0%	6.4%	85.7%	7.8%
	南薩地区	65	1	44	20
		100.0%	1.5%	67.7%	30.8%
	北薩地区	100	4	80	16
		100.0%	4.0%	80.0%	16.0%
	始良・伊佐地区	138	6	109	23
		100.0%	4.3%	79.0%	16.7%
大隅地区	111	11	81	19	
	100.0%	9.9%	73.0%	17.1%	
熊毛地区	25	1	19	5	
	100.0%	4.0%	76.0%	20.0%	
大島地区	50	5	40	5	
	100.0%	10.0%	80.0%	10.0%	

< 2. 子育て支援センター >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	625	222	66
		100.0%	68.5%	24.3%	7.2%
性別	男性	309	173	112	24
		100.0%	56.0%	36.2%	7.8%
女性		601	451	109	41
		100.0%	75.0%	18.1%	6.8%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	46	5	3
		100.0%	85.2%	9.3%	5.6%
	30歳代	304	260	34	10
		100.0%	85.5%	11.2%	3.3%
	40歳代	359	228	113	18
		100.0%	63.5%	31.5%	5.0%
	50歳代	105	56	39	10
	100.0%	53.3%	37.1%	9.5%	
60歳代	56	28	16	14	
	100.0%	46.4%	28.6%	25.0%	
70歳代以上	29	7	12	10	
	100.0%	24.1%	41.4%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	301	101	19
		100.0%	71.5%	24.0%	4.5%
	南薩地区	65	36	14	15
		100.0%	55.4%	21.5%	23.1%
	北薩地区	100	71	22	7
		100.0%	71.0%	22.0%	7.0%
	始良・伊佐地区	138	93	36	9
		100.0%	67.4%	26.1%	6.5%
大隅地区	111	82	20	9	
	100.0%	73.9%	18.0%	8.1%	
熊毛地区	25	16	6	3	
	100.0%	64.0%	24.0%	12.0%	
大島地区	50	24	22	4	
	100.0%	48.0%	44.0%	8.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	318	496	99
		100.0%	34.8%	54.3%	10.8%
性別	男性	309	76	190	43
		100.0%	24.6%	61.5%	13.9%
女性		601	241	304	56
		100.0%	40.1%	50.6%	9.3%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	23	26	5
		100.0%	42.6%	48.1%	9.3%
	30歳代	304	163	122	19
		100.0%	53.6%	40.1%	6.3%
	40歳代	359	115	215	29
		100.0%	32.0%	59.9%	8.1%
	50歳代	105	16	73	16
	100.0%	15.2%	69.5%	15.2%	
60歳代	56	1	41	14	
	100.0%	1.8%	73.2%	25.0%	
70歳代以上	29	0	14	15	
	100.0%	0.0%	48.3%	51.7%	
地域別	鹿児島地区	421	160	233	28
		100.0%	38.0%	55.3%	6.7%
	南薩地区	65	13	34	18
		100.0%	20.0%	52.3%	27.7%
	北薩地区	100	37	51	12
		100.0%	37.0%	51.0%	12.0%
	始良・伊佐地区	138	50	70	18
		100.0%	36.2%	50.7%	13.0%
大隅地区	111	39	59	13	
	100.0%	35.1%	53.2%	11.7%	
熊毛地区	25	6	14	5	
	100.0%	24.0%	56.0%	20.0%	
大島地区	50	11	34	5	
	100.0%	22.0%	68.0%	10.0%	

< 3. ファミリーサポートセンター >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	328	507	78
		100.0%	35.9%	55.5%	8.5%
性別	男性	309	72	204	33
		100.0%	23.3%	66.0%	10.7%
女性	601	255	302	44	
	100.0%	42.4%	50.2%	7.3%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	17	34	3
		100.0%	31.5%	63.0%	5.6%
	30歳代	304	133	158	13
		100.0%	43.8%	52.0%	4.3%
	40歳代	359	141	197	21
		100.0%	39.3%	54.9%	5.8%
	50歳代	105	23	71	11
	100.0%	21.9%	67.6%	10.5%	
60歳代	56	8	29	19	
	100.0%	14.3%	51.8%	33.9%	
70歳代以上	29	4	15	10	
	100.0%	13.8%	51.7%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	178	219	24
		100.0%	42.3%	52.0%	5.7%
	南薩地区	65	7	42	16
		100.0%	10.8%	64.6%	24.6%
	北薩地区	100	40	51	9
		100.0%	40.0%	51.0%	9.0%
	始良・伊佐地区	138	51	77	10
		100.0%	37.0%	55.8%	7.2%
大隅地区	111	35	64	12	
	100.0%	31.5%	57.7%	10.8%	
熊毛地区	25	2	20	3	
	100.0%	8.0%	80.0%	12.0%	
大島地区	50	14	32	4	
	100.0%	28.0%	64.0%	8.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	39	750	124
		100.0%	4.3%	82.1%	13.6%
性別	男性	309	7	251	51
		100.0%	2.3%	81.2%	16.5%
女性	601	32	496	73	
	100.0%	5.3%	82.5%	12.1%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	0	48	6
		100.0%	0.0%	88.9%	11.1%
	30歳代	304	16	261	27
		100.0%	5.3%	85.9%	8.9%
	40歳代	359	19	302	38
		100.0%	5.3%	84.1%	10.6%
	50歳代	105	3	84	18
	100.0%	2.9%	80.0%	17.1%	
60歳代	56	0	38	18	
	100.0%	0.0%	67.9%	32.1%	
70歳代以上	29	0	13	16	
	100.0%	0.0%	44.8%	55.2%	
地域別	鹿児島地区	421	20	363	38
		100.0%	4.8%	86.2%	9.0%
	南薩地区	65	1	44	20
		100.0%	1.5%	67.7%	30.8%
	北薩地区	100	8	78	14
		100.0%	8.0%	78.0%	14.0%
	始良・伊佐地区	138	5	112	21
		100.0%	3.6%	81.2%	15.2%
大隅地区	111	3	90	18	
	100.0%	2.7%	81.1%	16.2%	
熊毛地区	25	0	19	6	
	100.0%	0.0%	76.0%	24.0%	
大島地区	50	2	42	6	
	100.0%	4.0%	84.0%	12.0%	

< 4. 子育て短期支援（ショートステイ） >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	207	628	78
		100.0%	22.7%	68.8%	8.5%
性別	男性	309	54	222	33
		100.0%	17.5%	71.8%	10.7%
女性	601	153	404	44	
	100.0%	25.5%	67.2%	7.3%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	14	37	3
		100.0%	25.9%	68.5%	5.6%
	30歳代	304	71	220	13
		100.0%	23.4%	72.4%	4.3%
	40歳代	359	84	254	21
		100.0%	23.4%	70.8%	5.8%
	50歳代	105	27	67	11
	100.0%	25.7%	63.8%	10.5%	
60歳代	56	6	31	19	
	100.0%	10.7%	55.4%	33.9%	
70歳代以上	29	5	14	10	
	100.0%	17.2%	48.3%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	98	300	23
		100.0%	23.3%	71.3%	5.5%
	南薩地区	65	10	38	17
		100.0%	15.4%	58.5%	26.2%
	北薩地区	100	27	64	9
		100.0%	27.0%	64.0%	9.0%
	始良・伊佐地区	138	36	92	10
		100.0%	26.1%	66.7%	7.2%
大隅地区	111	23	76	12	
	100.0%	20.7%	68.5%	10.8%	
熊毛地区	25	4	18	3	
	100.0%	16.0%	72.0%	12.0%	
大島地区	50	9	37	4	
	100.0%	18.0%	74.0%	8.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	7	777	129
		100.0%	0.8%	85.1%	14.1%
性別	男性	309	2	254	53
		100.0%	0.6%	82.2%	17.2%
女性	601	5	520	76	
	100.0%	0.8%	86.5%	12.6%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	1	49	4
		100.0%	1.9%	90.7%	7.4%
	30歳代	304	1	274	29
		100.0%	0.3%	90.1%	9.5%
	40歳代	359	4	312	43
		100.0%	1.1%	86.9%	12.0%
	50歳代	105	1	86	18
	100.0%	1.0%	81.9%	17.1%	
60歳代	56	0	38	18	
	100.0%	0.0%	67.9%	32.1%	
70歳代以上	29	0	13	16	
	100.0%	0.0%	44.8%	55.2%	
地域別	鹿児島地区	421	2	377	42
		100.0%	0.5%	89.5%	10.0%
	南薩地区	65	1	44	20
		100.0%	1.5%	67.7%	30.8%
	北薩地区	100	0	85	15
		100.0%	0.0%	85.0%	15.0%
	始良・伊佐地区	138	3	113	22
		100.0%	2.2%	81.9%	15.9%
大隅地区	111	1	92	18	
	100.0%	0.9%	82.9%	16.2%	
熊毛地区	25	0	19	6	
	100.0%	0.0%	76.0%	24.0%	
大島地区	50	0	45	5	
	100.0%	0.0%	90.0%	10.0%	

< 5. 一時預かり >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	596	241	76
		100.0%	65.3%	26.4%	8.3%
性別	男性	309	161	116	32
		100.0%	52.1%	37.5%	10.4%
女性	601	435	123	43	
	100.0%	72.4%	20.5%	7.2%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	39	12	3
		100.0%	72.2%	22.2%	5.6%
	30歳代	304	239	54	11
		100.0%	78.6%	17.8%	3.6%
	40歳代	359	238	99	22
		100.0%	66.3%	27.6%	6.1%
	50歳代	105	53	42	10
	100.0%	50.5%	40.0%	9.5%	
60歳代	56	15	22	19	
	100.0%	26.8%	39.3%	33.9%	
70歳代以上	29	8	11	10	
	100.0%	27.6%	37.9%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	298	100	23
		100.0%	70.8%	23.8%	5.5%
	南薩地区	65	32	19	14
		100.0%	49.2%	29.2%	21.5%
	北薩地区	100	68	23	9
		100.0%	68.0%	23.0%	9.0%
	始良・伊佐地区	138	90	38	10
		100.0%	65.2%	27.5%	7.2%
大隅地区	111	69	30	12	
	100.0%	62.2%	27.0%	10.8%	
熊毛地区	25	16	6	3	
	100.0%	64.0%	24.0%	12.0%	
大島地区	50	22	23	5	
	100.0%	44.0%	46.0%	10.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	180	625	108
		100.0%	19.7%	68.5%	11.8%
性別	男性	309	39	221	49
		100.0%	12.6%	71.5%	15.9%
女性	601	141	401	59	
	100.0%	23.5%	66.7%	9.8%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	7	43	4
		100.0%	13.0%	79.6%	7.4%
	30歳代	304	84	201	19
		100.0%	27.6%	66.1%	6.3%
	40歳代	359	79	247	33
		100.0%	22.0%	68.8%	9.2%
	50歳代	105	8	80	17
	100.0%	7.6%	76.2%	16.2%	
60歳代	56	1	37	18	
	100.0%	1.8%	66.1%	32.1%	
70歳代以上	29	0	13	16	
	100.0%	0.0%	44.8%	55.2%	
地域別	鹿児島地区	421	101	289	31
		100.0%	24.0%	68.6%	7.4%
	南薩地区	65	13	35	17
		100.0%	20.0%	53.8%	26.2%
	北薩地区	100	13	72	15
		100.0%	13.0%	72.0%	15.0%
	始良・伊佐地区	138	25	95	18
		100.0%	18.1%	68.8%	13.0%
大隅地区	111	18	77	16	
	100.0%	16.2%	69.4%	14.4%	
熊毛地区	25	2	18	5	
	100.0%	8.0%	72.0%	20.0%	
大島地区	50	7	38	5	
	100.0%	14.0%	76.0%	10.0%	

< 6. 延長保育 >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	755	88	70
		100.0%	82.7%	9.6%	7.7%
性別	男性	309	231	48	30
		100.0%	74.8%	15.5%	9.7%
女性	601	522	40	39	
	100.0%	86.9%	6.7%	6.5%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	51	0	3
		100.0%	94.4%	0.0%	5.6%
	30歳代	304	276	18	10
		100.0%	90.8%	5.9%	3.3%
	40歳代	359	307	31	21
		100.0%	85.5%	8.6%	5.8%
	50歳代	105	76	20	9
	100.0%	72.4%	19.0%	8.6%	
60歳代	56	29	11	16	
	100.0%	51.8%	19.6%	28.6%	
70歳代以上	29	12	7	10	
	100.0%	41.4%	24.1%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	368	32	21
		100.0%	87.4%	7.6%	5.0%
	南薩地区	65	43	8	14
		100.0%	66.2%	12.3%	21.5%
	北薩地区	100	85	7	8
		100.0%	85.0%	7.0%	8.0%
	始良・伊佐地区	138	117	13	8
		100.0%	84.8%	9.4%	5.8%
大隅地区	111	88	10	13	
	100.0%	79.3%	9.0%	11.7%	
熊毛地区	25	18	4	3	
	100.0%	72.0%	16.0%	12.0%	
大島地区	50	34	13	3	
	100.0%	68.0%	26.0%	6.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913	384	433	96
		100.0%	42.1%	47.4%	10.5%
性別	男性	309	115	150	44
		100.0%	37.2%	48.5%	14.2%
女性	601	268	281	52	
	100.0%	44.6%	46.8%	8.7%	
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	12	38	4
		100.0%	22.2%	70.4%	7.4%
	30歳代	304	143	143	18
		100.0%	47.0%	47.0%	5.9%
	40歳代	359	185	144	30
		100.0%	51.5%	40.1%	8.4%
	50歳代	105	35	56	14
	100.0%	33.3%	53.3%	13.3%	
60歳代	56	7	34	15	
	100.0%	12.5%	60.7%	26.8%	
70歳代以上	29	0	15	14	
	100.0%	0.0%	51.7%	48.3%	
地域別	鹿児島地区	421	199	195	27
		100.0%	47.3%	46.3%	6.4%
	南薩地区	65	20	28	17
		100.0%	30.8%	43.1%	26.2%
	北薩地区	100	42	47	11
		100.0%	42.0%	47.0%	11.0%
	始良・伊佐地区	138	55	68	15
		100.0%	39.9%	49.3%	10.9%
大隅地区	111	44	51	16	
	100.0%	39.6%	45.9%	14.4%	
熊毛地区	25	5	16	4	
	100.0%	20.0%	64.0%	16.0%	
大島地区	50	17	28	5	
	100.0%	34.0%	56.0%	10.0%	

< 7. 子育て支援パスポート >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	591	244	78
		100.0%	64.7%	26.7%	8.5%
性別	男性	309	171	106	32
		100.0%	55.3%	34.3%	10.4%
性別	女性	601	419	137	45
		100.0%	69.7%	22.8%	7.5%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	44	6	4
		100.0%	81.5%	11.1%	7.4%
	30歳代	304	250	42	12
		100.0%	82.2%	13.8%	3.9%
	40歳代	359	239	99	21
		100.0%	66.6%	27.6%	5.8%
	50歳代	105	42	53	10
	100.0%	40.0%	50.5%	9.5%	
60歳代	56	9	27	20	
	100.0%	16.1%	48.2%	35.7%	
70歳代以上	29	4	15	10	
	100.0%	13.8%	51.7%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	315	84	22
		100.0%	74.8%	20.0%	5.2%
	南薩地区	65	33	17	15
		100.0%	50.8%	26.2%	23.1%
	北薩地区	100	72	18	10
		100.0%	72.0%	18.0%	10.0%
	始良・伊佐地区	138	75	52	11
		100.0%	54.3%	37.7%	8.0%
大隅地区	111	65	32	14	
	100.0%	58.6%	28.8%	12.6%	
熊毛地区	25	10	12	3	
	100.0%	40.0%	48.0%	12.0%	
大島地区	50	19	28	3	
	100.0%	38.0%	56.0%	6.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	391	410	112
		100.0%	42.8%	44.9%	12.3%
性別	男性	309	108	151	50
		100.0%	35.0%	48.9%	16.2%
性別	女性	601	282	257	62
		100.0%	46.9%	42.8%	10.3%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	33	16	5
		100.0%	61.1%	29.6%	9.3%
	30歳代	304	182	100	22
		100.0%	59.9%	32.9%	7.2%
	40歳代	359	160	166	33
		100.0%	44.6%	46.2%	9.2%
	50歳代	105	13	75	17
	100.0%	12.4%	71.4%	16.2%	
60歳代	56	0	38	18	
	100.0%	0.0%	67.9%	32.1%	
70歳代以上	29	0	13	16	
	100.0%	0.0%	44.8%	55.2%	
地域別	鹿児島地区	421	232	157	32
		100.0%	55.1%	37.3%	7.6%
	南薩地区	65	22	26	17
		100.0%	33.8%	40.0%	26.2%
	北薩地区	100	42	43	15
		100.0%	42.0%	43.0%	15.0%
	始良・伊佐地区	138	40	79	19
		100.0%	29.0%	57.2%	13.8%
大隅地区	111	43	51	17	
	100.0%	38.7%	45.9%	15.3%	
熊毛地区	25	3	17	5	
	100.0%	12.0%	68.0%	20.0%	
大島地区	50	7	37	6	
	100.0%	14.0%	74.0%	12.0%	

< 8. 病児保育 >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	558	282	73
		100.0%	61.1%	30.9%	8.0%
性別	男性	309	130	148	31
		100.0%	42.1%	47.9%	10.0%
性別	女性	601	428	132	41
		100.0%	71.2%	22.0%	6.8%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	37	14	3
		100.0%	68.5%	25.9%	5.6%
	30歳代	304	231	63	10
		100.0%	76.0%	20.7%	3.3%
	40歳代	359	232	106	21
		100.0%	64.6%	29.5%	5.8%
	50歳代	105	40	55	10
	100.0%	38.1%	52.4%	9.5%	
60歳代	56	11	27	18	
	100.0%	19.6%	48.2%	32.1%	
70歳代以上	29	3	16	10	
	100.0%	10.3%	55.2%	34.5%	
地域別	鹿児島地区	421	284	115	22
		100.0%	67.5%	27.3%	5.2%
	南薩地区	65	20	30	15
		100.0%	30.8%	46.2%	23.1%
	北薩地区	100	68	23	9
		100.0%	68.0%	23.0%	9.0%
	始良・伊佐地区	138	84	45	9
		100.0%	60.9%	32.6%	6.5%
大隅地区	111	63	36	12	
	100.0%	56.8%	32.4%	10.8%	
熊毛地区	25	9	13	3	
	100.0%	36.0%	52.0%	12.0%	
大島地区	50	28	19	3	
	100.0%	56.0%	38.0%	6.0%	

利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)					
今回調査		913	79	723	111
		100.0%	8.7%	79.2%	12.2%
性別	男性	309	24	237	48
		100.0%	7.8%	76.7%	15.5%
性別	女性	601	55	483	63
		100.0%	9.2%	80.4%	10.5%
年齢	10歳代	0	0	0	0
	20歳代	54	2	48	4
		100.0%	3.7%	88.9%	7.4%
	30歳代	304	35	247	22
		100.0%	11.5%	81.3%	7.2%
	40歳代	359	36	290	33
		100.0%	10.0%	80.8%	9.2%
	50歳代	105	4	84	17
	100.0%	3.8%	80.0%	16.2%	
60歳代	56	1	37	18	
	100.0%	1.8%	66.1%	32.1%	
70歳代以上	29	0	13	16	
	100.0%	0.0%	44.8%	55.2%	
地域別	鹿児島地区	421	48	340	33
		100.0%	11.4%	80.8%	7.8%
	南薩地区	65	3	44	18
		100.0%	4.6%	67.7%	27.7%
	北薩地区	100	7	79	14
		100.0%	7.0%	79.0%	14.0%
	始良・伊佐地区	138	11	109	18
		100.0%	8.0%	79.0%	13.0%
大隅地区	111	5	89	17	
	100.0%	4.5%	80.2%	15.3%	
熊毛地区	25	1	19	5	
	100.0%	4.0%	76.0%	20.0%	
大島地区	50	4	41	5	
	100.0%	8.0%	82.0%	10.0%	

< 9. 小児救急電話相談（#8000） >

認知度

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913 100.0%	536 58.7%	301 33.0%	76 8.3%
性別	男性	309 100.0%	129 41.7%	149 48.2%	31 10.0%
	女性	601 100.0%	407 67.7%	151 25.1%	43 7.2%
年齢	10歳代	-	-	-	0
	20歳代	54 100.0%	38 70.4%	13 24.1%	3 5.6%
	30歳代	304 100.0%	240 78.9%	51 16.8%	13 4.3%
	40歳代	359 100.0%	205 57.1%	132 36.8%	22 6.1%
	50歳代	105 100.0%	32 30.5%	63 60.0%	10 9.5%
	60歳代	56 100.0%	15 26.8%	24 42.9%	17 30.4%
	70歳代以上	29 100.0%	3 10.3%	16 55.2%	10 34.5%
地域別	鹿児島地区	421 100.0%	265 62.9%	132 31.4%	24 5.7%
	南薩地区	65 100.0%	24 36.9%	25 38.5%	16 24.6%
	北薩地区	100 100.0%	55 55.0%	36 36.0%	9 9.0%
	始良・伊佐地区	138 100.0%	84 60.9%	45 32.6%	9 6.5%
	大隅地区	111 100.0%	71 64.0%	28 25.2%	12 10.8%
	熊毛地区	25 100.0%	15 60.0%	7 28.0%	3 12.0%
	大島地区	50 100.0%	20 40.0%	27 54.0%	3 6.0%

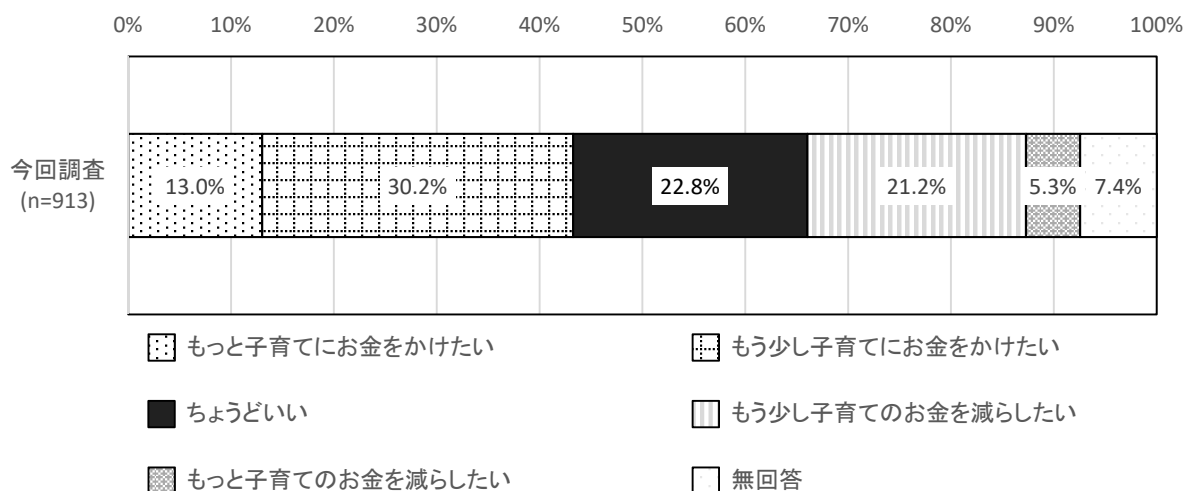
利用状況

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		913 100.0%	172 18.8%	629 68.9%	112 12.3%
性別	男性	309 100.0%	36 11.7%	222 71.8%	51 16.5%
	女性	601 100.0%	136 22.6%	404 67.2%	61 10.1%
年齢	10歳代	-	-	-	0
	20歳代	54 100.0%	17 31.5%	33 61.1%	4 7.4%
	30歳代	304 100.0%	89 29.3%	195 64.1%	20 6.6%
	40歳代	359 100.0%	58 16.2%	265 73.8%	36 10.0%
	50歳代	105 100.0%	5 4.8%	82 78.1%	18 17.1%
	60歳代	56 100.0%	2 3.6%	37 66.1%	17 30.4%
	70歳代以上	29 100.0%	0 0.0%	13 44.8%	16 55.2%
地域別	鹿児島地区	421 100.0%	98 23.3%	290 68.9%	33 7.8%
	南薩地区	65 100.0%	5 7.7%	41 63.1%	19 29.2%
	北薩地区	100 100.0%	10 10.0%	76 76.0%	14 14.0%
	始良・伊佐地区	138 100.0%	29 21.0%	90 65.2%	19 13.8%
	大隅地区	111 100.0%	28 25.2%	67 60.4%	16 14.4%
	熊毛地区	25 100.0%	2 8.0%	18 72.0%	5 20.0%
	大島地区	50 100.0%	0 0.0%	45 90.0%	5 10.0%

**問27 あなたは、子育て費用がご自身や世帯の家計に占める割合についてどのように感じていますか。
(○はひとつ)**

子育て費用が家計に占める割合については、「もう少し子育てにお金をかけたい」が30.2%で最も多く、次いで「ちょうどいい」が22.8%、「もう少し子育てのお金を減らしたい」が21.2%となっている。

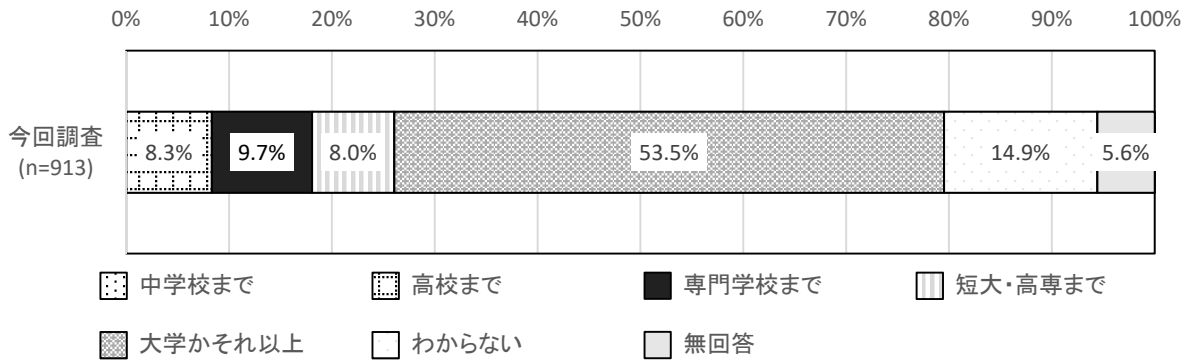
年齢別でみると、30歳代で「もっと子育てにお金をかけたい」「もう少し子育てにお金をかけたい」と回答した合計が約6割となっている。



		サンプル数	もっと子育てにお金をかけたい	もう少し子育てにお金をかけたい	ちょうどいい	もう少し子育てのお金を減らしたい	もっと子育てのお金を減らしたい	無回答
		上段: 度数						下段: 構成比(%)
今回調査		913	119	276	208	194	48	68
		100.0%	13.0%	30.2%	22.8%	21.2%	5.3%	7.4%
性別	男性	309	45	80	67	75	15	27
		100.0%	14.6%	25.9%	21.7%	24.3%	4.9%	8.7%
女性	601	74	195	141	118	33	40	
	100.0%	12.3%	32.4%	23.5%	19.6%	5.5%	6.7%	
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	6	19	14	10	2	3
		100.0%	11.1%	35.2%	25.9%	18.5%	3.7%	5.6%
	30歳代	304	51	122	61	51	10	9
		100.0%	16.8%	40.1%	20.1%	16.8%	3.3%	3.0%
	40歳代	359	47	100	86	83	24	19
		100.0%	13.1%	27.9%	24.0%	23.1%	6.7%	5.3%
	50歳代	105	12	20	27	26	8	12
	100.0%	11.4%	19.0%	25.7%	24.8%	7.6%	11.4%	
60歳代	56	1	8	14	19	2	12	
	100.0%	1.8%	14.3%	25.0%	33.9%	3.6%	21.4%	
70歳代以上	29	2	4	5	4	1	13	
	100.0%	6.9%	13.8%	17.2%	13.8%	3.4%	44.8%	
地域別	鹿児島地区	421	65	136	87	87	27	19
		100.0%	15.4%	32.3%	20.7%	20.7%	6.4%	4.5%
	南薩地区	65	2	15	18	10	3	17
		100.0%	3.1%	23.1%	27.7%	15.4%	4.6%	26.2%
	北薩地区	100	8	26	26	26	6	8
		100.0%	8.0%	26.0%	26.0%	26.0%	6.0%	8.0%
	始良・伊佐地区	138	18	46	29	33	5	7
		100.0%	13.0%	33.3%	21.0%	23.9%	3.6%	5.1%
大隅地区	111	18	31	33	14	5	10	
	100.0%	16.2%	27.9%	29.7%	12.6%	4.5%	9.0%	
熊毛地区	25	1	7	7	6	0	4	
	100.0%	4.0%	28.0%	28.0%	24.0%	0.0%	16.0%	
大島地区	50	7	15	7	16	2	3	
	100.0%	14.0%	30.0%	14.0%	32.0%	4.0%	6.0%	

問 28 あなたは、お子さんの進学目標（最終学歴）をどのようにお考えですか。（〇はひとつ）

進学目標については、「大学かそれ以上」が 53.5%で最も多く、次いで「わからない」が 14.9%、「専門学校まで」が 9.7%となっている。



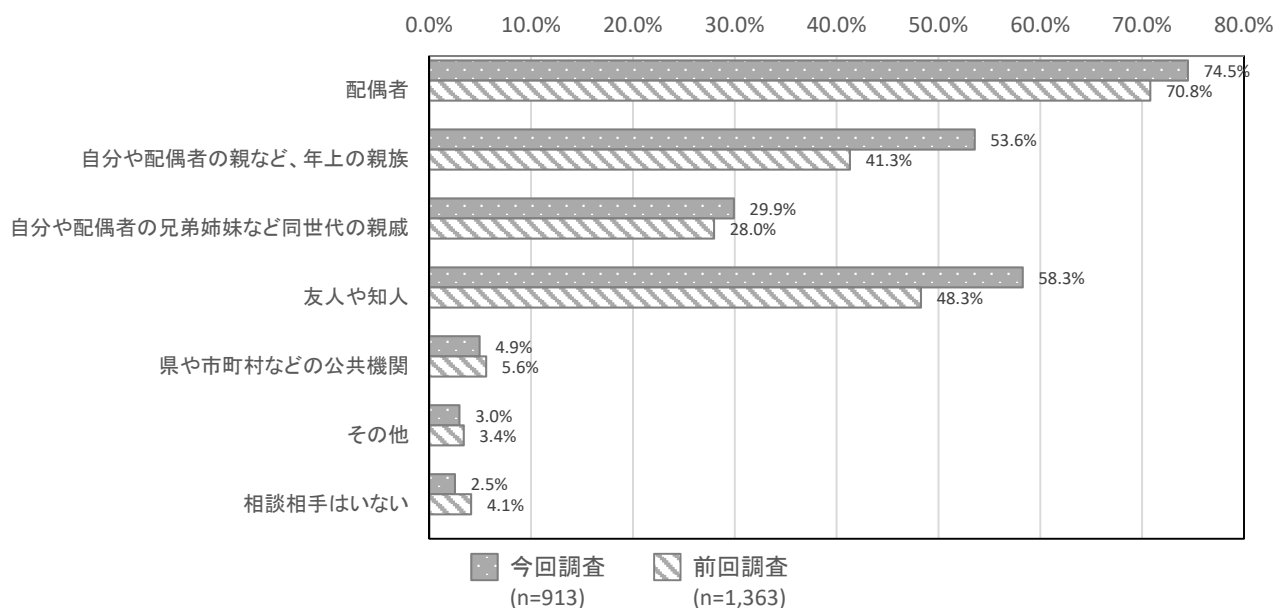
		サンプル数	中学校まで	高校まで	専門学校まで	短大・高専まで	大学かそれ以上	わからない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)									
今回調査		913	0	76	89	73	488	136	51
		100.0%	0.0%	8.3%	9.7%	8.0%	53.5%	14.9%	5.6%
性別	男性	309	0	19	23	22	179	46	20
		100.0%	0.0%	6.1%	7.4%	7.1%	57.9%	14.9%	6.5%
女性	601	0	56	66	50	308	90	31	
		100.0%	0.0%	9.3%	11.0%	8.3%	51.2%	15.0%	5.2%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	0	3	6	4	21	17	3
		100.0%	0.0%	5.6%	11.1%	7.4%	38.9%	31.5%	5.6%
	30歳代	304	0	21	38	29	155	54	7
		100.0%	0.0%	6.9%	12.5%	9.5%	51.0%	17.8%	2.3%
	40歳代	359	0	30	22	28	212	53	14
		100.0%	0.0%	8.4%	6.1%	7.8%	59.1%	14.8%	3.9%
	50歳代	105	0	15	17	4	55	6	8
	100.0%	0.0%	14.3%	16.2%	3.8%	52.4%	5.7%	7.6%	
60歳代	56	0	5	4	3	32	1	11	
		100.0%	0.0%	8.9%	7.1%	5.4%	57.1%	1.8%	19.6%
70歳代以上	29	0	2	1	5	11	2	8	
	100.0%	0.0%	6.9%	3.4%	17.2%	37.9%	6.9%	27.6%	
地域別	鹿児島地区	421	0	26	44	32	253	52	14
		100.0%	0.0%	6.2%	10.5%	7.6%	60.1%	12.4%	3.3%
	南薩地区	65	0	6	8	4	19	15	13
		100.0%	0.0%	9.2%	12.3%	6.2%	29.2%	23.1%	20.0%
	北薩地区	100	0	6	8	9	52	20	5
		100.0%	0.0%	6.0%	8.0%	9.0%	52.0%	20.0%	5.0%
	始良・伊佐地区	138	0	15	8	11	77	22	5
		100.0%	0.0%	10.9%	5.8%	8.0%	55.8%	15.9%	3.6%
大隅地区	111	0	11	15	12	46	17	10	
	100.0%	0.0%	9.9%	13.5%	10.8%	41.4%	15.3%	9.0%	
熊毛地区	25	0	6	1	2	11	4	1	
	100.0%	0.0%	24.0%	4.0%	8.0%	44.0%	16.0%	4.0%	
大島地区	50	0	6	4	3	28	6	3	
	100.0%	0.0%	12.0%	8.0%	6.0%	56.0%	12.0%	6.0%	

問29 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談する相手はだれですか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

子育ての悩みや不安の相談相手については、「配偶者」が74.5%で最も多く、次いで「友人や知人」が58.3%、「自分や配偶者の親など、年上の親族」が53.6%となっている。

性別でみると、「友人や知人」と回答した女性の割合は、男性を27.5ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、「自分や配偶者の親など、年上の親族」が12.3ポイント、「友人や知人」が10ポイント増加している。



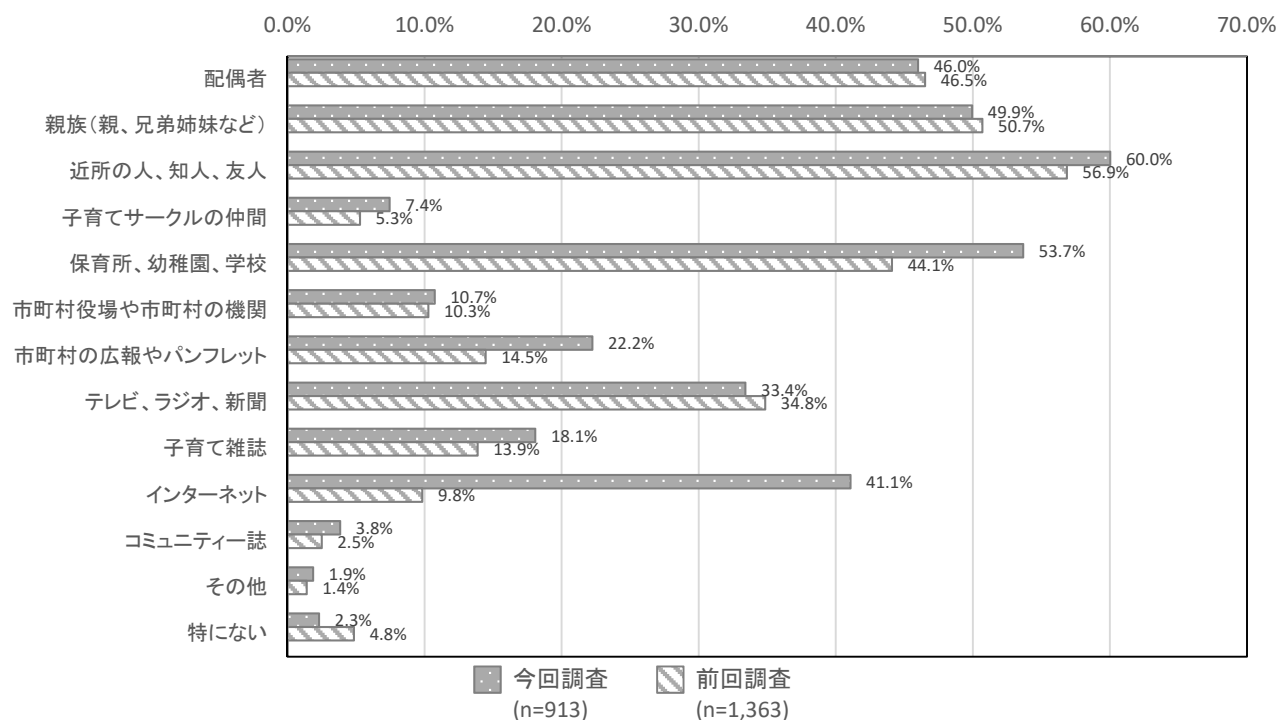
		サンプル数	配偶者	自分や配偶者の親など、年上の親族	自分や配偶者の兄弟姉妹	友人や知人	県や市町村などの公共機関	その他	相談相手はいない
上段:度数 下段:構成比(%)									
今回調査		913	680	489	273	532	45	27	23
前回調査		1,363	965	563	381	658	76	46	56
性別									
男性		309	245	134	64	124	14	6	11
女性		601	433	353	209	406	31	21	12
年齢									
10歳代		0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代		54	42	41	18	35	7	3	0
30歳代		304	249	201	108	201	12	7	4
40歳代		359	266	185	96	207	13	10	11
50歳代		105	72	37	25	55	9	5	4
60歳代		56	35	14	17	24	2	0	0
70歳代以上		29	13	9	7	6	2	2	3
地域別									
鹿児島地区		421	327	242	126	258	18	13	11
南薩地区		65	38	23	16	34	4	0	0
北薩地区		100	78	59	37	56	3	4	4
始良・伊佐地区		138	107	79	41	83	4	5	1
大隅地区		111	75	53	34	60	12	3	2
熊毛地区		25	17	12	7	15	2	0	1
大島地区		50	36	19	11	24	2	2	4

問30 あなたは、子育てに関する情報をどのように入手していますか。なお、子育てを既に終了の方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

子育てに関する情報をどのように入手しているかについては、「近所の人、知人、友人」が60.0%で最も多く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が53.7%、「親族(親、兄弟姉妹など)」が49.9%となっている。

性別でみると、男性は「配偶者」が73.5%で最も多く、女性は「近所の人、知人、友人」が67.9%で最も多くなっている。

前回調査と比較すると「インターネット」の割合が31.3ポイント増加している。

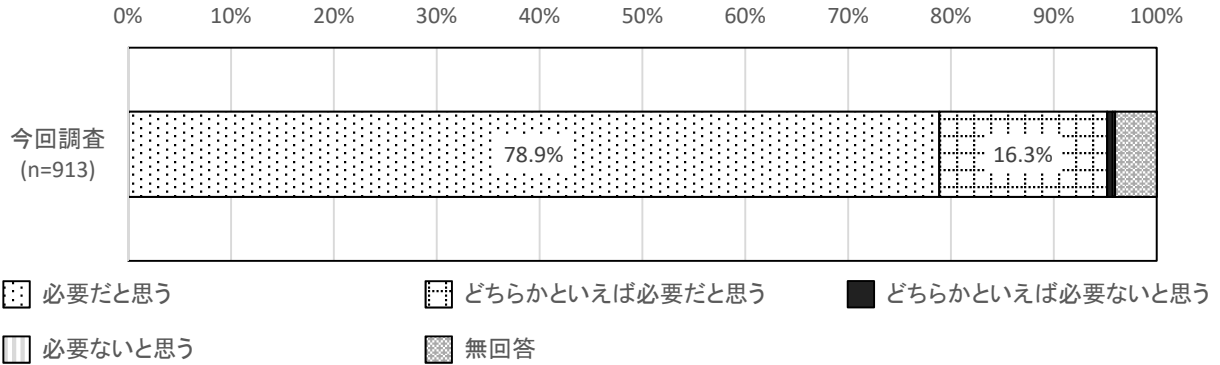


	サンプル数	構成比(%)												
		配偶者	親族(親、兄弟姉妹など)	近所の人、知人、友人	子育てサークルの仲間	保育所、幼稚園、学校	市町村役場や市町村の機関	市町村の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌	インターネット	コミュニティー誌	その他	特にない
今回調査	913	420	456	548	68	490	98	203	305	165	375	35	17	21
前回調査	1,363	634	691	775	72	601	140	197	475	189	134	34	19	66
性別														
男性	309	227	135	137	13	125	34	56	90	40	106	11	4	9
女性	601	192	318	408	55	365	64	146	215	124	267	24	13	12
年齢														
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	54	26	42	37	5	21	8	13	23	19	41	2	2	0
30歳代	304	140	173	192	27	179	35	79	100	57	159	10	4	5
40歳代	359	173	168	218	29	205	30	82	116	54	152	20	6	10
50歳代	105	44	41	61	6	55	15	22	38	26	20	1	4	1
60歳代	56	23	24	25	1	21	5	4	21	7	3	1	0	1
70歳代以上	29	12	6	12	0	7	5	3	7	1	0	1	0	3
地域別														
鹿児島地区	421	193	225	282	32	230	34	118	160	89	197	21	10	8
南薩地区	65	26	27	40	3	34	7	5	18	8	19	1	0	2
北薩地区	100	47	56	60	8	58	7	17	34	19	35	1	1	4
始良・伊佐地区	138	65	60	73	11	73	15	23	39	26	56	4	2	4
大隅地区	111	59	55	67	9	59	21	23	33	13	38	5	2	2
熊本地区	25	10	11	16	2	8	5	8	8	2	7	1	1	0
大島地区	50	20	21	27	3	26	8	9	13	8	21	2	1	1

問31 あなたは、男性が子育てに積極的に関わることについてどう思いますか。(〇はひとつ)

男性が子育てに積極的に関わることについては、「必要だと思う」が78.9%、「どちらかといえば必要だと思う」が16.3%となっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「必要だと思う」と回答した割合は高い傾向にある。

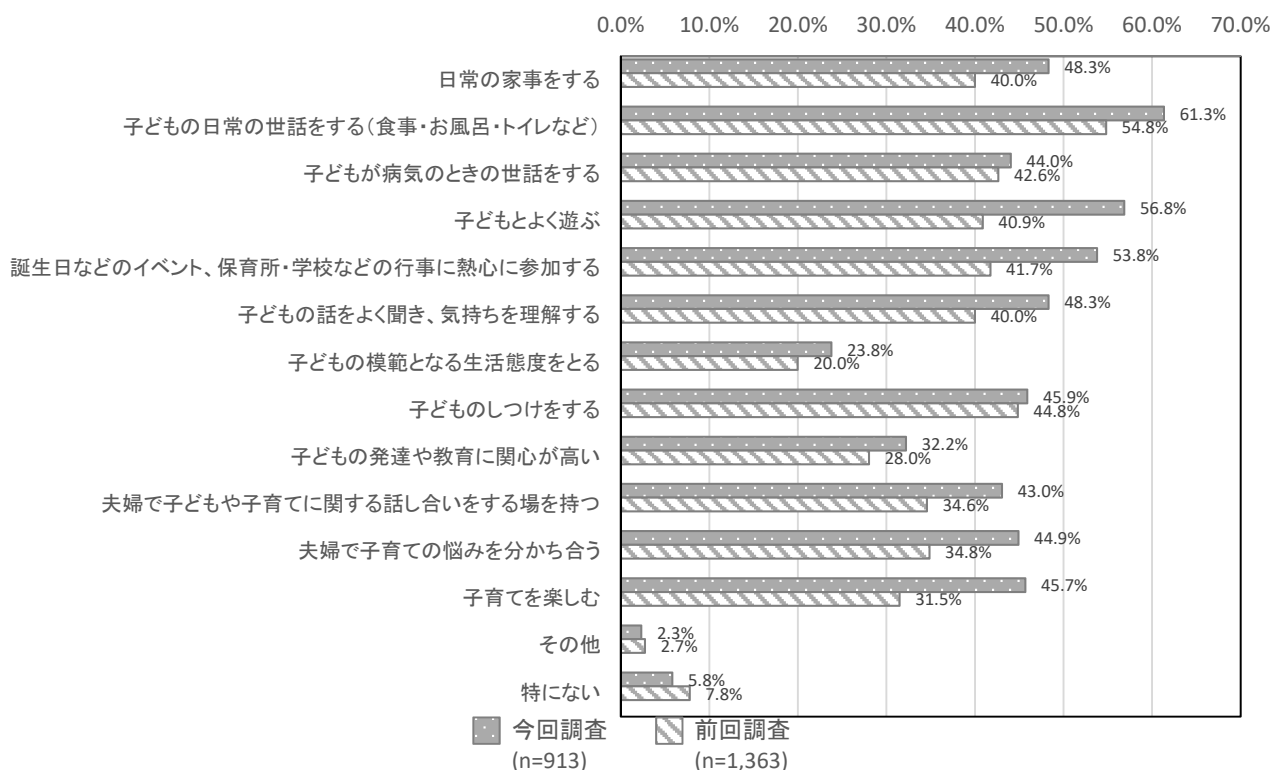


		サンプル数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要ないと思う	必要ないと思う	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		913	720	149	5	2	37
		100.0%	78.9%	16.3%	0.5%	0.2%	4.1%
性別	男性	309	222	68	1	2	16
		100.0%	71.8%	22.0%	0.3%	0.6%	5.2%
女性	601	496	80	4	0	21	
		100.0%	82.5%	13.3%	0.7%	0.0%	3.5%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	49	2	0	0	3
		100.0%	90.7%	3.7%	0.0%	0.0%	5.6%
	30歳代	304	258	41	0	0	5
		100.0%	84.9%	13.5%	0.0%	0.0%	1.6%
	40歳代	359	278	65	2	1	13
		100.0%	77.4%	18.1%	0.6%	0.3%	3.6%
	50歳代	105	74	20	2	0	9
	100.0%	70.5%	19.0%	1.9%	0.0%	8.6%	
60歳代	56	44	9	0	0	3	
		100.0%	78.6%	16.1%	0.0%	0.0%	5.4%
70歳代以上	29	14	10	0	1	4	
	100.0%	48.3%	34.5%	0.0%	3.4%	13.8%	
地域別	鹿児島地区	421	333	78	1	0	9
		100.0%	79.1%	18.5%	0.2%	0.0%	2.1%
	南薩地区	65	49	8	0	0	8
		100.0%	75.4%	12.3%	0.0%	0.0%	12.3%
	北薩地区	100	81	13	2	0	4
		100.0%	81.0%	13.0%	2.0%	0.0%	4.0%
	始良・伊佐地区	138	112	19	1	0	6
		100.0%	81.2%	13.8%	0.7%	0.0%	4.3%
大隅地区	111	83	21	1	1	5	
	100.0%	74.8%	18.9%	0.9%	0.9%	4.5%	
熊毛地区	25	19	3	0	0	3	
	100.0%	76.0%	12.0%	0.0%	0.0%	12.0%	
大島地区	50	40	7	0	1	2	
	100.0%	80.0%	14.0%	0.0%	2.0%	4.0%	

問3 2 あなたの配偶者の育児への関わり方についておたずねします。次の項目についてあなたは配偶者のどのような点を評価しますか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

配偶者の育児への関わり方については、「子どもの日常の世話をする」が61.3%で最も多く、次いで「子どもとよく遊ぶ」が56.8%、「誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加する」が53.8%となっている。

前回調査と比較すると「その他」「特にない」を除くすべての項目で前回よりも割合が高くなっている。

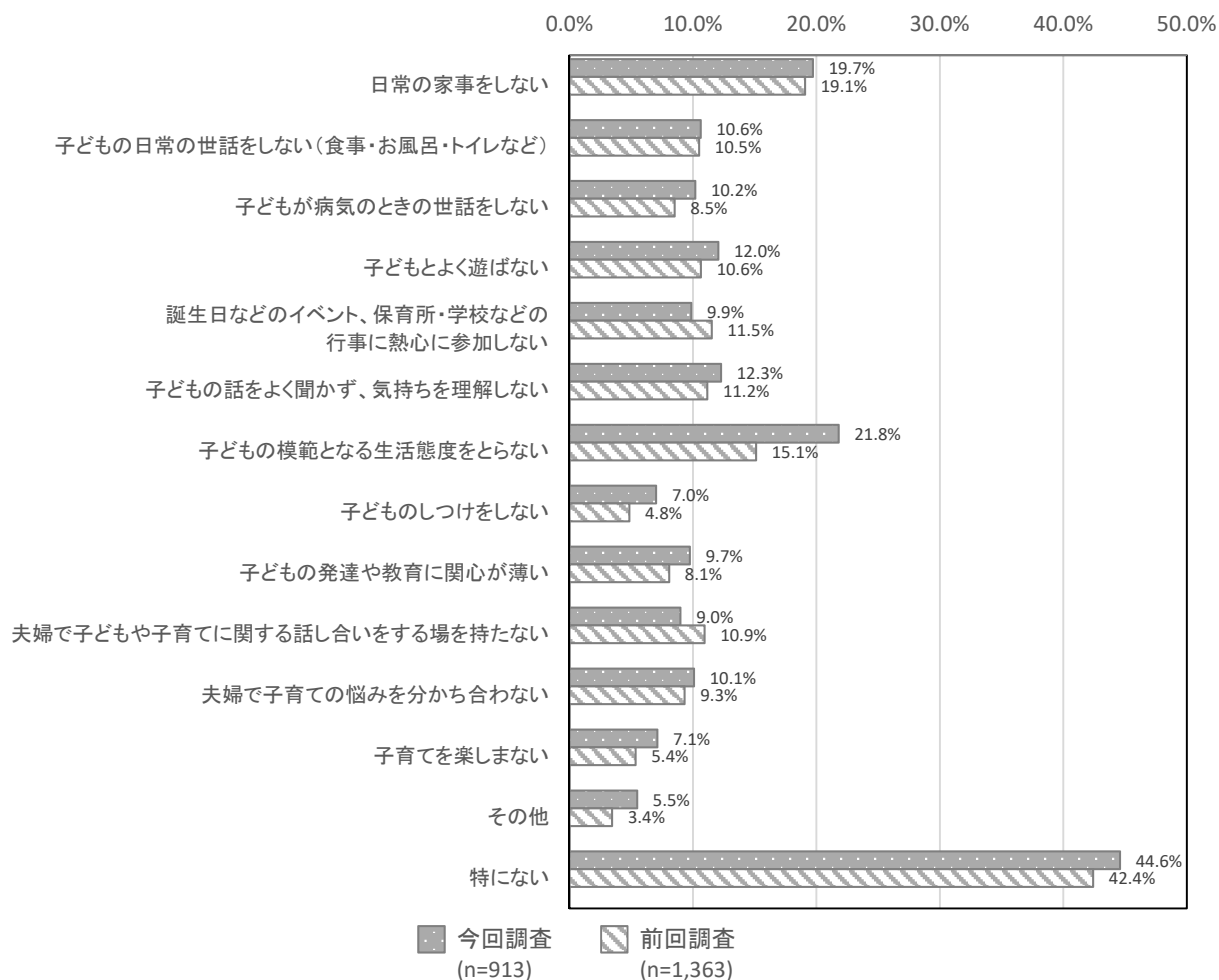


上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	日常の家事をする	子どもの日常の世話をする(食事・お風呂・トイレなど)	子どもが病気のときの世話をする	子どもとよく遊ぶ	誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加する	子どもの話をよく聞き、気持ちを理解する	子どもの模範となる生活態度をとる	子どものしつけをする	子どもの発達や教育に関心が高い	夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持つ	夫婦で子育ての悩みを分かち合う	子育てを楽しむ	その他	特にない		
																今回調査	前回調査
今回調査	913	441	560	402	519	491	441	217	419	294	393	410	417	21	53		
前回調査	1,363	545	747	581	557	569	545	272	611	382	471	475	429	37	106		
性別																	
男性	309	220	290	220	187	206	195	107	197	154	154	171	188	3	5		
女性	601	221	260	200	332	283	246	109	222	140	238	238	248	18	47		
年齢																	
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20歳代	54	28	40	21	37	27	24	14	25	22	24	27	31	1	4		
30歳代	304	165	208	141	200	178	149	72	147	102	145	146	174	10	14		
40歳代	359	179	214	162	192	195	182	86	166	109	153	156	154	6	23		
50歳代	105	38	57	41	48	46	46	25	41	36	38	49	34	4	6		
60歳代	56	19	30	23	30	31	25	12	26	17	23	23	16	0	3		
70歳代以上	29	10	8	12	9	11	11	6	13	8	8	7	6	0	2		
地域別																	
鹿児島地区	421	215	289	191	251	235	221	115	198	147	197	204	214	6	19		
南薩地区	65	20	38	28	37	33	27	17	35	19	24	27	28	3	3		
北薩地区	100	48	69	45	67	48	46	23	37	31	38	45	45	0	2		
始良・伊佐地区	138	68	78	54	68	70	63	20	59	36	59	57	55	8	13		
大隅地区	111	50	64	51	58	56	47	25	56	36	44	49	44	3	10		
熊毛地区	25	11	11	6	10	13	14	5	10	9	5	5	9	0	3		
大島地区	50	27	30	27	26	34	21	11	23	16	23	22	22	1	3		

問33 あなたが配偶者の育児への関わり方について不満を感じている点についておたずねします。あなたが配偶者に対して不満を感じている点はなんですか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

配偶者への育児の関わり方に不満を感じる点については、「特にない」が44.6%で最も多く、次いで「子どもの模範となる生活態度をとらない」が21.8%、「日常の家事をしない」が19.7%、「子どもの話をよく聞かず、気持ちを理解しない」が12.3%となっている。

前回調査と比較すると「子どもの模範となる生活態度をとらない」の割合が6.7ポイント増加している。

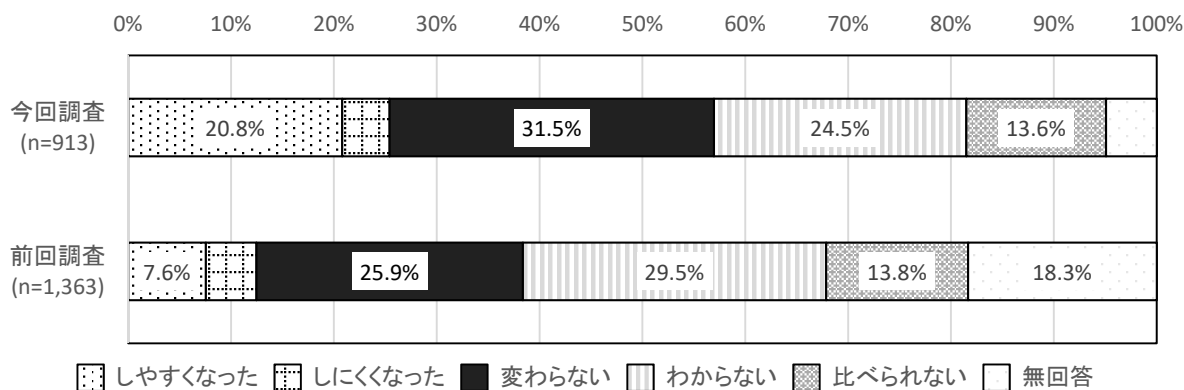


		サンプル数	日常の家事をしない	子どもの日常の世話をしない(食事・お風呂・トイレなど)	子どもが病気のときの世話をしない	子どもとよく遊ばない	誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加しない	子どもの話をよく聞かず、気持ちを理解しない	子どもの模範となる生活態度をとらない	子どものしつけをしない	子どもの発達や教育に関心が薄い	夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持たない	夫婦で子育ての悩みを分かち合わない	子育てを楽しまない	その他	特になし
上段:度数 下段:構成比(%)																
今回調査		913	180	97	93	110	90	112	199	64	89	82	92	65	50	407
		-	19.7%	10.6%	10.2%	12.0%	9.9%	12.3%	21.8%	7.0%	9.7%	9.0%	10.1%	7.1%	5.5%	44.6%
前回調査		1,363	260	143	116	145	157	152	206	66	110	149	127	73	47	578
		-	19.1%	10.5%	8.5%	10.6%	11.5%	11.2%	15.1%	4.8%	8.1%	10.9%	9.3%	5.4%	3.4%	42.4%
性別	男性	309	14	4	2	17	6	16	33	10	10	14	13	17	6	206
		-	4.5%	1.3%	0.6%	5.5%	1.9%	5.2%	10.7%	3.2%	3.2%	4.5%	4.2%	5.5%	1.9%	66.7%
女性	601	165	91	89	93	84	84	96	165	54	79	68	79	48	44	200
		-	27.5%	15.1%	14.8%	15.5%	14.0%	16.0%	27.5%	9.0%	13.1%	11.3%	13.1%	8.0%	7.3%	33.3%
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	14	4	4	5	2	4	12	0	4	3	4	1	3	23
		-	25.9%	7.4%	7.4%	9.3%	3.7%	7.4%	22.2%	0.0%	7.4%	5.6%	7.4%	1.9%	5.6%	42.6%
	30歳代	304	55	30	31	31	22	32	75	28	27	25	31	23	28	141
		-	18.1%	9.9%	10.2%	10.2%	7.2%	10.5%	24.7%	9.2%	8.9%	8.2%	10.2%	7.6%	9.2%	46.4%
	40歳代	359	76	42	38	51	45	50	84	26	35	36	43	25	16	151
		-	21.2%	11.7%	10.6%	14.2%	12.5%	13.9%	23.4%	7.2%	9.7%	10.0%	12.0%	7.0%	4.5%	42.1%
	50歳代	105	20	13	10	15	12	14	16	7	13	10	9	6	2	50
	-	19.0%	12.4%	9.5%	14.3%	11.4%	13.3%	15.2%	6.7%	12.4%	9.5%	8.6%	5.7%	1.9%	47.6%	
60歳代	56	9	5	6	2	4	8	8	2	6	3	3	5	1	28	
	-	16.1%	8.9%	10.7%	3.6%	7.1%	14.3%	14.3%	3.6%	10.7%	5.4%	5.4%	8.9%	1.8%	50.0%	
70歳代以上	29	5	2	2	4	4	3	3	0	2	4	1	4	0	11	
	-	17.2%	6.9%	6.9%	13.8%	13.8%	10.3%	10.3%	0.0%	6.9%	13.8%	3.4%	13.8%	0.0%	37.9%	
地域別	鹿児島地区	421	91	49	54	55	49	58	102	33	48	39	44	33	25	189
		-	21.6%	11.6%	12.8%	13.1%	11.6%	13.8%	24.2%	7.8%	11.4%	9.3%	10.5%	7.8%	5.9%	44.9%
	南薩地区	65	9	7	4	3	4	7	11	5	4	5	3	2	3	28
		-	13.8%	10.8%	6.2%	4.6%	6.2%	10.8%	16.9%	7.7%	6.2%	7.7%	4.6%	3.1%	4.6%	43.1%
	北薩地区	100	19	5	4	7	5	10	21	6	11	8	10	3	4	46
		-	19.0%	5.0%	4.0%	7.0%	5.0%	10.0%	21.0%	6.0%	11.0%	8.0%	10.0%	3.0%	4.0%	46.0%
	始良・伊佐地区	138	28	16	15	19	18	9	26	9	10	12	10	12	9	64
		-	20.3%	11.6%	10.9%	13.8%	13.0%	6.5%	18.8%	6.5%	7.2%	8.7%	7.2%	8.7%	6.5%	46.4%
大隅地区	111	24	7	7	14	8	14	23	5	9	13	15	6	5	51	
	-	21.6%	6.3%	6.3%	12.6%	7.2%	12.6%	20.7%	4.5%	8.1%	11.7%	13.5%	5.4%	4.5%	45.9%	
熊毛地区	25	3	5	4	5	2	3	4	3	1	2	5	2	1	9	
	-	12.0%	20.0%	16.0%	20.0%	8.0%	12.0%	16.0%	12.0%	4.0%	8.0%	20.0%	8.0%	4.0%	36.0%	
大島地区	50	6	8	5	7	4	10	11	3	6	2	5	7	3	19	
	-	12.0%	16.0%	10.0%	14.0%	8.0%	20.0%	22.0%	6.0%	12.0%	4.0%	10.0%	14.0%	6.0%	38.0%	

問34 あなたご自身にとって、以前（3年ほど前もしくはあなたご自身が子育てをされていた時期）と比べて、子育てはしやすくなりましたか。（〇はひとつ）

以前と比べ子育てがしやすくなったかについては、「変わらない」が31.5%で最も多く、次いで「わからない」が24.5%、「しやすくなった」が20.8%となっている。

前回調査と比較すると、「しやすくなった」と回答した割合は13.2ポイント増加している。



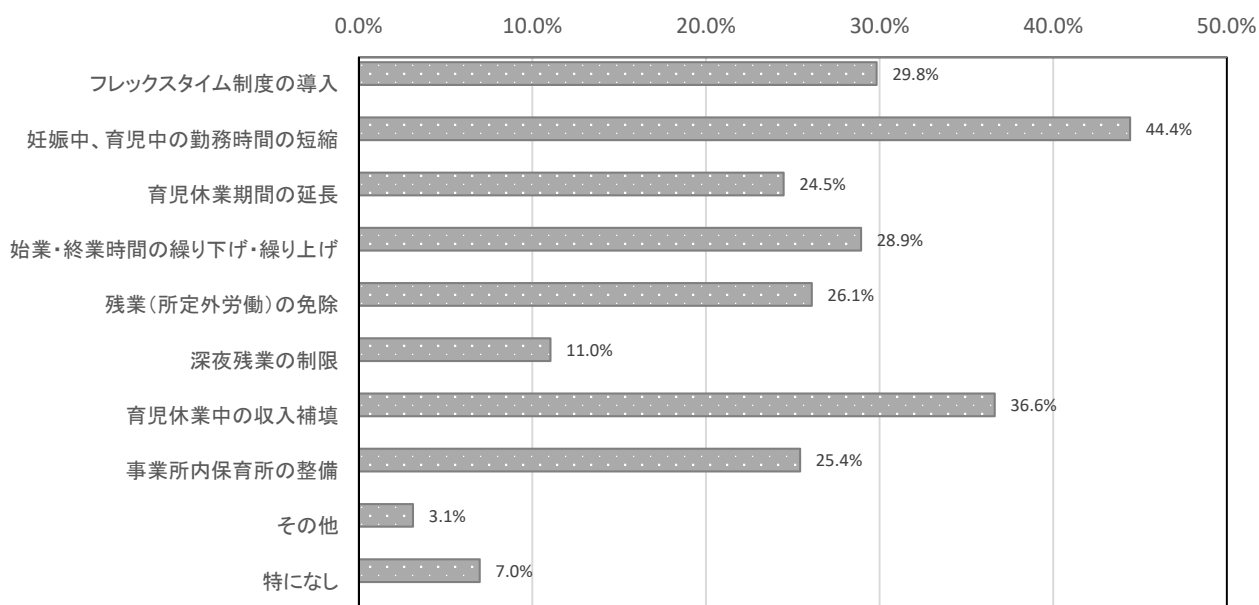
しやすくなった しにくくなった 変わらない わからない 比べられない 無回答

		サンプル数	しやすくなった	しにくくなった	変わらない	わからない	比べられない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		913	190	42	288	224	124	45
前回調査		1,363	103	67	353	402	188	250
性別	男性	309	43	18	118	78	33	19
	女性	601	147	24	169	144	91	26
年齢	10歳代	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代	54	5	1	10	17	16	5
	30歳代	304	61	11	115	64	45	8
	40歳代	359	84	15	119	93	35	13
	50歳代	105	28	6	28	25	9	9
	60歳代	56	8	8	12	12	13	3
	70歳代以上	29	4	1	2	10	5	7
地域別	鹿児島地区	421	101	20	132	98	59	11
	南薩地区	65	9	2	15	17	13	9
	北薩地区	100	16	6	32	29	12	5
	始良・伊佐地区	138	30	5	40	42	14	7
	大隅地区	111	18	5	43	23	15	7
	熊毛地区	25	3	1	7	7	4	3
	大島地区	50	12	2	19	7	7	3

問35 あなたは、子育て支援のために、企業に整備してほしい制度は何だと思いますか。なお、現在働いていない方も働いていると想定してお答えください。(〇は3つまで)

子育て支援のため企業に整備して欲しい制度については、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が44.4%で最も多く、次いで「育児休業中の収入補填」が36.6%、「フレックスタイム制度の導入」が29.8%となっている。

性別でみると、男性は「育児休業中の収入補填」が36.8%で最も多く、女性は「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が49.9%で最も多くなっている。



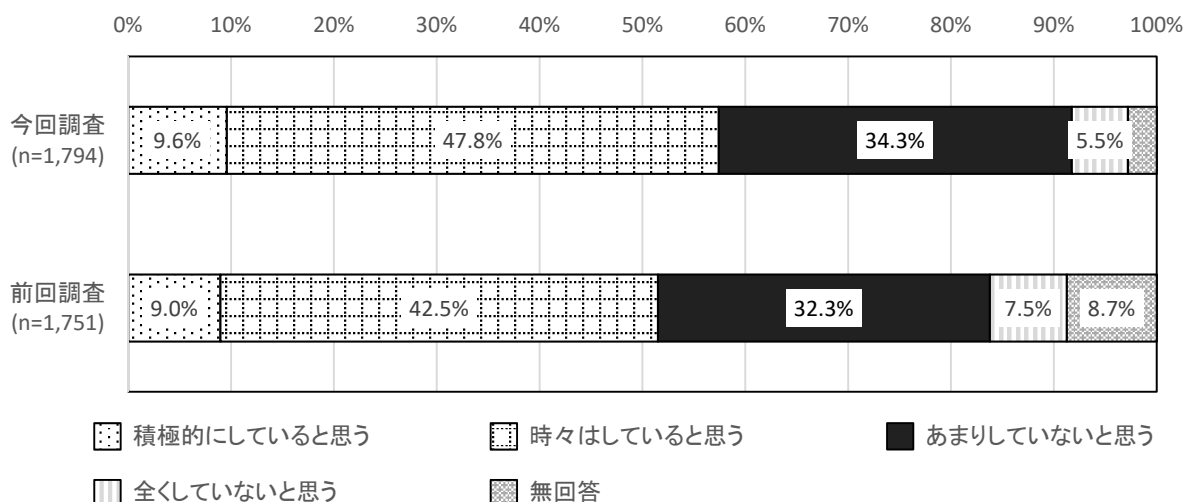
■ 今回調査
(n=1,794)

		サンプル数	フレックスタイム制度の導入	妊娠中、育児中の勤務時間の短縮	育児休業期間の延長	始業・終業時間の繰り下げ	残業(所定外労働)の免除	深夜残業の制限	育児休業中の収入補填	事業所内保育所の整備	その他	特になし
上段: 度数 下段: 構成比(%)												
今回調査		1,794	535	797	439	519	468	198	657	456	56	125
		-	29.8%	44.4%	24.5%	28.9%	26.1%	11.0%	36.6%	25.4%	3.1%	7.0%
性別	男性	704	220	256	170	196	186	94	259	147	21	69
		-	31.3%	36.4%	24.1%	27.8%	26.4%	13.4%	36.8%	20.9%	3.0%	9.8%
女性	1,076	313	537	263	321	277	102	395	309	34	55	
		-	29.1%	49.9%	24.4%	29.8%	25.7%	9.5%	36.7%	28.7%	3.2%	5.1%
年齢	10歳代	150	32	60	53	36	55	25	61	28	3	9
		-	21.3%	40.0%	35.3%	24.0%	36.7%	16.7%	40.7%	18.7%	2.0%	6.0%
	20歳代	445	130	233	145	104	135	53	191	112	9	18
		-	29.2%	52.4%	32.6%	23.4%	30.3%	11.9%	42.9%	25.2%	2.0%	4.0%
	30歳代	460	153	210	94	159	111	36	153	130	17	25
		-	33.3%	45.7%	20.4%	34.6%	24.1%	7.8%	33.3%	28.3%	3.7%	5.4%
	40歳代	486	160	183	93	157	104	45	168	113	20	53
		-	32.9%	37.7%	19.1%	32.3%	21.4%	9.3%	34.6%	23.3%	4.1%	10.9%
50歳代	134	44	58	28	37	33	17	37	38	6	12	
	-	32.8%	43.3%	20.9%	27.6%	24.6%	12.7%	27.6%	28.4%	4.5%	9.0%	
60歳代	63	9	36	13	12	18	10	26	22	0	2	
	-	14.3%	57.1%	20.6%	19.0%	28.6%	15.9%	41.3%	34.9%	0.0%	3.2%	
70歳代以上	32	4	10	7	9	5	7	9	7	0	5	
	-	12.5%	31.3%	21.9%	28.1%	15.6%	21.9%	28.1%	21.9%	0.0%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	289	397	235	275	255	107	318	235	32	55
		-	31.7%	43.6%	25.8%	30.2%	28.0%	11.7%	34.9%	25.8%	3.5%	6.0%
	南薩地区	117	21	58	22	33	29	15	40	27	3	11
		-	17.9%	49.6%	18.8%	28.2%	24.8%	12.8%	34.2%	23.1%	2.6%	9.4%
	北薩地区	187	57	91	47	42	44	23	62	53	2	15
		-	30.5%	48.7%	25.1%	22.5%	23.5%	12.3%	33.2%	28.3%	1.1%	8.0%
	始良・伊佐地区	239	65	110	61	74	64	21	79	64	6	19
		-	27.2%	46.0%	25.5%	31.0%	26.8%	8.8%	33.1%	26.8%	2.5%	7.9%
大隅地区	218	65	91	54	55	54	19	104	48	8	17	
	-	29.8%	41.7%	24.8%	25.2%	24.8%	8.7%	47.7%	22.0%	3.7%	7.8%	
熊毛地区	34	7	13	2	17	6	3	9	10	1	4	
	-	20.6%	38.2%	5.9%	50.0%	17.6%	8.8%	26.5%	29.4%	2.9%	11.8%	
大島地区	78	29	34	15	21	14	9	41	18	3	4	
	-	37.2%	43.6%	19.2%	26.9%	17.9%	11.5%	52.6%	23.1%	3.8%	5.1%	

問36 あなたは、鹿児島県における男性の育児への関わり方について、どのような印象をお持ちですか。(〇はひとつ)

鹿児島県における男性の育児への関わり方については、「時々はしていると思う」が47.8%で最も多く、次いで「あまりしていないと思う」が34.3%、「積極的にしていると思う」が9.6%、「全くしていないと思う」が5.5%の順となっている。

前回調査と比較すると、「している(「積極的にしていると思う」+「時々はしていると思う)」と回答した割合は5.9ポイント増加している。



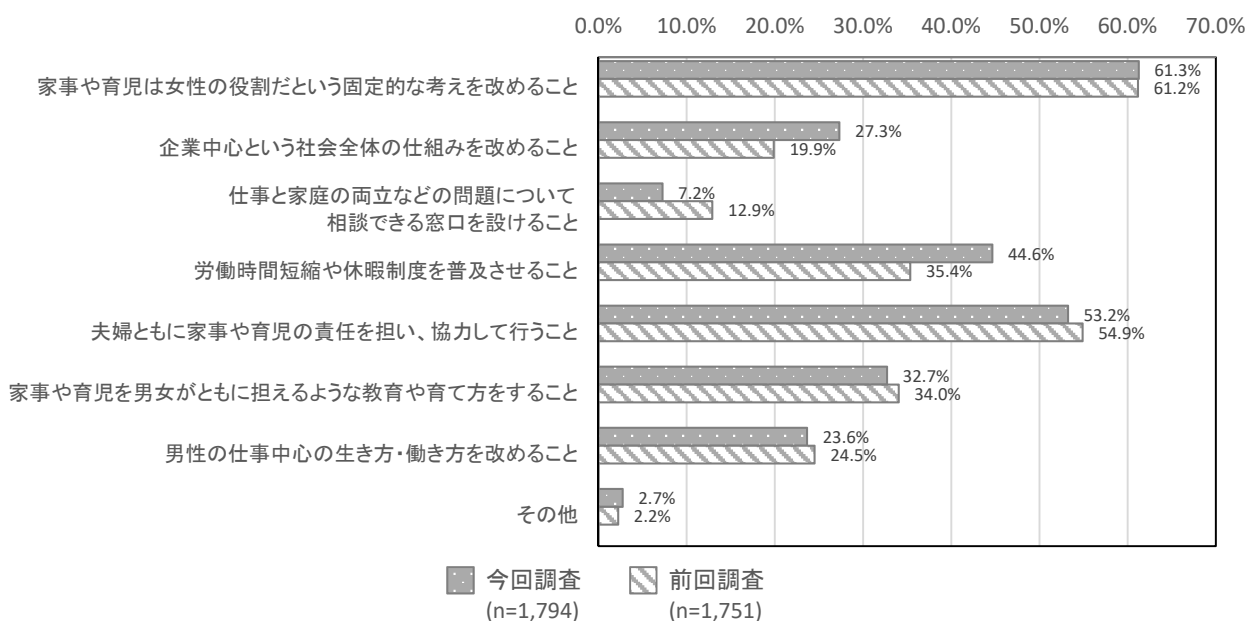
積極的にしていると思う
 時々はしていると思う
 あまりしていないと思う
 全くしていないと思う
 無回答

		サンプル数	積極的にしていると思う	時々はしていると思う	あまりしていないと思う	全くしていないと思う	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	172	858	616	98	50
前回調査		1,751	157	745	565	131	153
性別	男性	704	76	318	242	48	20
	女性	1,076	95	534	368	49	30
年齢							
10歳代		150	15	66	53	13	3
20歳代		445	42	219	147	31	6
30歳代		460	54	223	147	20	16
40歳代		486	30	239	174	27	16
50歳代		134	12	55	59	4	4
60歳代		63	9	33	18	3	0
70歳代以上		32	9	10	10	0	3
地域別	鹿児島地区	911	79	421	334	57	20
	南薩地区	117	11	60	37	3	6
	北薩地区	187	16	91	62	12	6
	始良・伊佐地区	239	26	115	76	17	5
	大隅地区	218	26	113	73	4	2
	熊毛地区	34	6	15	6	2	5
	大島地区	78	6	38	25	3	6
	鹿児島地区	911	79	421	334	57	20

問37 あなたは、今後、男性が女性とともに積極的に子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

今後、男性が積極的に子育てしていくのにどのようなことが必要かについては、「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が61.3%で最も多く、次いで「夫婦ともに家事や育児の責任を担い、協力して行うこと」が53.2%、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が44.6%となっている。

前回調査と比較すると、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が9.2ポイント、「企業中心という社会全体の仕組みを改めること」が7.4ポイント増加している。

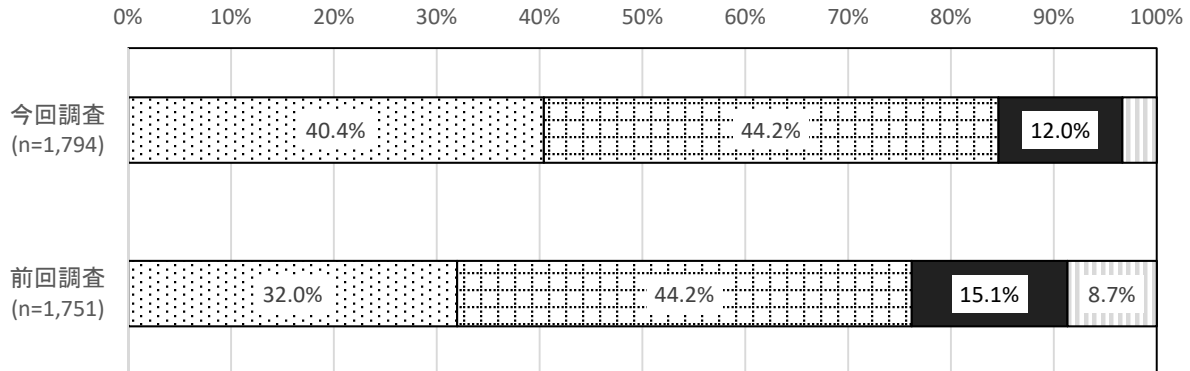


	サンプル数	改めたい項目の割合 (%)								
		家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること	企業中心という社会全体の仕組みを改めること	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	夫婦ともに家事や育児の責任を担い、協力して行うこと	家事や育児を男女がともに担えるような教育や育て方をすること	男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること	その他	
上段: 度数	1,794	1,099	490	130	801	955	587	424	49	
下段: 構成比 (%)	-	61.3%	27.3%	7.2%	44.6%	53.2%	32.7%	23.6%	2.7%	
今回調査	1,751	1,071	348	226	619	961	596	429	39	
前回調査	-	61.2%	19.9%	12.9%	35.4%	54.9%	34.0%	24.5%	2.2%	
性別	704	375	229	51	353	331	203	165	25	
男性	-	53.3%	32.5%	7.2%	50.1%	47.0%	28.8%	23.4%	3.6%	
女性	1,076	715	260	76	444	617	377	256	23	
	-	66.4%	24.2%	7.1%	41.3%	57.3%	35.0%	23.8%	2.1%	
年齢	150	98	33	15	72	81	49	25	4	
10歳代	-	65.3%	22.0%	10.0%	48.0%	54.0%	32.7%	16.7%	2.7%	
20歳代	445	281	122	32	231	252	150	82	8	
	-	63.1%	27.4%	7.2%	51.9%	56.6%	33.7%	18.4%	1.8%	
30歳代	460	272	125	28	220	231	156	123	12	
	-	59.1%	27.2%	6.1%	47.8%	50.2%	33.9%	26.7%	2.6%	
40歳代	486	299	150	33	191	239	150	133	18	
	-	61.5%	30.9%	6.8%	39.3%	49.2%	30.9%	27.4%	3.7%	
50歳代	134	80	39	11	43	74	49	31	3	
	-	59.7%	29.1%	8.2%	32.1%	55.2%	36.6%	23.1%	2.2%	
60歳代	63	39	11	7	25	45	18	17	0	
	-	61.9%	17.5%	11.1%	39.7%	71.4%	28.6%	27.0%	0.0%	
70歳代以上	32	19	6	2	11	20	7	5	1	
	-	59.4%	18.8%	6.3%	34.4%	62.5%	21.9%	15.6%	3.1%	
地域別	911	554	280	72	425	451	313	224	24	
鹿児島地区	-	60.8%	30.7%	7.9%	46.7%	49.5%	34.4%	24.6%	2.6%	
南薩地区	117	75	25	10	43	70	40	24	1	
	-	64.1%	21.4%	8.5%	36.8%	59.8%	34.2%	20.5%	0.9%	
北薩地区	187	113	43	11	86	102	58	36	4	
	-	60.4%	23.0%	5.9%	46.0%	54.5%	31.0%	19.3%	2.1%	
始良・伊佐地区	239	149	62	19	105	140	72	49	9	
	-	62.3%	25.9%	7.9%	43.9%	58.6%	30.1%	20.5%	3.8%	
大隅地区	218	140	48	11	94	127	66	57	8	
	-	64.2%	22.0%	5.0%	43.1%	58.3%	30.3%	26.1%	3.7%	
熊毛地区	34	23	6	3	12	20	8	11	0	
	-	67.6%	17.6%	8.8%	35.3%	58.8%	23.5%	32.4%	0.0%	
大島地区	78	41	22	3	34	39	25	20	2	
	-	52.6%	28.2%	3.8%	43.6%	50.0%	32.1%	25.6%	2.6%	

問38 あなたは、男性も育児休業制度を利用できることを知っていますか。(〇はひとつ)

男性も育児休業制度を利用できることを知っているかについては、「配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた」が44.2%で最も多く、次いで「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が40.4%、「男性が取得できるとは知らなかった」が12.0%の順となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」と回答した割合は8.4ポイント増加している。



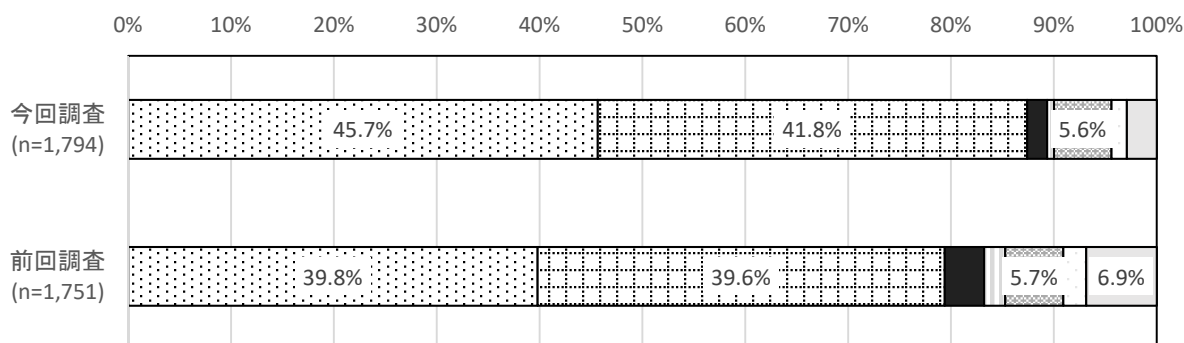
- 配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた
- 配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた
- 男性が取得できるとは知らなかった
- 無回答

		サンプル数	知合配 って偶 ても者 い取が た得働 でい きる いこ ない とい を場	てに配 いの偶 たみ者 取が 得働 でい きる いる と思 場合	ら男 性が 取得 でき ると は知	無 回 答
上段:度数 下段:構成比(%)						
今回調査		1,794	725 40.4%	793 44.2%	216 12.0%	60 3.3%
前回調査		1,751	560 32.0%	774 44.2%	265 15.1%	152 8.7%
性別	男性	704	289 41.1%	261 37.1%	127 18.0%	27 3.8%
	女性	1,076	428 39.8%	528 49.1%	87 8.1%	33 3.1%
年齢	10歳代	150	67 44.7%	55 36.7%	21 14.0%	7 4.7%
	20歳代	445	165 37.1%	207 46.5%	61 13.7%	12 2.7%
	30歳代	460	179 38.9%	218 47.4%	52 11.3%	11 2.4%
	40歳代	486	225 46.3%	192 39.5%	51 10.5%	18 3.7%
	50歳代	134	47 35.1%	70 52.2%	10 7.5%	7 5.2%
	60歳代	63	24 38.1%	25 39.7%	13 20.6%	1 1.6%
	70歳代以上	32	9 28.1%	14 43.8%	6 18.8%	3 9.4%
地域別	鹿児島地区	911	389 42.7%	386 42.4%	113 12.4%	23 2.5%
	南薩地区	117	42 35.9%	51 43.6%	16 13.7%	8 6.8%
	北薩地区	187	72 38.5%	87 46.5%	22 11.8%	6 3.2%
	始良・伊佐地区	239	99 41.4%	107 44.8%	27 11.3%	6 2.5%
	大隅地区	218	85 39.0%	102 46.8%	24 11.0%	7 3.2%
	熊毛地区	34	12 35.3%	18 52.9%	2 5.9%	2 5.9%
	大島地区	78	22 28.2%	38 48.7%	10 12.8%	8 10.3%

問39 あなたは、男性が育児休業制度を利用することをどう思いますか。(〇はひとつ)

男性が育児休業制度を利用することをどう思うかについては、「可能な限り取得した方がよい」が45.7%で最も多く、「取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない」が41.8%となっている。

前回調査と比較すると、「可能な限り取得したほうがよい」と回答した割合は、5.9ポイント増加している。



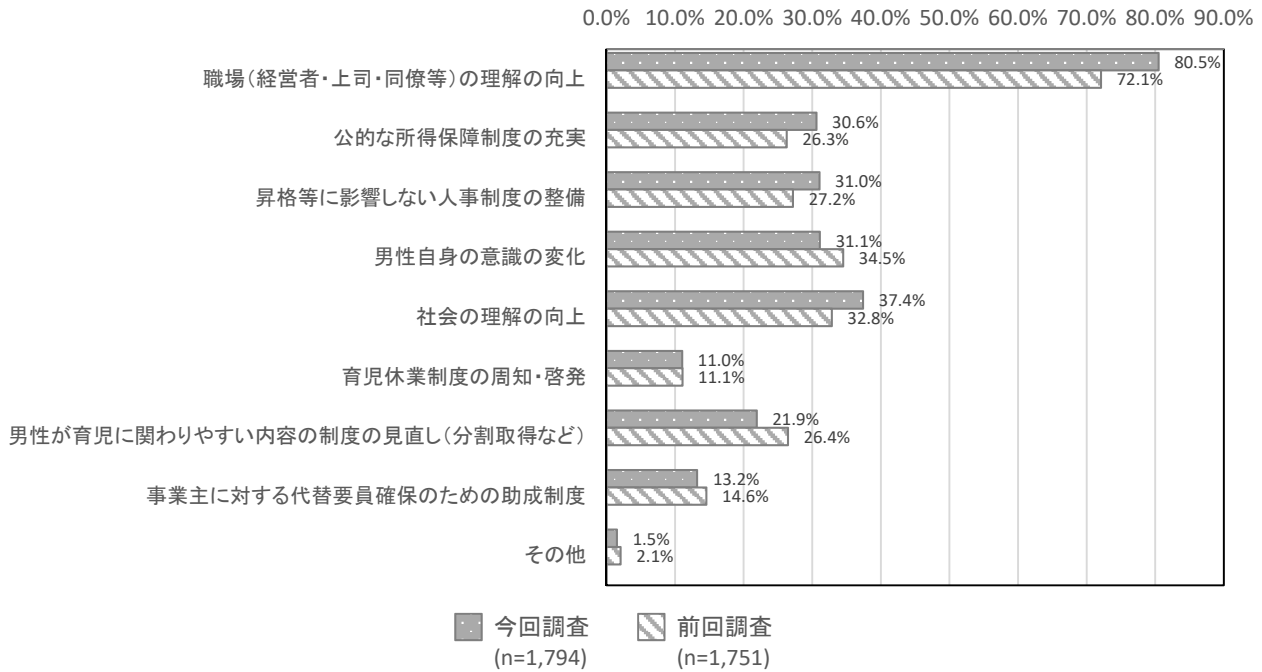
- 可能な限り取得したほうがよい
- 取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない
- あまり取得しない方がよい
- 取得すべきではない
- わからない
- その他
- 無回答

		サンプル数	可能な限り取得したほうがよい	取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない	あまり取得しない方がよい	取得すべきではない	わからない	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)									
今回調査		1,794	819	749	35	12	100	27	52
		100.0%	45.7%	41.8%	2.0%	0.7%	5.6%	1.5%	2.9%
前回調査		1,751	697	693	67	36	99	39	120
		100.0%	39.8%	39.6%	3.8%	2.1%	5.7%	2.2%	6.9%
性別	男性	704	314	283	18	6	46	12	25
		100.0%	44.6%	40.2%	2.6%	0.9%	6.5%	1.7%	3.6%
女性	1,076	494	463	17	6	54	15	27	
		100.0%	45.9%	43.0%	1.6%	0.6%	5.0%	1.4%	2.5%
年齢	10歳代	150	92	41	0	0	9	2	6
		100.0%	61.3%	27.3%	0.0%	0.0%	6.0%	1.3%	4.0%
	20歳代	445	220	179	6	1	23	5	11
		100.0%	49.4%	40.2%	1.3%	0.2%	5.2%	1.1%	2.5%
	30歳代	460	190	215	11	5	24	5	10
		100.0%	41.3%	46.7%	2.4%	1.1%	5.2%	1.1%	2.2%
	40歳代	486	211	202	15	4	30	9	15
		100.0%	43.4%	41.6%	3.1%	0.8%	6.2%	1.9%	3.1%
50歳代	134	63	55	1	0	7	4	4	
	100.0%	47.0%	41.0%	0.7%	0.0%	5.2%	3.0%	3.0%	
60歳代	63	20	36	1	1	3	0	2	
	100.0%	31.7%	57.1%	1.6%	1.6%	4.8%	0.0%	3.2%	
70歳代以上	32	10	16	1	0	2	0	3	
	100.0%	31.3%	50.0%	3.1%	0.0%	6.3%	0.0%	9.4%	
地域別	鹿児島地区	911	444	367	18	5	44	14	19
		100.0%	48.7%	40.3%	2.0%	0.5%	4.8%	1.5%	2.1%
	南薩地区	117	39	54	1	1	9	3	10
		100.0%	33.3%	46.2%	0.9%	0.9%	7.7%	2.6%	8.5%
	北薩地区	187	71	85	11	0	13	2	5
		100.0%	38.0%	45.5%	5.9%	0.0%	7.0%	1.1%	2.7%
	始良・伊佐地区	239	116	95	3	3	15	3	4
		100.0%	48.5%	39.7%	1.3%	1.3%	6.3%	1.3%	1.7%
大隅地区	218	88	108	1	2	11	3	5	
	100.0%	40.4%	49.5%	0.5%	0.9%	5.0%	1.4%	2.3%	
熊毛地区	34	13	14	0	1	4	0	2	
	100.0%	38.2%	41.2%	0.0%	2.9%	11.8%	0.0%	5.9%	
大島地区	78	43	23	1	0	3	1	7	
	100.0%	55.1%	29.5%	1.3%	0.0%	3.8%	1.3%	9.0%	

問40 あなたは、男性の育児休業の取得を促進するには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男性の育児休業の取得を促進するのに何が必要かについては、「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」が80.5%で最も多く、次いで「社会の理解の向上」が37.4%、「男性自身の意識の変化」が31.1%となっている。

前回調査と比較すると、「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」の割合が8.4ポイント増加している。

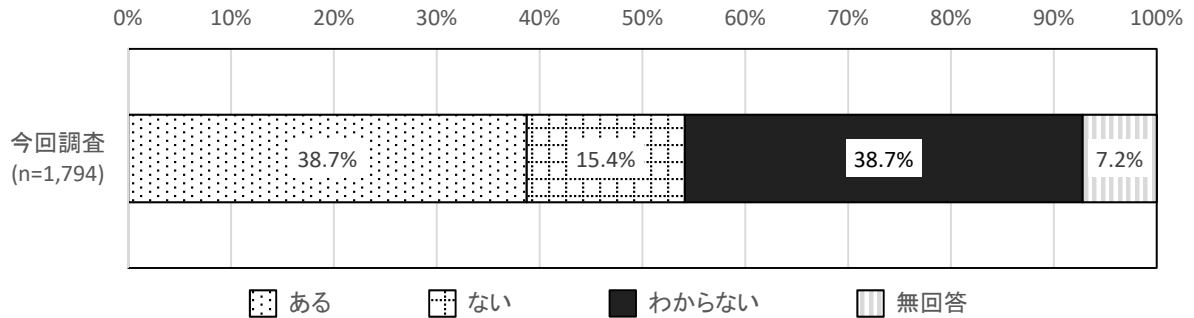


上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上	公的な所得保障制度の充実	昇格等に影響しない人事制度の整備	男性自身の意識の変化	社会の理解の向上	育児休業制度の周知・啓発	男性が育児に関わりやすい内容の制度の見直し(分割取得など)	事業主に対する代替要員確保のための助成制度	その他
今回調査	1,794	1444	549	557	558	671	198	393	237	27
今回調査	-	80.5%	30.6%	31.0%	31.1%	37.4%	11.0%	21.9%	13.2%	1.5%
前回調査	1,751	1262	460	476	604	575	194	463	255	36
前回調査	-	72.1%	26.3%	27.2%	34.5%	32.8%	11.1%	26.4%	14.6%	2.1%
性別										
男性	704	545	242	223	178	271	74	146	99	11
男性	-	77.4%	34.4%	31.7%	25.3%	38.5%	10.5%	20.7%	14.1%	1.6%
女性	1,076	887	304	331	374	398	124	244	134	15
女性	-	82.4%	28.3%	30.8%	34.8%	37.0%	11.5%	22.7%	12.5%	1.4%
年齢										
10歳代	150	121	34	50	56	62	20	26	5	3
10歳代	-	80.7%	22.7%	33.3%	37.3%	41.3%	13.3%	17.3%	3.3%	2.0%
20歳代	445	379	112	145	133	200	59	115	31	4
20歳代	-	85.2%	25.2%	32.6%	29.9%	44.9%	13.3%	25.8%	7.0%	0.9%
30歳代	460	377	158	160	133	173	48	89	77	4
30歳代	-	82.0%	34.3%	34.8%	28.9%	37.6%	10.4%	19.3%	16.7%	0.9%
40歳代	486	376	166	152	151	163	45	94	76	11
40歳代	-	77.4%	34.2%	31.3%	31.1%	33.5%	9.3%	19.3%	15.6%	2.3%
50歳代	134	99	40	31	47	42	12	38	30	2
50歳代	-	73.9%	29.9%	23.1%	35.1%	31.3%	9.0%	28.4%	22.4%	1.5%
60歳代	63	54	20	10	19	14	8	20	8	0
60歳代	-	85.7%	31.7%	15.9%	30.2%	22.2%	12.7%	31.7%	12.7%	0.0%
70歳代以上	32	21	11	5	13	8	6	4	6	0
70歳代以上	-	65.6%	34.4%	15.6%	40.6%	25.0%	18.8%	12.5%	18.8%	0.0%
地域別										
鹿児島地区	911	743	276	300	279	353	99	192	123	13
鹿児島地区	-	81.6%	30.3%	32.9%	30.6%	38.7%	10.9%	21.1%	13.5%	1.4%
南薩地区	117	86	32	28	40	39	19	28	15	2
南薩地区	-	73.5%	27.4%	23.9%	34.2%	33.3%	16.2%	23.9%	12.8%	1.7%
北薩地区	187	153	60	54	47	70	15	47	29	3
北薩地区	-	81.8%	32.1%	28.9%	25.1%	37.4%	8.0%	25.1%	15.5%	1.6%
始良・伊佐地区	239	192	68	83	76	90	20	59	30	3
始良・伊佐地区	-	80.3%	28.5%	34.7%	31.8%	37.7%	8.4%	24.7%	12.6%	1.3%
大隅地区	218	180	75	59	77	83	26	43	18	2
大隅地区	-	82.6%	34.4%	27.1%	35.3%	38.1%	11.9%	19.7%	8.3%	0.9%
熊本地区	34	26	11	10	14	13	3	5	5	0
熊本地区	-	76.5%	32.4%	29.4%	41.2%	38.2%	8.8%	14.7%	14.7%	0.0%
大島地区	78	54	25	19	23	22	15	16	15	3
大島地区	-	69.2%	32.1%	24.4%	29.5%	28.2%	19.2%	20.5%	19.2%	3.8%

問 4 1 あなたのお勤めの会社には育児休業制度の規定がありますか。(〇はひとつ)

会社に育児休業制度の規定があるかについては、「ある」が38.7%、「ない」が15.4%、「わからない」が38.7%となっている。

性別で見ると、男性は「わからない」が42.2%で最も多く、女性は「ある」が42.4%で最も多くなっている。



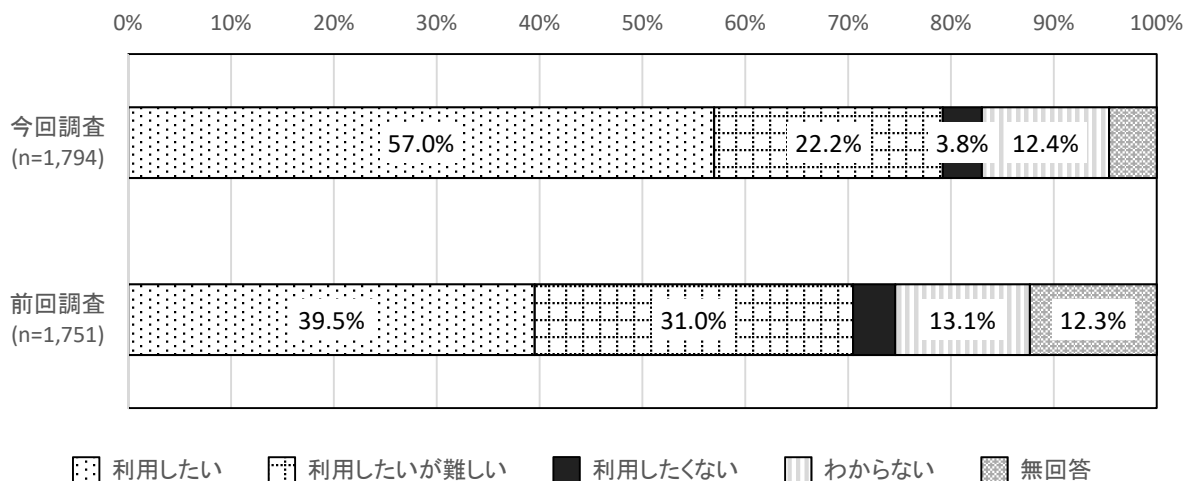
		サンプル数	ある	ない	わからない	無回答
		上段: 度数				
		下段: 構成比 (%)				
今回調査		1,794	695	276	694	129
		100.0%	38.7%	15.4%	38.7%	7.2%
性別	男性	704	235	121	297	51
		100.0%	33.4%	17.2%	42.2%	7.2%
女性	1,076	456	154	388	78	
	100.0%	42.4%	14.3%	36.1%	7.2%	
年齢	10歳代	150	8	8	117	17
		100.0%	5.3%	5.3%	78.0%	11.3%
	20歳代	445	153	45	216	31
		100.0%	34.4%	10.1%	48.5%	7.0%
	30歳代	460	215	74	143	28
		100.0%	46.7%	16.1%	31.1%	6.1%
	40歳代	486	224	94	151	17
		100.0%	46.1%	19.3%	31.1%	3.5%
50歳代	134	67	29	29	9	
	100.0%	50.0%	21.6%	21.6%	6.7%	
60歳代	63	19	11	24	9	
	100.0%	30.2%	17.5%	38.1%	14.3%	
70歳代以上	32	2	9	6	15	
	100.0%	6.3%	28.1%	18.8%	46.0%	
地域別	鹿児島地区	911	342	128	388	55
		100.0%	37.5%	14.1%	42.4%	6.0%
	南薩地区	117	42	19	40	16
		100.0%	35.9%	16.2%	34.2%	13.7%
	北薩地区	187	79	33	61	14
		100.0%	42.2%	17.6%	32.6%	7.5%
	始良・伊佐地区	239	100	38	87	14
		100.0%	41.8%	15.9%	36.4%	5.9%
大隅地区	218	85	38	82	13	
	100.0%	39.0%	17.4%	37.6%	6.0%	
熊毛地区	34	13	3	12	6	
	100.0%	38.2%	8.8%	35.3%	17.6%	
大島地区	78	29	15	24	10	
	100.0%	37.2%	19.2%	30.8%	12.8%	

問4 2 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。現在働いていない人は働いていると想定してお答えください。出産予定がない人は出産すると想定してお答えください。(〇はひとつ)

育児休業制度を利用したいと思うかについては、「利用したい」が 57.0%、「利用したいが難しい」が 22.2% 「利用したくない」が 3.8%、「わからない」が 12.4%となっている。

性別でみると、「利用したい」と回答した女性の割合は、男性を 34.9 ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、「利用したい」と回答した割合は 17.5 ポイント増加している。



利用したい
 利用したいが難しい
 利用したくない
 わからない
 無回答

		サンプル数	利用したい	利用したいが難しい	利用したくない	わからない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		1,794	1022	399	68	222	83
		100.0%	57.0%	22.2%	3.8%	12.4%	4.6%
前回調査		1,751	692	542	72	229	216
		100.0%	39.5%	31.0%	4.1%	13.1%	12.3%
性別	男性	704	254	248	40	127	35
		100.0%	36.1%	35.2%	5.7%	18.0%	5.0%
女性		1,076	764	147	27	91	47
		100.0%	71.0%	13.7%	2.5%	8.5%	4.4%
年齢	10歳代	150	98	19	1	21	11
		100.0%	65.3%	12.7%	0.7%	14.0%	7.3%
	20歳代	445	294	65	17	56	13
		100.0%	66.1%	14.6%	3.8%	12.6%	2.9%
	30歳代	460	269	126	18	32	15
		100.0%	58.5%	27.4%	3.9%	7.0%	3.3%
	40歳代	486	253	122	27	64	20
		100.0%	52.1%	25.1%	5.6%	13.2%	4.1%
50歳代	134	66	39	3	22	4	
	100.0%	49.3%	29.1%	2.2%	16.4%	3.0%	
60歳代	63	25	17	2	14	5	
	100.0%	39.7%	27.0%	3.2%	22.2%	7.9%	
70歳代以上	32	7	3	0	9	13	
	100.0%	21.9%	9.4%	0.0%	28.1%	40.6%	
地域別	鹿児島地区	911	529	215	31	102	34
		100.0%	58.1%	23.6%	3.4%	11.2%	3.7%
	南薩地区	117	54	23	4	23	13
		100.0%	46.2%	19.7%	3.4%	19.7%	11.1%
	北薩地区	187	101	49	6	22	9
		100.0%	54.0%	26.2%	3.2%	11.8%	4.8%
	始良・伊佐地区	239	135	52	13	33	6
		100.0%	56.5%	21.8%	5.4%	13.8%	2.5%
	大隅地区	218	139	34	7	28	10
	100.0%	63.8%	15.6%	3.2%	12.8%	4.6%	
熊毛地区	34	16	6	4	5	3	
	100.0%	47.1%	17.6%	11.8%	14.7%	8.8%	
大島地区	78	44	15	3	8	8	
	100.0%	56.4%	19.2%	3.8%	10.3%	10.3%	

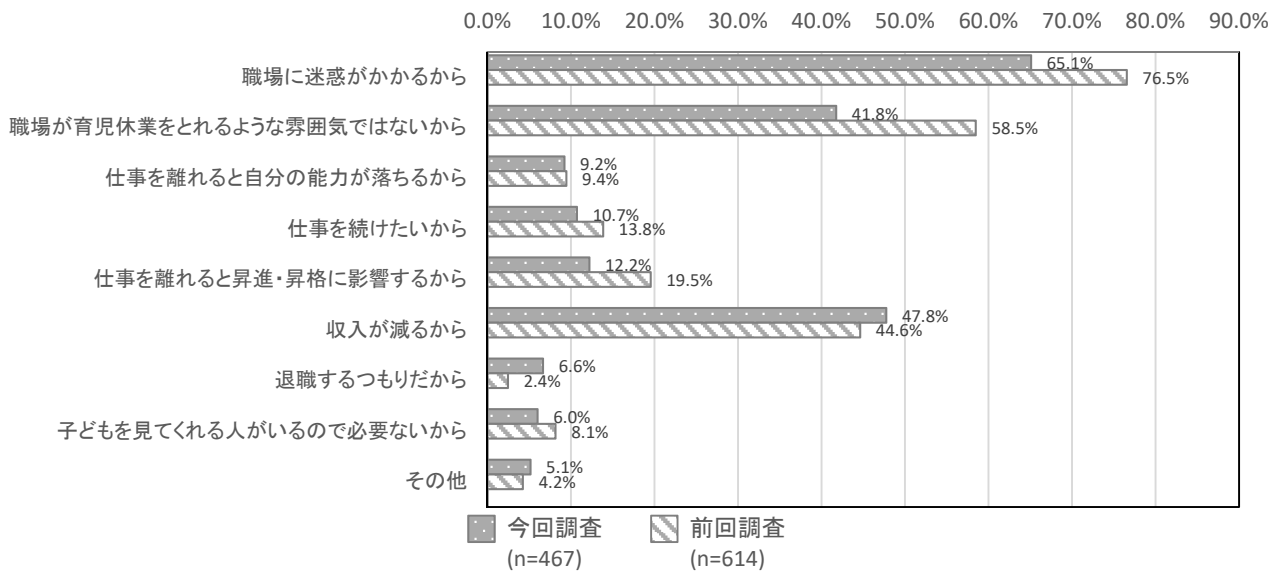
【問42で「利用したくない」を選択した方のみ】

問43 あなたが育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）と思うのは、どのような理由からですか。（〇は3つまで）

育児休業制度を利用したくない理由については、「職場に迷惑がかかるから」が65.1%で最も多く、次いで「収入が減るから」が47.8%、「職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから」が41.8%となっている。

性別でみると、「仕事を離れると昇進・昇格に影響するから」と回答した男性は、女性を12.1ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、「職場に迷惑がかかるから」が11.4ポイント、「職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから」が16.7ポイント減少している。

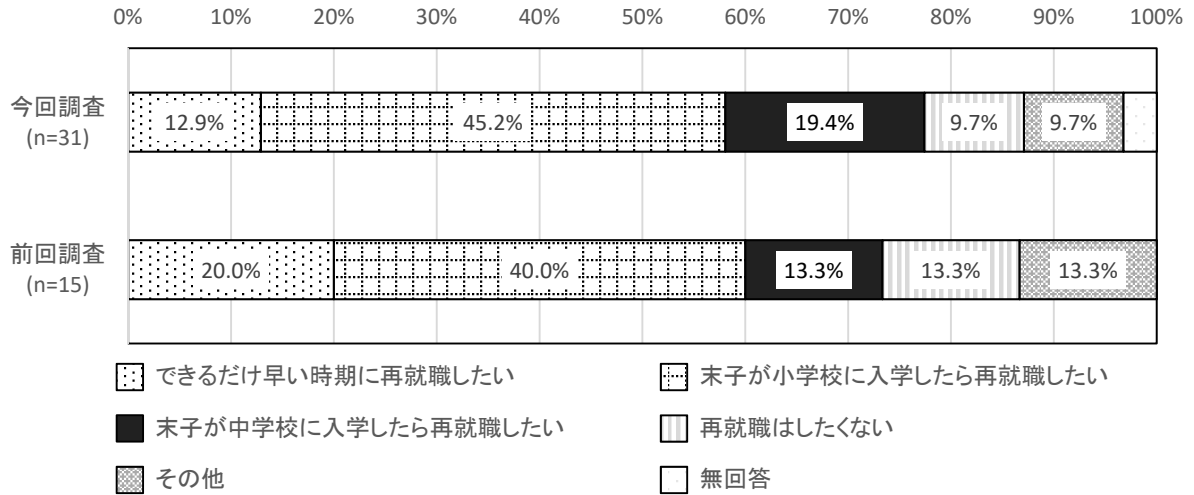


	サンプル数	理由別の割合 (%)									
		職場に迷惑がかかるから	職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから	仕事を離れると自分の能力が落ちるから	仕事を続けたいから	仕事を離れると昇進・昇格に影響するから	収入が減るから	退職するつもりだから	子どもを見てくれる人がいるので必要ないから	その他	
上段: 度数 下段: 構成比 (%)											
今回調査	467	304 (65.1%)	195 (41.8%)	43 (9.2%)	50 (10.7%)	57 (12.2%)	223 (47.8%)	31 (6.6%)	28 (6.0%)	24 (5.1%)	
前回調査	614	470 (76.5%)	359 (58.5%)	58 (9.4%)	85 (13.8%)	120 (19.5%)	274 (44.6%)	15 (2.4%)	50 (8.1%)	26 (4.2%)	
性別											
男性	288	203 (70.5%)	130 (45.1%)	25 (8.7%)	30 (10.4%)	48 (16.7%)	145 (50.3%)	2 (0.7%)	23 (8.0%)	13 (4.5%)	
女性	174	98 (56.3%)	63 (36.2%)	18 (10.3%)	19 (10.9%)	8 (4.6%)	75 (43.1%)	29 (16.7%)	4 (2.3%)	11 (6.3%)	
年齢											
10歳代	20	12 (60.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	3 (15.0%)	8 (40.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	
20歳代	82	50 (61.0%)	32 (39.0%)	12 (14.6%)	12 (14.6%)	15 (18.3%)	33 (40.2%)	11 (13.4%)	5 (6.1%)	3 (3.7%)	
30歳代	144	99 (68.8%)	69 (47.9%)	13 (9.0%)	11 (7.6%)	13 (9.0%)	77 (53.5%)	9 (6.3%)	8 (5.6%)	5 (3.5%)	
40歳代	149	92 (61.7%)	61 (40.9%)	10 (6.7%)	17 (11.4%)	17 (11.4%)	74 (49.7%)	6 (4.0%)	9 (6.0%)	12 (8.1%)	
50歳代	42	30 (71.4%)	20 (47.6%)	6 (14.3%)	5 (11.9%)	4 (9.5%)	19 (45.2%)	4 (9.5%)	5 (11.9%)	0 (0.0%)	
60歳代	19	14 (73.7%)	6 (31.6%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	3 (15.8%)	8 (42.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	
70歳代以上	3	2 (66.7%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
地域別											
鹿児島地区	246	162 (65.9%)	115 (46.7%)	25 (10.2%)	25 (10.2%)	35 (14.2%)	109 (44.3%)	16 (6.5%)	13 (5.3%)	12 (4.9%)	
南薩地区	27	21 (77.8%)	8 (29.6%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	16 (59.3%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	
北薩地区	55	39 (70.9%)	28 (50.9%)	7 (12.7%)	4 (7.3%)	5 (9.1%)	30 (54.5%)	1 (1.8%)	3 (5.5%)	0 (0.0%)	
始良・伊佐地区	65	42 (64.6%)	22 (33.8%)	6 (9.2%)	11 (16.9%)	5 (7.7%)	29 (44.6%)	5 (7.7%)	4 (6.2%)	4 (6.2%)	
大隅地区	41	22 (53.7%)	11 (26.8%)	1 (2.4%)	4 (9.8%)	7 (17.1%)	22 (53.7%)	4 (9.8%)	4 (9.8%)	5 (12.2%)	
熊毛地区	10	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	
大島地区	18	10 (55.6%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)	4 (22.2%)	2 (11.1%)	9 (50.0%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	

【問43で「退職するつもりだから」を選択した方のみ】

問44 あなたは、退職後、再就職を希望しますか。(〇はひとつ)

退職後、再就職を希望するかについては、「末子が小学校に入学したら再就職したい」が45.2%で最も多く、次いで「末子が中学校に入学したら再就職したい」が19.4%、「できるだけ早い時期に再就職したい」が12.9%となっている。



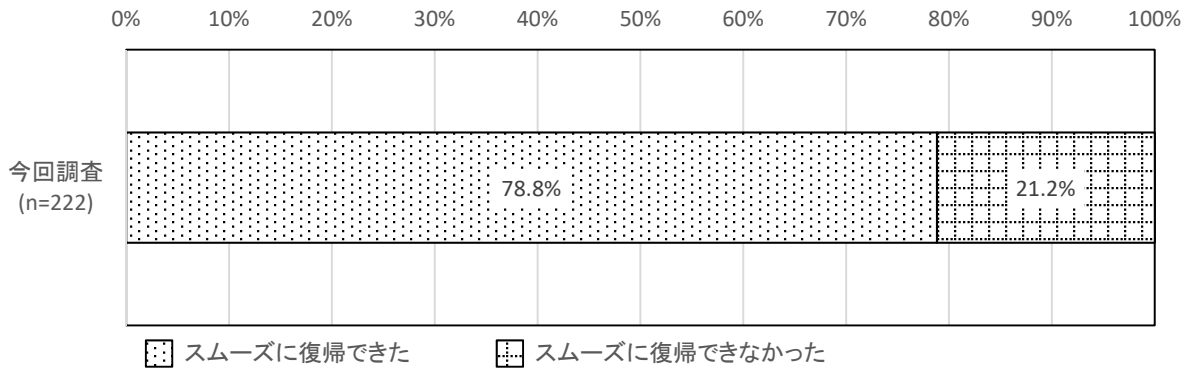
		サンプル数	できるだけ早い時期に再就職したい	末子が小学校に入学したら再就職したい	末子が中学校に入学したら再就職したい	再就職はしたくない	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		31	4	14	6	3	3	1
		100.0%	12.9%	45.2%	19.4%	9.7%	9.7%	3.2%
前回調査		15	3	6	2	2	2	0
		100.0%	20.0%	40.0%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%
性別	男性	2	0	0	0	1	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
女性	29	4	14	6	2	3	0	
		100.0%	13.8%	48.3%	20.7%	6.9%	10.3%	0.0%
年齢	10歳代	1	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	3	5	1	1	0	1
		100.0%	27.3%	45.5%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%
	30歳代	9	0	6	1	0	2	0
		100.0%	0.0%	66.7%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
	40歳代	6	1	3	1	0	1	0
		100.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
50歳代	4	0	0	2	2	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	0	0	0	0	0	0	0	
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	
地域別	鹿児島地区	16	2	7	2	2	3	0
		100.0%	12.5%	43.8%	12.5%	12.5%	18.8%	0.0%
	南薩地区	1	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	北薩地区	1	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	姶良・伊佐地区	5	1	2	2	0	0	0
		100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大隅地区	4	0	3	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
熊本地区	2	0	2	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
大島地区	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【実際に育児休業制度を利用した経験がある方のみ】

問 4 5 あなたは、育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できましたか。(〇はひとつ)

※ 無回答を除く

育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できたかについては、「スムーズに復帰できた」が78.8%、「スムーズに復帰できなかった」が21.2%となっている。

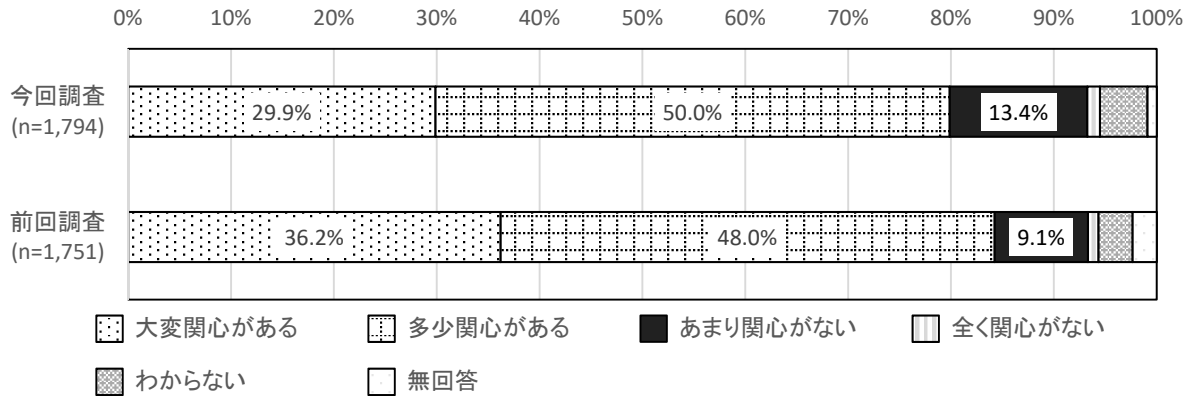


		サンプル数	スムーズに復帰できた	スムーズに復帰できなかった
上段:度数 下段:構成比(%)				
今回調査		222	175	47
		100.0%	78.8%	21.2%
性別	男性	33	25	8
		100.0%	75.8%	24.2%
女性	女性	187	148	39
		100.0%	79.1%	20.9%
年齢	10歳代	3	3	0
		100.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	29	26	3
		100.0%	89.7%	10.3%
	30歳代	92	65	27
		100.0%	70.7%	29.3%
	40歳代	76	64	12
		100.0%	84.2%	15.8%
50歳代	50歳代	13	10	3
		100.0%	76.9%	23.1%
	60歳代	4	3	1
	100.0%	75.0%	25.0%	
70歳代以上	2	2	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	
地域別	鹿児島地区	106	86	20
		100.0%	81.1%	18.9%
	南薩地区	11	8	3
		100.0%	72.7%	27.3%
	北薩地区	21	13	8
		100.0%	61.9%	38.1%
	始良・伊佐地区	38	28	10
		100.0%	73.7%	26.3%
大隅地区	26	20	6	
	100.0%	76.9%	23.1%	
熊毛地区	4	4	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	
大島地区	15	15	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	

問 4 6 少子化問題についてどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

少子化問題についてどう考えるかについては、「多少関心がある」が50.0%で最も多く、次いで「大変関心がある」が29.9%、「あまり関心がない」が13.4%となっている。

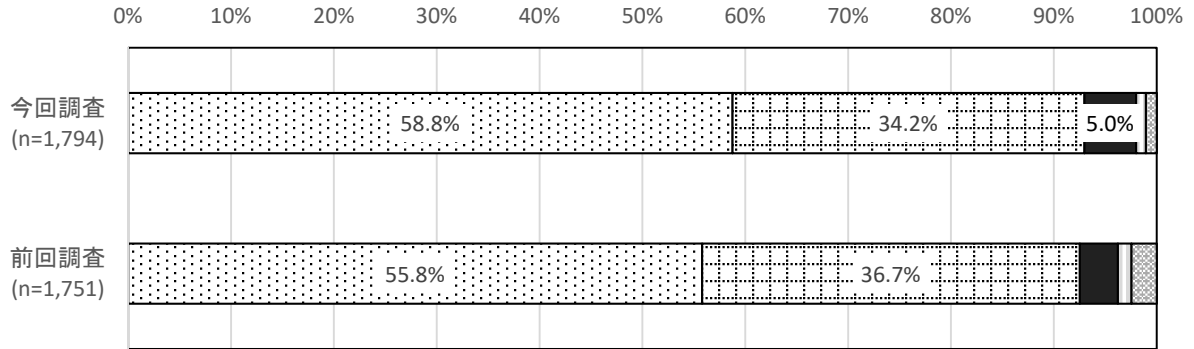
前回調査と比較すると、「関心がある（「大変関心がある」＋「多少関心がある）」と回答した割合は4.3ポイント減少している。



		サンプル数	大変関心がある	多少関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)								
今回調査		1,794	536	897	240	22	83	16
		100.0%	29.9%	50.0%	13.4%	1.2%	4.6%	0.9%
前回調査		1,751	634	841	159	18	58	41
		100.0%	36.2%	48.0%	9.1%	1.0%	3.3%	2.3%
性別	男性	704	246	319	88	13	31	7
		100.0%	34.9%	45.3%	12.5%	1.8%	4.4%	1.0%
女性	1,076	287	573	150	8	50	8	
		100.0%	26.7%	53.3%	13.9%	0.7%	4.6%	0.7%
年齢	10歳代	150	35	81	23	1	8	2
		100.0%	23.3%	54.0%	15.3%	0.7%	5.3%	1.3%
	20歳代	445	99	224	77	15	29	1
		100.0%	22.2%	50.3%	17.3%	3.4%	6.5%	0.2%
	30歳代	460	130	227	74	2	23	4
		100.0%	28.3%	49.3%	16.1%	0.4%	5.0%	0.9%
	40歳代	486	170	255	44	4	12	1
	100.0%	35.0%	52.5%	9.1%	0.8%	2.5%	0.2%	
50歳代	134	51	63	13	0	3	4	
		100.0%	38.1%	47.0%	9.7%	0.0%	2.2%	3.0%
	60歳代	63	28	26	4	0	5	0
	100.0%	44.4%	41.3%	6.3%	0.0%	7.9%	0.0%	
70歳代以上	32	18	9	1	0	1	3	
	100.0%	56.3%	28.1%	3.1%	0.0%	3.1%	9.4%	
地域別	鹿児島地区	911	275	461	129	9	31	6
		100.0%	30.2%	50.6%	14.2%	1.0%	3.4%	0.7%
	南薩地区	117	31	54	17	1	11	3
		100.0%	26.5%	46.2%	14.5%	0.9%	9.4%	2.6%
	北薩地区	187	47	95	24	2	17	2
		100.0%	25.1%	50.8%	12.8%	1.1%	9.1%	1.1%
	姶良・伊佐地区	239	81	113	29	5	11	0
		100.0%	33.9%	47.3%	12.1%	2.1%	4.6%	0.0%
大隅地区	218	61	122	29	2	4	0	
	100.0%	28.0%	56.0%	13.3%	0.9%	1.8%	0.0%	
熊毛地区	34	7	17	2	1	6	1	
	100.0%	20.6%	50.0%	5.9%	2.9%	17.6%	2.9%	
大島地区	78	30	31	9	2	3	3	
	100.0%	38.5%	39.7%	11.5%	2.6%	3.8%	3.8%	

問47 あなたは、子どもの数が減少してきていることについてどう思いますか。(〇はひとつ)

子どもの数が減少してきていることをどう思うかについては、「非常に問題である」が58.8%で最も多く、次いで「やや問題である」が34.2%、「あまり問題ではない」が5.0%の順となっている。



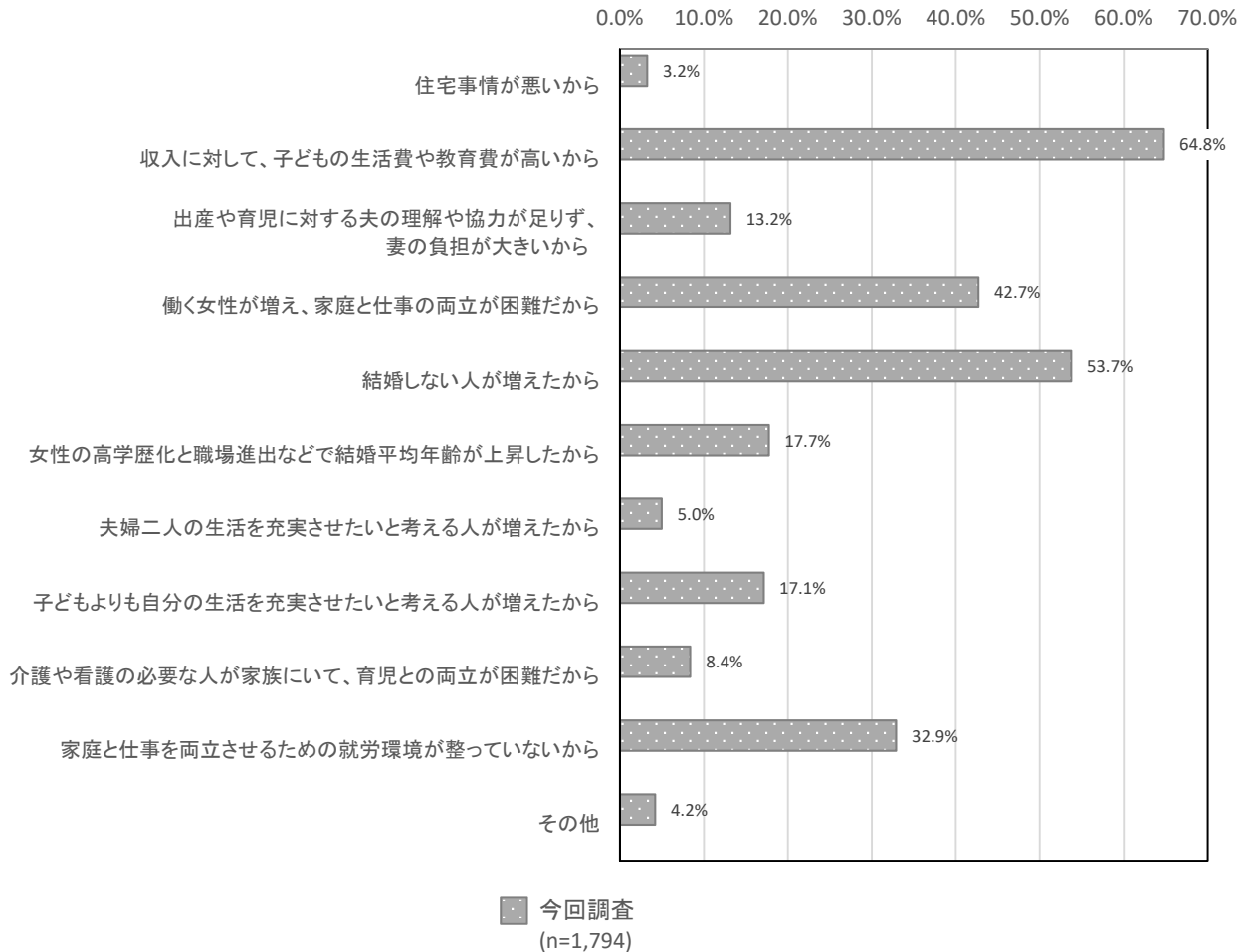
非常に問題である
 やや問題である
 あまり問題ではない
 全く問題ではない
 無回答

		サンプル数	非常に問題である	やや問題である	あまり問題ではない	全く問題ではない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	1054	614	90	17	19
		100.0%	58.8%	34.2%	5.0%	0.9%	1.1%
前回調査		1,751	977	643	65	23	43
		100.0%	55.8%	36.7%	3.7%	1.3%	2.5%
性別	男性	704	450	200	32	13	9
		100.0%	63.9%	28.4%	4.5%	1.8%	1.3%
女性	1,076	598	408	57	4	9	
	100.0%	55.6%	37.9%	5.3%	0.4%	0.8%	
年齢	10歳代	150	94	48	4	1	3
		100.0%	62.7%	32.0%	2.7%	0.7%	2.0%
	20歳代	445	253	153	25	11	3
		100.0%	56.9%	34.4%	5.6%	2.5%	0.7%
	30歳代	460	245	180	28	2	5
		100.0%	53.3%	39.1%	6.1%	0.4%	1.1%
	40歳代	486	310	147	23	3	3
		100.0%	63.8%	30.2%	4.7%	0.6%	0.6%
50歳代	134	80	45	8	0	1	
	100.0%	59.7%	33.6%	6.0%	0.0%	0.7%	
60歳代	63	41	21	1	0	0	
	100.0%	65.1%	33.3%	1.6%	0.0%	0.0%	
70歳代以上	32	21	8	0	0	3	
	100.0%	65.6%	25.0%	0.0%	0.0%	9.4%	
地域別	鹿児島地区	911	543	301	50	9	8
		100.0%	59.6%	33.0%	5.5%	1.0%	0.9%
	南薩地区	117	62	44	7	1	3
		100.0%	53.0%	37.6%	6.0%	0.9%	2.6%
	北薩地区	187	104	70	9	2	2
		100.0%	55.6%	37.4%	4.8%	1.1%	1.1%
	始良・伊佐地区	239	144	83	10	2	0
		100.0%	60.3%	34.7%	4.2%	0.8%	0.0%
大隅地区	218	128	78	10	1	1	
	100.0%	58.7%	35.8%	4.6%	0.5%	0.5%	
熊本地区	34	17	11	3	1	2	
	100.0%	50.0%	32.4%	8.8%	2.9%	5.9%	
大島地区	78	50	24	1	1	2	
	100.0%	64.1%	30.8%	1.3%	1.3%	2.6%	

問48 あなたは、子どもの数が減少してきている原因は何だと思いますか。(〇は3つまで)

子どもの数が減少してきている原因は何かと思うかについては、「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」が64.8%で最も多く、次いで「結婚しない人が増えたから」が53.7%、「働く女性が増え、家庭と仕事の両立が困難だから」が42.7%となっている。

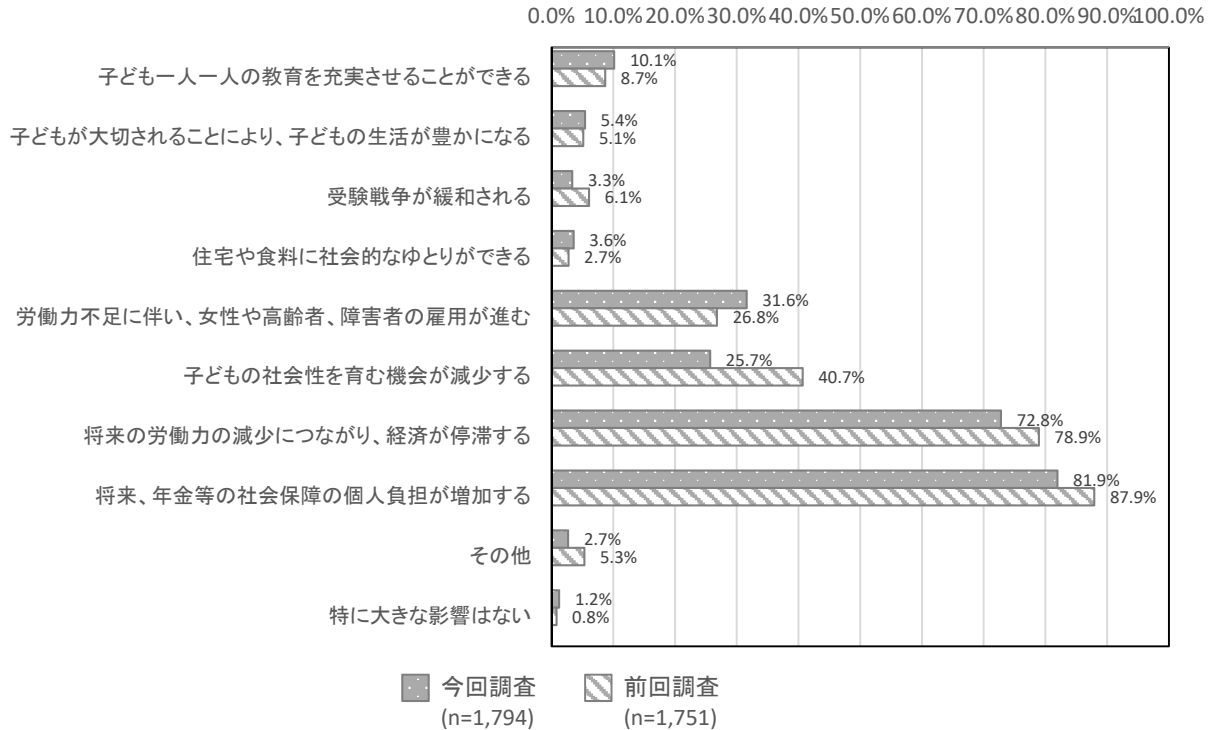
前回調査と比較すると、「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」と回答した割合が10.2ポイント減少している。



		サンプル数	住宅事情が悪いから	収入に対して、子ども生活費や教育費が高いから	出産や育児に対する負担が大きいから	働く女性が増え、家庭と仕事の両立が困難だから	結婚しない人が増えたから	女性の高学歴化と職場上昇したから	女性の高学歴化と職場進出から	夫婦二人の生活を充実させたいと考える人が増えたから	子どもよりも自分の生活を充実させたいと考える人が増えたから	介護や看護の必要な人が家族にいて、育児との両立が困難だから	いから 家庭と仕事を両立させたいから め就労環境が整っていない	その他
上段:度数 下段:構成比(%)														
今回調査		1,794	58	1162	236	766	964	318	89	307	150	590	75	
		-	3.2%	64.8%	13.2%	42.7%	53.7%	17.7%	5.0%	17.1%	8.4%	32.9%	4.2%	
前回調査		1,751	63	1096	150	764	947	401	78	281	86	755	86	
		-	3.6%	62.6%	8.6%	43.6%	54.1%	22.9%	4.5%	16.0%	4.9%	43.1%	4.9%	
性別	男性	704	30	456	63	234	428	104	45	122	46	231	33	
	女性	1,076	28	696	170	529	531	211	43	183	104	355	38	
		-	2.6%	64.7%	15.8%	49.2%	49.3%	19.6%	4.0%	17.0%	9.7%	33.0%	3.5%	
年齢	10歳代	150	4	90	23	54	101	17	7	17	14	39	4	
		-	2.7%	60.0%	15.3%	36.0%	67.3%	11.3%	4.7%	11.3%	9.3%	26.0%	2.7%	
	20歳代	445	22	272	63	188	240	80	24	58	44	151	15	
		-	4.9%	61.1%	14.2%	42.2%	53.9%	18.0%	5.4%	13.0%	9.9%	33.9%	3.4%	
	30歳代	460	18	315	63	215	228	87	14	73	33	164	21	
		-	3.9%	68.5%	13.7%	46.7%	49.6%	18.9%	3.0%	15.9%	7.2%	35.7%	4.6%	
	40歳代	486	9	324	60	206	244	90	23	109	33	171	27	
		-	1.9%	66.7%	12.3%	42.4%	50.2%	18.5%	4.7%	22.4%	6.8%	35.2%	5.6%	
50歳代	134	4	90	18	55	80	23	8	35	14	34	3		
	-	3.0%	67.2%	13.4%	41.0%	59.7%	17.2%	6.0%	26.1%	10.4%	25.4%	2.2%		
60歳代	63	1	43	2	26	41	12	11	8	4	19	1		
	-	1.6%	68.3%	3.2%	41.3%	65.1%	19.0%	17.5%	12.7%	6.3%	30.2%	1.6%		
70歳代以上	32	0	20	4	11	19	6	2	4	4	5	0		
	-	0.0%	62.5%	12.5%	34.4%	59.4%	18.8%	6.3%	12.5%	12.5%	15.6%	0.0%		
地域別	鹿児島地区	911	26	590	124	407	486	163	40	149	70	307	37	
		-	2.9%	64.8%	13.6%	44.7%	53.3%	17.9%	4.4%	16.4%	7.7%	33.7%	4.1%	
	南薩地区	117	4	72	11	42	62	27	6	20	10	34	5	
		-	3.4%	61.5%	9.4%	35.9%	53.0%	23.1%	5.1%	17.1%	8.5%	29.1%	4.3%	
	北薩地区	187	8	114	24	81	101	38	10	34	17	57	9	
		-	4.3%	61.0%	12.8%	43.3%	54.0%	20.3%	5.3%	18.2%	9.1%	30.5%	4.8%	
	始良・伊佐地区	239	5	160	27	99	137	41	7	50	17	88	12	
		-	2.1%	66.9%	11.3%	41.4%	57.3%	17.2%	2.9%	20.9%	7.1%	36.8%	5.0%	
大隅地区	218	5	143	31	91	124	28	18	32	22	64	8		
	-	2.3%	65.6%	14.2%	41.7%	56.9%	12.8%	8.3%	14.7%	10.1%	29.4%	3.7%		
熊毛地区	34	3	21	5	12	19	7	2	5	4	10	1		
	-	8.8%	61.8%	14.7%	35.3%	55.9%	20.6%	5.9%	14.7%	11.8%	29.4%	2.9%		
大島地区	78	7	56	14	32	30	12	6	17	8	28	0		
	-	9.0%	71.8%	17.9%	41.0%	38.5%	15.4%	7.7%	21.8%	10.3%	35.9%	0.0%		

問 4 9 あなたは、子どもの数が減少するとどのような影響が出てくると思いますか。(〇は3つまで)

子どもの数が減少するとどのような影響が出てくると思うかについては、「将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する」が 81.9%で最も多く、次いで「将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する」が 72.8%、「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障害者の雇用が進む」が 31.6%となっている。

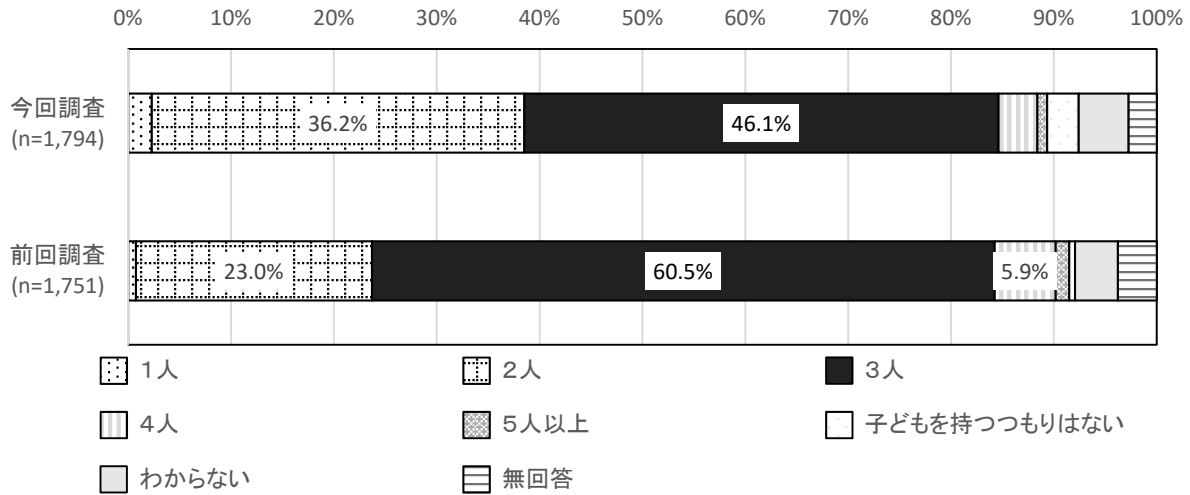


上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	子ども一人一人の教育を充実させることができる	子どもが大切にされることにより、子どもの生活が豊かになる	受験競争が緩和される	住宅や食料に社会的なゆとりができる	労働力不足に伴い、女性や高齢者、障害者の雇用が進む	子どもの社会性を育む機会が減少する	将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する	将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する	その他	特に大きな影響はない
今回調査		1,794	182	97	60	64	567	461	1,306	1,470	48	22
前回調査		1,751	152	90	106	48	469	712	1,382	1,539	93	14
性別	男性	704	69	40	31	26	243	174	535	553	16	10
	女性	1,076	111	56	28	37	321	284	764	905	30	12
年齢	10歳代	150	23	11	5	14	61	28	90	109	2	2
	20歳代	445	46	41	24	15	160	98	313	343	12	6
	30歳代	460	48	20	10	16	127	126	338	380	12	5
	40歳代	486	42	15	11	14	136	145	365	425	17	6
	50歳代	134	13	3	5	2	46	25	112	119	3	0
	60歳代	63	4	4	4	2	21	21	47	58	0	2
	70歳代以上	32	3	1	0	1	10	13	24	21	0	0
地域別	鹿児島地区	911	93	51	33	34	309	228	682	739	22	11
	南薩地区	117	12	3	4	4	30	34	79	93	2	4
	北薩地区	187	20	8	6	8	52	52	131	153	4	3
	始良・伊佐地区	239	24	11	2	7	76	54	177	201	4	2
	大隅地区	218	21	14	10	7	69	57	148	182	10	1
	熊毛地区	34	5	2	0	2	12	10	19	28	1	0
	大島地区	78	6	7	5	2	19	22	62	65	4	1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問50 あなたにとって理想とする子どもの数は何人ですか。(〇はひとつ)

理想とする子どもの数については、「3人」が46.1%で最も多く、次いで「2人」が36.2%となっている。

前回調査と比較すると、「3人」と回答した割合は14.4ポイント減少し、「2人」と回答した割合は13.2ポイント増加している。



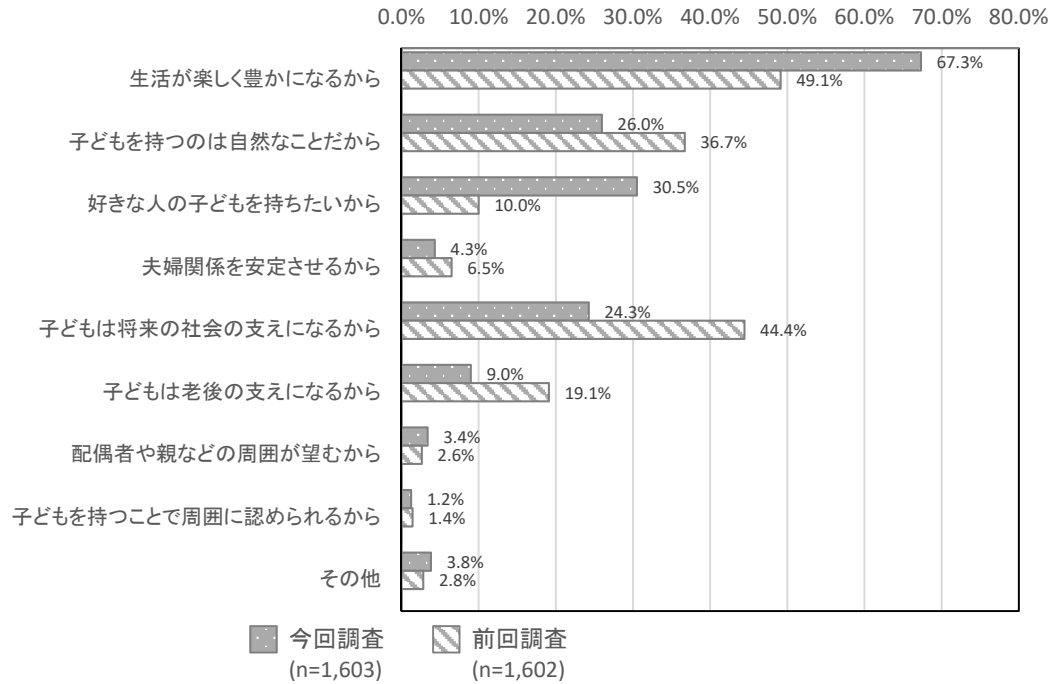
		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもを持つつもりはない	わからない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)										
今回調査		1,794	41	650	827	68	17	55	87	49
前回調査		1,751	13	402	1060	104	23	10	73	66
性別	男性	704	15	259	321	26	7	11	43	22
	女性	1,076	26	386	502	42	9	41	44	26
年齢	10歳代	150	4	68	43	6	2	7	14	6
	20歳代	445	14	194	163	19	5	18	22	10
	30歳代	460	12	161	237	14	2	10	15	9
	40歳代	486	8	159	253	13	4	15	21	13
	50歳代	134	3	43	67	6	3	2	7	3
	60歳代	63	0	13	37	6	1	0	4	2
	70歳代以上	32	0	2	18	3	0	1	2	6
	地域別	鹿児島地区	911	25	357	396	22	8	37	48
	南薩地区	117	2	34	53	7	1	2	8	10
	北薩地区	187	2	62	89	12	1	6	9	6
	姶良・伊佐地区	239	8	85	113	12	2	7	8	4
	大隅地区	218	3	80	110	10	3	1	6	5
	熊毛地区	34	1	12	15	0	1	1	3	1
	大島地区	78	0	14	48	5	1	1	4	5

【問50で「子どもを持つつもりはない」以外を選択した方のみ】

問51 子どもを持ちたいのは、どのような理由からですか。(〇は2つまで)

子どもを持ちたい理由については、「生活が楽しく豊かになるから」が67.3%で最も多く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が30.5%、「子どもを持つのは自然なことだから」が26.0%となっている。

前回調査と比較すると、「生活が楽しく豊かになるから」の割合が18.2ポイント増加し、「子供は将来の社会の支えになるから」の割合が20.1ポイント減少している。



	サンプル数	生活が楽しく豊かになるから	子どもを持つのは自然なことだから	好きな人の子どもを持ちたいから	夫婦関係を安定させるから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは老後の支えになるから	配偶者や親などの周囲が望むから	子どもを持つことで周囲に認められるから	その他
上段:度数 下段:構成比(%)										
今回調査	1,603	1,079 67.3%	416 26.0%	489 30.5%	69 4.3%	389 24.3%	144 9.0%	54 3.4%	20 1.2%	61 3.8%
前回調査	1,602	787 49.1%	588 36.7%	160 10.0%	104 6.5%	712 44.4%	306 19.1%	42 2.6%	23 1.4%	45 2.8%
性別										
男性	628	432 68.8%	178 28.3%	156 24.8%	37 5.9%	171 27.2%	54 8.6%	17 2.7%	7 1.1%	15 2.4%
女性	965	643 66.6%	234 24.2%	328 34.0%	32 3.3%	215 22.3%	90 9.3%	36 3.7%	13 1.3%	46 4.8%
年齢										
10歳代	123	95 77.2%	23 18.7%	38 30.9%	8 6.5%	20 16.3%	9 7.3%	3 2.4%	2 1.6%	2 1.6%
20歳代	395	273 69.1%	68 17.2%	171 43.3%	20 5.1%	71 18.0%	41 10.4%	15 3.8%	6 1.5%	15 3.8%
30歳代	426	285 66.9%	114 26.8%	141 33.1%	7 1.6%	94 22.1%	40 9.4%	17 4.0%	7 1.6%	18 4.2%
40歳代	437	300 68.6%	119 27.2%	97 22.2%	11 2.5%	127 29.1%	34 7.8%	15 3.4%	5 1.1%	20 4.6%
50歳代	122	73 59.8%	50 41.0%	32 26.2%	17 13.9%	33 27.0%	9 7.4%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%
60歳代	57	30 52.6%	28 49.1%	6 10.5%	4 7.0%	27 47.4%	5 8.8%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.5%
70歳代以上	23	10 43.5%	8 34.8%	1 4.3%	1 4.3%	14 60.9%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域別										
鹿児島地区	808	569 70.4%	206 25.5%	236 29.2%	30 3.7%	199 24.6%	68 8.4%	30 3.7%	9 1.1%	32 4.0%
南薩地区	97	57 58.8%	25 25.8%	19 19.6%	4 4.1%	21 21.6%	9 9.3%	2 2.1%	1 1.0%	8 8.2%
北薩地区	166	112 67.5%	39 23.5%	50 30.1%	8 4.8%	47 28.3%	16 9.6%	4 2.4%	2 1.2%	4 2.4%
始良・伊佐地区	220	139 63.2%	57 25.9%	73 33.2%	16 7.3%	57 25.9%	19 8.6%	7 3.2%	2 0.9%	5 2.3%
大隅地区	206	136 66.0%	50 24.3%	80 38.8%	7 3.4%	42 20.4%	24 11.7%	6 2.9%	3 1.5%	7 3.4%
熊本地区	29	15 51.7%	11 37.9%	8 27.6%	1 3.4%	7 24.1%	5 17.2%	0 0.0%	1 3.4%	1 3.4%
大島地区	68	46 67.6%	24 35.3%	21 30.9%	3 4.4%	14 20.6%	3 4.4%	5 7.4%	2 2.9%	3 4.4%

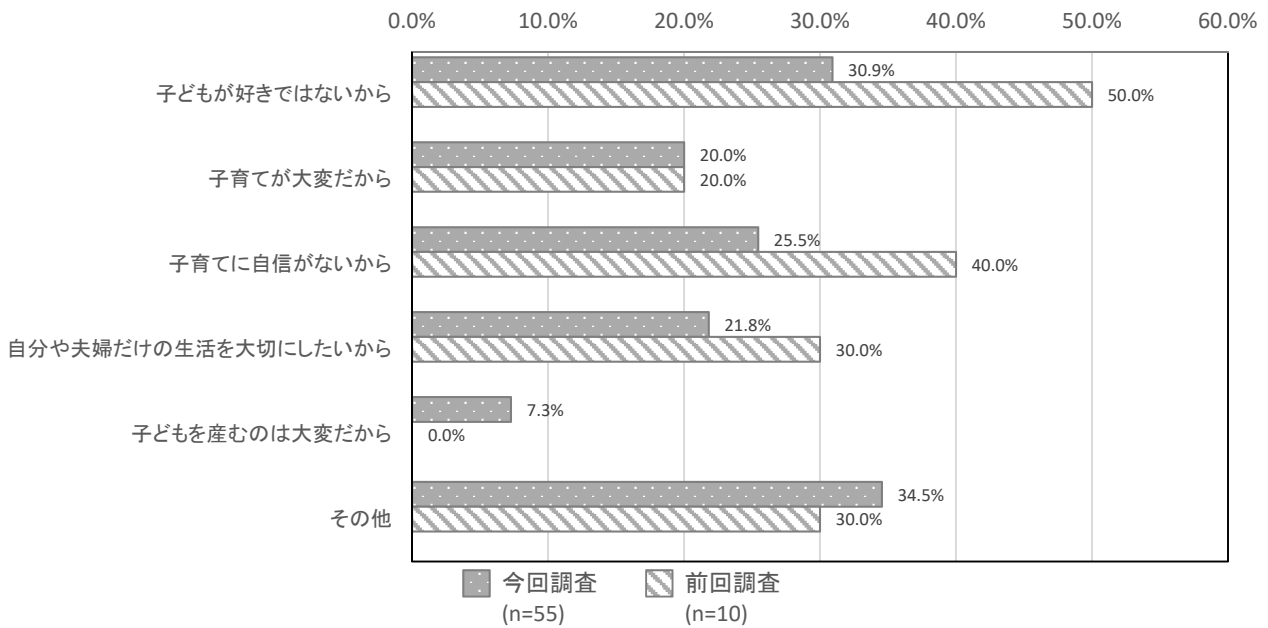
【問50で「子どもを持つつもりはない」を選択した方のみ】

問52 子どもを持ちたくないのは、どのような理由からですか。(〇は2つまで)

子どもを持ちたくない理由については、「その他」が34.5%で最も多く、次いで「子どもが好きではないから」が30.9%、「子育てに自信がないから」が25.5%となっている。

性別でみると、「自分や夫婦だけの生活を大切にしたいから」と回答した男性の割合は、女性を28.4ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、「子どもが好きではないから」の割合が19.1ポイント、「子育てに自信がないから」が14.5ポイント減少している。

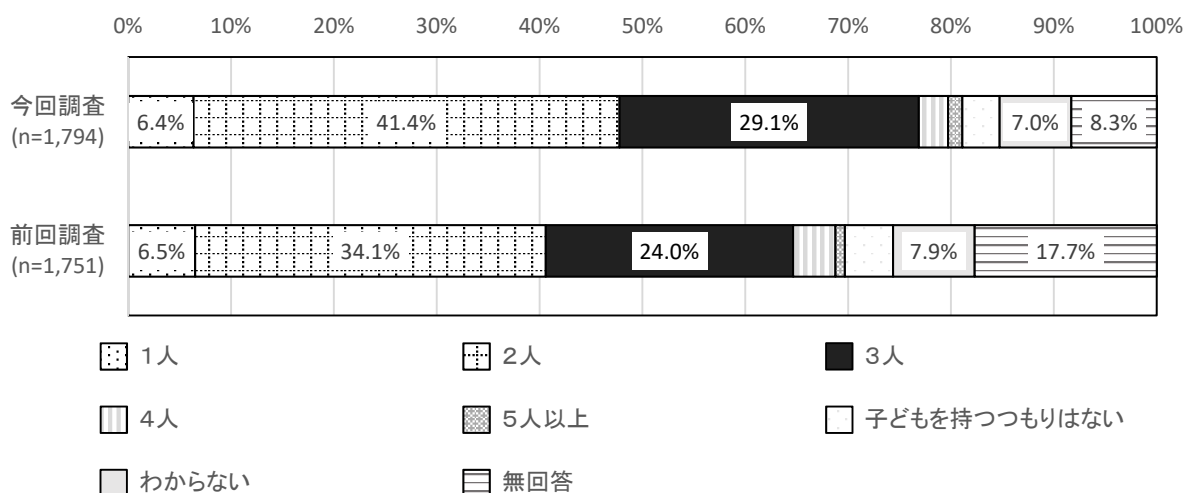


		サンプル数	子どもが好きではないか	子育てが大変だから	子育てに自信がないから	自分や夫婦だけの生活を大切にしたいから	子どもを産むのは大変だから	その他
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		55	17 30.9%	11 20.0%	14 25.5%	12 21.8%	4 7.3%	19 34.5%
前回調査		10	5 50.0%	2 20.0%	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%	3 30.0%
性別	男性	11	4 36.4%	2 18.2%	2 18.2%	5 45.5%	0 0.0%	3 27.3%
	女性	41	13 31.7%	8 19.5%	12 29.3%	7 17.1%	3 7.3%	15 36.6%
年齢	10歳代	7	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%
	20歳代	18	8 44.4%	4 22.2%	3 16.7%	5 27.8%	0 0.0%	6 33.3%
	30歳代	10	3 30.0%	3 30.0%	5 50.0%	4 40.0%	0 0.0%	2 20.0%
	40歳代	15	3 20.0%	2 13.3%	3 20.0%	3 20.0%	2 13.3%	7 46.7%
	50歳代	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	60歳代	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳代以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域別	鹿児島地区	37	11 29.7%	8 21.6%	8 21.6%	10 27.0%	2 5.4%	12 32.4%
	南薩地区	2	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	北薩地区	6	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%
	始良・伊佐地区	7	3 42.9%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
	大隅地区	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	熊毛地区	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	大島地区	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

問53 あなたは、実際に何人の子どもを持ちたいですか。現在おられるお子さんとこれから持ちたいお子さんの数を含めてお答えください。(〇はひとつ)

実際に何人の子どもを持ちたいかについては、「2人」が41.4%で最も多く、次いで「3人」が29.1%となっている。

前回調査と比較すると、「2人以上子どもを持ちたい」と回答した割合は11.6ポイント増加している。



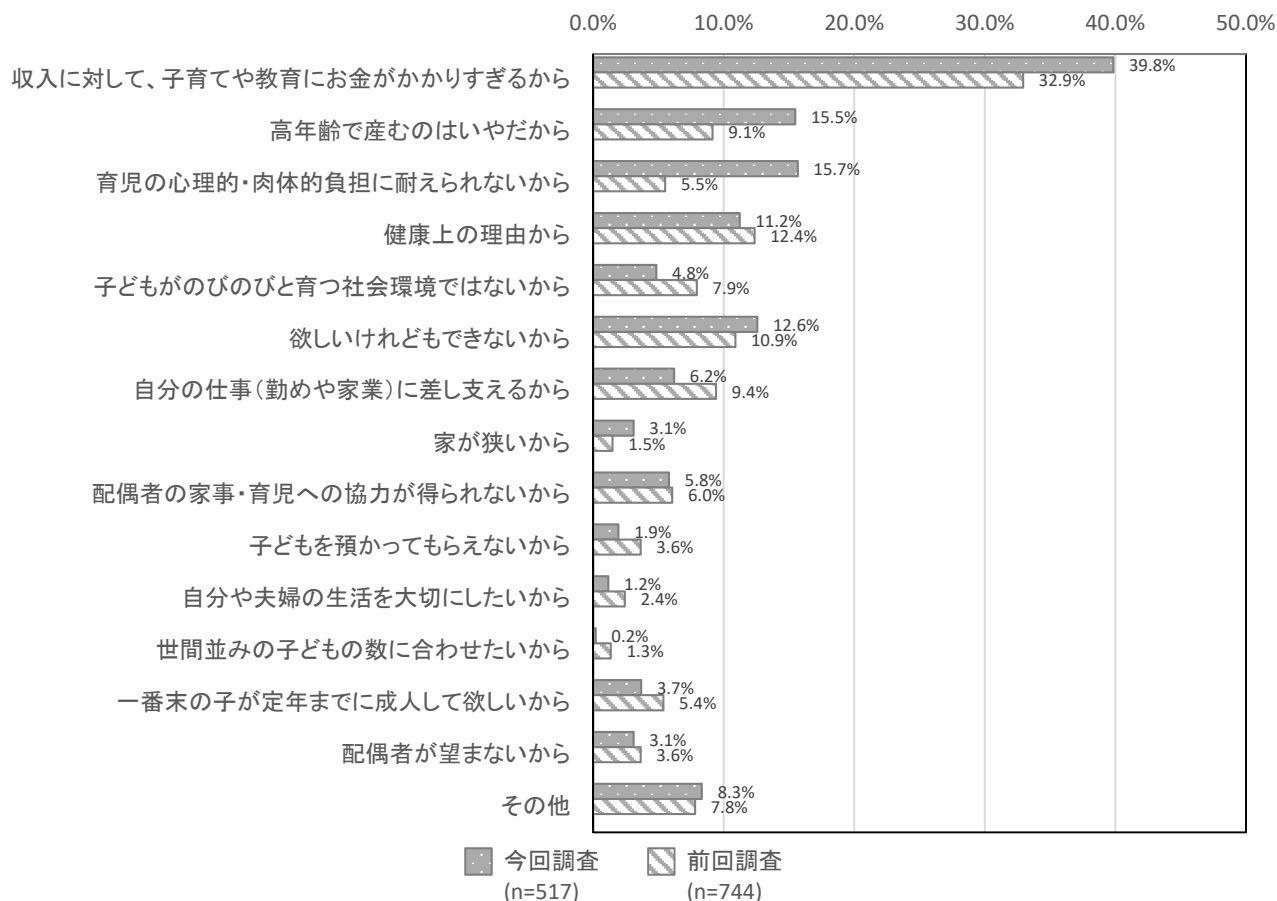
		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもを持つつもりはない	わからない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)										
今回調査		1,794	114	743	522	51	25	65	125	149
		100.0%	6.4%	41.4%	29.1%	2.8%	1.4%	3.6%	7.0%	8.3%
前回調査		1,751	114	597	421	72	16	82	139	310
		100.0%	6.5%	34.1%	24.0%	4.1%	0.9%	4.7%	7.9%	17.7%
性別	男性	704	35	309	206	11	12	13	56	62
		100.0%	5.0%	43.9%	29.3%	1.6%	1.7%	1.8%	8.0%	8.8%
性別	女性	1,076	79	428	313	40	12	50	68	86
		100.0%	7.3%	39.8%	29.1%	3.7%	1.1%	4.6%	6.3%	8.0%
年齢	10歳代	150	5	62	33	4	3	8	17	18
		100.0%	3.3%	41.3%	22.0%	2.7%	2.0%	5.3%	11.3%	12.0%
	20歳代	445	18	196	128	16	4	15	38	30
		100.0%	4.0%	44.0%	28.8%	3.6%	0.9%	3.4%	8.5%	6.7%
	30歳代	460	32	196	153	8	10	8	24	29
		100.0%	7.0%	42.6%	33.3%	1.7%	2.2%	1.7%	5.2%	6.3%
	40歳代	486	46	198	135	14	4	25	30	34
		100.0%	9.5%	40.7%	27.8%	2.9%	0.8%	5.1%	6.2%	7.0%
50歳代	134	8	58	36	3	3	8	10	10	
	100.0%	6.0%	41.8%	26.9%	2.2%	2.2%	6.0%	7.5%	7.5%	
60歳代	63	4	23	18	5	0	0	2	11	
	100.0%	6.3%	36.5%	28.6%	7.9%	0.0%	0.0%	3.2%	17.5%	
70歳代以上	32	0	3	14	0	0	0	0	0	15
	100.0%	0.0%	9.4%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.9%
地域別	鹿児島地区	911	66	393	236	19	14	43	66	74
		100.0%	7.2%	43.1%	25.9%	2.1%	1.5%	4.7%	7.2%	8.1%
	南薩地区	117	7	42	36	6	0	3	10	13
		100.0%	6.0%	35.9%	30.8%	5.1%	0.0%	2.6%	8.5%	11.1%
	北薩地区	187	9	75	58	4	2	4	14	21
		100.0%	4.8%	40.1%	31.0%	2.1%	1.1%	2.1%	7.5%	11.2%
	始良・伊佐地区	239	14	106	69	8	3	10	15	14
		100.0%	5.9%	44.4%	28.9%	3.3%	1.3%	4.2%	6.3%	5.9%
大隅地区	218	13	86	80	8	2	3	12	14	
	100.0%	6.0%	39.4%	36.7%	3.7%	0.9%	1.4%	5.5%	6.4%	
熊毛地区	34	2	12	13	1	1	1	3	1	
	100.0%	5.9%	35.3%	38.2%	2.9%	2.9%	2.9%	8.8%	2.9%	
大島地区	78	2	24	28	5	2	1	4	12	
	100.0%	2.6%	30.8%	35.9%	6.4%	2.6%	1.3%	5.1%	15.4%	

【※実際に持ちたい子どもの数が、理想の子どもの数より少ない方】

問5 4 その理由はなんですか。(〇は3つまで)

その理由については、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が39.8%、「育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」が15.7%、「高齢出産で産むのはいやだから」が15.5%となっている。

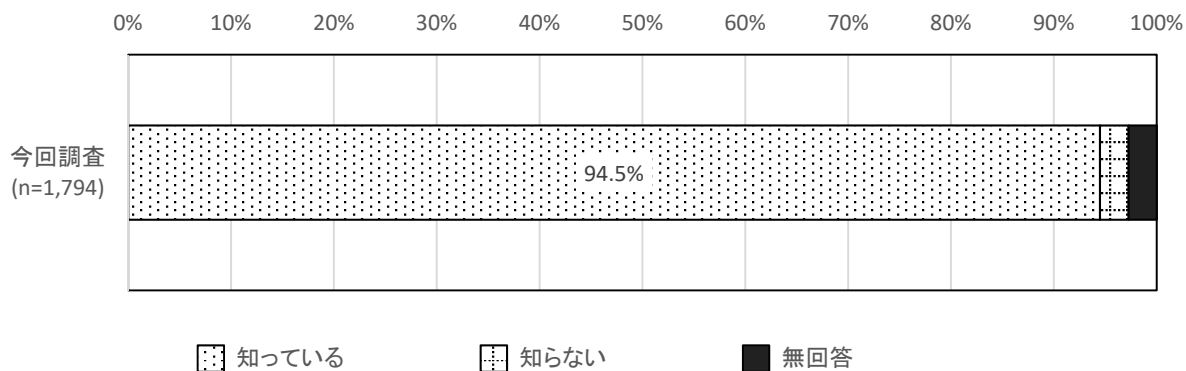
前回調査と比較すると、「収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が6.9ポイント高くなっている。



	サンプル数	すぎるから	収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高年齢で産むのはいや	育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	子どもがのびのびと育つ社会環境ではないから	欲しいけれどもできないから	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	家が狭いから	配偶者の家事・育児への協力が得られないから	子どもを預かってもらえないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	世間並みの子どもの数に合わせたいから	一番末の子が定年まで一人として欲しいから	配偶者が望まないから	その他
上段：度数 下段：構成比(%)																	
今回調査	1,794	269	97	102	69	36	87	39	20	33	15	11	4	23	22	52	
前回調査	744	245	68	41	92	59	81	70	11	45	27	18	10	40	27	58	
性別																	
男性	704	111	30	29	20	18	32	12	11	4	6	3	3	8	15	16	
女性	1,076	158	65	71	47	18	55	27	9	28	9	7	1	15	7	36	
年齢																	
10歳代	150	8	0	3	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	
20歳代	445	45	6	10	5	6	4	9	5	2	3	2	2	4	0	9	
30歳代	460	96	24	34	13	17	22	11	3	8	3	3	1	10	9	15	
40歳代	486	97	48	36	33	11	44	15	9	12	9	3	1	7	6	21	
50歳代	134	15	16	14	11	0	11	1	3	7	0	0	0	2	1	3	
60歳代	63	3	1	3	4	0	2	1	0	3	0	0	0	0	5	3	
70歳代以上	32	4	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域別																	
鹿児島地区	911	142	45	51	34	19	38	19	13	17	9	8	3	9	13	25	
南薩地区	117	17	8	3	7	1	8	2	2	1	0	0	0	0	1	3	
北薩地区	187	23	13	16	10	2	8	6	1	4	1	0	0	2	1	3	
始良・伊佐地区	239	38	16	16	5	2	12	6	0	5	1	2	0	7	4	10	
大隅地区	218	28	7	6	7	7	17	2	2	5	3	0	1	3	2	5	
熊毛地区	34	5	2	3	1	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	3	
大島地区	78	15	4	6	3	3	4	2	1	0	1	0	0	0	1	3	

問55 医学的に見ると、女性の妊娠する力は歳を重ねるにつれてだんだんと下がり始め、一定の年齢を過ぎると妊娠はかなり難しくなることをご存知ですか。(〇はひとつ)

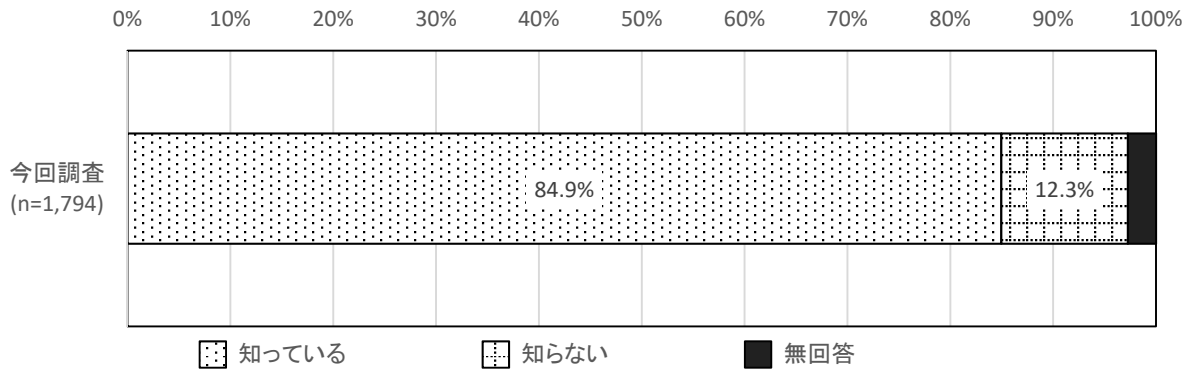
女性の妊娠する力は年を重ねるにつれて下がり、一定の年齢を過ぎると難しくなることを知っているかについては、「知っている」が94.5%となっている。



		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		1,794	1695	50	49
		100.0%	94.5%	2.8%	2.7%
性別	男性	704	644	33	27
		100.0%	91.5%	4.7%	3.8%
女性	1,076	1037	17	22	
		100.0%	96.4%	1.6%	2.0%
年齢	10歳代	150	136	7	7
		100.0%	90.7%	4.7%	4.7%
	20歳代	445	415	19	11
		100.0%	93.3%	4.3%	2.5%
	30歳代	460	441	12	7
		100.0%	95.9%	2.6%	1.5%
	40歳代	486	469	6	11
		100.0%	96.5%	1.2%	2.3%
50歳代	134	127	3	4	
	100.0%	94.8%	2.2%	3.0%	
60歳代	63	59	1	3	
	100.0%	93.7%	1.6%	4.8%	
70歳代以上	32	26	0	6	
	100.0%	81.3%	0.0%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	868	23	20
		100.0%	95.3%	2.5%	2.2%
	南薩地区	117	102	5	10
		100.0%	87.2%	4.3%	8.5%
	北薩地区	187	174	8	5
		100.0%	93.0%	4.3%	2.7%
	始良・伊佐地区	239	230	5	4
		100.0%	96.2%	2.1%	1.7%
大隅地区	218	209	5	4	
	100.0%	95.9%	2.3%	1.8%	
熊毛地区	34	32	1	1	
	100.0%	94.1%	2.9%	2.9%	
大島地区	78	70	3	5	
	100.0%	89.7%	3.8%	6.4%	

問56 医学的に見ると、男性も年を重ねると作られる精子の数が減り、老化することをご存知ですか。
(○はひとつ)

男性も年を重ねると作られる精子の数が減り、老化するのを知っているかについては「知っている」が84.9%、「知らない」が12.3%となっている。



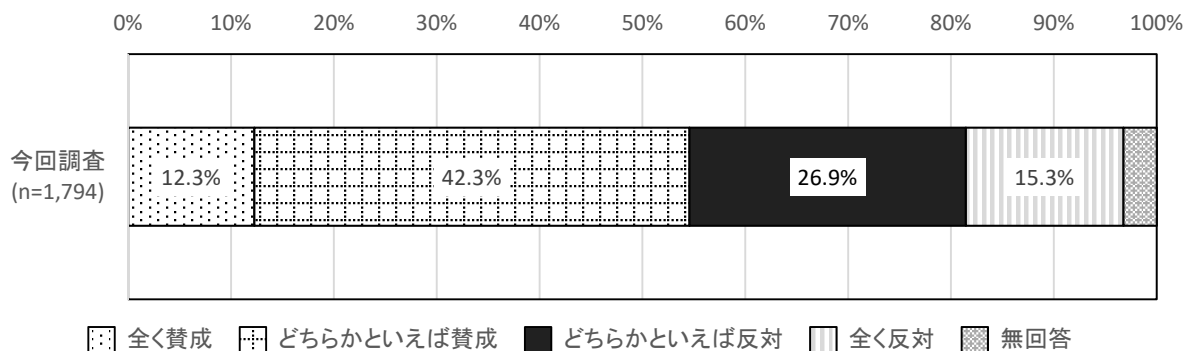
		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)					
今回調査		1,794	1524	221	49
		100.0%	84.9%	12.3%	2.7%
性別	男性	704	592	84	28
		100.0%	84.1%	11.9%	4.0%
	女性	1,076	919	136	21
		100.0%	85.4%	12.6%	2.0%
年齢	10歳代	150	115	27	8
		100.0%	76.7%	18.0%	5.3%
	20歳代	445	355	79	11
		100.0%	79.8%	17.8%	2.5%
	30歳代	460	408	45	7
		100.0%	88.7%	9.8%	1.5%
	40歳代	486	429	46	11
		100.0%	88.3%	9.5%	2.3%
	50歳代	134	117	12	5
		100.0%	87.3%	9.0%	3.7%
	60歳代	63	54	7	2
		100.0%	85.7%	11.1%	3.2%
	70歳代以上	32	26	1	5
		100.0%	81.3%	3.1%	15.6%
地域別	鹿児島地区	911	782	110	19
		100.0%	85.8%	12.1%	2.1%
	南薩地区	117	93	15	9
		100.0%	79.5%	12.8%	7.7%
	北薩地区	187	158	24	5
		100.0%	84.5%	12.8%	2.7%
	始良・伊佐地区	239	209	26	4
		100.0%	87.4%	10.9%	1.7%
	大隅地区	218	183	29	6
		100.0%	83.9%	13.3%	2.8%
	熊毛地区	34	31	2	1
		100.0%	91.2%	5.9%	2.9%
	大島地区	78	61	12	5
		100.0%	78.2%	15.4%	6.4%

問57 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてのあなた自身はどのようにお考えでしょうか。(それぞれに○はひとつ)

※ 必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

<A 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない>

生涯を独身で過ごすのは望ましい生き方ではないかについては、「どちらかといえば賛成」が42.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が26.9%、「全く反対」が15.3%、「全く賛成」が12.3%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		1,794	220	759	482	275	58
性別	男性	704	115	316	155	92	26
	女性	1,076	105	436	325	179	31
		100.0%	9.8%	40.5%	30.2%	16.6%	2.9%
年齢	10歳代	150	18	59	36	29	8
		100.0%	12.0%	39.3%	24.0%	19.3%	5.3%
	20歳代	445	52	179	131	71	12
		100.0%	11.7%	40.2%	29.4%	16.0%	2.7%
	30歳代	460	45	206	127	71	11
		100.0%	9.8%	44.8%	27.6%	15.4%	2.4%
	40歳代	486	60	215	127	72	12
		100.0%	12.3%	44.2%	26.1%	14.8%	2.5%
50歳代	134	24	52	38	16	4	
	100.0%	17.9%	38.8%	28.4%	11.9%	3.0%	
60歳代	63	7	36	15	2	3	
	100.0%	11.1%	57.1%	23.8%	3.2%	4.8%	
70歳代以上	32	10	7	5	4	6	
	100.0%	31.3%	21.9%	15.6%	12.5%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	103	381	250	154	23
		100.0%	11.3%	41.8%	27.4%	16.9%	2.5%
	南薩地区	117	16	45	30	16	10
		100.0%	13.7%	38.5%	25.6%	13.7%	8.5%
	北薩地区	187	18	83	53	26	7
		100.0%	9.6%	44.4%	28.3%	13.9%	3.7%
	始良・伊佐地区	239	36	98	61	42	2
		100.0%	15.1%	41.0%	25.5%	17.6%	0.8%
大隅地区	218	35	98	58	21	6	
	100.0%	16.1%	45.0%	26.6%	9.6%	2.8%	
熊毛地区	34	4	15	9	3	3	
	100.0%	11.8%	44.1%	26.5%	8.8%	8.8%	
大島地区	78	8	36	17	11	6	
	100.0%	10.3%	46.2%	21.8%	14.1%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

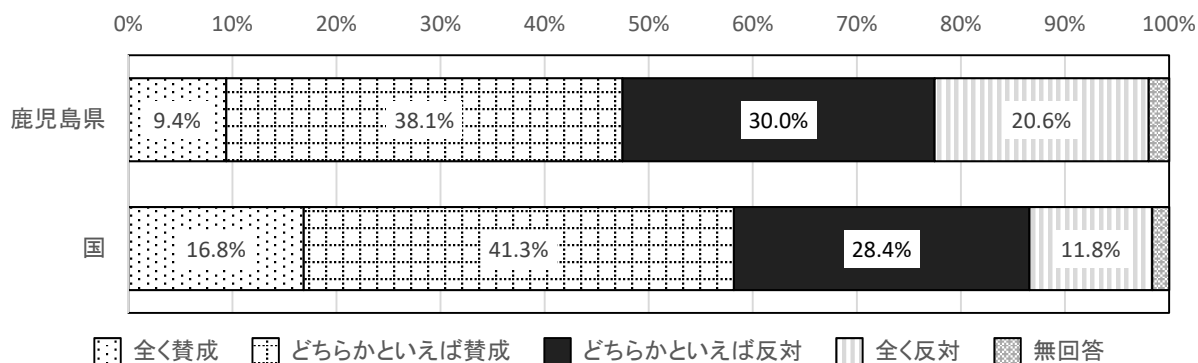
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が10.6ポイント低くなっている。

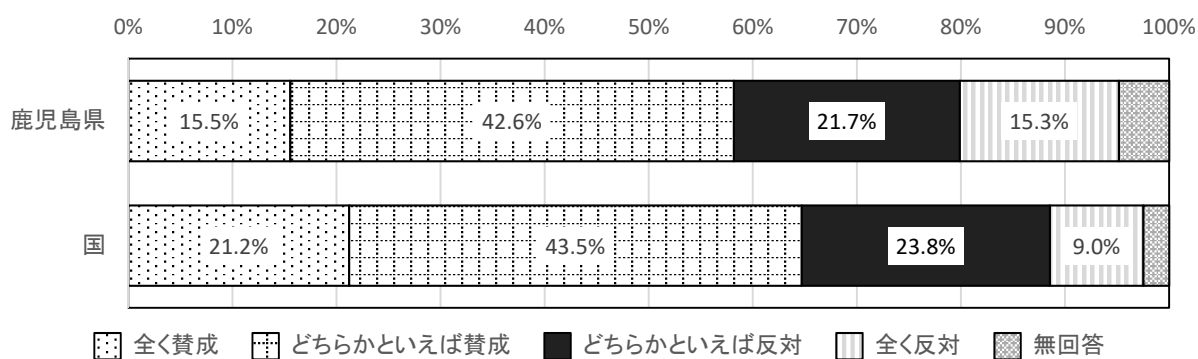
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が6.6ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が2.1ポイント低くなっている。

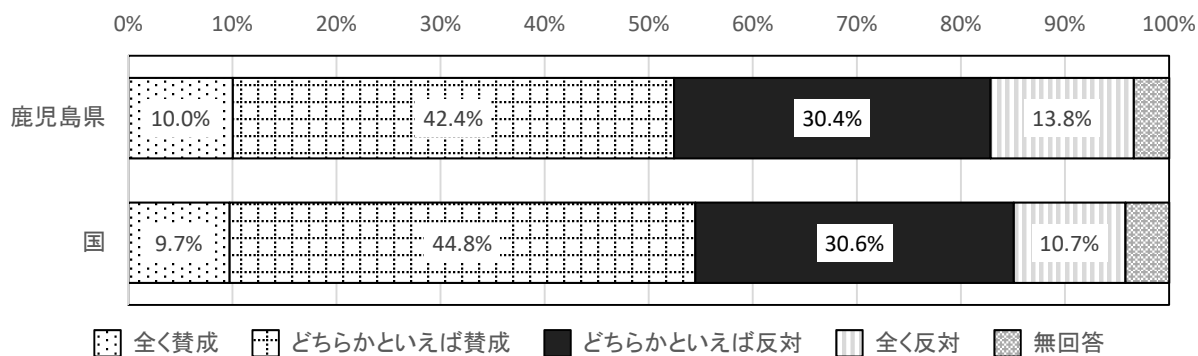
未婚男性



未婚女性



既婚女性

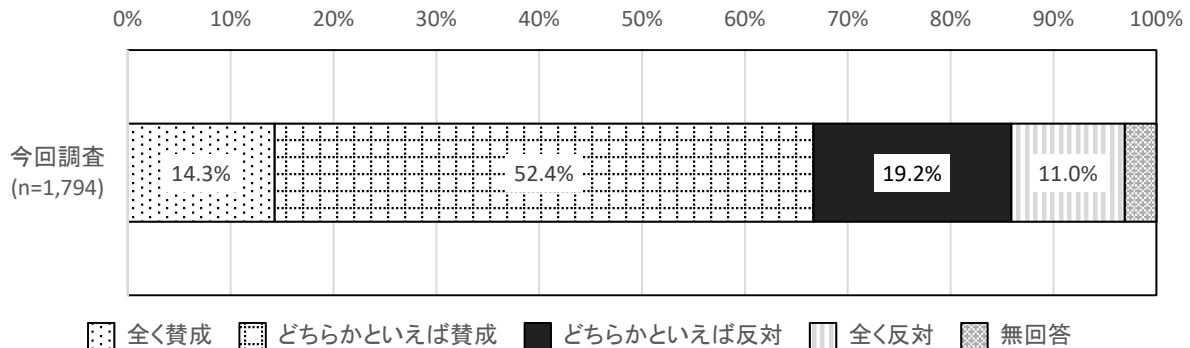


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<B 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである>

男女が一緒に暮らすなら結婚すべきかについては、「どちらかといえば賛成」が52.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が19.2%、「全く賛成」が14.3%、「全く反対」が11.0%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	256	940	345	198	55
		100.0%	14.3%	52.4%	19.2%	11.0%	3.1%
性別	男性	704	133	372	117	55	27
		100.0%	18.9%	52.8%	16.6%	7.8%	3.8%
女性	1,076	122	559	227	141	27	
		100.0%	11.3%	52.0%	21.1%	13.1%	2.5%
年齢	10歳代	150	20	78	34	12	8
		100.0%	13.3%	50.7%	22.7%	8.0%	5.3%
	20歳代	445	66	229	92	46	12
		100.0%	14.8%	51.5%	20.7%	10.3%	2.7%
	30歳代	460	55	246	90	59	10
		100.0%	12.0%	53.5%	19.6%	12.8%	2.2%
	40歳代	486	56	257	98	64	11
		100.0%	11.5%	52.9%	20.2%	13.2%	2.3%
50歳代	134	26	74	18	12	4	
	100.0%	19.4%	55.2%	13.4%	9.0%	3.0%	
60歳代	63	19	33	7	1	3	
	100.0%	30.2%	52.4%	11.1%	1.6%	4.8%	
70歳代以上	32	12	12	2	1	5	
	100.0%	37.5%	37.5%	6.3%	3.1%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	128	477	180	107	19
		100.0%	14.1%	52.4%	19.8%	11.7%	2.1%
	南薩地区	117	21	57	20	10	9
		100.0%	17.9%	48.7%	17.1%	8.5%	7.7%
	北薩地区	187	21	108	27	22	9
		100.0%	11.2%	57.8%	14.4%	11.8%	4.8%
	始良・伊佐地区	239	28	132	48	28	3
		100.0%	11.7%	55.2%	20.1%	11.7%	1.3%
大隅地区	218	35	109	51	18	5	
	100.0%	16.1%	50.0%	23.4%	8.3%	2.3%	
熊毛地区	34	5	17	6	3	3	
	100.0%	14.7%	50.0%	17.6%	8.8%	8.8%	
大島地区	78	15	37	11	9	6	
	100.0%	19.2%	47.4%	14.1%	11.5%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査) ※との比較)

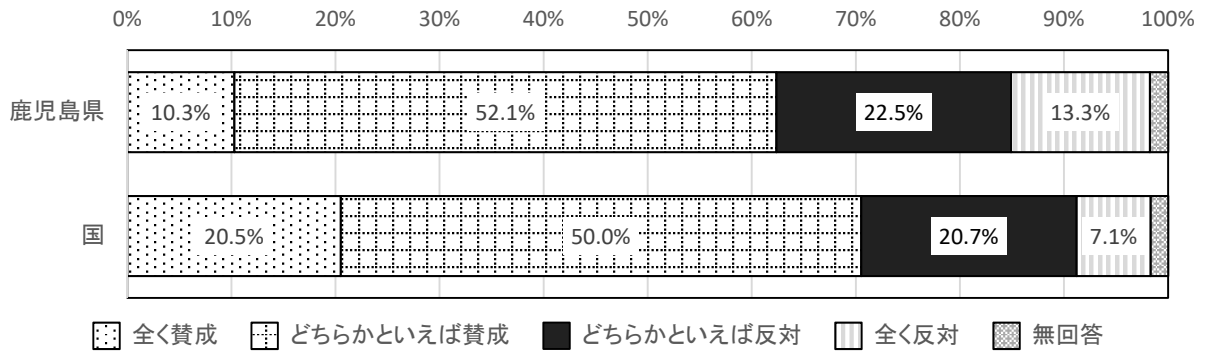
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が8.1ポイント低くなっている。

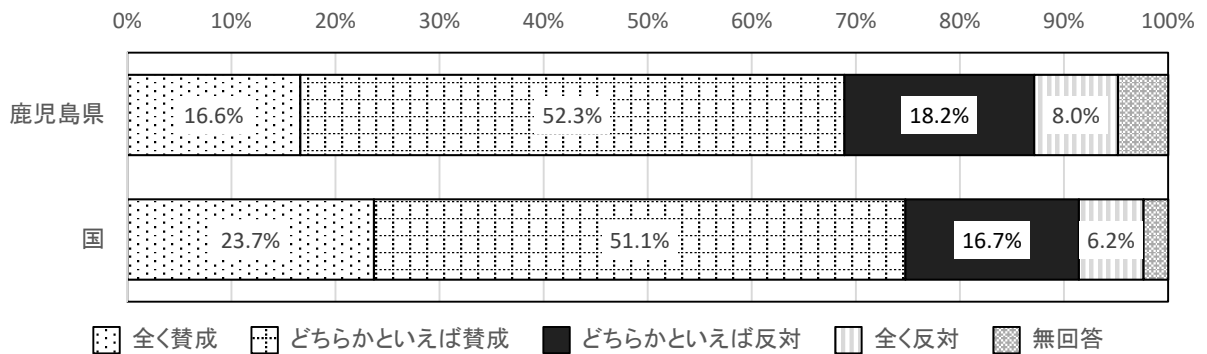
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が5.9ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が5.3ポイント低くなっている。

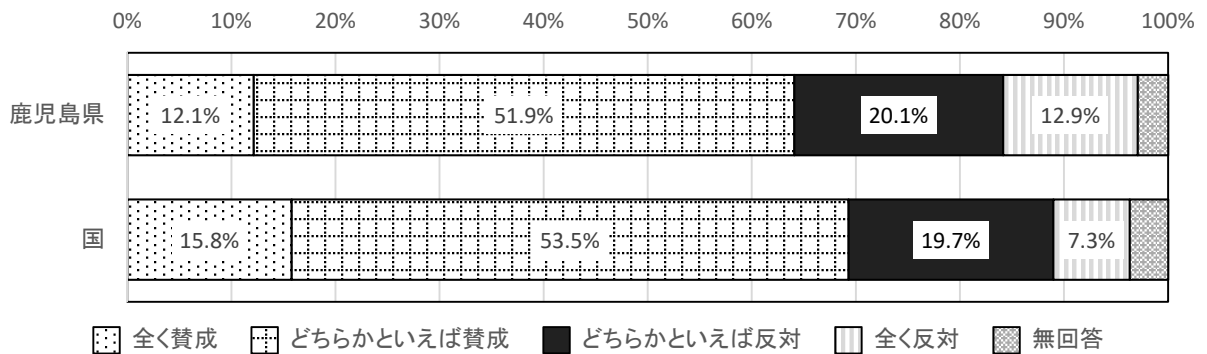
未婚男性



未婚女性



既婚女性

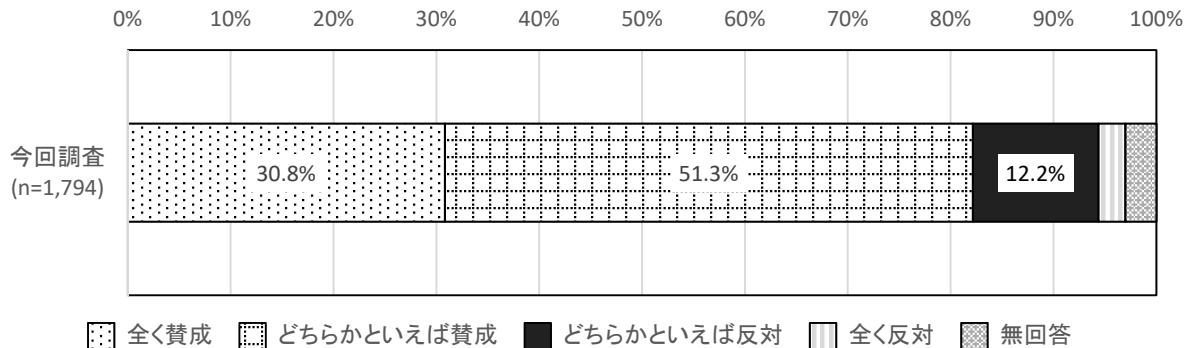


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<C 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない>

結婚前の男女でも愛情があれば性交渉をもってかまわないかについては、「どちらかといえば賛成」が 51.3%で最も多く、次いで「全く賛成」が 30.8%、「どちらかといえば反対」が 12.2%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	553	921	219	47	54
		100.0%	30.8%	51.3%	12.2%	2.6%	3.0%
性別	男性	704	242	345	71	21	25
		100.0%	34.4%	49.0%	10.1%	3.0%	3.6%
女性	1,076	309	568	146	25	28	
		100.0%	28.7%	52.8%	13.6%	2.3%	2.6%
年齢	10歳代	150	37	77	23	5	8
		100.0%	24.7%	51.3%	15.3%	3.3%	5.3%
	20歳代	445	163	218	38	16	10
		100.0%	36.6%	49.0%	8.5%	3.6%	2.2%
	30歳代	460	172	231	39	8	10
		100.0%	37.4%	50.2%	8.5%	1.7%	2.2%
	40歳代	486	143	269	51	10	13
		100.0%	29.4%	55.3%	10.5%	2.1%	2.7%
50歳代	134	25	78	26	2	3	
	100.0%	18.7%	58.2%	19.4%	1.5%	2.2%	
60歳代	63	4	32	22	2	3	
	100.0%	6.3%	50.8%	34.9%	3.2%	4.8%	
70歳代以上	32	2	7	16	2	5	
	100.0%	6.3%	21.9%	50.0%	6.3%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	290	476	107	19	19
		100.0%	31.8%	52.3%	11.7%	2.1%	2.1%
	南薩地区	117	37	45	20	6	9
		100.0%	31.6%	38.5%	17.1%	5.1%	7.7%
	北薩地区	187	57	92	26	5	7
		100.0%	30.5%	49.2%	13.9%	2.7%	3.7%
	始良・伊佐地区	239	69	131	27	9	3
		100.0%	28.9%	54.8%	11.3%	3.8%	1.3%
大隅地区	218	67	122	21	2	6	
	100.0%	30.7%	56.0%	9.6%	0.9%	2.8%	
熊毛地区	34	9	15	4	3	3	
	100.0%	26.5%	44.1%	11.8%	8.8%	8.8%	
大島地区	78	23	35	11	3	6	
	100.0%	29.5%	44.9%	14.1%	3.8%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査) ※との比較)

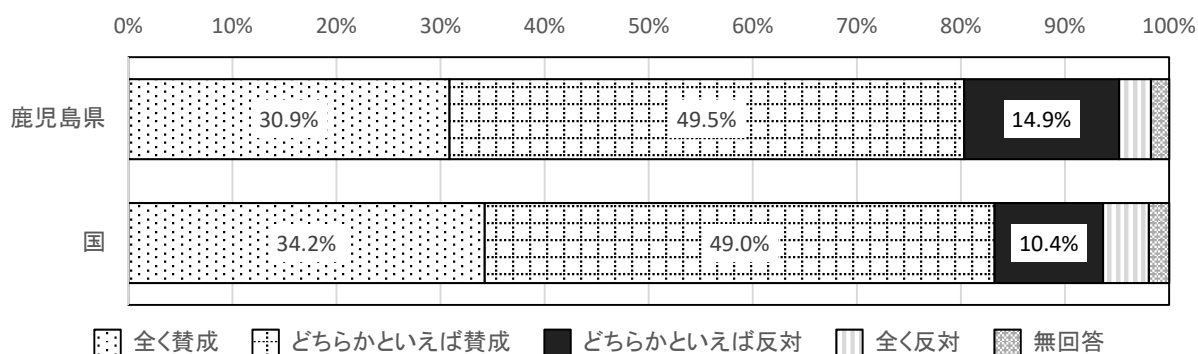
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が2.8ポイント低くなっている。

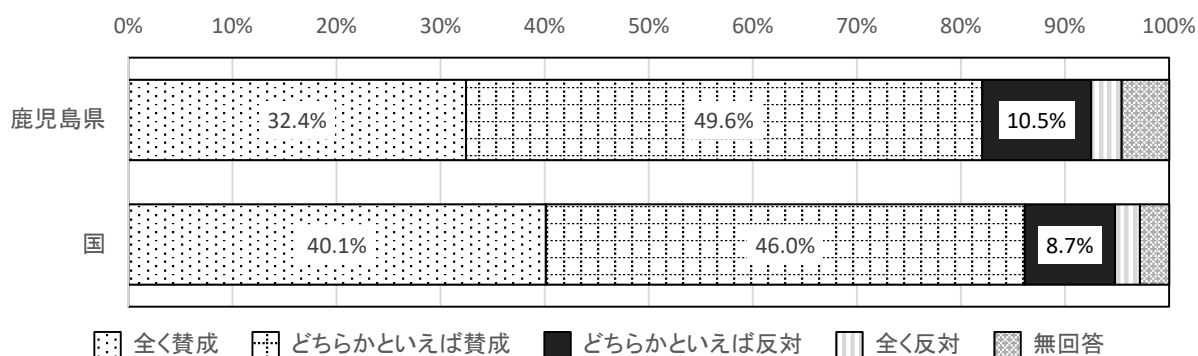
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が4.1ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が5.0ポイント低くなっている。

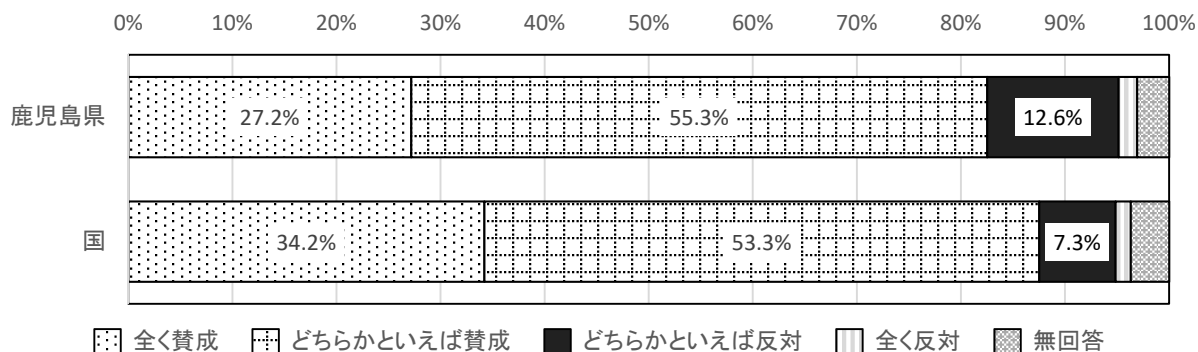
未婚男性



未婚女性



既婚女性

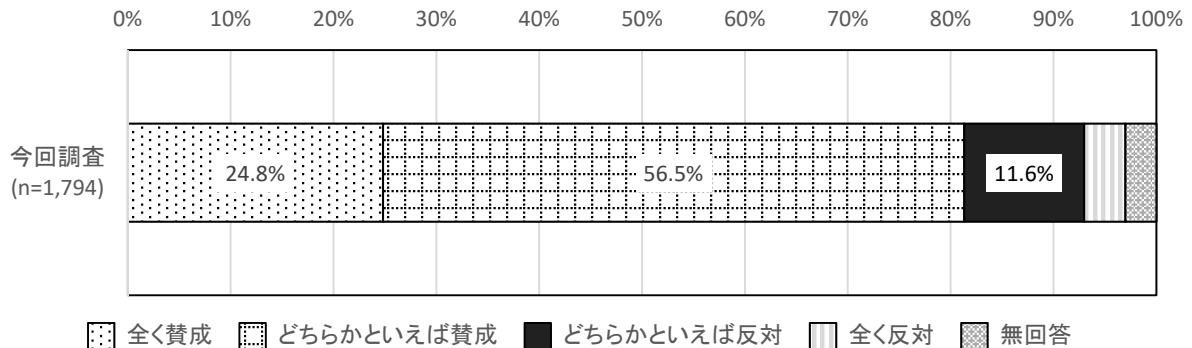


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<D どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ>

どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要かについては、「どちらかといえば賛成」が 56.5%で最も多く、次いで「全く賛成」が 24.8%、「どちらかといえば反対」が 11.6%の順となっている。



		サンプル数	全くと賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	445	1,014	209	72	54
		100.0%	24.8%	56.5%	11.6%	4.0%	3.0%
性別	男性	704	206	378	68	27	25
		100.0%	29.3%	53.7%	9.7%	3.8%	3.6%
女性	1,076	237	631	138	42	28	
		100.0%	22.0%	58.6%	12.8%	3.9%	2.6%
年齢	10歳代	150	30	78	28	8	8
		100.0%	20.0%	50.7%	18.7%	5.3%	5.3%
	20歳代	445	105	251	59	19	11
		100.0%	23.6%	56.4%	13.3%	4.3%	2.5%
	30歳代	460	112	265	58	15	10
		100.0%	24.3%	57.6%	12.6%	3.3%	2.2%
	40歳代	486	124	278	52	21	11
		100.0%	25.5%	57.2%	10.7%	4.3%	2.3%
50歳代	134	38	80	10	3	3	
	100.0%	28.4%	59.7%	7.5%	2.2%	2.2%	
60歳代	63	20	39	0	0	4	
	100.0%	31.7%	61.9%	0.0%	0.0%	6.3%	
70歳代以上	32	10	16	1	0	5	
	100.0%	31.3%	50.0%	3.1%	0.0%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	224	508	124	33	22
		100.0%	24.6%	55.8%	13.6%	3.6%	2.4%
	南薩地区	117	30	67	8	4	8
		100.0%	25.6%	57.3%	6.8%	3.4%	6.8%
	北薩地区	187	47	113	15	6	6
		100.0%	25.1%	60.4%	8.0%	3.2%	3.2%
	始良・伊佐地区	239	59	132	31	14	3
		100.0%	24.7%	55.2%	13.0%	5.9%	1.3%
大隅地区	218	52	130	21	10	5	
	100.0%	23.9%	59.6%	9.6%	4.6%	2.3%	
熊毛地区	34	12	17	0	2	3	
	100.0%	35.3%	50.0%	0.0%	5.9%	8.8%	
大島地区	78	19	43	8	2	6	
	100.0%	24.4%	55.1%	10.3%	2.6%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

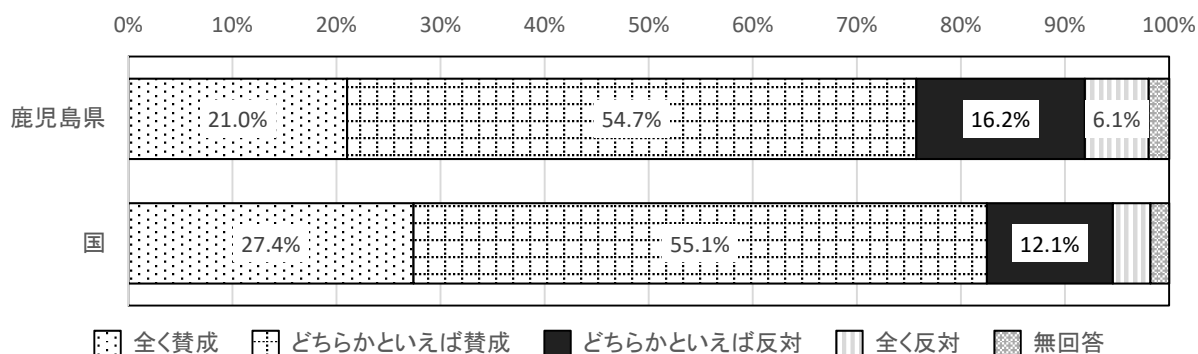
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が6.8ポイント低くなっている。

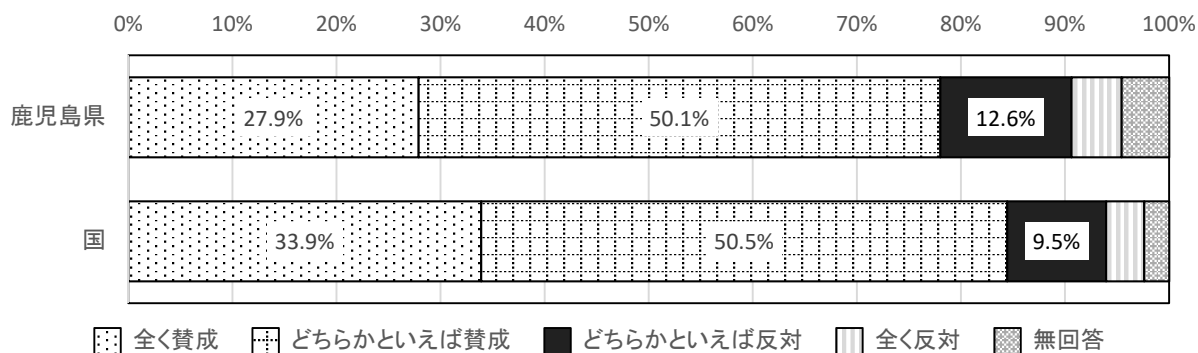
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が6.4ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が0.8ポイント低くなっている。

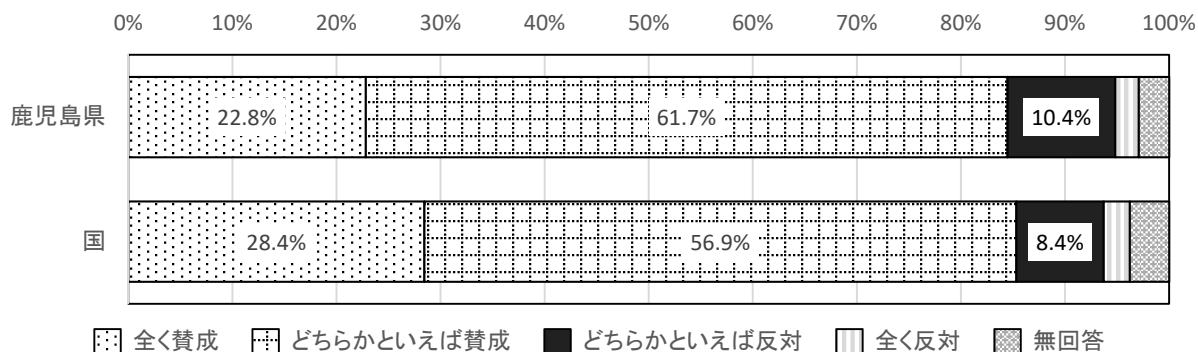
未婚男性



未婚女性



既婚女性

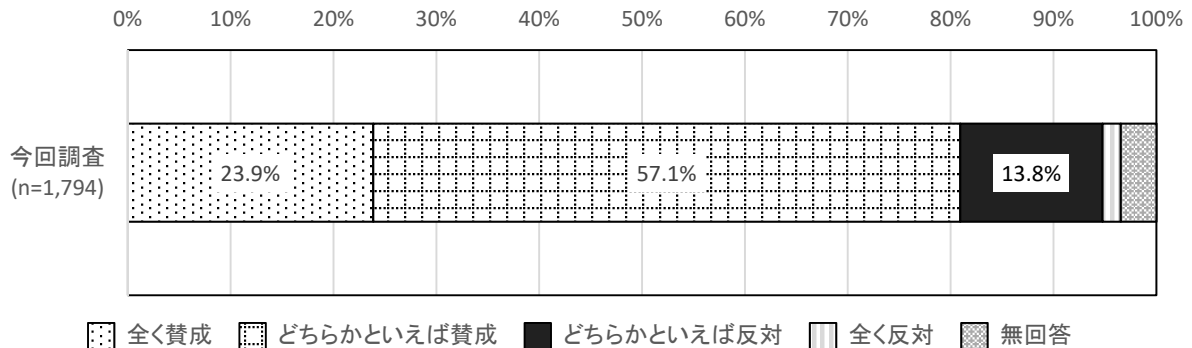


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<E 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである>

結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきであるかについては、「どちらかといえば賛成」が57.1%で最も多く、次いで「全く賛成」が23.9%、「どちらかといえば反対」が13.8%の順となっている。



		サンプル数	全くと賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		1,794	428	1,024	248	32	62
		100.0%	23.9%	57.1%	13.8%	1.8%	3.5%
性別	男性	704	174	381	102	16	31
		100.0%	24.7%	54.1%	14.5%	2.3%	4.4%
女性	1,076	252	635	143	16	30	
		100.0%	23.4%	59.0%	13.3%	1.5%	2.8%
年齢	10歳代	150	38	81	16	5	10
		100.0%	25.3%	54.0%	10.7%	3.3%	6.7%
	20歳代	445	114	259	52	9	11
		100.0%	25.6%	58.2%	11.7%	2.0%	2.5%
	30歳代	460	116	266	59	6	13
		100.0%	25.2%	57.8%	12.8%	1.3%	2.8%
	40歳代	486	119	284	64	6	13
		100.0%	24.5%	58.4%	13.2%	1.2%	2.7%
50歳代	134	27	84	19	0	4	
	100.0%	20.1%	62.7%	14.2%	0.0%	3.0%	
60歳代	63	8	27	23	2	3	
	100.0%	12.7%	42.9%	36.5%	3.2%	4.8%	
70歳代以上	32	1	10	11	4	6	
	100.0%	3.1%	31.3%	34.4%	12.5%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	219	530	121	15	26
		100.0%	24.0%	58.2%	13.3%	1.6%	2.9%
	南薩地区	117	20	68	19	2	8
		100.0%	17.1%	58.1%	16.2%	1.7%	6.8%
	北薩地区	187	46	105	27	2	7
		100.0%	24.6%	56.1%	14.4%	1.1%	3.7%
	始良・伊佐地区	239	66	131	32	6	4
		100.0%	27.6%	54.8%	13.4%	2.5%	1.7%
大隅地区	218	57	119	30	5	7	
	100.0%	26.1%	54.6%	13.8%	2.3%	3.2%	
熊毛地区	34	4	19	7	1	3	
	100.0%	11.8%	55.9%	20.6%	2.9%	8.8%	
大島地区	78	14	47	10	1	6	
	100.0%	17.9%	60.3%	12.8%	1.3%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

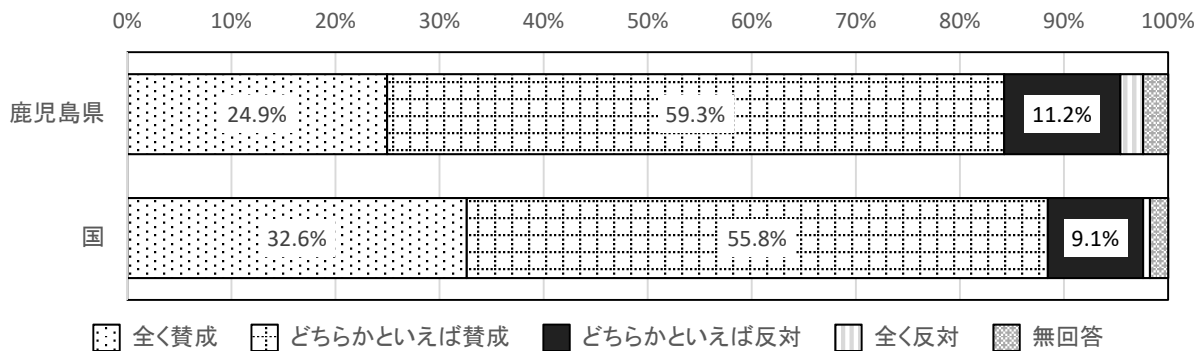
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が4.2ポイント低くなっている。

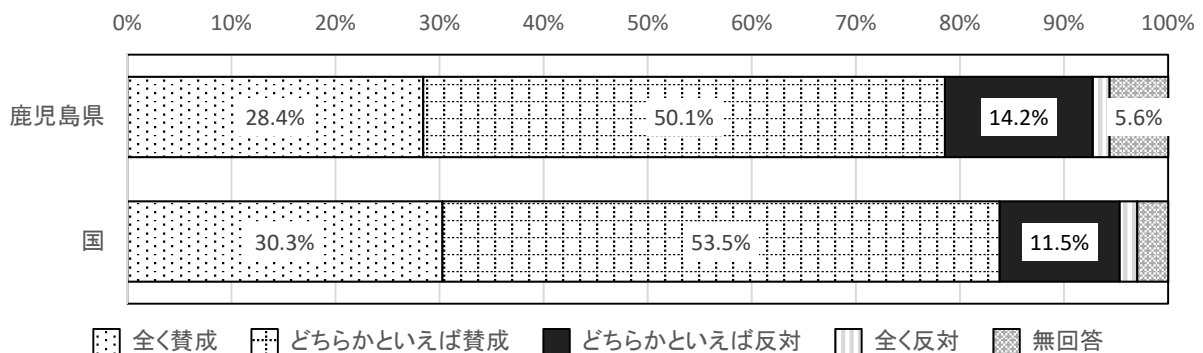
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が5.3ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が3.8ポイント低くなっている。

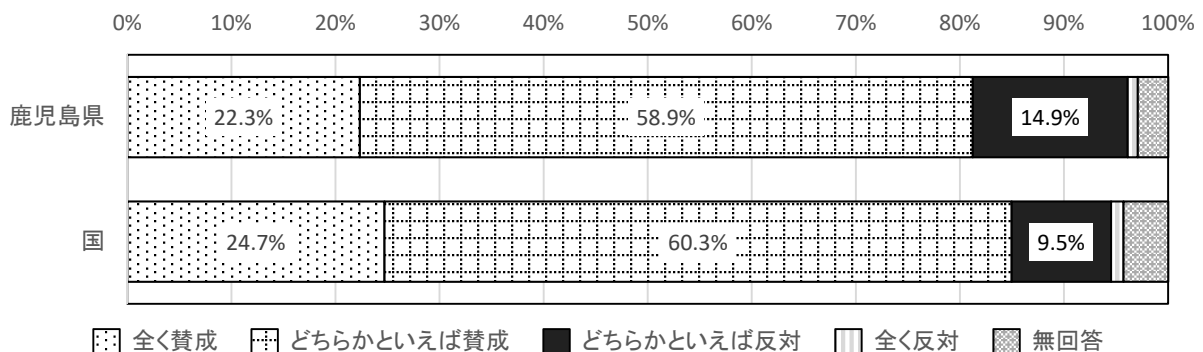
未婚男性



未婚女性



既婚女性

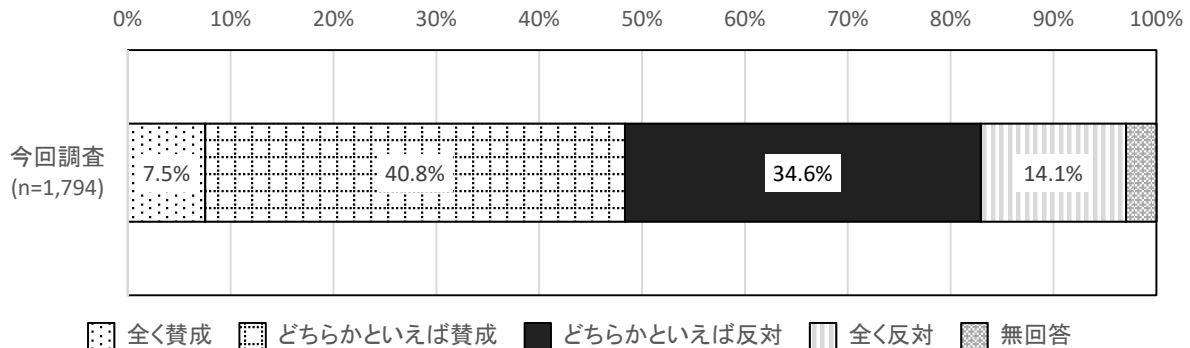


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<F 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ>

結婚したら、家庭のために自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然かについては、「どちらかといえば賛成」が40.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が34.6%、「全く反対」が14.1%、「全く賛成」が7.5%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		1,794	135	732	621	253	53
		100.0%	7.5%	40.8%	34.6%	14.1%	3.0%
性別	男性	704	89	336	189	64	26
		100.0%	12.6%	47.7%	26.8%	9.1%	3.7%
女性	1,076	45	393	426	186	26	
		100.0%	4.2%	36.5%	39.6%	17.3%	2.4%
年齢	10歳代	150	27	52	40	23	8
		100.0%	18.0%	34.7%	26.7%	15.3%	5.3%
	20歳代	445	43	179	153	60	10
		100.0%	9.7%	40.2%	34.4%	13.5%	2.2%
	30歳代	460	21	181	184	62	12
		100.0%	4.6%	39.3%	40.0%	13.5%	2.6%
	40歳代	486	31	217	159	69	10
		100.0%	6.4%	44.7%	32.7%	14.2%	2.1%
50歳代	134	6	54	45	26	3	
	100.0%	4.5%	40.3%	33.6%	19.4%	2.2%	
60歳代	63	3	27	26	4	3	
	100.0%	4.8%	42.9%	41.3%	6.3%	4.8%	
70歳代以上	32	3	14	8	2	5	
	100.0%	9.4%	43.8%	25.0%	6.3%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	68	387	295	140	21
		100.0%	7.5%	42.5%	32.4%	15.4%	2.3%
	南薩地区	117	11	40	43	15	8
		100.0%	9.4%	34.2%	36.8%	12.8%	6.8%
	北薩地区	187	11	81	61	28	6
		100.0%	5.9%	43.3%	32.6%	15.0%	3.2%
	始良・伊佐地区	239	16	95	96	29	3
		100.0%	6.7%	39.7%	40.2%	12.1%	1.3%
大隅地区	218	21	81	86	25	5	
	100.0%	9.6%	37.2%	39.4%	11.5%	2.3%	
熊毛地区	34	3	13	9	6	3	
	100.0%	8.8%	38.2%	26.5%	17.6%	8.8%	
大島地区	78	5	29	30	8	6	
	100.0%	6.4%	37.2%	38.5%	10.3%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

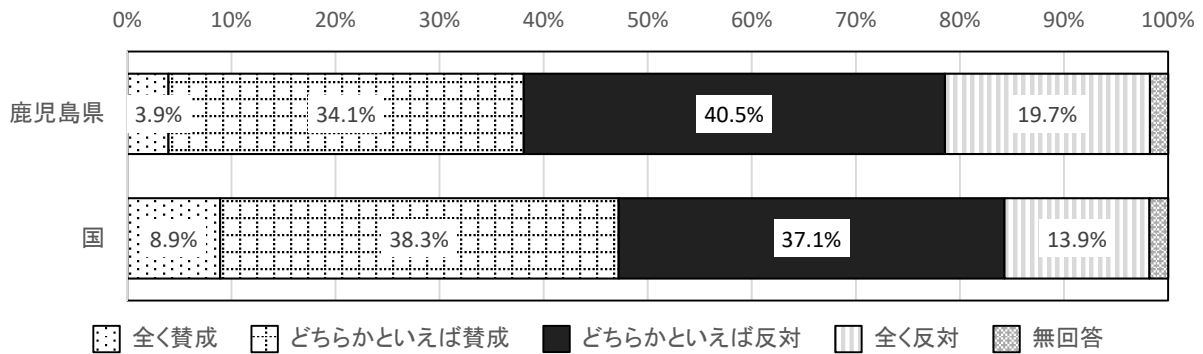
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が9.2ポイント低くなっている。

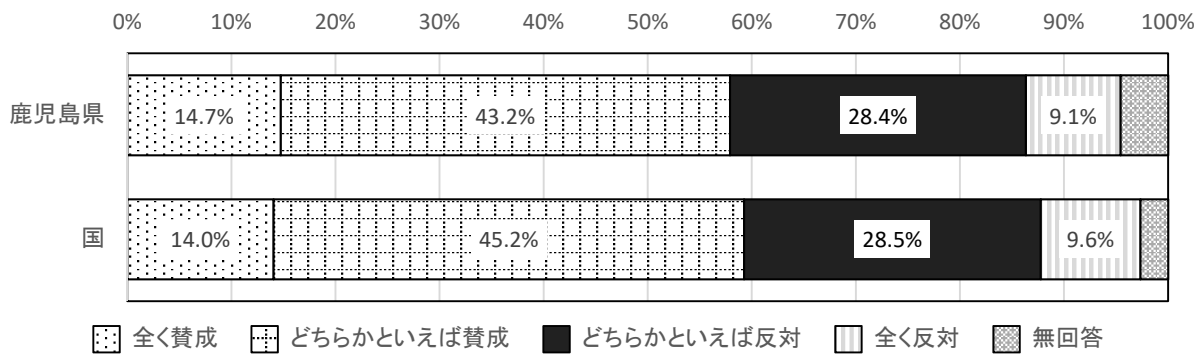
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が1.3ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が5.7ポイント低くなっている。

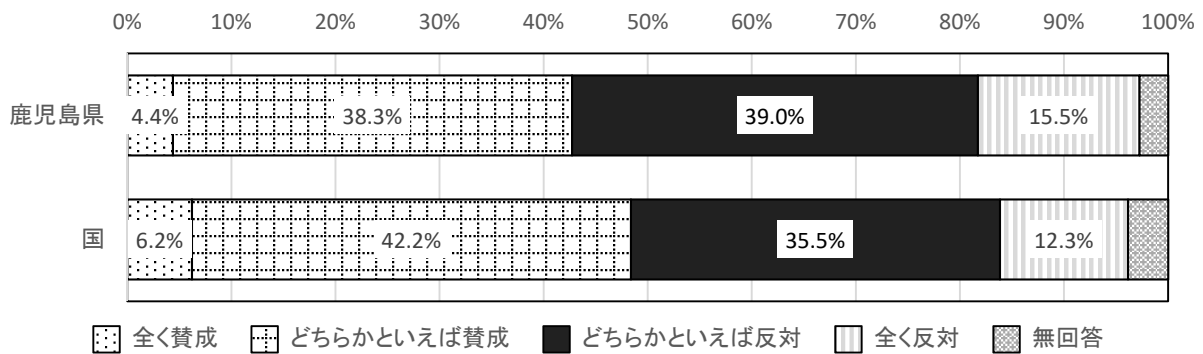
未婚男性



未婚女性



既婚女性

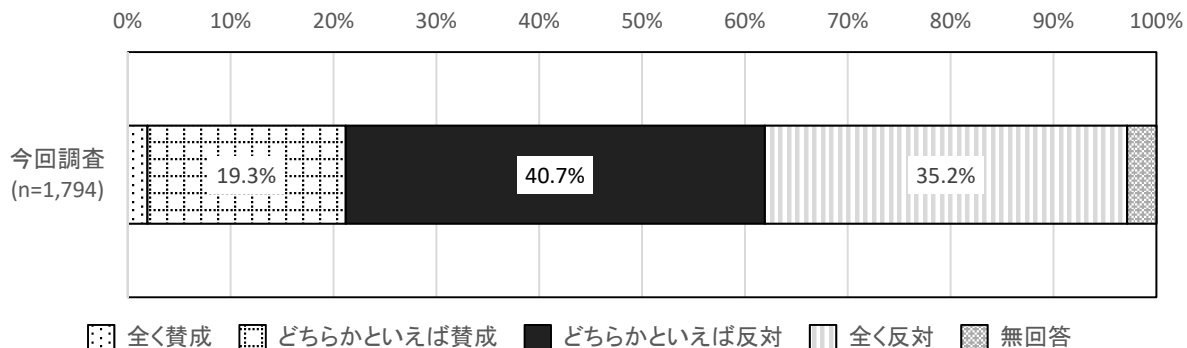


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<G 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ>

結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきかについては、「どちらかといえば反対」が40.7%で最も多く、次いで「全く反対」が35.2%、「どちらかといえば賛成」が19.3%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	34	346	731	632	51
		100.0%	1.9%	19.3%	40.7%	35.2%	2.8%
性別	男性	704	15	165	293	206	25
		100.0%	2.1%	23.4%	41.6%	29.3%	3.6%
女性	1,076	19	180	434	418	25	
		100.0%	1.8%	16.7%	40.3%	38.8%	2.3%
年齢	10歳代	150	2	20	65	55	8
		100.0%	1.3%	13.3%	43.3%	36.7%	5.3%
	20歳代	445	9	78	177	171	10
		100.0%	2.0%	17.5%	39.8%	38.4%	2.2%
	30歳代	460	8	92	190	159	11
		100.0%	1.7%	20.0%	41.3%	34.6%	2.4%
	40歳代	486	5	101	197	174	9
		100.0%	1.0%	20.8%	40.5%	35.8%	1.9%
50歳代	134	2	26	55	48	3	
	100.0%	1.5%	19.4%	41.0%	35.8%	2.2%	
60歳代	63	2	17	35	6	3	
	100.0%	3.2%	27.0%	55.6%	9.5%	4.8%	
70歳代以上	32	5	8	10	4	5	
	100.0%	15.6%	25.0%	31.3%	12.5%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	12	189	365	327	18
		100.0%	1.3%	20.7%	40.1%	35.9%	2.0%
	南薩地区	117	2	21	51	35	8
		100.0%	1.7%	17.9%	43.6%	29.9%	6.8%
	北薩地区	187	3	23	81	74	6
		100.0%	1.6%	12.3%	43.3%	39.6%	3.2%
	始良・伊佐地区	239	10	42	101	82	4
		100.0%	4.2%	17.6%	42.3%	34.3%	1.7%
大隅地区	218	2	41	95	75	5	
	100.0%	0.9%	18.8%	43.6%	34.4%	2.3%	
熊毛地区	34	2	11	8	10	3	
	100.0%	5.9%	32.4%	23.5%	29.4%	8.8%	
大島地区	78	3	17	28	24	6	
	100.0%	3.8%	21.8%	35.9%	30.8%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

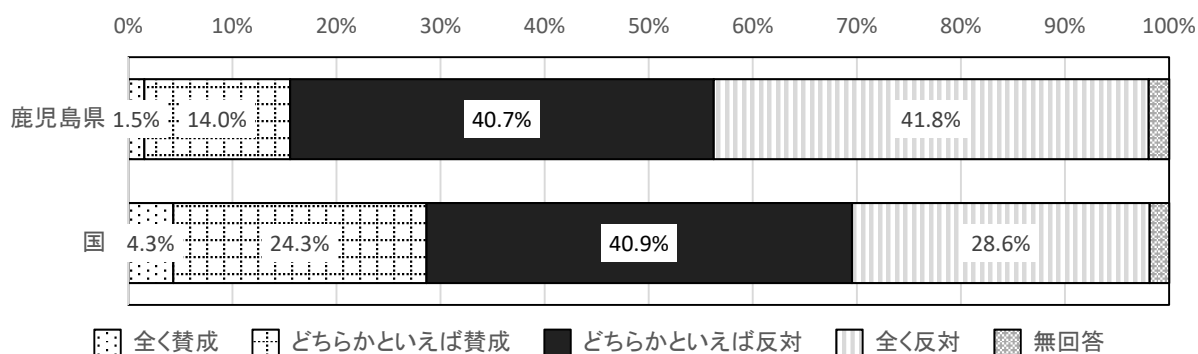
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が13.1ポイント低くなっている。

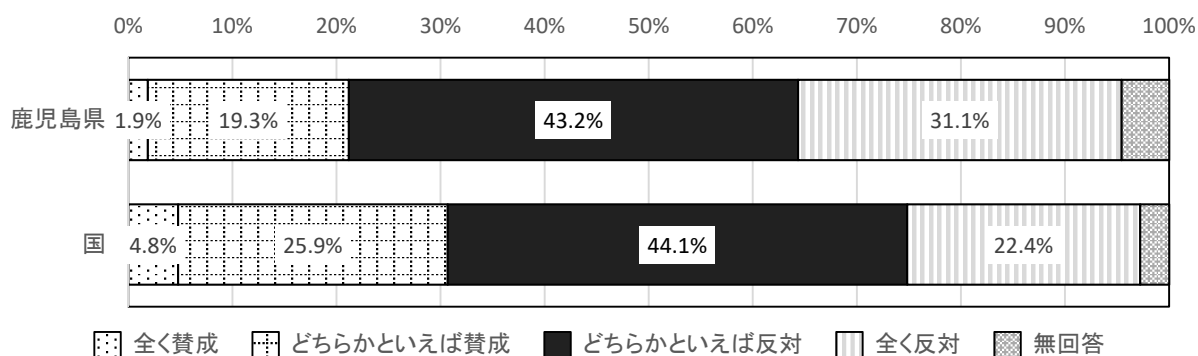
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が9.5ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が6.6ポイント低くなっている。

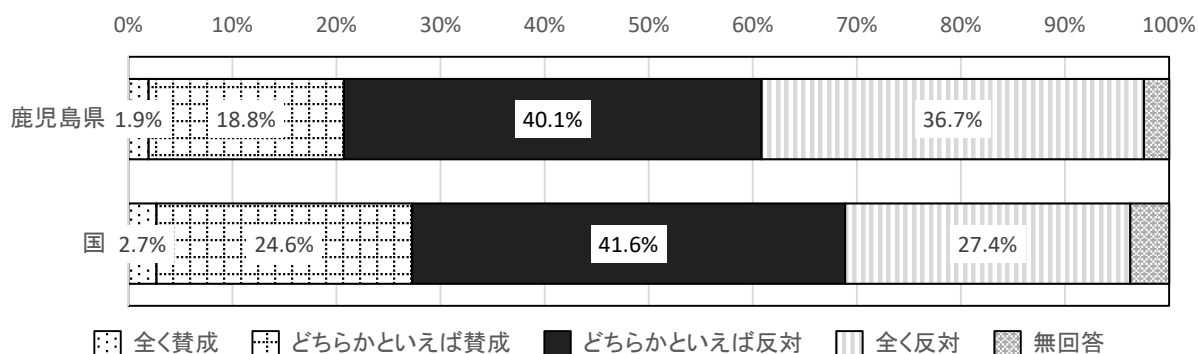
未婚男性



未婚女性



既婚女性

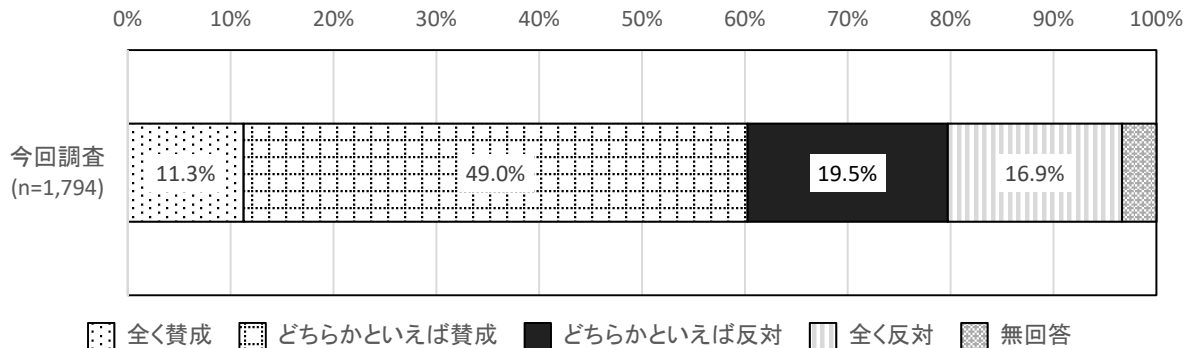


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<H 結婚したら、子どもは持つべきだ>

結婚したら、子どもは持つべきかについては、「どちらかといえば賛成」が49.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が19.5%、「全く反対」が16.9%、「全く賛成」が11.3%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		1,794	202	879	349	304	60
		100.0%	11.3%	49.0%	19.5%	16.9%	3.3%
性別	男性	704	122	360	105	89	28
		100.0%	17.3%	51.1%	14.9%	12.6%	4.0%
女性	1,076	79	515	240	210	32	
		100.0%	7.3%	47.9%	22.3%	19.5%	3.0%
年齢	10歳代	150	13	66	35	26	10
		100.0%	8.7%	44.0%	23.3%	17.3%	6.7%
	20歳代	445	45	217	101	70	12
		100.0%	10.1%	48.8%	22.7%	15.7%	2.7%
	30歳代	460	47	219	89	93	12
		100.0%	10.2%	47.6%	19.3%	20.2%	2.6%
	40歳代	486	45	245	90	92	14
		100.0%	9.3%	50.4%	18.5%	18.9%	2.9%
50歳代	134	21	74	22	14	3	
	100.0%	15.7%	55.2%	16.4%	10.4%	2.2%	
60歳代	63	14	39	8	0	2	
	100.0%	22.2%	61.9%	12.7%	0.0%	3.2%	
70歳代以上	32	14	12	0	0	6	
	100.0%	43.8%	37.5%	0.0%	0.0%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	81	450	188	166	26
		100.0%	8.9%	49.4%	20.6%	18.2%	2.9%
	南薩地区	117	21	53	22	11	10
		100.0%	17.9%	45.3%	18.8%	9.4%	8.5%
	北薩地区	187	22	90	32	35	8
		100.0%	11.8%	48.1%	17.1%	18.7%	4.3%
	始良・伊佐地区	239	28	126	37	45	3
		100.0%	11.7%	52.7%	15.5%	18.8%	1.3%
大隅地区	218	28	108	48	30	4	
	100.0%	12.8%	49.5%	22.0%	13.8%	1.8%	
熊毛地区	34	7	12	6	6	3	
	100.0%	20.6%	35.3%	17.6%	17.6%	8.8%	
大島地区	78	13	37	12	10	6	
	100.0%	16.7%	47.4%	15.4%	12.8%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

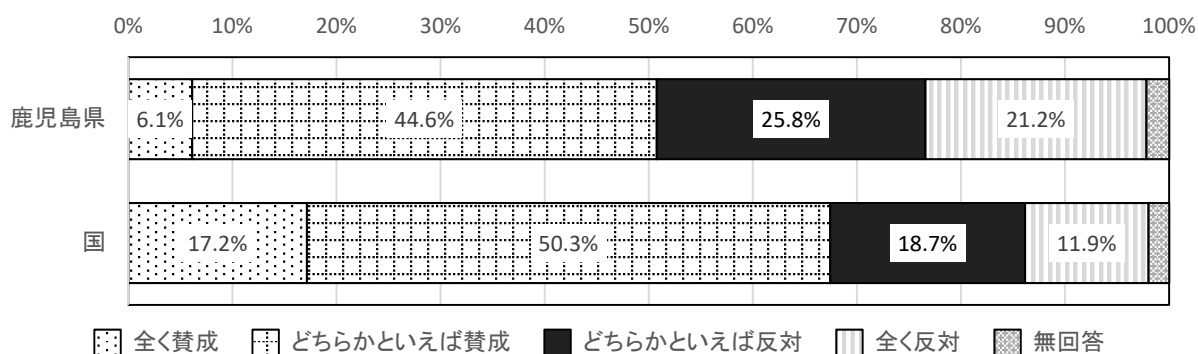
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が16.8ポイント低くなっている。

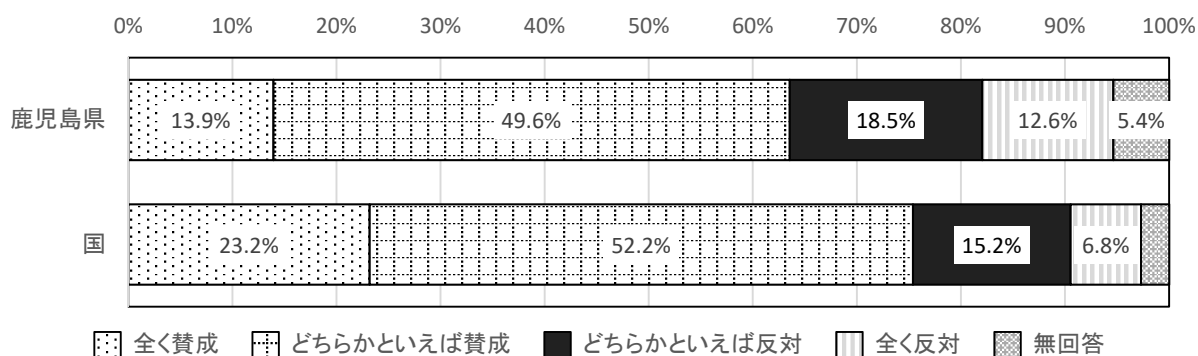
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が11.9ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が8.0ポイント低くなっている。

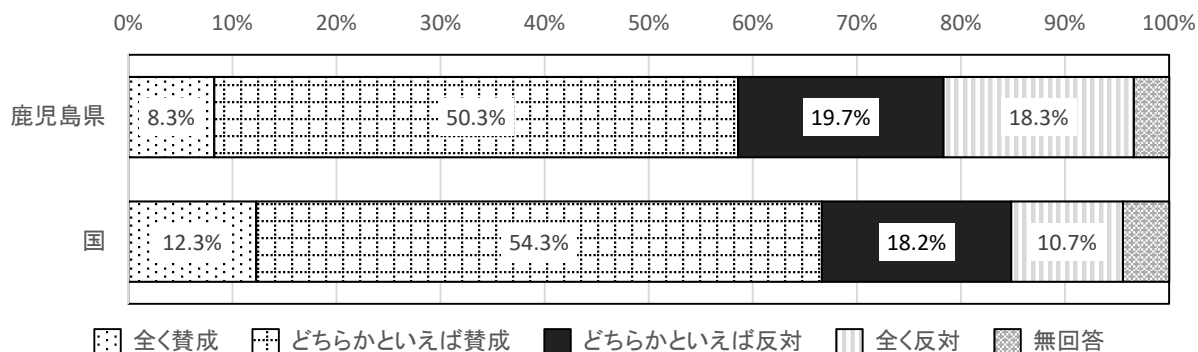
未婚男性



未婚女性



既婚女性

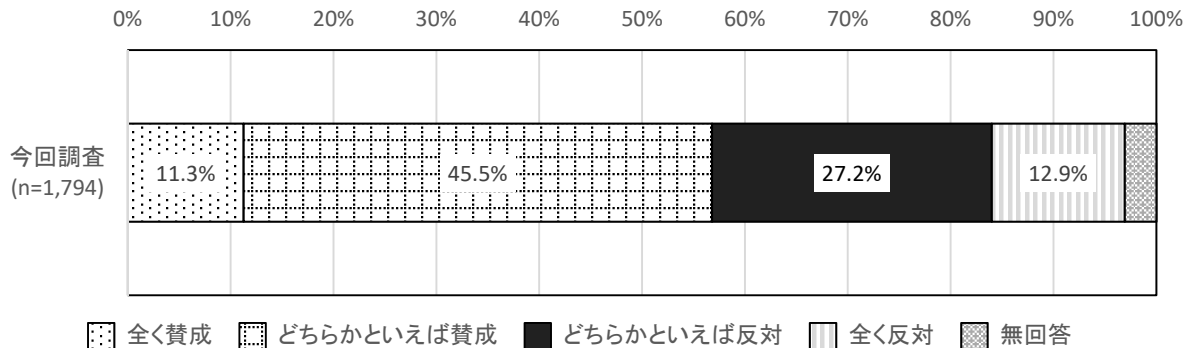


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

＜Ⅰ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい＞

子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましいかについては、「どちらかといえば賛成」が45.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が27.2%、「全く反対」が12.9%、「全く賛成」が11.3%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	202	817	488	232	55
		100.0%	11.3%	45.5%	27.2%	12.9%	3.1%
性別	男性	704	91	320	189	78	26
		100.0%	12.9%	45.5%	26.8%	11.1%	3.7%
女性	1,076	111	492	294	151	28	
		100.0%	10.3%	45.7%	27.3%	14.0%	2.6%
年齢	10歳代	150	14	61	46	21	8
		100.0%	9.3%	40.7%	30.7%	14.0%	5.3%
	20歳代	445	54	198	129	54	10
		100.0%	12.1%	44.5%	29.0%	12.1%	2.2%
	30歳代	460	42	208	130	68	12
		100.0%	9.1%	45.2%	28.3%	14.8%	2.6%
	40歳代	486	51	234	125	65	11
		100.0%	10.5%	48.1%	25.7%	13.4%	2.3%
50歳代	134	14	65	38	14	3	
	100.0%	10.4%	48.5%	28.4%	10.4%	2.2%	
60歳代	63	14	28	14	4	3	
	100.0%	22.2%	44.4%	22.2%	6.3%	4.8%	
70歳代以上	32	11	13	2	0	6	
	100.0%	34.4%	40.6%	6.3%	0.0%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	99	428	239	124	21
		100.0%	10.9%	47.0%	26.2%	13.6%	2.3%
	南薩地区	117	15	53	28	12	9
		100.0%	12.8%	45.3%	23.9%	10.3%	7.7%
	北薩地区	187	16	77	63	25	6
		100.0%	8.6%	41.2%	33.7%	13.4%	3.2%
	始良・伊佐地区	239	28	117	55	36	3
		100.0%	11.7%	49.0%	23.0%	15.1%	1.3%
大隅地区	218	28	91	68	26	5	
	100.0%	12.8%	41.7%	31.2%	11.9%	2.3%	
熊毛地区	34	4	14	10	2	4	
	100.0%	11.8%	41.2%	29.4%	5.9%	11.8%	
大島地区	78	11	33	22	6	6	
	100.0%	14.1%	42.3%	28.2%	7.7%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

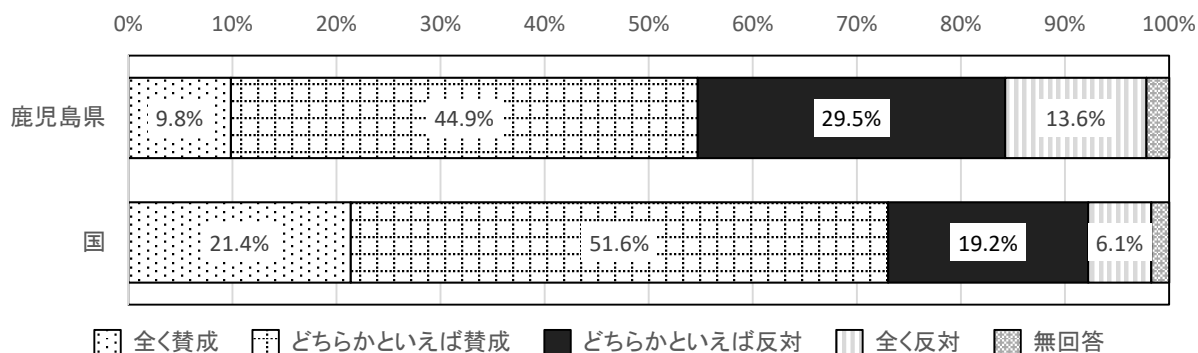
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が18.3ポイント低くなっている。

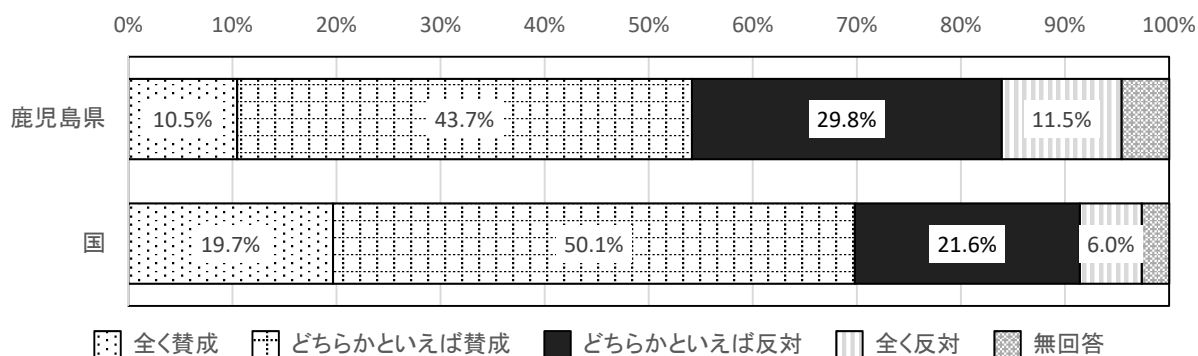
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が15.6ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が6.6ポイント低くなっている。

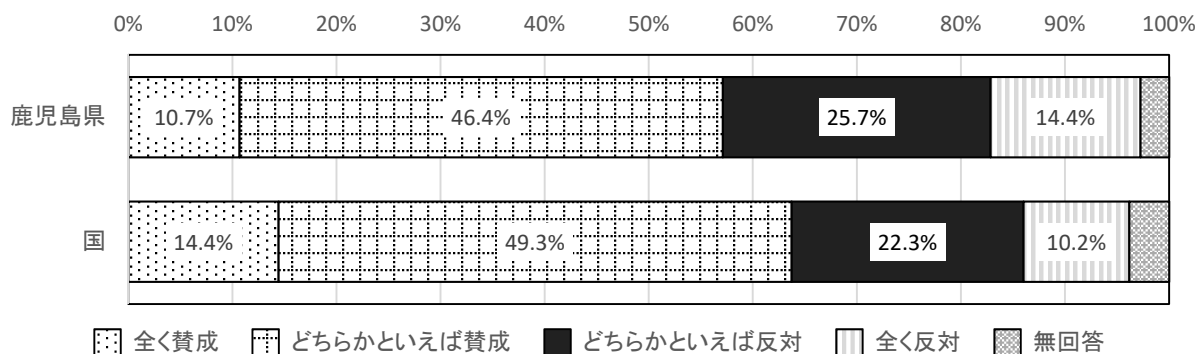
未婚男性



未婚女性



既婚女性

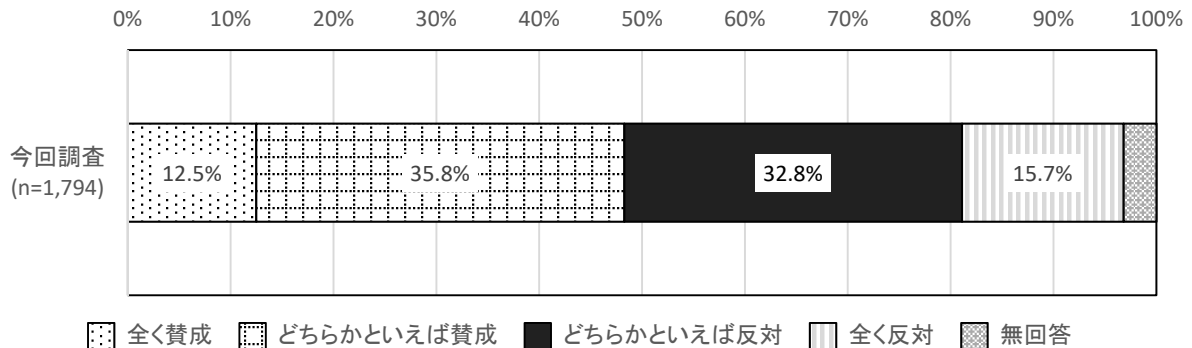


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

＜J＞ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない＞

いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではないかについては、「どちらかといえば賛成」が 35.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が 32.8%、「全く反対」が 15.7%、「全く賛成」が 12.5%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)							
今回調査		1,794	224	642	589	282	57
		100.0%	12.5%	35.8%	32.8%	15.7%	3.2%
性別	男性	704	111	281	191	95	26
		100.0%	15.8%	39.9%	27.1%	13.5%	3.7%
女性	1,076	112	356	395	183	30	
		100.0%	10.4%	33.1%	36.7%	17.0%	2.8%
年齢	10歳代	150	36	49	43	14	8
		100.0%	24.0%	32.7%	28.7%	9.3%	5.3%
	20歳代	445	76	159	138	61	11
		100.0%	17.1%	35.7%	31.0%	13.7%	2.5%
	30歳代	460	52	161	159	78	10
		100.0%	11.3%	35.0%	34.6%	17.0%	2.2%
	40歳代	486	38	165	178	90	15
		100.0%	7.8%	34.0%	36.6%	18.5%	3.1%
50歳代	134	5	56	42	28	3	
	100.0%	3.7%	41.8%	31.3%	20.9%	2.2%	
60歳代	63	4	33	18	5	3	
	100.0%	6.3%	52.4%	28.6%	7.9%	4.8%	
70歳代以上	32	9	12	4	2	5	
	100.0%	28.1%	37.5%	12.5%	6.3%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	118	344	280	146	23
		100.0%	13.0%	37.8%	30.7%	16.0%	2.5%
	南薩地区	117	11	34	40	22	10
		100.0%	9.4%	29.1%	34.2%	18.8%	8.5%
	北薩地区	187	21	61	67	32	6
		100.0%	11.2%	32.6%	35.8%	17.1%	3.2%
	始良・伊佐地区	239	25	95	84	33	2
		100.0%	10.5%	39.7%	35.1%	13.8%	0.8%
大隅地区	218	30	70	82	30	6	
	100.0%	13.8%	32.1%	37.6%	13.8%	2.8%	
熊毛地区	34	7	11	10	3	3	
	100.0%	20.6%	32.4%	29.4%	8.8%	8.8%	
大島地区	78	10	24	23	15	6	
	100.0%	12.8%	30.8%	29.5%	19.2%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

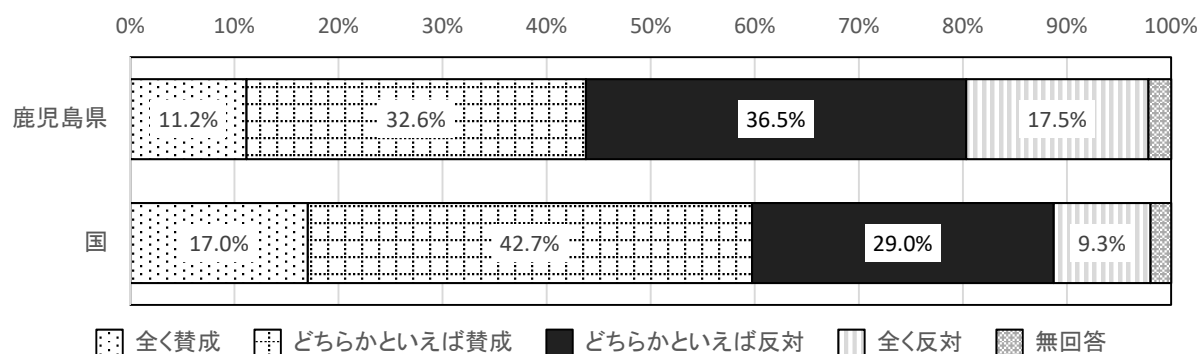
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が15.9ポイント低くなっている。

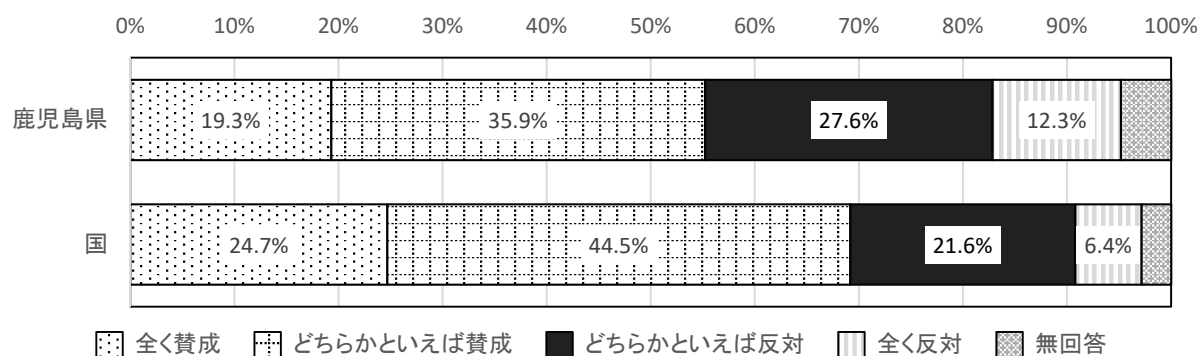
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が14.0ポイント低くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が8.9ポイント低くなっている。

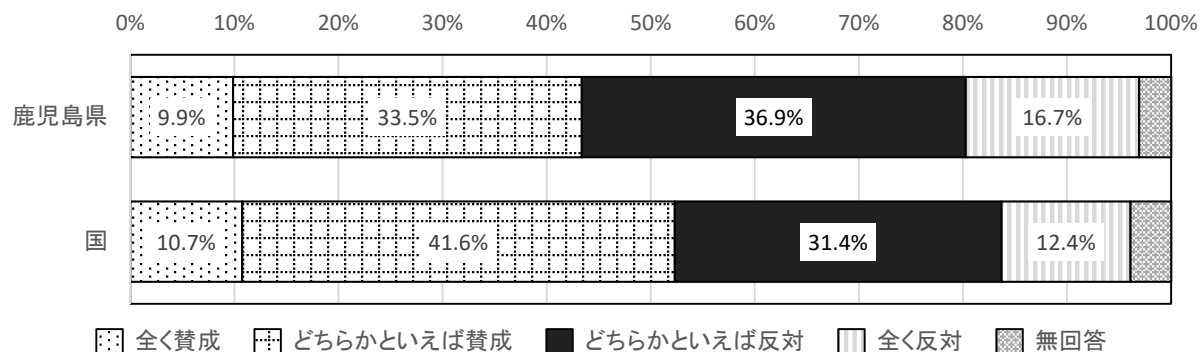
未婚男性



未婚女性



既婚女性

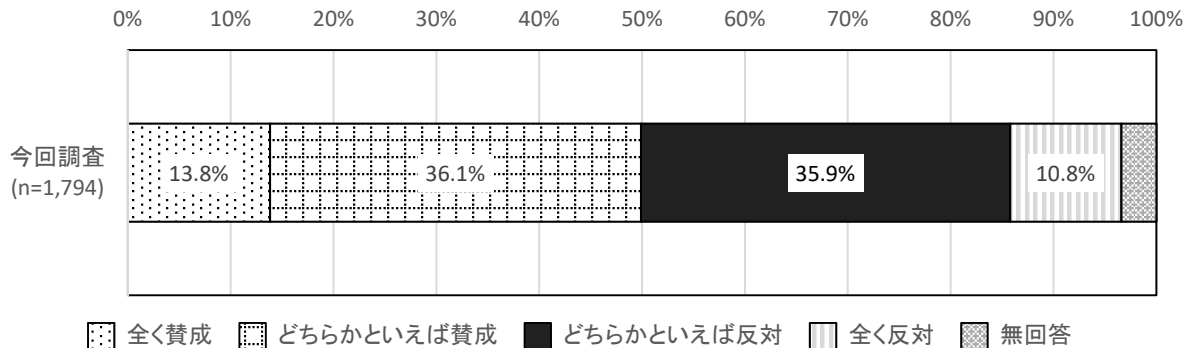


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<K 結婚していなくても、子どもを持っても構わない>

結婚していなくても、子供を持っても構わないかについては、「どちらかといえば賛成」が36.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が35.9%、「全く賛成」が13.8%、「全く反対」が10.8%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)							
今回調査		1,794	248	647	644	194	61
		100.0%	13.8%	36.1%	35.9%	10.8%	3.4%
性別	男性	704	101	241	254	80	28
		100.0%	14.3%	34.2%	36.1%	11.4%	4.0%
女性	1,076	146	399	386	113	32	
		100.0%	13.6%	37.1%	35.9%	10.5%	3.0%
年齢	10歳代	150	24	43	58	18	9
		100.0%	16.0%	28.7%	37.3%	12.0%	6.0%
	20歳代	445	50	160	188	55	12
		100.0%	11.2%	36.0%	37.8%	12.4%	2.7%
	30歳代	460	84	182	132	52	10
		100.0%	18.3%	39.6%	28.7%	11.3%	2.2%
	40歳代	486	70	191	176	34	15
		100.0%	14.4%	39.3%	36.2%	7.0%	3.1%
50歳代	134	14	41	54	21	4	
	100.0%	10.4%	30.6%	40.3%	15.7%	3.0%	
60歳代	63	3	14	39	4	3	
	100.0%	4.8%	22.2%	61.9%	6.3%	4.8%	
70歳代以上	32	0	9	9	8	6	
	100.0%	0.0%	28.1%	28.1%	25.0%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	119	355	312	99	26
		100.0%	13.1%	39.0%	34.2%	10.9%	2.9%
	南薩地区	117	20	31	48	8	10
		100.0%	17.1%	26.5%	41.0%	6.8%	8.5%
	北薩地区	187	22	65	70	23	7
		100.0%	11.8%	34.8%	37.4%	12.3%	3.7%
	始良・伊佐地区	239	30	78	103	26	2
		100.0%	12.6%	32.6%	43.1%	10.9%	0.8%
大隅地区	218	39	74	77	22	6	
	100.0%	17.9%	33.9%	35.3%	10.1%	2.8%	
熊毛地区	34	2	13	11	5	3	
	100.0%	5.9%	38.2%	32.4%	14.7%	8.8%	
大島地区	78	15	27	21	9	6	
	100.0%	19.2%	34.6%	26.9%	11.5%	7.7%	

(第 15 回出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査) ※との比較)

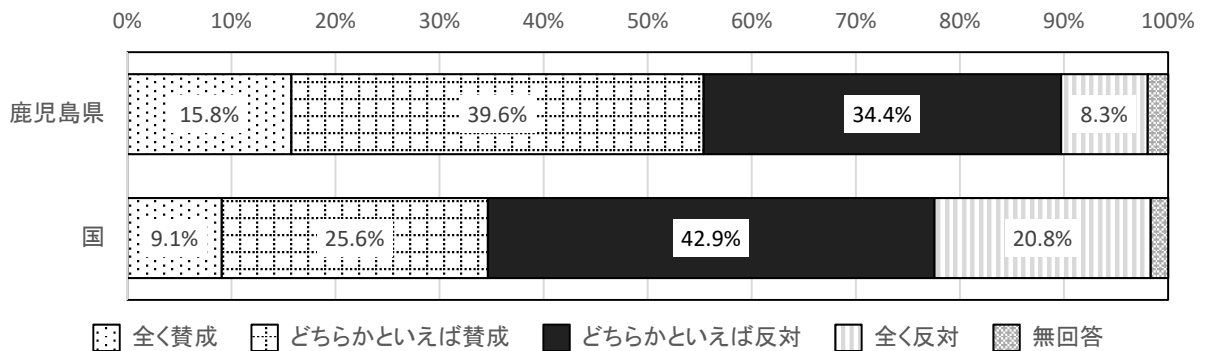
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が 20.7 ポイント高くなっている。

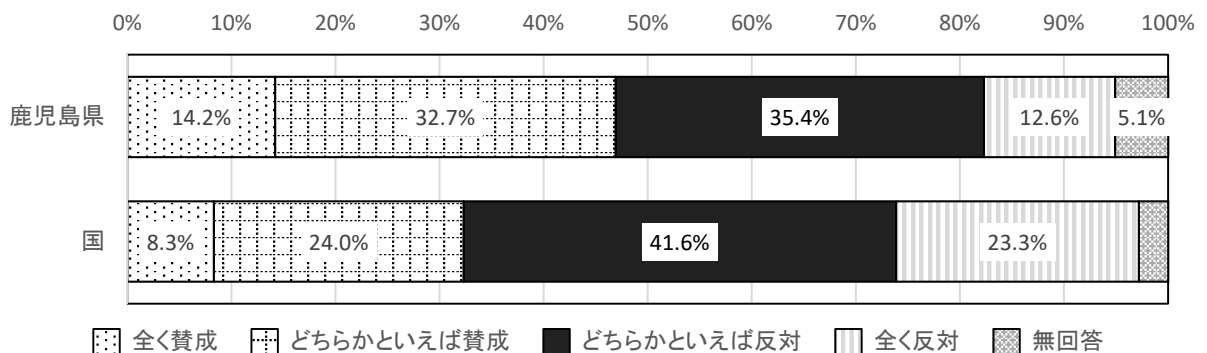
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が 14.6 ポイント高くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が 11.9 ポイント高くなっている。

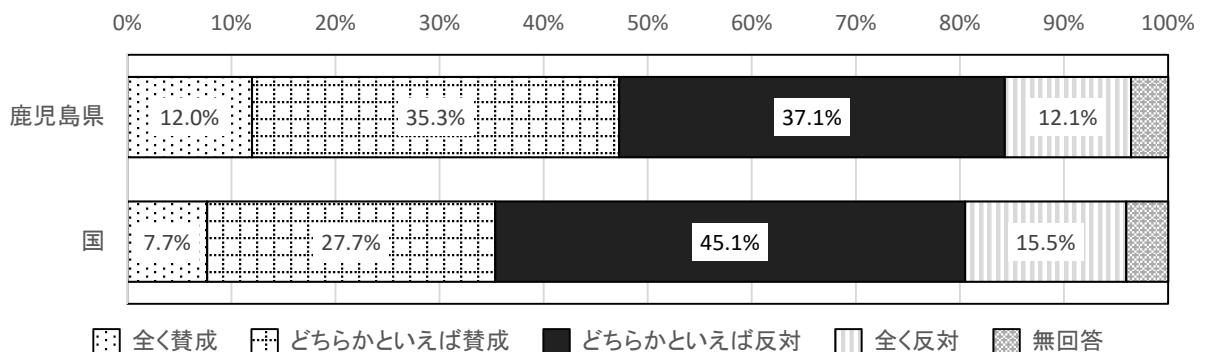
未婚男性



未婚女性



既婚女性

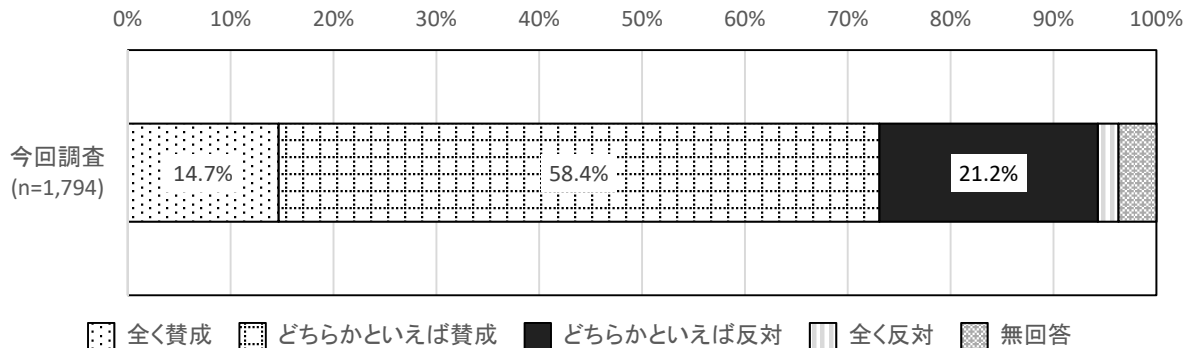


※ 第 15 回出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査)

平成 27 年 6 月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<L 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ>

結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要かについては、「どちらかといえば賛成」が 58.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が 21.2%、「全く賛成」が 14.7%、「全く反対」が 2.0%の順となっている。



		サンプル数	全く賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	263	1,048	381	36	66
		100.0%	14.7%	58.4%	21.2%	2.0%	3.7%
性別	男性	704	132	416	116	11	29
		100.0%	18.8%	59.1%	16.5%	1.6%	4.1%
女性	1,076	130	623	262	25	36	
		100.0%	12.1%	57.9%	24.3%	2.3%	3.3%
年齢	10歳代	150	28	78	33	4	9
		100.0%	18.7%	50.7%	22.0%	2.7%	6.0%
	20歳代	445	77	274	73	7	14
		100.0%	17.3%	61.6%	16.4%	1.6%	3.1%
	30歳代	460	76	260	100	13	11
		100.0%	16.5%	56.5%	21.7%	2.8%	2.4%
	40歳代	486	58	286	118	7	17
		100.0%	11.9%	58.8%	24.3%	1.4%	3.5%
50歳代	134	15	82	32	1	4	
	100.0%	11.2%	61.2%	23.9%	0.7%	3.0%	
60歳代	63	5	42	11	2	3	
	100.0%	7.9%	66.7%	17.5%	3.2%	4.8%	
70歳代以上	32	0	18	8	1	5	
	100.0%	0.0%	56.3%	25.0%	3.1%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	138	526	195	21	31
		100.0%	15.1%	57.7%	21.4%	2.3%	3.4%
	南薩地区	117	15	70	21	2	9
		100.0%	12.8%	59.8%	17.9%	1.7%	7.7%
	北薩地区	187	26	105	45	4	7
		100.0%	13.9%	56.1%	24.1%	2.1%	3.7%
	始良・伊佐地区	239	35	151	43	7	3
		100.0%	14.6%	63.2%	18.0%	2.9%	1.3%
大隅地区	218	34	127	49	2	6	
	100.0%	15.6%	58.3%	22.5%	0.9%	2.8%	
熊毛地区	34	4	18	9	0	3	
	100.0%	11.8%	52.9%	26.5%	0.0%	8.8%	
大島地区	78	9	48	15	0	6	
	100.0%	11.5%	61.5%	19.2%	0.0%	7.7%	

(第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)※との比較)

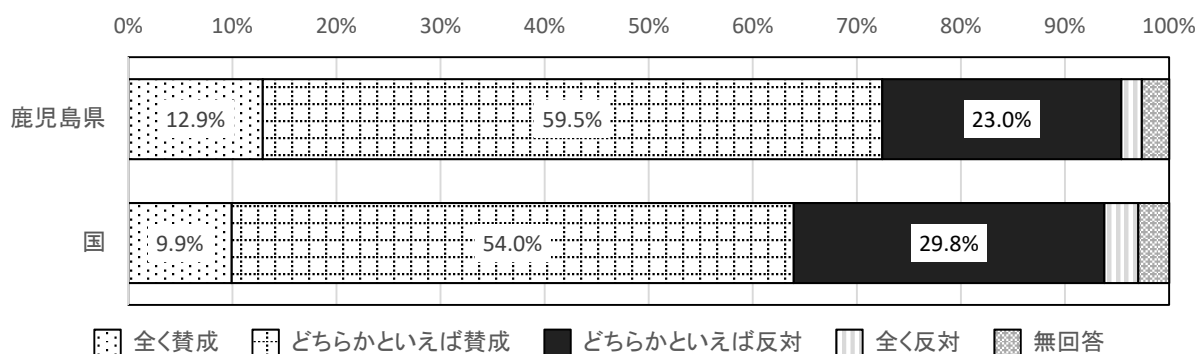
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が8.5ポイント高くなっている。

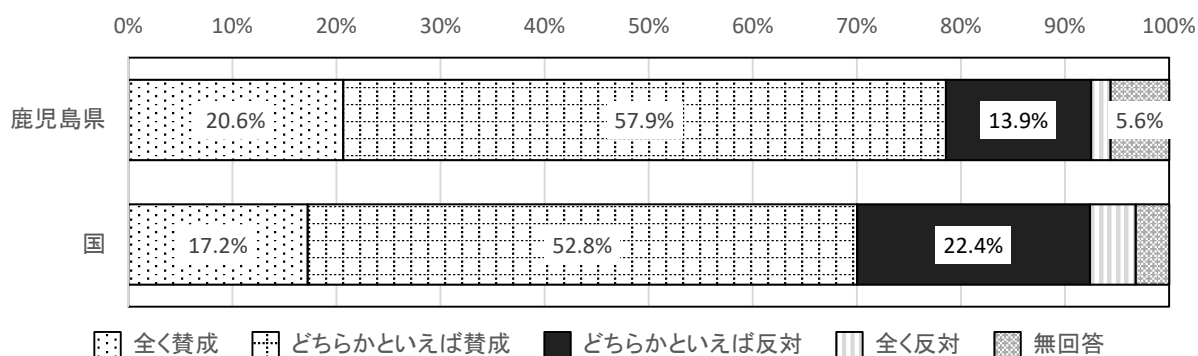
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が8.5ポイント高くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が8.3ポイント高くなっている。

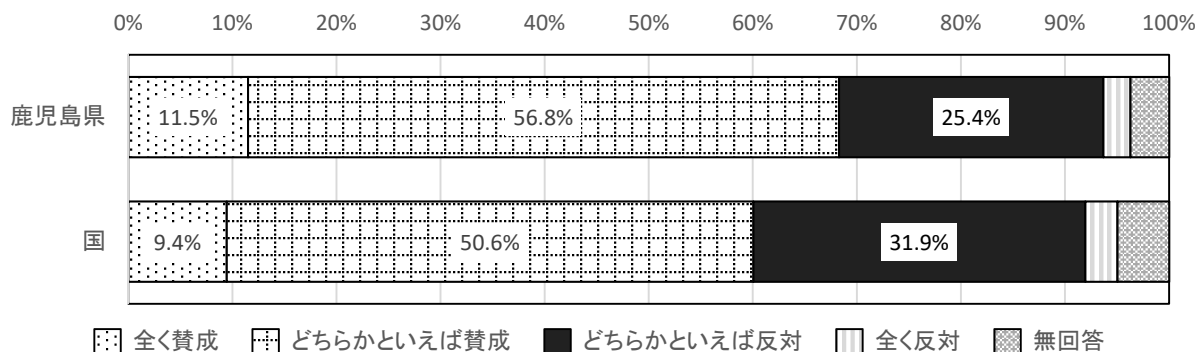
未婚男性



未婚女性



既婚女性

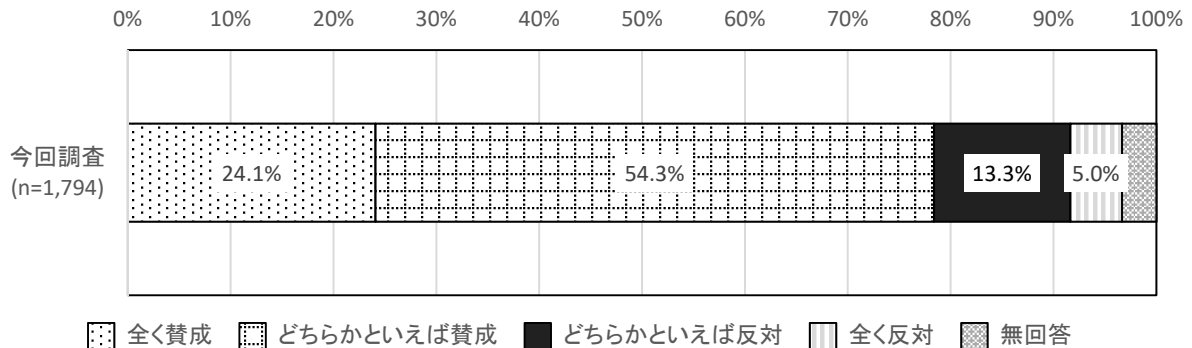


※ 第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

平成27年6月 国立社会保障・人口問題研究所調査

<M 女性が最初の子どもを産むなら 20代のうちがよい>

女性が最初の子どもを産むなら 20代のうちがよいかについては、「どちらかといえば賛成」が 54.3%で最も多く、次いで「全く賛成」が 24.1%、「どちらかといえば反対」が 13.3%、「全く反対」が 5.0%の順となっている。



		サンプル数	全くと賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)							
今回調査		1,794	432	974	238	90	60
		100.0%	24.1%	54.3%	13.3%	5.0%	3.3%
性別	男性	704	160	385	101	32	26
		100.0%	22.7%	54.7%	14.3%	4.5%	3.7%
女性	1,076	270	583	133	57	33	
	100.0%	25.1%	54.2%	12.4%	5.3%	3.1%	
年齢	10歳代	150	40	80	15	7	8
		100.0%	26.7%	53.3%	10.0%	4.7%	5.3%
	20歳代	445	103	255	58	18	11
		100.0%	23.1%	57.3%	13.0%	4.0%	2.5%
	30歳代	460	115	243	65	26	11
		100.0%	25.0%	52.8%	14.1%	5.7%	2.4%
	40歳代	486	111	253	75	31	16
		100.0%	22.8%	52.1%	15.4%	6.4%	3.3%
50歳代	134	32	75	18	5	4	
	100.0%	23.9%	56.0%	13.4%	3.7%	3.0%	
60歳代	63	18	38	4	0	3	
	100.0%	28.6%	60.3%	6.3%	0.0%	4.8%	
70歳代以上	32	10	15	1	1	5	
	100.0%	31.3%	46.9%	3.1%	3.1%	15.6%	
地域別	鹿児島地区	911	229	486	124	48	24
		100.0%	25.1%	53.3%	13.6%	5.3%	2.6%
	南薩地区	117	21	65	15	7	9
		100.0%	17.9%	55.6%	12.8%	6.0%	7.7%
	北薩地区	187	43	106	21	9	8
		100.0%	23.0%	56.7%	11.2%	4.8%	4.3%
	始良・伊佐地区	239	57	132	38	9	3
		100.0%	23.8%	55.2%	15.9%	3.8%	1.3%
大隅地区	218	50	124	25	13	6	
	100.0%	22.9%	56.9%	11.5%	6.0%	2.8%	
熊毛地区	34	10	15	4	2	3	
	100.0%	29.4%	44.1%	11.8%	5.9%	8.8%	
大島地区	78	18	42	10	2	6	
	100.0%	23.1%	53.8%	12.8%	2.6%	7.7%	

(第 15 回出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査) ※との比較)

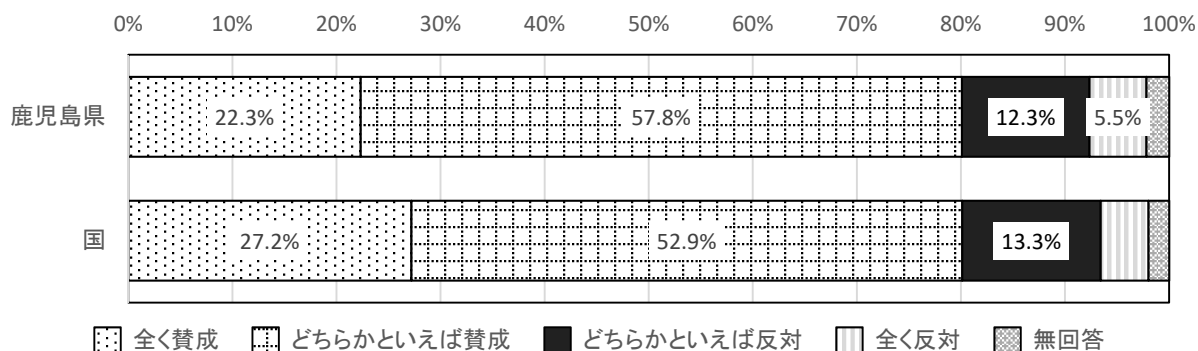
国の調査と比較すると、

未婚男性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合は同じである。

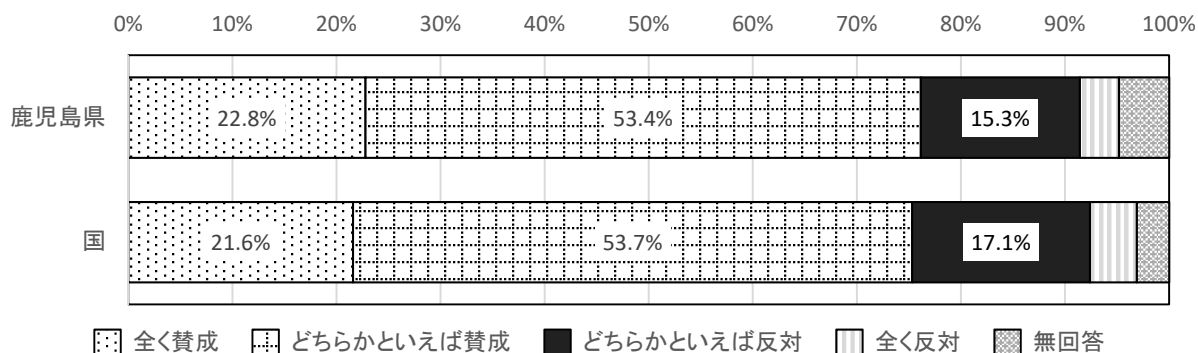
未婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が 0.9 ポイント高くなっている。

既婚女性では鹿児島県が、「全く賛成」+「どちらかといえば賛成」の割合が 3.0 ポイント低くなっている。

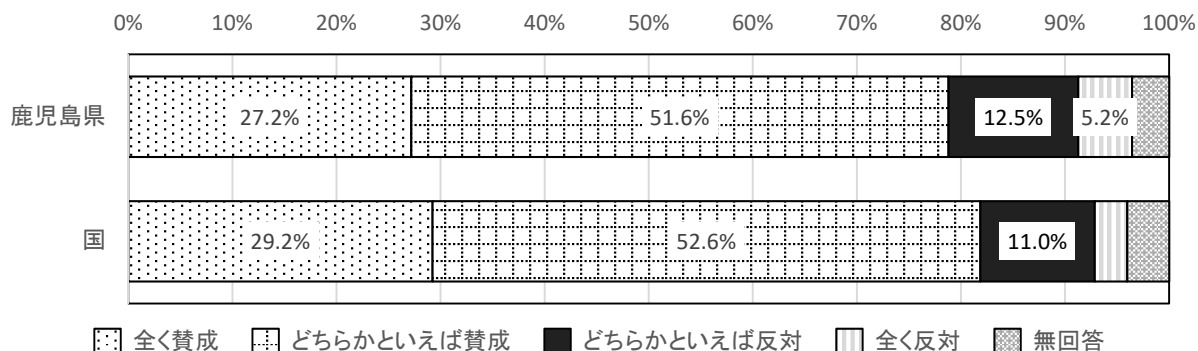
未婚男性



未婚女性



既婚女性



※ 第 15 回出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査)

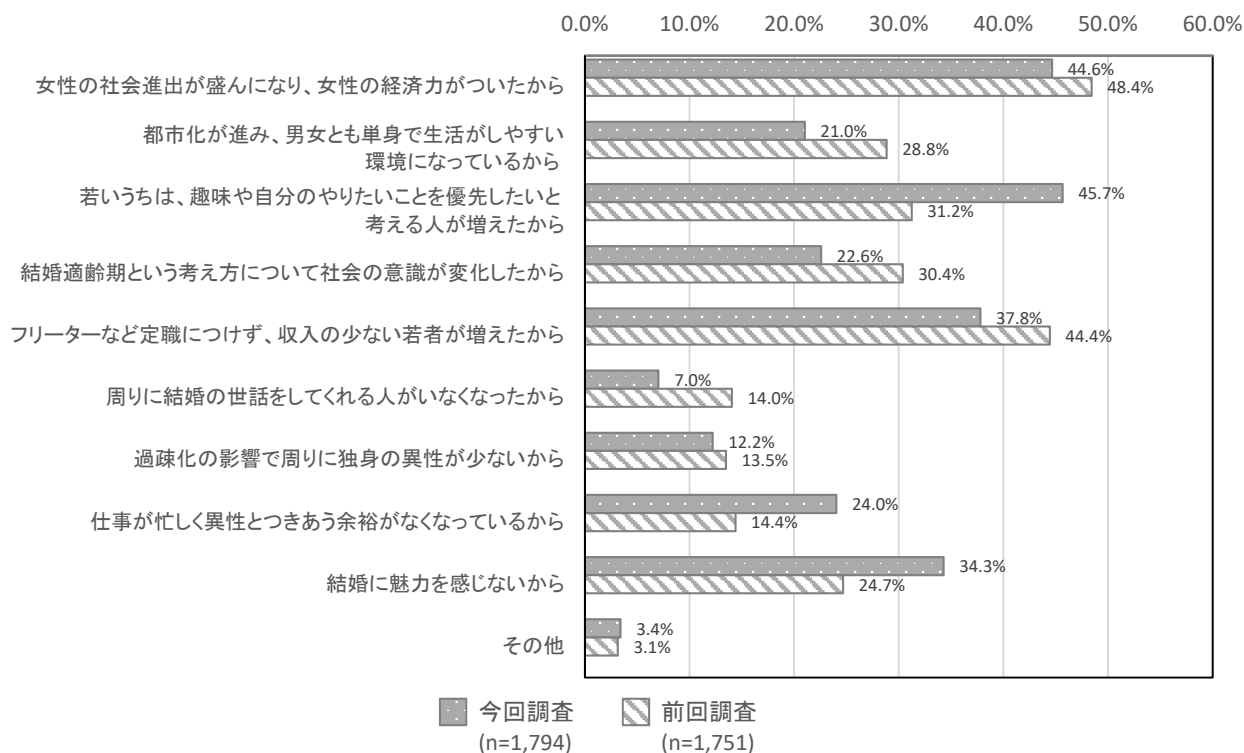
平成 27 年 6 月 国立社会保障・人口問題研究所調査

問58 本県でも、未婚化と晩婚化が進んでいますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。

(〇は3つまで)

本県で未婚化と晩婚化が進んでいる原因が何かについては、「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」が45.7%で最も多く、次いで「女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから」が44.6%、「フリーターなど定職につけず、収入の少ない若者が増えたから」が37.8%となっている。

前回調査と比較すると、「若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから」と回答した割合が14.5ポイント増加している。



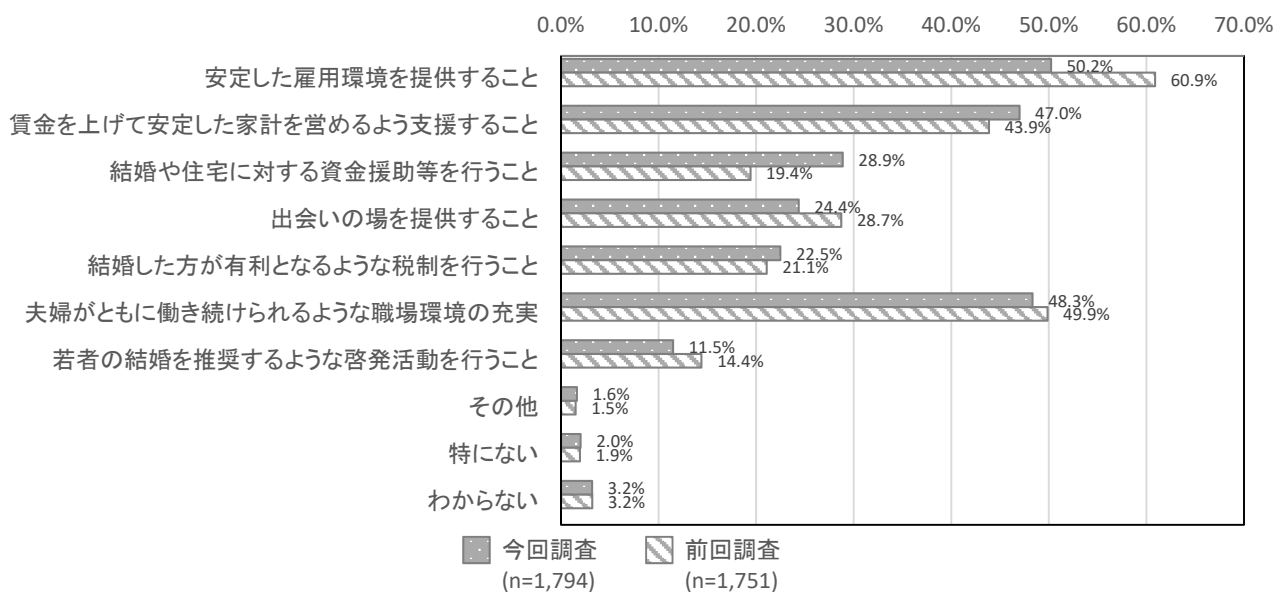
		サンプル数	女性の社会進出が盛んになったから	都市化が進み、男女とも単身で生活がしやすい環境になっ	若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから	結婚適齢期という考え方が変化したから	結婚適齢期と収入の少ない若者が増えたから	フリーターなど定職につけず、収入の少ない若者が増えたから	周りの人が結婚の世話をしてくれなくなったから	過疎化の影響で周りに独身の異性が少ないから	仕事が忙しく異性とのつきあう余裕がなくなっているから	結婚に魅力を感じないから	その他
上段:度数 下段:構成比(%)													
今回調査		1,794	801	377	819	405	678	126	219	431	615	61	
		-	44.6%	21.0%	45.7%	22.6%	37.8%	7.0%	12.2%	24.0%	34.3%	3.4%	
前回調査		1,751	848	505	547	532	778	246	236	252	432	55	
		-	48.4%	28.8%	31.2%	30.4%	44.4%	14.0%	13.5%	14.4%	24.7%	3.1%	
性別	男性	704	269	170	328	146	279	54	94	175	220	23	
		-	38.2%	24.1%	46.6%	20.7%	39.6%	7.7%	13.4%	24.9%	31.3%	3.3%	
性別	女性	1,076	526	205	484	257	395	72	124	254	389	36	
		-	48.9%	19.1%	45.0%	23.9%	36.7%	6.7%	11.5%	23.6%	36.2%	3.3%	
年齢	10歳代	150	64	29	74	19	38	7	15	48	35	1	
		-	42.7%	19.3%	49.3%	12.7%	25.3%	4.7%	10.0%	32.0%	23.3%	0.7%	
	20歳代	445	177	80	239	73	161	24	64	117	131	14	
		-	39.8%	18.0%	53.7%	16.4%	36.2%	5.4%	14.4%	26.3%	29.4%	3.1%	
	30歳代	460	211	92	216	108	184	43	55	104	160	15	
		-	45.9%	20.0%	47.0%	23.5%	40.0%	9.3%	12.0%	22.6%	34.8%	3.3%	
	40歳代	486	227	114	190	125	190	30	55	103	205	24	
		-	46.7%	23.5%	39.1%	25.7%	39.1%	6.2%	11.3%	21.2%	42.2%	4.9%	
50歳代	134	56	35	55	45	66	7	15	36	54	1		
	-	41.8%	26.1%	41.0%	33.6%	49.3%	5.2%	11.2%	26.9%	40.3%	0.7%		
60歳代	63	37	14	24	18	29	9	10	17	15	1		
	-	58.7%	22.2%	38.1%	28.6%	46.0%	14.3%	15.9%	27.0%	23.8%	1.6%		
70歳代以上	32	21	11	12	7	7	6	3	1	5	0		
	-	65.6%	34.4%	37.5%	21.9%	21.9%	18.8%	9.4%	3.1%	15.6%	0.0%		
地域別	鹿児島地区	911	413	185	415	223	343	60	97	224	311	30	
		-	45.3%	20.3%	45.6%	24.5%	37.7%	6.6%	10.6%	24.6%	34.1%	3.3%	
	南薩地区	117	46	31	57	28	39	5	23	21	30	4	
		-	39.3%	26.5%	48.7%	23.9%	33.3%	4.3%	19.7%	17.9%	25.6%	3.4%	
	北薩地区	187	93	40	83	26	75	19	23	46	70	4	
		-	49.7%	21.4%	44.4%	13.9%	40.1%	10.2%	12.3%	24.6%	37.4%	2.1%	
	始良・伊佐地区	239	105	45	110	60	100	16	25	59	81	6	
		-	43.9%	18.8%	46.0%	25.1%	41.8%	6.7%	10.5%	24.7%	33.9%	2.5%	
大隅地区	218	95	50	93	44	73	19	33	53	78	12		
	-	43.6%	22.9%	42.7%	20.2%	33.5%	8.7%	15.1%	24.3%	35.8%	5.5%		
熊毛地区	34	15	11	15	10	11	3	6	8	8	1		
	-	44.1%	32.4%	44.1%	29.4%	32.4%	8.8%	17.6%	23.5%	23.5%	2.9%		
大島地区	78	32	14	43	11	32	4	11	17	35	2		
	-	41.0%	17.9%	55.1%	14.1%	41.0%	5.1%	14.1%	21.8%	44.9%	2.6%		

問59 あなたは、結婚を希望する人の結婚を支援する施策として何が重要だと思いますか。

(〇は3つまで)

結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思うかについては、「安定した雇用環境を提供すること」が50.2%で最も多く、次いで「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が48.3%、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が47.0%となっている。

性別でみると、男性は「安定した雇用環境を提供すること」が最も多く、女性は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が最も多くなっている。

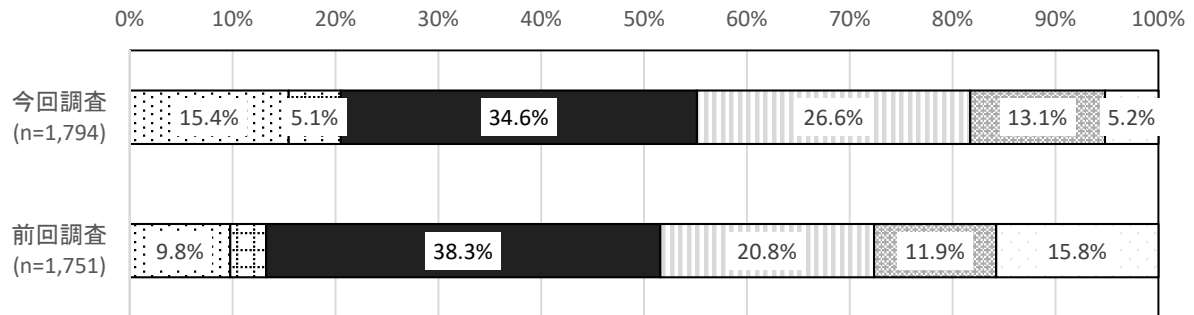


上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	安定した雇用環境を提供	賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること	結婚や住宅に対する資金援助等を行うこと	出会いの場を提供すること	結婚した方が有利となるような税制を行うこと	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	若者の結婚を推奨するような啓発活動を行うこと	その他	特にない	わからない
		今回調査	901	47.0%	43.9%	19.4%	24.4%	22.5%	48.3%	11.5%	1.6%
前回調査	1066	47.0%	43.9%	19.4%	28.7%	21.1%	49.9%	14.4%	1.5%	1.9%	3.2%
性別											
男性	704	50.3%	47.2%	29.3%	25.3%	27.7%	40.6%	12.8%	2.1%	2.0%	2.8%
女性	1076	50.3%	46.7%	28.6%	23.9%	18.9%	53.5%	10.5%	1.3%	2.0%	3.3%
年齢											
10歳代	150	60.0%	42.0%	25.3%	16.7%	16.7%	41.3%	7.3%	0.7%	2.7%	4.0%
20歳代	445	48.8%	52.1%	33.9%	21.6%	21.6%	46.1%	14.8%	1.1%	2.5%	2.9%
30歳代	460	46.7%	48.7%	33.0%	25.4%	24.6%	51.7%	8.7%	1.3%	1.7%	3.7%
40歳代	486	53.3%	46.3%	22.0%	25.9%	23.9%	49.2%	9.9%	2.5%	2.1%	2.5%
50歳代	134	56.0%	42.5%	30.6%	27.6%	22.4%	53.0%	14.9%	1.5%	1.5%	0.7%
60歳代	63	34.9%	47.6%	23.8%	31.7%	25.4%	55.6%	14.3%	0.0%	0.0%	3.2%
70歳代以上	32	46.9%	21.9%	25.0%	28.1%	15.6%	25.0%	34.4%	0.0%	0.0%	6.3%
地域別											
鹿児島地区	911	50.1%	44.4%	26.7%	22.2%	20.0%	44.2%	9.1%	1.4%	1.8%	2.4%
南薩地区	117	50.0%	48.7%	29.3%	24.4%	22.0%	48.5%	10.0%	1.5%	2.0%	2.6%
北薩地区	187	42.7%	39.3%	29.1%	19.7%	23.1%	43.6%	12.0%	2.6%	0.9%	6.8%
始良・伊佐地区	239	41.7%	41.2%	31.0%	31.0%	19.3%	54.5%	11.2%	1.1%	1.1%	4.3%
大隅地区	218	47.3%	51.5%	25.5%	23.8%	23.8%	49.4%	12.1%	1.3%	1.7%	2.5%
熊毛地区	34	48.6%	43.1%	30.7%	23.4%	19.7%	48.2%	13.8%	1.4%	4.1%	3.7%
大島地区	78	61.8%	50.0%	23.5%	20.6%	23.5%	38.2%	17.6%	0.0%	2.9%	2.9%

問60 あなたご自身にとって、以前（3年ほど前）と比べて、仕事と家庭の両立はしやすくなりましたか。（〇はひとつ）

以前と比べて仕事と家庭の両立はしやすくなったかについては、「変わらない」が34.6%で最も多く、次いで「分からない」が26.6%、「しやすくなった」が15.4%となっている。

前回調査と比較すると、「しやすくなった」と回答した割合が5.6ポイント増加している。



しやすくなった
 しにくくなった
 変わらない
 分からない
 比べられない
 無回答

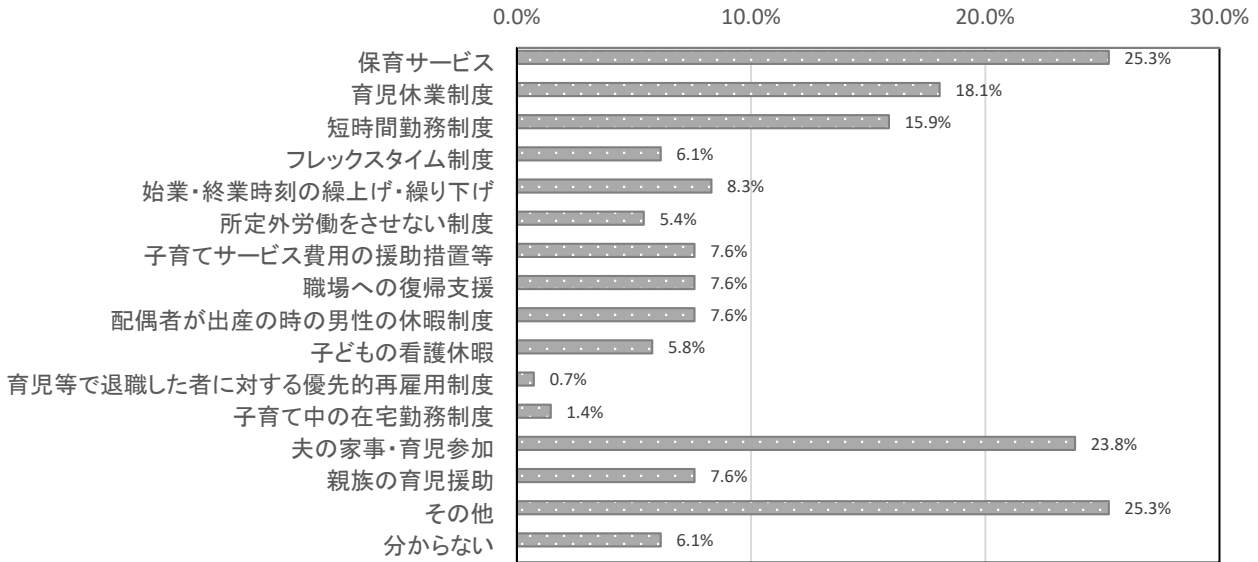
		サンプル数	しやすくなった	しにくくなった	変わらない	分からない	比べられない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)								
今回調査		1,794	277	91	621	477	235	93
前回調査		1,751	171	61	671	364	208	276
性別	男性	704	93	35	252	202	78	44
	女性	1,076	181	56	365	273	154	47
年齢	10歳代	150	10	1	10	75	36	18
	20歳代	445	35	16	95	179	93	27
	30歳代	460	83	28	188	92	55	14
	40歳代	486	104	29	224	84	37	8
	50歳代	134	35	6	57	22	8	6
	60歳代	63	8	4	30	13	1	7
	70歳代以上	32	0	3	11	5	4	9
地域別	鹿児島地区	911	139	45	308	236	134	49
	南薩地区	117	13	11	36	36	10	11
	北薩地区	187	22	6	76	57	18	8
	始良・伊佐地区	239	47	15	71	69	27	10
	大隅地区	218	33	11	85	54	30	5
	熊毛地区	34	7	0	11	11	4	1
	大島地区	78	14	2	31	12	11	8

【問60で「しやすくなった」「しにくくなった」を選択した方のみ】

問61 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

くしやすくなったと回答した方>

理由については、「保育サービス」「その他」が25.3%で最も多く、次いで「夫の家事・育児参加」が23.8%となっている。

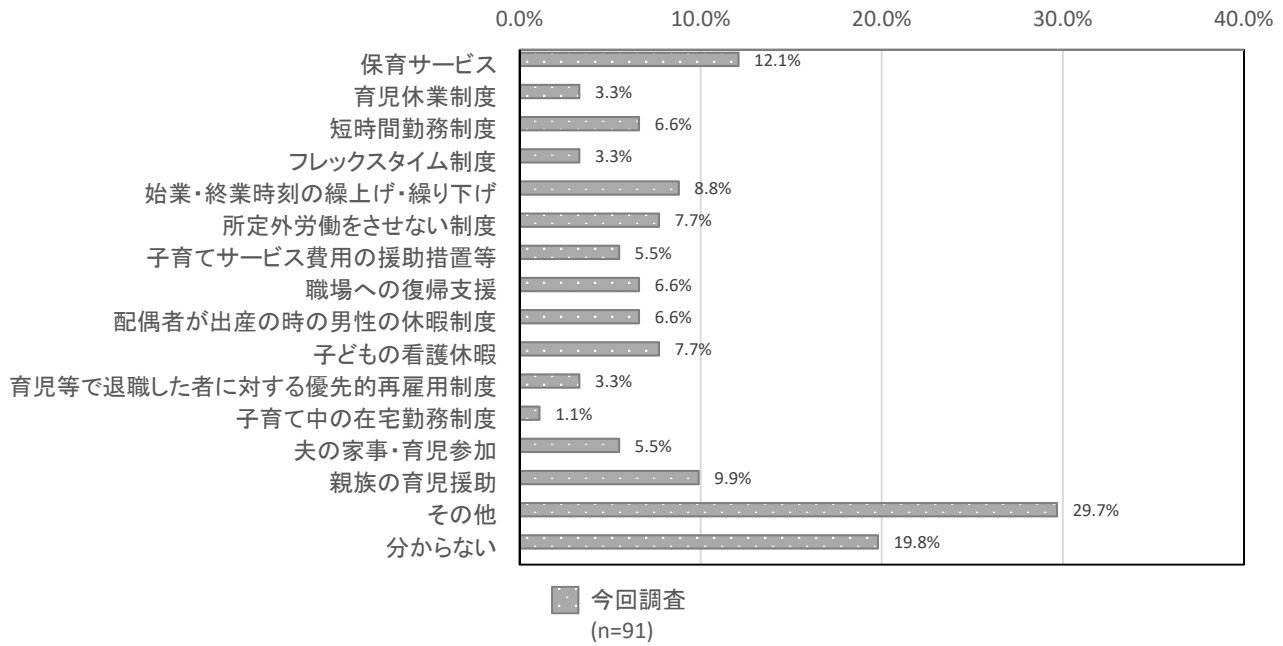


今回調査 (n=277)

	サンプル数	保育サービス	育児休業制度	短時間勤務制度	フレックスタイム制度	始業・終業時刻の繰上げ・繰り下げ	所定外労働をさせない制度	子育てサービス費用の援助措置等	職場への復帰支援	配偶者が出産の時の男性の休暇制度	子どもの看護休暇	育児等で退職した者に対する優先的再雇用制度	子育て中の在宅勤務制度	夫の家事・育児参加	親族の育児援助	その他	分からない
今回調査	277	70	50	44	17	23	15	21	21	21	16	2	4	66	21	70	17
性別																	
男性	93	20	22	12	9	9	7	9	8	8	8	1	0	18	4	20	8
女性	181	44	28	32	8	14	8	11	15	12	8	1	4	47	17	50	9
年齢																	
10歳代	10	4	3	1	1	1	0	4	3	3	0	0	0	2	0	0	2
20歳代	35	40.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
30歳代	83	22.5%	13.3%	14.5%	4.8%	7.2%	2.4%	7.2%	7.2%	7.2%	3.6%	0.0%	2.4%	25.3%	12.0%	28.9%	4.8%
40歳代	104	28	15	18	7	9	9	4	4	6	9	0	2	23	6	27	3
50歳代	35	10	9	7	3	3	2	4	4	4	2	1	0	10	1	8	1
60歳代	8	1	4	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	2	2	2	1
70歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別																	
鹿児島地区	139	29	23	22	12	15	9	10	11	12	4	0	2	34	11	36	13
南薩地区	13	3	4	2	1	0	0	1	3	0	1	1	1	2	1	4	0
北薩地区	22	10	4	2	0	2	1	2	2	3	2	1	0	5	2	5	0
姶良・伊佐地区	47	14	9	11	2	0	3	5	3	2	4	0	1	6	3	11	1
大隅地区	33	10	7	5	4	1	1	2	1	2	0	0	0	9	2	11	2
熊本地区	7	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0
大島地区	14	3	2	1	1	1	1	1	0	2	3	0	0	6	1	3	1

<くしくなると回答した方>

理由については、「その他」が 29.7%で最も多く、次いで「わからない」が 19.8%となっている。



属性	サンプル数	保育サービス	育児休業制度	短時間勤務制度	フレックスタイム制度	始業・終業時刻の繰上げ	所定外労働をさせない制度	子育てサービス費用の援助措置等	職場への復帰支援	配偶者が出産の時の男性の休暇制度	子どもの看護休暇	育児等で退職した者に対する優先的再雇用制度	子育て中の在宅勤務制度	夫の家事・育児参加	親族の育児援助	その他	わからない
今回調査	91	11	3	6	3	8	7	5	6	6	7	3	1	5	9	27	18
性別																	
男性	35	3	2	2	1	6	3	2	0	3	0	0	1	4	2	9	8
女性	56	8	1	4	2	2	4	3	6	3	7	3	0	1	7	18	10
年齢																	
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	16	0	0	0	1	3	3	0	1	1	1	0	0	2	3	4	6
30歳代	28	9	1	3	1	3	2	2	2	2	3	0	0	1	1	8	3
40歳代	29	1	1	3	1	2	2	1	3	1	3	1	1	1	3	11	6
50歳代	6	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
60歳代	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1
70歳代以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
地域別																	
鹿児島地区	45	5	2	4	1	3	5	2	3	4	5	1	1	2	5	12	9
南薩地区	11	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1
北薩地区	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
始良・伊佐地区	15	4	0	1	1	1	1	1	3	0	1	1	0	0	1	4	5
大隅地区	11	0	0	0	0	2	1	1	0	2	1	0	0	3	2	3	1
熊毛地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大島地区	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

※ 問 61 の具体的な内容を以下にご記入ください。

<しやすくなった>

保育サービス

- 幼児期の行政サービス、会社等のサービスが増加した。
- 保育園からこども園に変わった事で妊娠、出産（産後も）で子供を預けやすくなった。
- 保育園が増え、病児保育をしているところも増えている。

育児休業制度

- 産後も1年ほどしっかり休める。また職場復帰出来やすい。
- 男性が育児休暇や出産立会いに休みを取れるようになった。

短時間勤務制度

- 自由な時間と収入が増え、心の余裕が出来た。
- 私がいるのは女性が多い職場だが、短時間勤務に取り組む職員が爆発的に増え、家庭と仕事の両立に対する理解がここ数年で急速に広まっている気がする。

フレックスタイム制度

- 生活の変化に合わせて働く時間数を自分で決める事ができ余裕を持てる様になった。

所定外労働をさせない制度

- 時間外労働が減少し家庭時間が増え生活時間にゆとりが出来た。
- 時間外労働をさせないように、職場の取り組みがあったこと。

職場への復帰支援

- 妻の会社で、育児休暇終了後の復帰がかなりスムーズに行われたから。

夫の家事・育児参加

- 夫が食事、買い出し、洗濯を積極的に手伝ってくれる。
- 夫がPTA活動など積極的に参加してくれて助かっている。

親族の育児援助

- 子どもの体調が悪くて休む時、母が面倒を見てくれる。

その他

- 職場のコンプライアンスに対する考えが変わってきた。
- 職場内で子育てを優先する姿勢への理解が進んだこと。

<しくくなった>

保育サービス

- 保育料が高い。待機児童で認定の保育園に入れない。

所定外労働をさせない制度

- 役職が付き労働時間外の勉強会などの時間が増えた。小さい子供がいる間は免除して欲しい。
- 残業が問題になっているのに改善されない。

職場への復帰支援

- 育児休暇から職場復帰する際、スムーズにいかなかった。

親族の育児援助

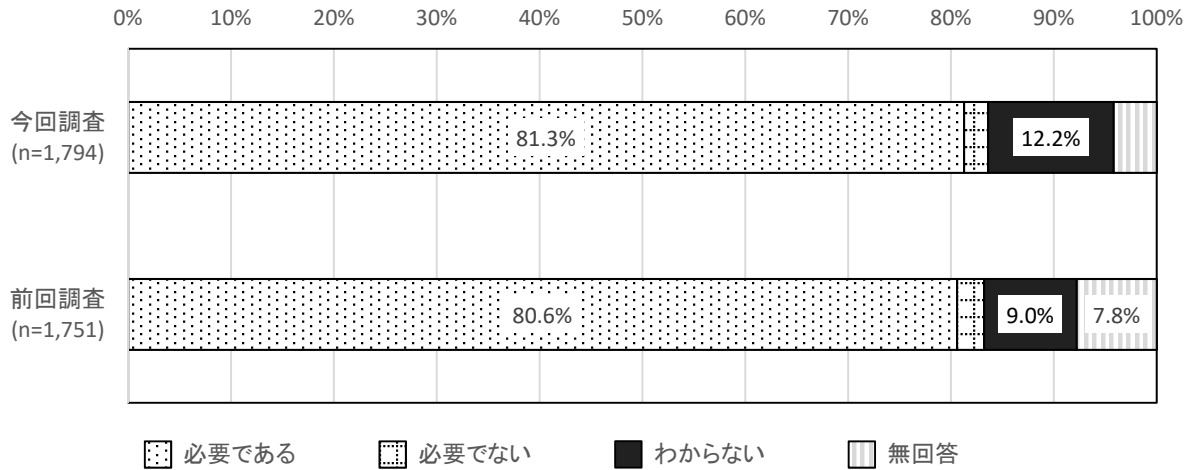
- 自分の親の家が遠くなったから。

その他

- 景気が悪くなった。
- 子どもが産まれてから病気などで仕事を休むことが多く、収入が減ってしまった。
- 保育園、小学生、中学生がいると PTA 活動や行事、全てにおいて時間が足りない。
- 子供にとってもお金がかかるようになり、勤務日数を増やさないと生活できなくなったから。

問62 あなたは、少子化対策について、必要であると考えますか。(〇はひとつ)

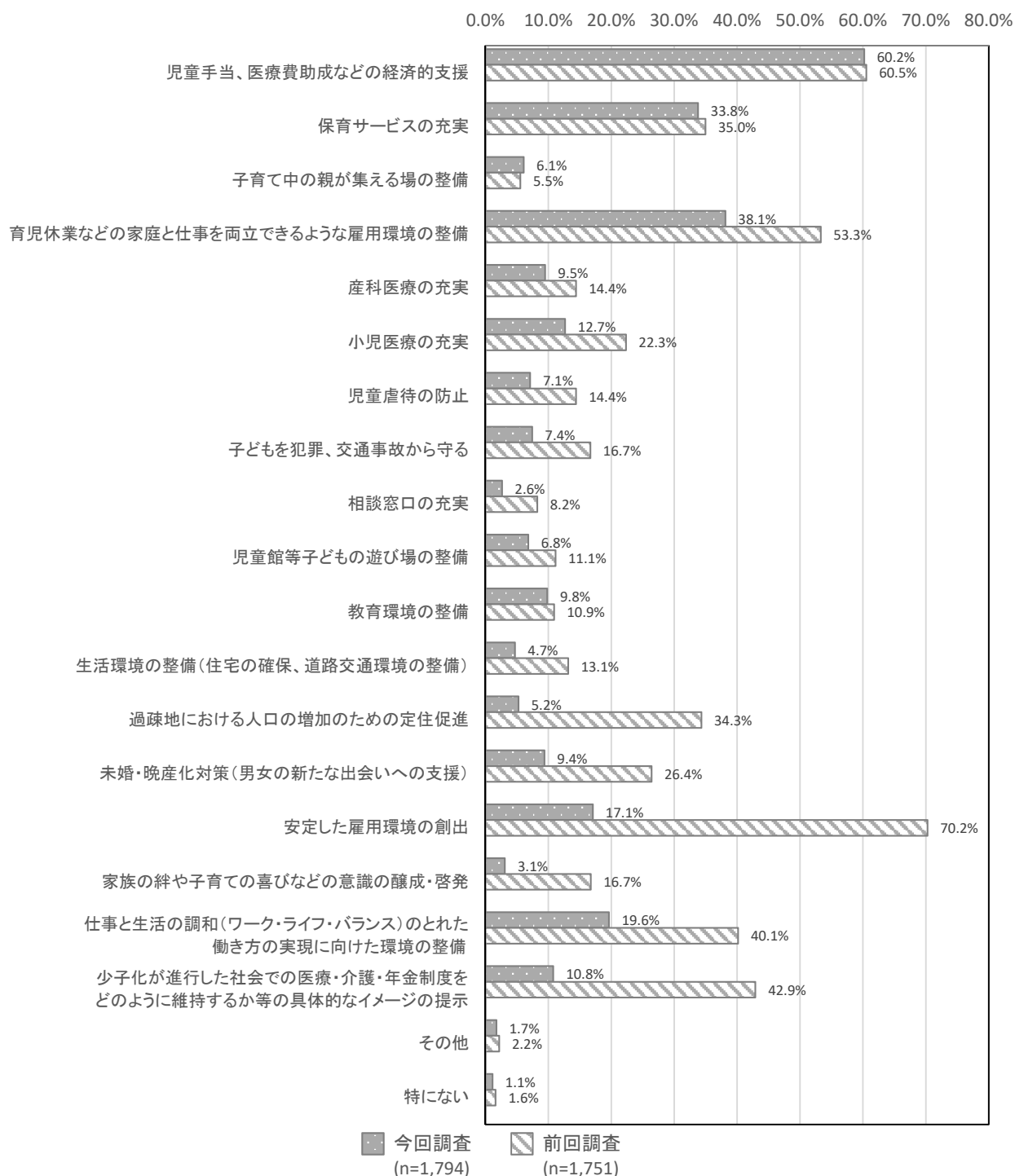
少子化対策について必要であると考えるかについては、「必要である」が81.3%、「わからない」が12.2%となっている。



		サンプル数	必要である	必要でない	わからない	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)						
今回調査		1,794	1458	42	219	75
		100.0%	81.3%	2.3%	12.2%	4.2%
前回調査		1,751	1411	46	158	136
		100.0%	80.6%	2.6%	9.0%	7.8%
性別	男性	704	580	22	67	35
		100.0%	82.4%	3.1%	9.5%	5.0%
女性	1,076	868	20	150	38	
	100.0%	80.7%	1.9%	13.9%	3.5%	
年齢	10歳代	150	120	0	16	14
		100.0%	80.0%	0.0%	10.7%	9.3%
	20歳代	445	366	16	48	15
		100.0%	82.2%	3.6%	10.8%	3.4%
	30歳代	460	366	10	71	13
		100.0%	79.6%	2.2%	15.4%	2.8%
	40歳代	486	407	11	50	18
		100.0%	83.7%	2.3%	10.3%	3.7%
50歳代	134	115	2	11	6	
	100.0%	85.8%	1.5%	8.2%	4.5%	
60歳代	63	51	2	9	1	
	100.0%	81.0%	3.2%	14.3%	1.6%	
70歳代以上	32	20	0	6	6	
	100.0%	62.5%	0.0%	18.8%	18.8%	
地域別	鹿児島地区	911	747	29	108	27
		100.0%	82.0%	3.2%	11.9%	3.0%
	南薩地区	117	81	3	22	11
		100.0%	69.2%	2.6%	18.8%	9.4%
	北薩地区	187	153	4	21	9
		100.0%	81.8%	2.1%	11.2%	4.8%
	始良・伊佐地区	239	197	3	31	8
		100.0%	82.4%	1.3%	13.0%	3.3%
大隅地区	218	184	2	24	8	
	100.0%	84.4%	0.9%	11.0%	3.7%	
熊毛地区	34	24	0	6	4	
	100.0%	70.6%	0.0%	17.6%	11.8%	
大島地区	78	64	1	7	6	
	100.0%	82.1%	1.3%	9.0%	7.7%	

問63 あなたは、子どもを健やかに産み育てるためには、国や県、市町村にどのようなことを期待しますか。(〇は3つまで)

子どもを健やかに産み育てるためには、国や県、市町村にどのようなことを期待するかについては、「児童手当、医療費助成などの経済的支援」が60.2%で最も多く、次いで「育児休業などの家庭と仕事を両立できるような雇用環境の整備」が38.1%、「保育サービスの充実」が33.8%となっている。



※ 前回調査で2つの設問に分かれていたものを今回調査において集約しているため、前回の調査結果については参考とする。

上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	児童手当、医療費助成などの経済的支援	保育サービスの充実	子育て中の親が集える場の整備	育児休業などの家庭と仕事環境の整備	産科医療の充実	小児医療の充実	児童虐待の防止	子どもを犯罪、交通事故から守る	相談窓口の充実	児童館等子どもの遊び場の整備	教育環境の整備
今回調査		1,794	1080 60.2%	606 33.8%	109 6.1%	684 38.1%	170 9.5%	227 12.7%	127 7.1%	133 7.4%	47 2.6%	122 6.8%	176 9.8%
前回調査		1,751	1060 60.5%	612 35.0%	97 5.5%	933 53.3%	252 14.4%	391 22.3%	252 14.4%	292 16.7%	144 8.2%	195 11.1%	191 10.9%
性別	男性	704	413 58.7%	224 31.8%	46 6.5%	242 34.4%	58 8.2%	80 11.4%	49 7.0%	64 9.1%	20 2.8%	46 6.5%	84 11.9%
	女性	1,076	658 61.2%	380 35.3%	62 5.8%	438 40.7%	110 10.2%	144 13.4%	74 6.9%	69 6.4%	26 2.4%	76 7.1%	92 8.6%
年齢	10歳代	150	87 58.0%	51 34.0%	17 11.3%	66 44.0%	8 5.3%	10 6.7%	12 8.0%	10 6.7%	1 0.7%	9 6.0%	20 13.3%
	20歳代	445	254 57.1%	174 39.1%	43 9.7%	192 43.1%	36 8.1%	32 7.2%	39 8.8%	32 7.2%	15 3.4%	30 6.7%	48 10.8%
	30歳代	460	312 67.8%	178 38.7%	16 3.5%	158 34.3%	47 10.2%	76 16.5%	27 5.9%	42 9.1%	7 1.5%	38 8.3%	39 8.5%
	40歳代	486	297 61.1%	135 27.8%	24 4.9%	179 36.8%	60 12.3%	82 16.9%	37 7.6%	34 7.0%	13 2.7%	33 6.8%	54 11.1%
	50歳代	134	77 57.5%	41 30.6%	4 3.0%	53 39.6%	8 6.0%	16 11.9%	7 5.2%	7 5.2%	5 3.7%	7 5.2%	12 9.0%
	60歳代	63	32 50.8%	14 22.2%	5 7.9%	25 39.7%	6 9.5%	8 12.7%	2 3.2%	4 6.3%	3 4.8%	4 6.3%	2 3.2%
	70歳代以上	32	11 34.4%	7 21.9%	0 0.0%	6 18.8%	2 6.3%	2 6.3%	2 6.3%	2 6.3%	2 6.3%	2 6.3%	1 3.1%
地域別	鹿児島地区	911	556 61.0%	338 37.1%	62 6.8%	370 40.6%	52 5.7%	102 11.2%	62 6.8%	71 7.8%	28 3.1%	63 6.9%	99 10.9%
	南薩地区	117	66 56.4%	29 24.8%	6 5.1%	34 29.1%	14 12.0%	17 14.5%	8 6.8%	7 6.0%	2 1.7%	5 4.3%	12 10.3%
	北薩地区	187	102 54.5%	65 34.8%	12 6.4%	80 42.8%	16 8.6%	25 13.4%	15 8.0%	14 7.5%	3 1.6%	7 3.7%	18 9.6%
	始良・伊佐地区	239	159 66.5%	74 31.0%	8 3.3%	90 37.7%	15 6.3%	24 10.0%	22 9.2%	26 10.9%	6 2.5%	21 8.8%	23 9.6%
	大隅地区	218	132 60.6%	69 31.7%	14 6.4%	75 34.4%	43 19.7%	30 13.8%	15 6.9%	14 6.4%	5 2.3%	15 6.9%	13 6.0%
	熊毛地区	34	22 64.7%	13 38.2%	4 11.8%	8 23.5%	11 32.4%	9 26.5%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	6 17.6%	1 2.9%
	大島地区	78	41 52.8%	17 21.8%	3 3.8%	25 32.1%	16 20.5%	19 24.4%	3 3.8%	1 1.3%	1 1.3%	4 5.1%	10 12.8%

上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	生活環境の整備(道路、交通環境)	増加のための定住促進	未婚・晩産化対策(男性の支援)	新たな出会いへの	安定した雇用環境の創	家族の絆や子育ての喜びなどの意識の醸成	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の	少子化が進行した社会での医療・介護・年金制度をどのように維持するか等の具体的なイメージの提示	その他	特にな
今回調査		1,794	84 4.7%	94 5.2%	168 9.4%	306 17.1%	55 3.1%	352 19.6%	193 10.8%	31 1.7%	20 1.1%	
前回調査		1,751	230 13.1%	601 34.3%	462 26.4%	1230 70.2%	293 16.7%	703 40.1%	751 42.9%	38 2.2%	28 1.6%	
性別	男性	704	46 6.5%	45 6.4%	79 11.2%	134 19.0%	20 2.8%	116 16.5%	78 11.1%	11 1.6%	9 1.3%	
	女性	1,076	38 3.5%	48 4.5%	88 8.2%	168 15.6%	35 3.3%	235 21.8%	112 10.4%	20 1.9%	11 1.0%	
年齢	10歳代	150	6 4.0%	3 2.0%	8 5.3%	24 16.0%	2 1.3%	17 11.3%	10 6.7%	2 1.3%	1 0.7%	
	20歳代	445	24 5.4%	19 4.3%	37 8.3%	67 15.1%	10 2.2%	91 20.4%	43 9.7%	5 1.1%	8 1.8%	
	30歳代	460	19 4.1%	19 4.1%	42 9.1%	70 15.2%	11 2.4%	97 21.1%	41 8.9%	9 2.0%	3 0.7%	
	40歳代	486	24 4.9%	30 6.2%	47 9.7%	83 17.1%	15 3.1%	97 20.0%	54 11.1%	10 2.1%	4 0.8%	
	50歳代	134	8 6.0%	10 7.5%	13 9.7%	30 22.4%	7 5.2%	33 24.6%	23 17.2%	2 1.5%	2 1.5%	
	60歳代	63	1 1.6%	8 12.7%	12 19.0%	21 33.3%	5 7.9%	6 9.5%	12 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%
	70歳代以上	32	2 6.3%	4 12.5%	6 18.8%	6 15.6%	5 9.4%	3 12.5%	4 18.8%	6 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域別	鹿児島地区	911	44 4.8%	29 3.2%	89 9.8%	149 16.4%	26 2.9%	181 19.9%	85 9.3%	14 1.5%	14 1.5%	
	南薩地区	117	4 3.4%	9 7.7%	12 10.3%	22 18.8%	5 4.3%	28 23.9%	14 12.0%	2 1.7%	1 0.9%	
	北薩地区	187	8 4.3%	12 6.4%	18 9.6%	36 19.3%	6 3.2%	39 20.9%	24 12.8%	5 2.7%	1 0.5%	
	始良・伊佐地区	239	11 4.6%	19 7.9%	22 9.2%	36 15.1%	11 4.6%	44 18.4%	27 11.3%	2 0.8%	2 0.8%	
	大隅地区	218	7 3.2%	16 7.3%	19 8.7%	39 17.9%	4 1.8%	37 17.0%	23 10.6%	5 2.3%	2 0.9%	
	熊毛地区	34	1 2.9%	3 8.8%	2 5.9%	6 17.6%	1 2.9%	3 8.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	大島地区	78	8 10.3%	5 6.4%	6 7.7%	16 20.5%	1 1.3%	17 21.8%	16 20.5%	2 2.6%	0 0.0%	

問64 あなたは、以下の行政の取組についてどのように感じていますか。重要度、満足度をそれぞれお答えください。(〇はひとつずつ)

各施策の重要度と満足度については、以下のように回答結果を集計した。

➤ 各施策に対する満足度・重要度の加点点評価

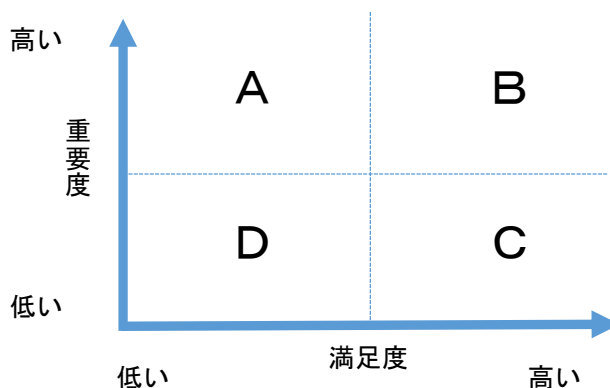
満足度・重要度調査の結果は、施策ごとに集計を行い、下記のような点数配点を持って、施策ごとの平均評価点を算出した。

※無回答は除外して集計を行っているためサンプル数に差異がある。

点数	満足度	重要度
4点	満足	重要
3点	やや満足	やや重要
2点	やや不満	あまり重要ではない
1点	不満	重要ではない

➤ 満足度と今後の重要度の相関図による分析

「満足度」と「重要度」の評価点を用い、縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリックス上に示すことで、各分野の位置づけを以下のように整理することができる。



満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上 (A)、右上 (B)、右下 (C)、左下 (D) の4方向に進むにしたい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く満足度が低い (重点改善領域)

今後の少子化対策における重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い (ニーズ充足領域)

今後の少子化対策における重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

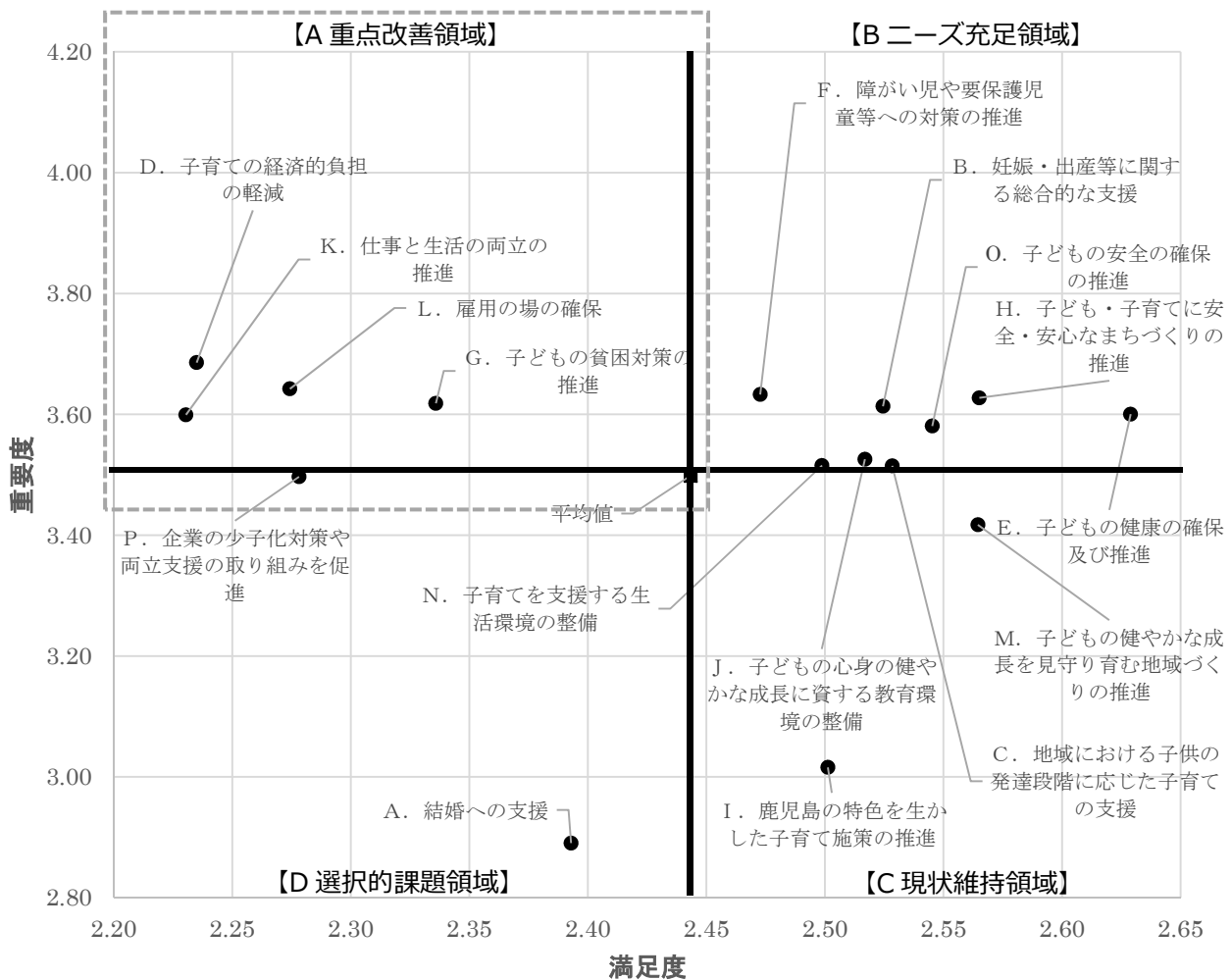
C. 重要度が低く満足度が高い (現状維持領域)

今後の少子化対策における重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持しているか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い (選択的課題領域)

今後の少子化対策における重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

県全体での少子化における取組について、重要度が高く、満足度が低い、重点改善領域に位置する施策として、「D. 子育ての経済的負担の軽減」「G. 子どもの貧困対策の推進」「K. 仕事と生活の両立の推進」、「L. 雇用の場の確保」「P. 企業の少子化対策や両立支援の取り組みを推進」が位置付けられる。



	取組	重要度	満足度
A	結婚への支援	2.89	2.39
B	妊娠・出産等に関する総合的な支援	3.61	2.52
C	地域における子供の発達段階に応じた子育ての支援	3.51	2.53
D	子育ての経済的負担の軽減	3.69	2.23
E	子どもの健康の確保及び推進	3.60	2.63
F	障がい児や要保護児童等への対策の推進	3.63	2.47
G	子どもの貧困対策の推進	3.62	2.34
H	子ども・子育てに安全・安心なまちづくりの推進	3.63	2.57
I	鹿児島島の特色を生かした子育て施策の推進	3.02	2.50
J	子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	3.53	2.52
K	仕事と生活の両立の推進	3.60	2.23
L	雇用の場の確保	3.64	2.27
M	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進	3.42	2.56
N	子育てを支援する生活環境の整備	3.52	2.50
O	子どもの安全の確保の推進	3.58	2.55
P	企業の少子化対策や両立支援の取り組みを促進	3.50	2.28
	平均値	3.50	2.44

問65 あなたは、将来子どもを安心して産み育てることができる社会づくりの推進や少子化対策を進めるためにどのような取り組みが必要と考えますか。ご自由にご意見などを記入してください。

1. 結婚支援

- ・ 出会いの場の提供
- ・ 結婚することでメリットを感じられる制度・施策（税制面など）
- ・ 結婚に対しプラスイメージを持てるような施策

【寄せられた意見（抜粋）】

- 県が結婚を促進するような場を設けて欲しい。
- 都市部だけではなく田舎でも出会いの場や人口が増えるような政策を取ってほしい。
- 結婚したらメリットがある制度(具体的ではないが、税制面など)があれば、積極的に前向きに結婚について考えていくと思う。
- 結婚にマイナスのイメージがある。結婚してから子どもを産まない、社会的に差別されると考え、独身で子どもを持つのは躊躇する。
- 若い時は仕事を強いられ、年を取ると相手はいない。真面目に仕事に打ち込んで給料が上がったら男性の方が給料が安くて益々相手がいらない。仕事ばかりの生活になり、出会いすらなくなる。悪循環に陥っている人が周囲に多数いる。
- 様々な情報が手に入りやすい社会、グローバルな社会になったこと、そして、一人で生活するにしてもお金が掛かる時代、様々な要因があって結婚感が薄れたり、子育てへの関心が減っていると思う。

2. 不妊治療支援

- ・ 不妊治療への助成
- ・ 不妊治療と仕事を両立できる環境づくり

【寄せられた意見（抜粋）】

- 私が通っている病院には、たくさん不妊治療をしている患者さんがいらっしゃる。今私の住んでいる地域では、治療の段階によって役所へ申請すれば、何割か助成金を頂ける。大変有難い。しかし、治療には通院、検査、薬と月に何万円もの出費になる事も多い。また、治療が長くなればなるほど、ステップアップすればするほど、本当に家計は苦しい。不妊治療に対する職場、会社の認知度は、まだまだ低いと思う。晩婚化もちろん一つの要因だとは思いますが、自分のように子どもが欲しくてもなかなか授けられない夫婦はたくさんいると思う。少子化対策を進める取り組みの一つとして、ぜひ、もっともっと不妊治療の医療費や職場の協力など、手厚くなれば嬉しい。子どもは本当に可愛い。宝である。
- 私は不妊治療を経験して、妊娠している。不妊治療では、保険が適用せず、治療費にお金が掛かってしまうこともある。高い治療を支払えず、子どもが欲しいのに諦めてしまう夫婦も沢山いる。不妊治療は仕事を休んで通わないといけないこともあり、仕事を休むことで職場の人への申し訳なさもあり、結果、仕事を辞めざるをえない人も沢山いる。少子化対策の一つとしては、そういった不妊で悩む人への治療費の援助や、治療が通いやすいようにするための職場の理解なども必要だと思う。

3. 保育の受け皿の確保

- ・ 保育施設の整備
- ・ 事業所内の保育施設設置
- ・ 保育サービスの充実（病児保育、放課後児童クラブ）
- ・ 保育士等の人材確保、処遇改善、復職支援

【寄せられた意見（抜粋）】

- 保育園の受け入れを増やして、待機児童を減らして欲しい。
- 12月に第一子を出産予定である。半年後の職場復帰を考えているが、保育所が見つからないという話を聞くので心配している。各保育施設の特徴や空き状況など、難しいと思うが、情報提供してもらえると、産後の安心につながるのではと考える。
- 子どもを産んでも働けるような、保育施設の充実(病気をしても預かってくれる、時間にとらわれない)。
- 保育所を増やすために、保育士の確保をして欲しい。
- 保育士の職場環境、給与の改善、潜在保育士への対策、復職支援
- 保育料無償化のみならず、幼稚園、保育園の従業員の雇用環境の改善が必要。無償化のみでは保育の質が低下する恐れがある。

4. 子育て支援サービスの充実

- ・ 安心して子育てができる環境づくり
(子育ての悩みを共有・相談できる場、地域のコミュニティ・居場所作り)

【寄せられた意見（抜粋）】

- 子育てをして5、6年経ち素直に思うことは、一人では子育ては出来ないということ。周囲の方の協力もしくは、支援して頂ける方、相談に乗って下さる方など、安心して、親として子どもに接する事の出来る環境を作り上げて欲しい。
- 子育てサークルや、子育ての勉強会（ペアトレ）がもっと盛んになれば安心だと思う。
- 子育てに行き詰まった時や不安な時に、子どもを預けたり相談できたりする地域のコミュニティ居場所のようなものの働き(子ども家庭食堂、他施設など)を活発化させることで、子どもを産んでも安心できる環境を整えて、かつ広めていくことが必要だと考えている。
- 小学校に就学した子どもに対する保育サービスの充実。未就学児に対しては、延長保育、休日保育、病児保育、一時保育など、保護者の就労状況等に応じて、活用できるサービスが多いが、就学児に対しては殆ど無い。

5. 経済的支援（学費、医療費など）

- ・ 保育料、教育費の負担軽減、無償化
- ・ 大学教育までの教育費の負担軽減、無償化
（高校、大学が特に経済的負担が大きい。）
- ・ 奨学金制度の充実
- ・ 医療費の負担軽減、無償化
（幼児期以降も…。また、窓口負担をなくして欲しい。）
- ・ 子育て世帯への税の優遇制度

【寄せられた意見（抜粋）】

- 幼児期だけでなく、中高大の時の方がお金が掛かるが、行政補助はたいてい小学生で終わってしまう。もっとお金のかかる時期に補助等があれば子どもをつくる人々が増加すると思う。
- 所得が昔のようにアップすることも見込めない中、子育てをすることに常に不安を感じている。結婚前は子どもを3人持つことを夫婦で望んでいたが、2人が限界だね、と話している（精神的な余裕も経済的な余裕もないため）。大学や高校の時に掛かる経費が安くなることを望む。
- 経済的支援がもっとあれば、子どもはたくさん欲しい。子どもは大学まで出してあげたいという考え方から、現在の3人が限界かなと思っている。学業支援や奨学金制度を利用しても、将来経済的に返納が困難な大人が多いし、私自身も例外ではなく、子育てと自身の奨学金返納で家計に余裕はない。
- 出産費用を無料にしたり、保育サービスを利用できたりと、産めば産むほど有利なシステムが出来たらよいと思う。
- 一日も早く、医療機関での窓口負担をなくして欲しい。
- 育児手当やこども医療費助成制度などは直接的に家計が助かり、とてもありがたいと思う。
- 子育てしやすいよう、保育施設の整備、ソフト面のサービスはもちろんだが、子どもを持つことにより、税の優遇が受けられるようにすべきと考える。
- 子どもが増えるにつれ、時間的経済的に負担が増える。子どもの数に応じて減税して欲しい。
- 自分たちの老後が不透明だから貯金が必要であり、子供だけにはお金を使えないということもあるので、福祉が充実すると良いと思う。

6. 産休、育休の取得状況の改善

- ・ 産休・育休が取得しやすい職場環境づくり
- ・ 休暇制度の普及・啓発

【寄せられた意見（抜粋）】

- 育産休制度の充実（取りやすい環境整備）。
- 希望する女性は、元の立ち位置で復職できるようにする。男性も育児休暇を取得できることが、当たり前とする組織改革。
- 職場復帰後の出世に影響しないよう、男女ともに職場に復帰しやすい環境づくり、人事評価に影響させない制度が必要だと思う。
- 共働き家庭を前提とした支援が必要だと思う。民官問わず就労所内への保育園設置推進、育休取得中の代替職員配置の充実など。未婚の若い就労者、特に女性が現在のキャリアを中断する

ことなく、結婚や育児を続けられる環境整備が第一ではないだろうか。家庭と仕事との両立は、結婚や子の有無に関わらず、また男女の別に関わらず、独身の方も含めて全ての就労者にとって大事なことだと思う。

- 育児に対して社会と事業者、男性の意識改革をするべきである。

7. 労働環境の改善（ワーク・ライフ・バランス）

- ・ 育児と仕事が両立できる環境の整備、企業や職場の理解
- ・ 休暇を取得しやすい雰囲気作り、時間外労働等の制限
- ・ 男性の育児参加に対する企業や職場の理解への取組
- ・ 行政による企業への啓発・指導・監督

【寄せられた意見（抜粋）】

- 子育てについて、職場の上司、管理職の方々の理解が重要だと思う。
- 子育てと仕事の両立はなかなか現実問題難しい。実際仕事を始めても子どもの行事、病気で仕事を休むことも多く、そのたびにいつも頭を下げている毎日である。病児保育の拡大（多くと入れない）、学校行事の整理（毎回行きたくても行けない）。子どもの事で休んでも仕事に迷惑をかけないだけの「人」の確保をして欲しい。
- 仕事と子育てを両立しやすい仕事環境づくり。また、同じ職場で働いている方も理解をし、協力していくことが必要と考える。
- 子どもがいてもいなくても、男性でも女性でも自分や家族の為に休んだり、リフレッシュをすることが社会的に認められたら、今よりもっと安心して子どもを持てたり、子どもがいなくても子どもがいる人へ寛容な思いを持てるのではないかと思う。
- 企業の中で保育所がある会社は、女性にとっては働きやすいと思う。また、子どもの成長に合わせて就業時間が変動できたり、有休や休みなどを取ることに對しての意識を変えていくことなど、日本人特有の「世間一般的な」考え方も、改める必要があると思います。
- 子どもが小さいうちは勤務時間や日数を短くし、子どもとの時間が持てるような働き方ができるようにして欲しい。
- 医療現場における看護師の女性比率は非常に高いし、保育現場でも同様のことが言える。また、労働する作業としても女性がメインであることが絶対必要である職業というのは、そう多くはないと考えており、且つ、女性が大半を占める職場でも男性がいればもっと労働力が確保され、作業の負担も減るのではないかと考える。仕事に対する性役割分業を見直さなければ、少子化に関わるサービスを利用する人、少子化に関わるサービスを提供する人それぞれに負担がかかり、働きにくい労働環境が螺旋のように作られていくと思う。
- 男性が育児に参加していると「イクメン」と言われ、あたかも男性が育児に参加するのが特別なことのように言われる。少子化対策に力を入れるのは非常に大事だとは思いますが、労働現場や地域社会の実情や考え方を把握し、相互理解しやすい環境づくりが少子化対策につながるのではないかと考えている。遠回りのように感じるが、男女問わず仕事や家庭に参加できる社会を緩やかに、長期的な視野でつくっていくことを行政には期待する。
- 企業経営者の意識改革が必要。雇用する側が労働者やその家族の生活を全く気にかけないから結婚する気にならなかつたり、子どもを作ろうと思わなかつたりする人が増えてきていると思う。いつまでも「右肩上がりの成長」を追い求める経済活動に、若い年代を中心に疲弊しきつ

ている。そのことを気付かせて、新たな指針をある程度示す役割を行政には求めたい。補助金を直接ばらまくのではなく、企業監督をして法整備等で雇用に対するきちんとした仕組みを企業側につくらせ、守らせることで、労働者、引いては個人や家庭を守るようなものにしていかなければならない。

8. 若者の就労支援、県内の雇用創出

- ・ 若者が働く場の確保、人口流出対策
- ・ 雇用環境の整備
- ・ 地元企業の活性化、企業誘致

【寄せられた意見（抜粋）】

- 男性が県外に就職し、少ない。また、同世代できちんとしている男性は皆すでに結婚しているという理由で、自分の周りは出会いを求めるため県外に出ている。希望の就職先が県内がないという事で県外に仕方なく就職する友人もいる。このことから、少子化対策として、県内の雇用環境整備が一番有効な手段と考えている。
- 少子化に関して非常に憂慮している。現状は、自分が生きるだけで精一杯の若者が多い。ある程度安定した収入の展望が持てないから、結婚するのに躊躇するのは仕方ないと思う。また、せっかく鹿児島で育っても進学、就職で都会に出て行く若者は帰ってこない。魅力ある企業を誘致して、鹿児島で就職してもらおうのが鹿児島が輝き続けられる一つの方法だと思う。

9. 所得の向上

- ・ 収入の安定、賃金の引き上げ

【寄せられた意見（抜粋）】

- 収入の底上げ。経済的理由で1人以上は無理という家庭が多い。
- 経済的な問題が一番大きいと思う。鹿児島は県外と比べて給料が安いので、自然に負担も大きくなると思う。まずは、各家庭の収入が増え、子育てに回すお金の負担が減ることが大切だと思う。

10. その他

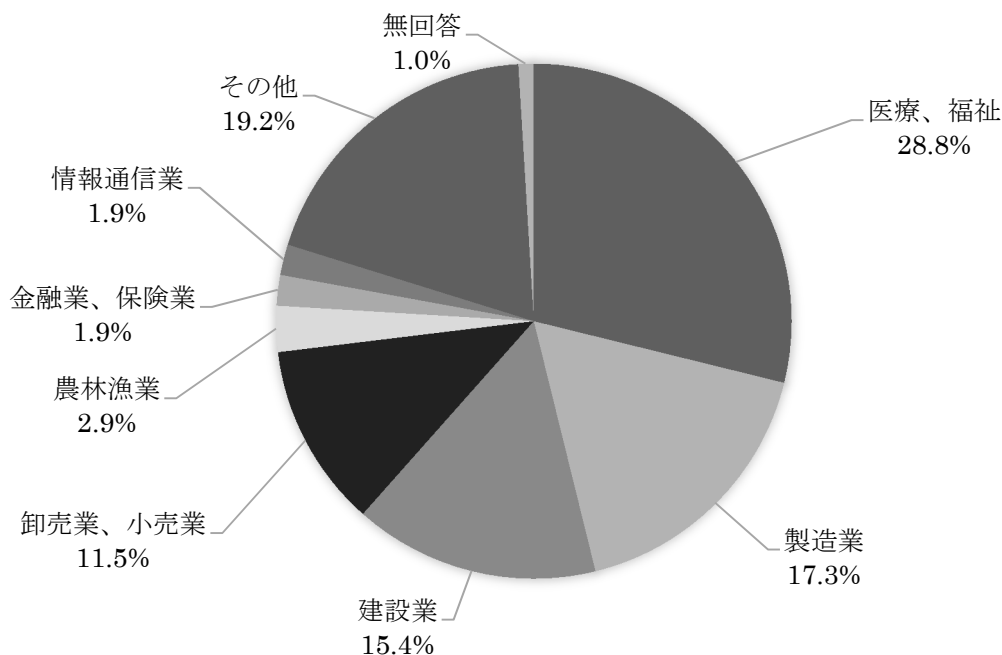
【寄せられた意見（抜粋）】

- 昔は近所の人たちが他の子も我が子同様に目配り気配りをして、地域ぐるみで子育てを行っていたように思うが、現在は、声掛けも気兼ねしなくてはならない状況である。親の意識を変えるような社会づくりを行わなければ、現状は変わらないと思う。
- 一人一人が前向きでいられるような社会の仕組みづくり。価値観や考え方がそれぞれ違うのは当然だけど、向上心や頑張る気持ちを多くの人が持てるようになれば、子どもを産んで育てようと思う人も徐々に増えるのではないか。
- 結婚するしない、出産するしない、それぞれ個人の自由である。ただ、結婚、出産となると、ほぼ女性だけが負担が大きくなり、それと幸せが結び付きにくい、と考える女性が増えているのではないか。また、20～30代の男性は、仕事中心の生活で、たまの休みが来ても、自分の楽しみが中心である。結婚して責任を取る、生活を支える等ということをしきれない。結局しっかりした収入、休みがあれば、ある程度変化する気がする。
- 結婚の社会的な意義が薄れ、収入が不安定な適齢期の男性が増加したことにより、未婚化が進みつつあると言われている。奄美群島では、多くの子どもたちが社会へ羽ばたいている。ここに少子化対策への鍵があると思う。
- 地域により、夜間、休日の小児科の受け入れがなく、住んでいる地域から病院までの移動距離がかかる。また、断られることもあり、不安になる事があるので、小児科の夜間、休日当番医へ力を入れて欲しい。
- 子どもが生まれても、虐待されて死んだら何もならない。何度も繰り返されている。行政の関与が必要。

IV 調査結果（事業所）

① 貴社の主な業種についてあてはまるものをお答えください。(○はひとつ)

主な業種については、「医療・福祉」が28.8%で最も多く、次いで「製造業」が17.3%、「建設業」が15.4%となっている。



② 貴社の従業員数を教えてください。

従業員数について、「100人以上」が28.6%、次いで「30～49人」が25.5%、「50～99人」が21.4%となっている

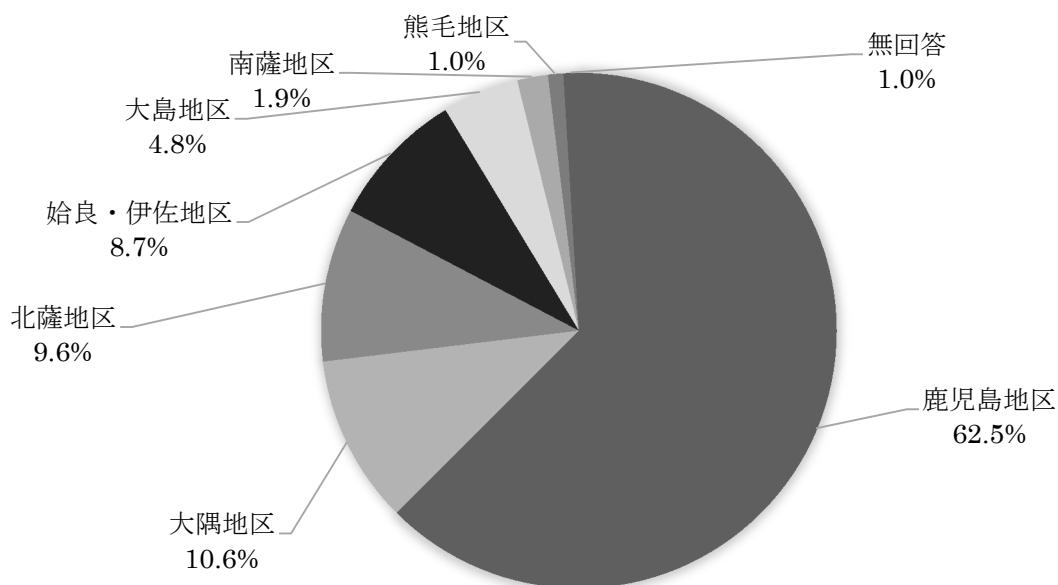
そのうち、全体では、「正規従業員」が56.2%、「パート・アルバイト」が37.5%、「派遣社員・契約社員」が6.3%となっている。

性別で見ると「正規従業員」は男性が66.9%、女性が33.1%となっており、「派遣社員・契約社員」は男性が55.6%、女性が44.4%、「パート・アルバイト」は男性が30.7%、女性が69.3%となっている。

従業員規模	対象事業所数	正規従業員			派遣社員・契約社員			パート・アルバイト			正規従業員	派遣社員 契約社員	パート アルバイト	総計
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計				
全体	98	5,814	2,878	8,692	539	430	969	1,779	4,015	5,794	8,692	969	5,794	15,455
	100.0%	66.9%	33.1%	100.0%	55.6%	44.4%	100.0%	30.7%	69.3%	100.0%	56.2%	6.3%	37.5%	100.0%
10人未満	7	25	17	42	0	0	0	1	6	7	42	0	7	49
	7.1%	59.5%	40.5%	100.0%	-	-	-	14.3%	85.7%	100.0%	85.7%	-	14.3%	100.0%
10～19人	8	58	27	85	4	6	10	4	5	9	85	10	9	104
	8.2%	68.2%	31.8%	100.0%	40.0%	60.0%	100.0%	44.4%	55.6%	100.0%	81.7%	9.6%	8.7%	100.0%
20～29人	9	122	48	170	0	0	0	19	33	52	170	0	52	222
	9.2%	71.8%	28.2%	100.0%	-	-	-	36.5%	63.5%	100.0%	76.6%	-	23.4%	100.0%
30～49人	25	477	310	787	21	21	42	35	135	170	787	42	170	999
	25.5%	60.6%	39.4%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	20.6%	79.4%	100.0%	78.8%	4.2%	17.0%	100.0%
50～99人	21	778	424	1,202	59	40	99	71	204	275	1,202	99	275	1,576
	21.4%	64.7%	35.3%	100.0%	59.6%	40.4%	100.0%	25.8%	74.2%	100.0%	76.3%	6.3%	17.4%	100.0%
100人以上	28	4,354	2,052	6,406	455	363	818	1,649	3,632	5,281	6,406	818	5,281	12,505
	28.6%	68.0%	32.0%	100.0%	55.6%	44.4%	100.0%	31.2%	68.8%	100.0%	51.2%	6.5%	42.2%	100.0%

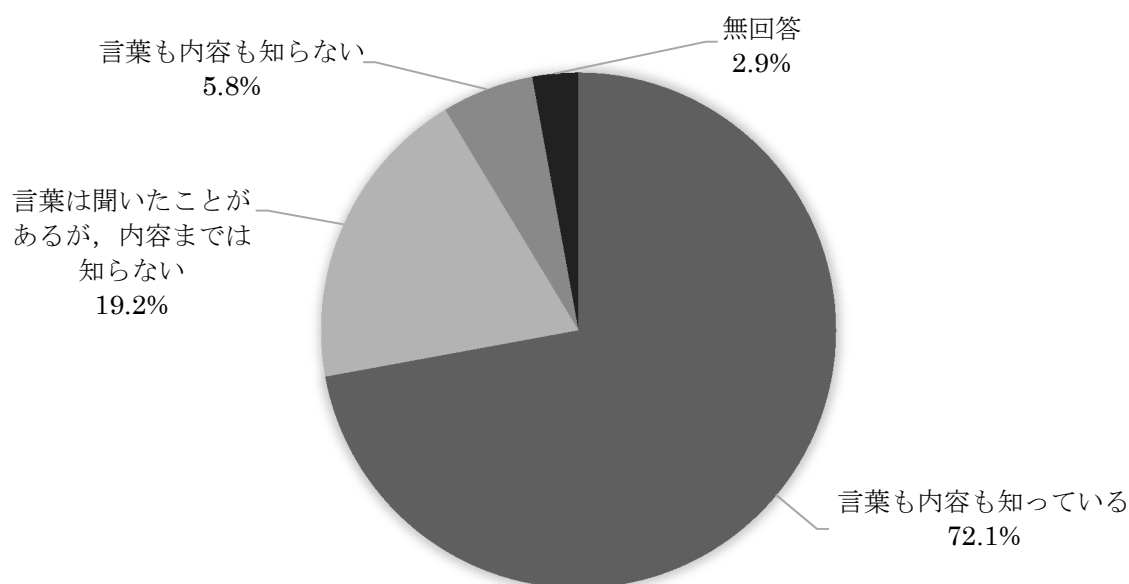
③ 貴社の所在地はどちらですか。(〇はひとつ)

所在地については、「鹿児島地区」が62.5%で最も多く、次いで「大隅地区」が10.6%、「北薩地区」が9.6%となっている。



問1 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているかについては、「言葉も内容も知っている」が72.1%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が19.2%、「言葉も内容も知らない」が5.8%となっている。

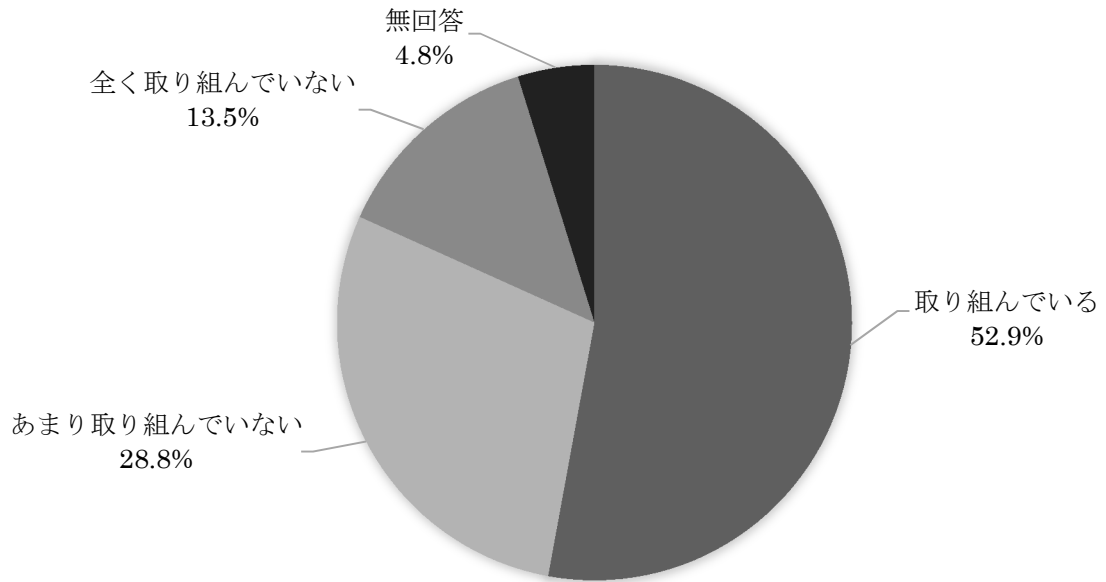


※ワーク・ライフ・バランス・・・仕事と仕事以外の生活（家事、子育て、趣味やスポーツ、友人や地域との付き合い等）をバランスよく展開していくこと。

問2 貴社ではワーク・ライフ・バランスの取組についてどのように認識していますか。
(〇は1つずつ)

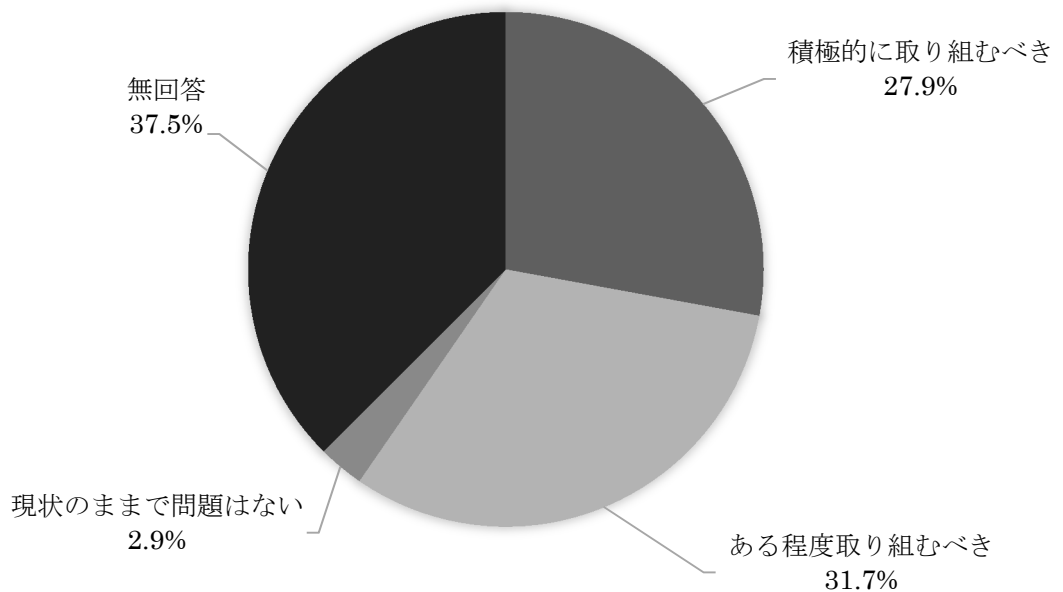
<現状>

ワーク・ライフ・バランスの取り組みの認識については、「取り組んでいる」が52.9%、「あまり取り組んでいない」が28.8%、「全く取り組んでいない」が13.5%となっている。



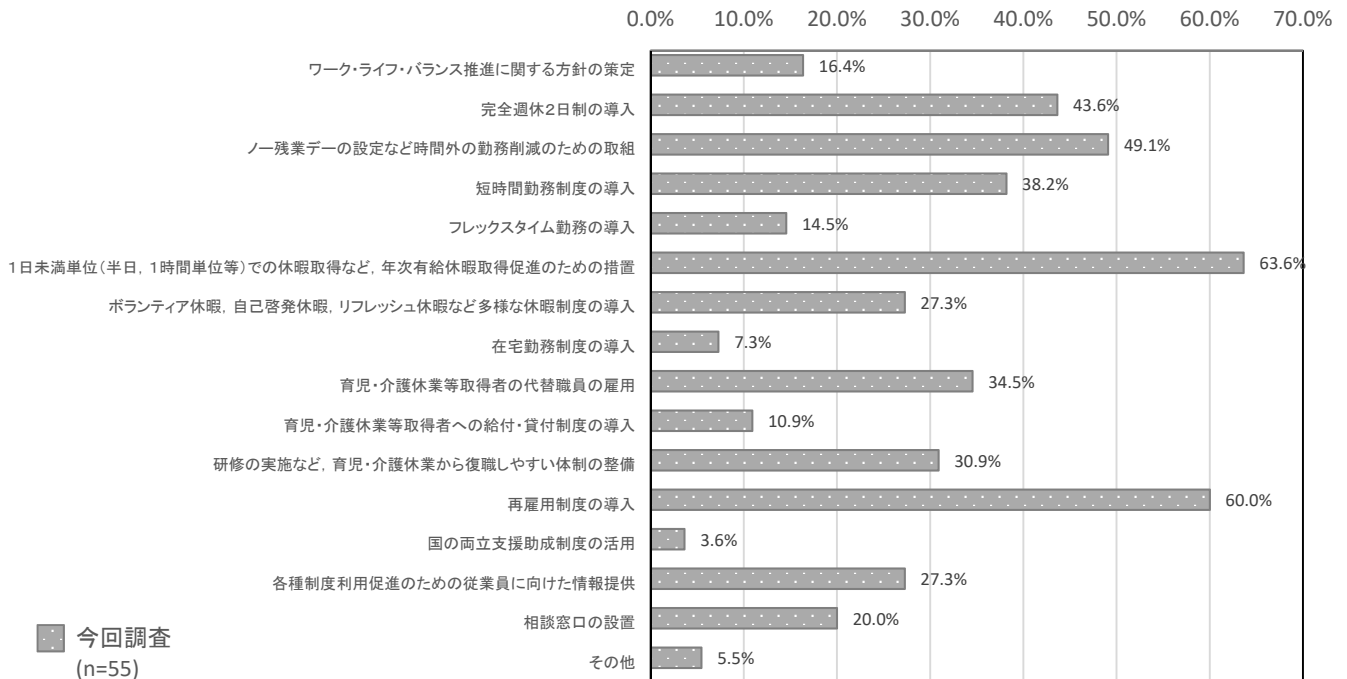
<今後>

「積極的に取り組むべき」が27.9%、「ある程度取り組むべき」が31.7%、「現状のままで問題はない」が2.9%となっている。



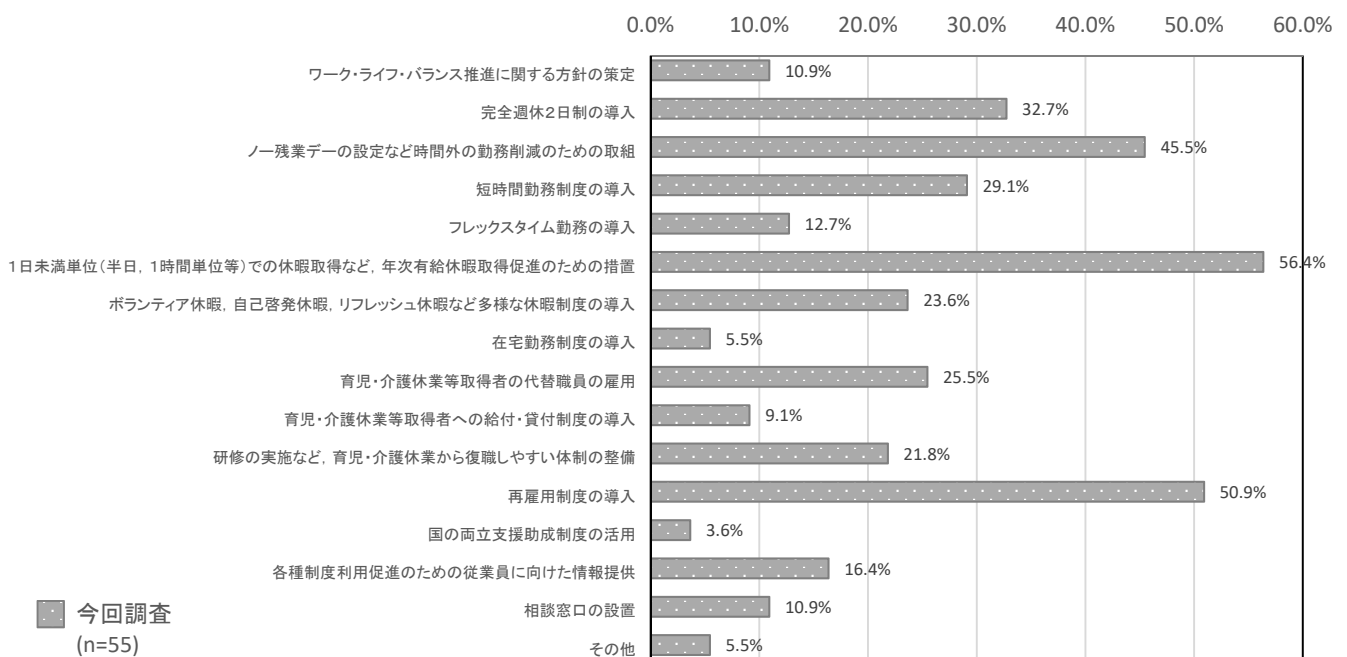
問3 貴社では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような取組をしていますか。
(〇はいくつでも)

ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような取組をしているかについては、「1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置」が63.6%で最も多く、次いで「再雇用制度の導入」が60.0%、「ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組」が49.1%となっている。



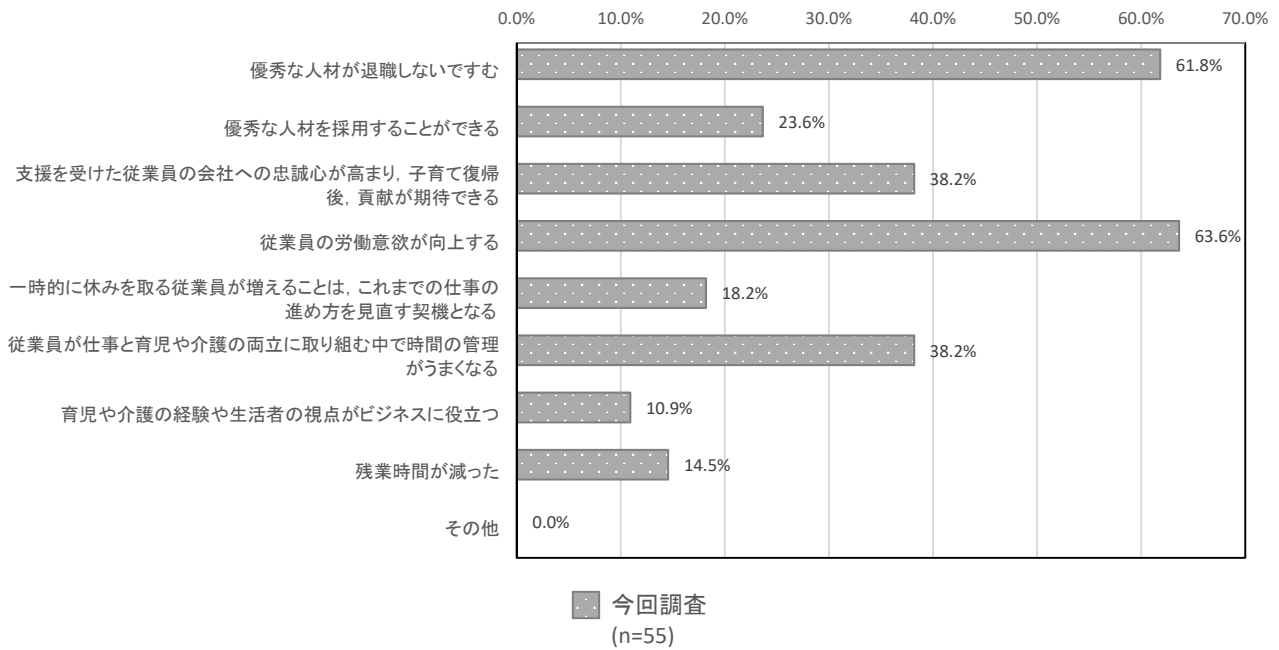
問4 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかったと思う内容はどれですか。
(〇はいくつでも)

ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかったと思う内容については、「1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置」が56.4%で最も多く、次いで「再雇用制度の導入」が50.9%、「ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組」が45.5%となっている。



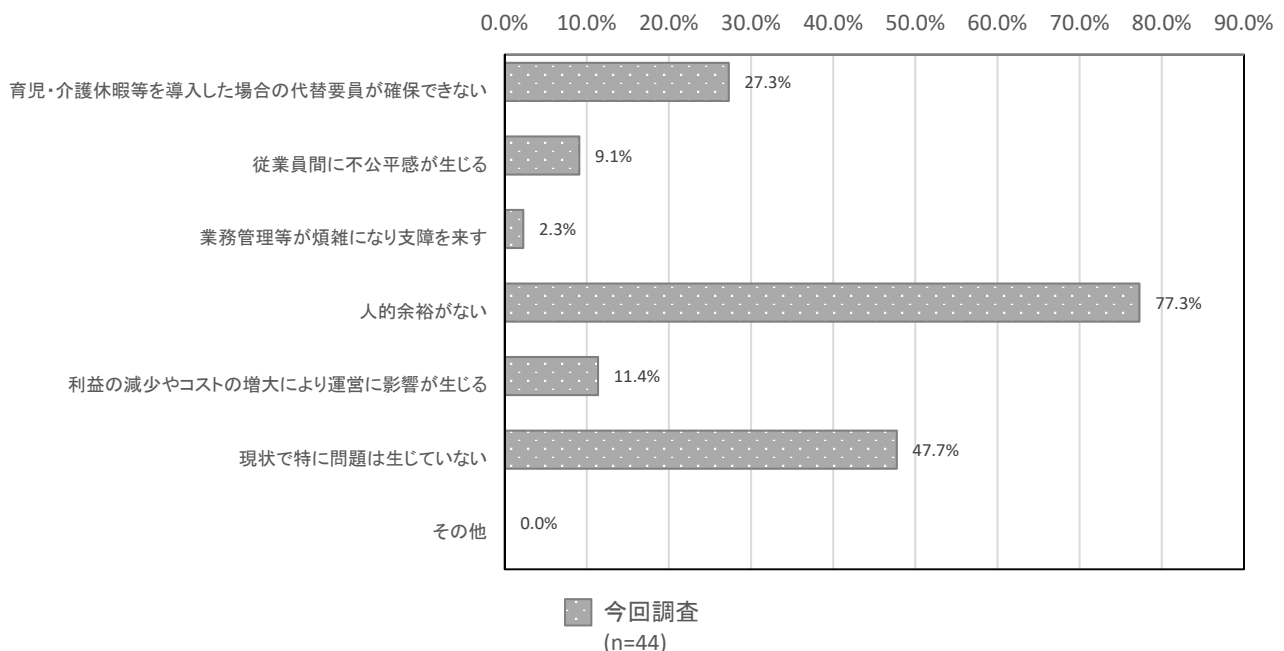
問5 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでどのようなメリットがありましたか。
(〇はいくつでも)

ワーク・ライフ・バランスに取り組んでどのようなメリットがあったかについては、「従業員の労働意欲が向上する」が63.6%で最も多く、次いで「優秀な人材が退職しないですむ」が61.8%、「支援を受けた従業員の会社への忠誠心が高まり、子育て復帰後、貢献が期待できる」・「従業員が仕事と育児や介護の両立に取り組む中で時間の管理がうまくなる」がそれぞれ38.2%となっている。



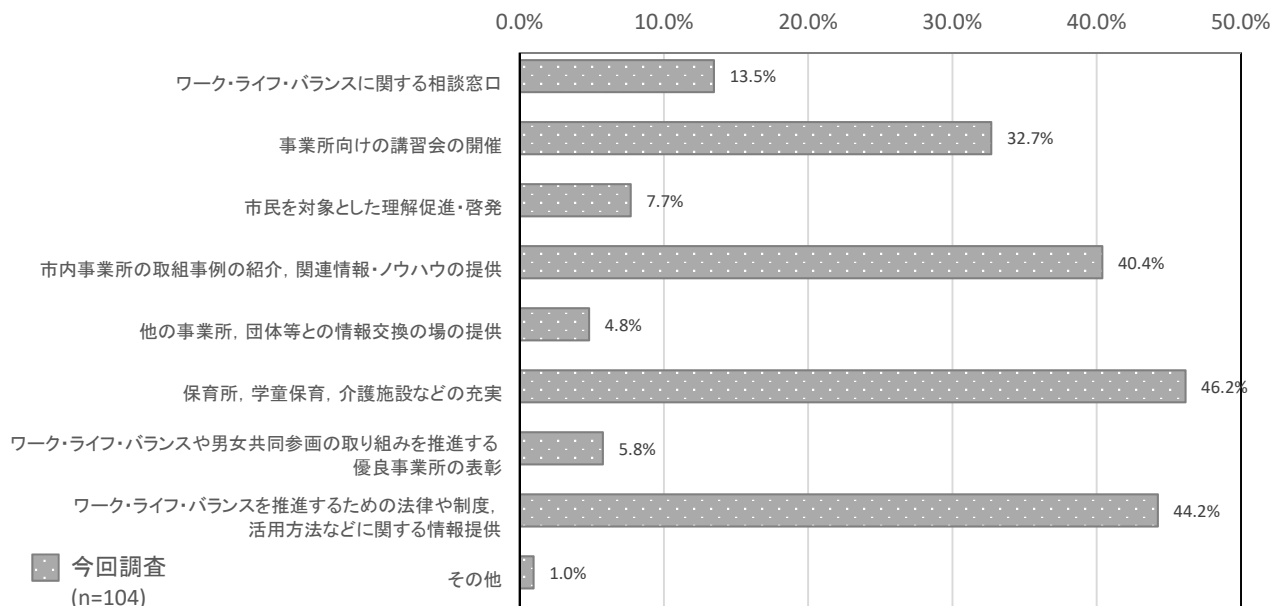
問6 貴社では、ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由については、「人的余裕がない」が77.3%で最も多く、次いで「現状で特に問題は生じていない」が47.7%、「育児・介護休暇等を導入した場合の代替要員が確保できない」が27.3%となっている。



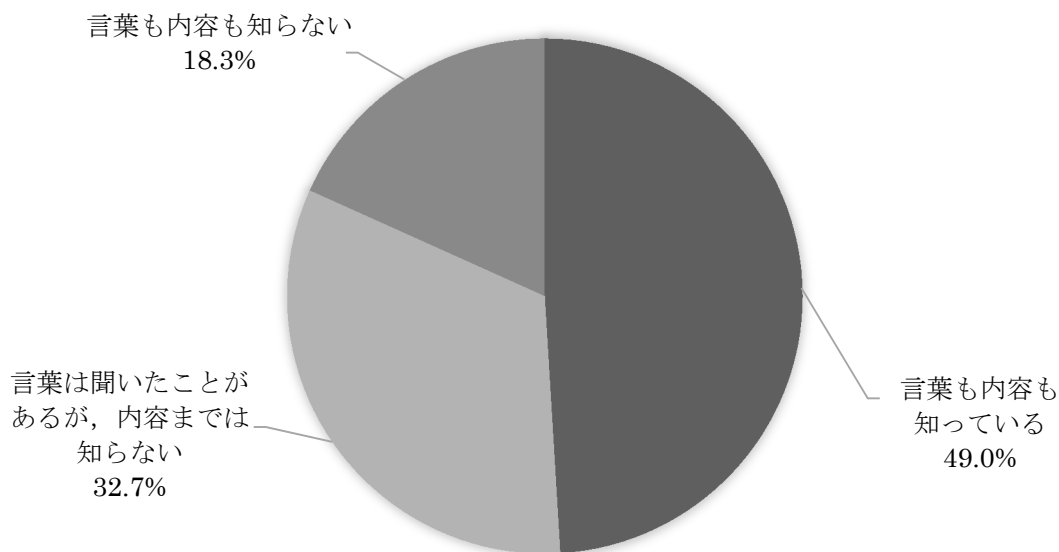
問7 ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政にどのようなことを希望しますか。
(〇は3つまで)

ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政にどのような希望するかについては、「保育所、学童保育、介護施設などの充実」が46.2%で最も多く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを推進するための法律や制度、活用方法などに関する情報提供」が44.2%、「市内事業所の取組事例の紹介、関連情報・ノウハウの提供」が40.4%となっている。



問8 貴社で「イクボス宣言」という言葉を知っていますか。(〇はひとつ)

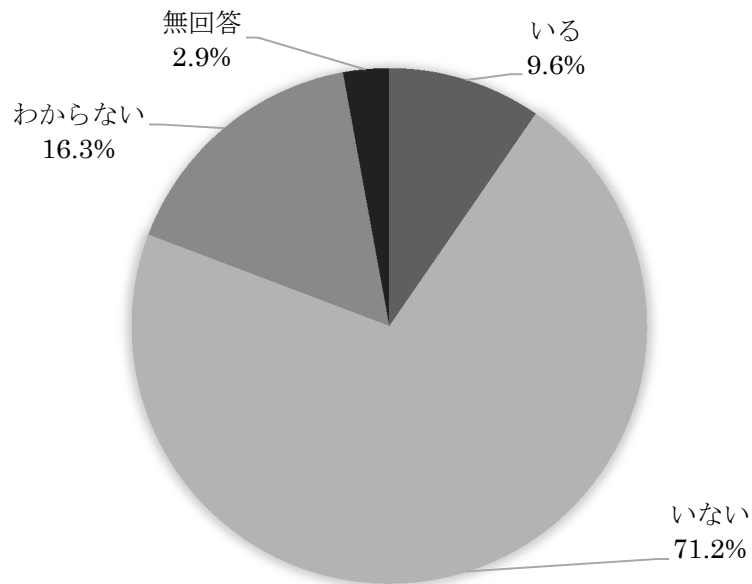
イクボス宣言という言葉を知っているかについては、「言葉も内容も知っている」が49.0%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が32.7%、「言葉も内容も知らない」が18.3%となっている。



※イクボスとは 「部下や同僚等の育児や介護・ワーク・ライフ・バランス等に配慮・理解のある上司」のことです。イクボス宣言は、NPO 法人ファザーリングジャパンが行っているものでイクボスとしての宣言を対外的に行うものです。

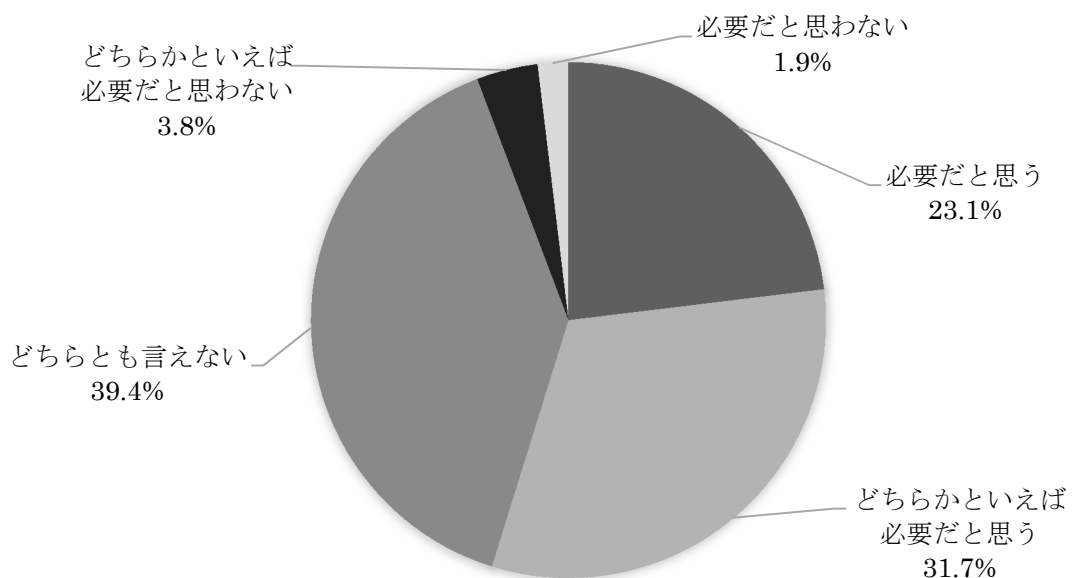
問9 貴社で「イクボス宣言」をされた方はいらっしゃいますか。(〇はひとつ)

イクボス宣言をされた方がいるかについては、「いる」が9.6%、「いない」が71.2%、「わからない」が16.3%となっている。



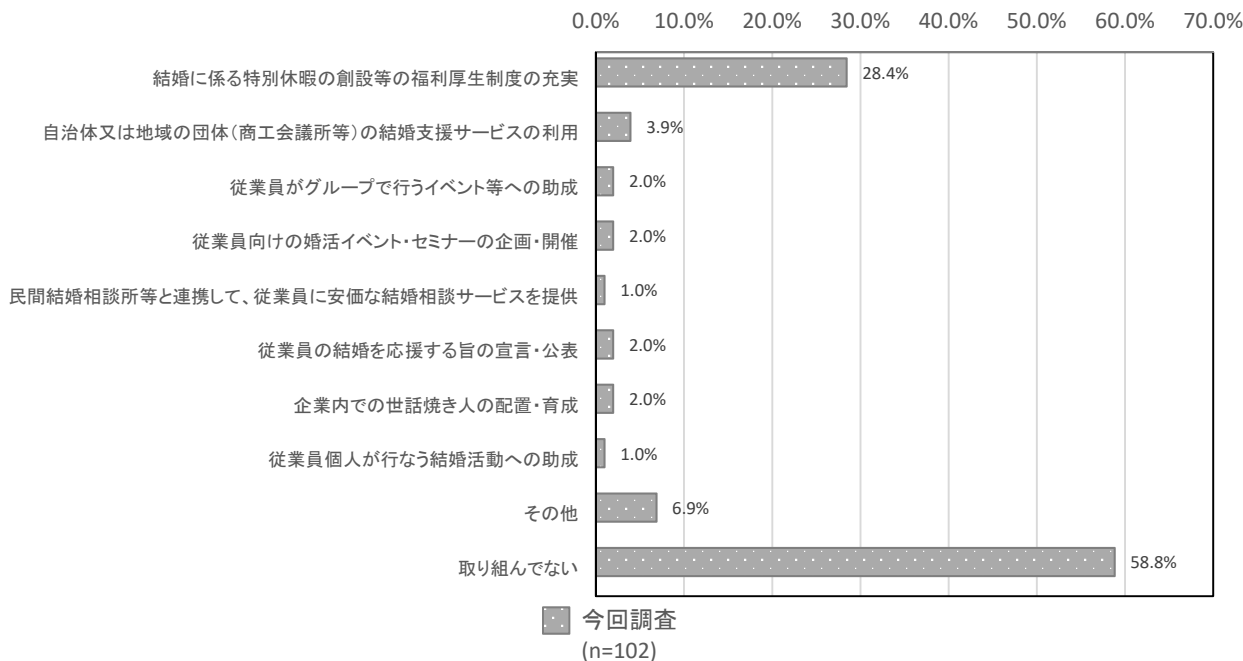
問10 若者の未婚化・晩婚化と、それに伴う少子化の進行は、企業の労働力不足や消費者人口の減少につながることから、企業の経済活動・持続的発展に影響を及ぼすと言われていますが、企業が従業員の結婚支援に取り組むことについてどう考えていますか。(〇はひとつ)

企業が従業員の結婚支援に取り組むことをどう考えているかについては、「どちらとも言えない」が39.4%で最も多く、「どちらかといえば必要だと思う」が31.7%、「必要だと思う」が23.1%となっている。



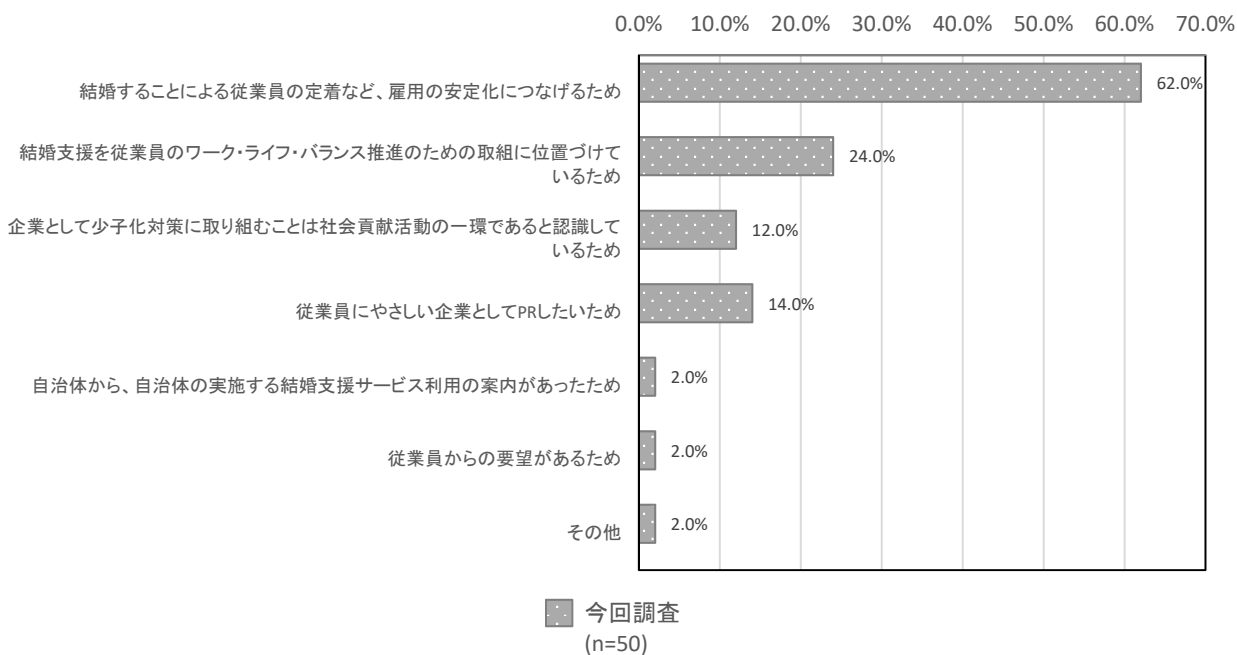
問 1 1 貴社で取り組んでいる結婚支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

取り組んでいる結婚支援の内容については、「取り組んでいない」が58.8%で最も多く、次いで「結婚に関わる特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実」が28.4%、「その他」が6.9%となっている。



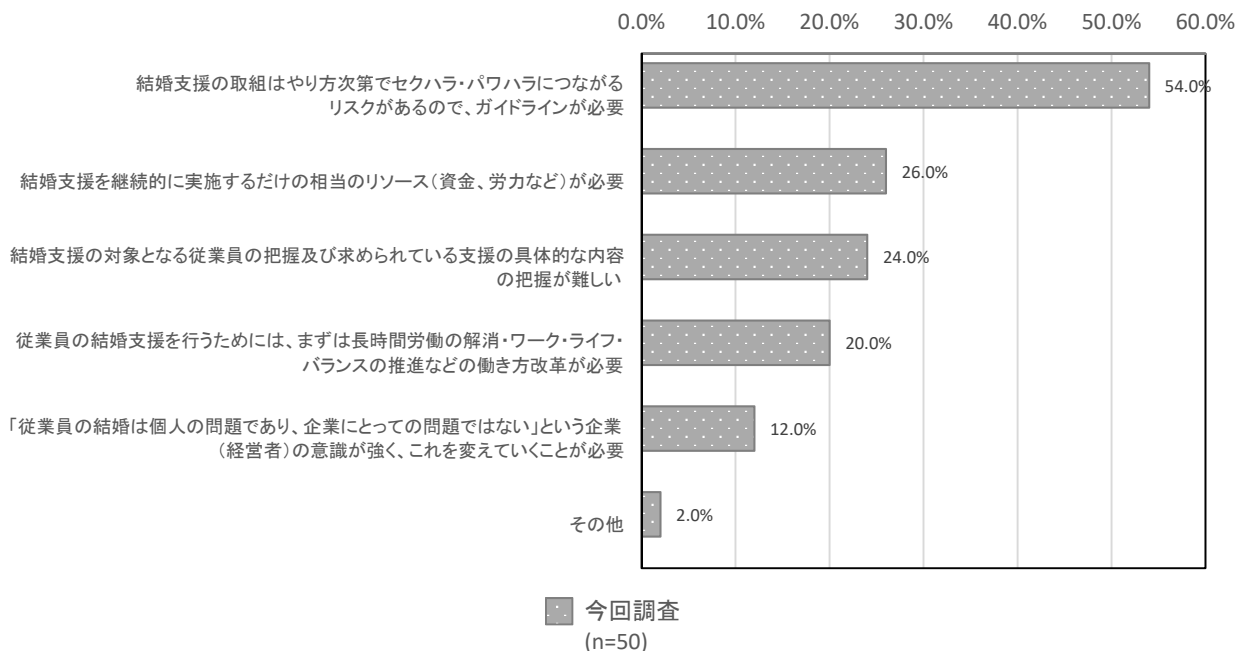
問 1 2 結婚支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

結婚支援に取り組んでいる理由については、「結婚することによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため」が62.0%で最も多く、次いで「結婚支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため」が24.0%、「従業員にやさしい企業としてPRしたいため」が14.0%となっている。



問 1 3 企業が従業員の結婚支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

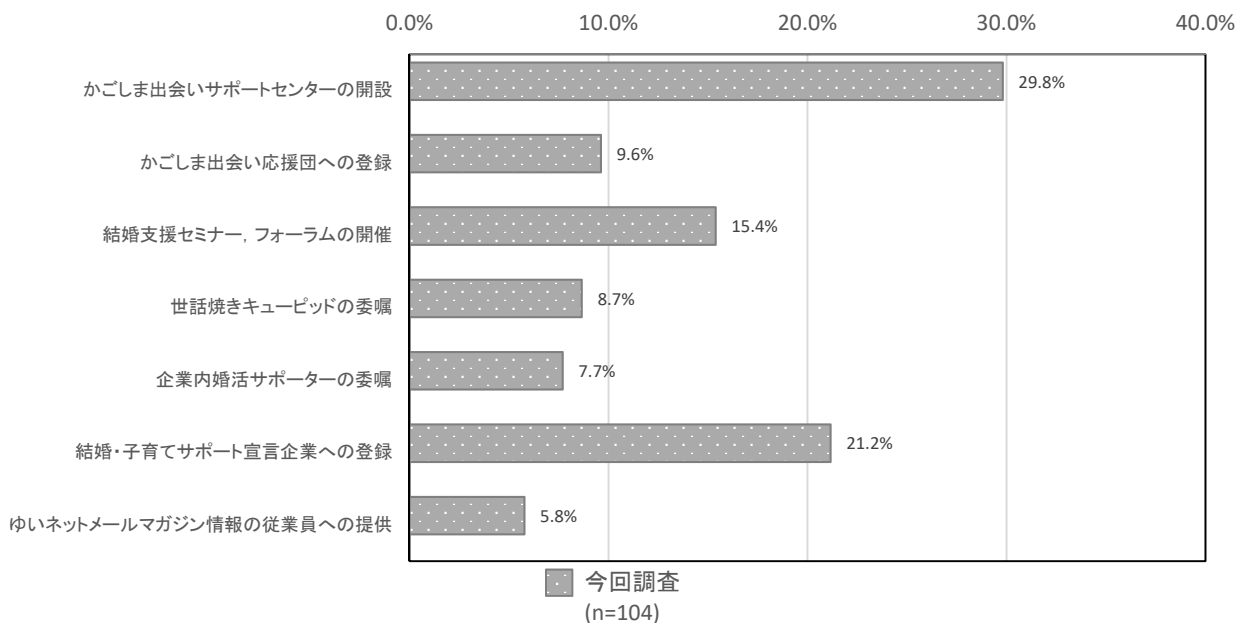
結婚支援を行うことの課題については、「結婚支援の取組はやり方次第でセクハラ・パワハラにつながるリスクがあるので、ガイドラインが必要」が 54.0%で最も多く、次いで「結婚支援を継続的に実施するだけの相当のリソース(資金、労力など)が必要」が 26.0%、「結婚支援の対象となる従業員の把握及び求められている支援の具体的な内容の把握が難しい」が 24.0%となっている。



問 1 4 鹿児島県が実施している主な結婚支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。(〇はいくつでも)

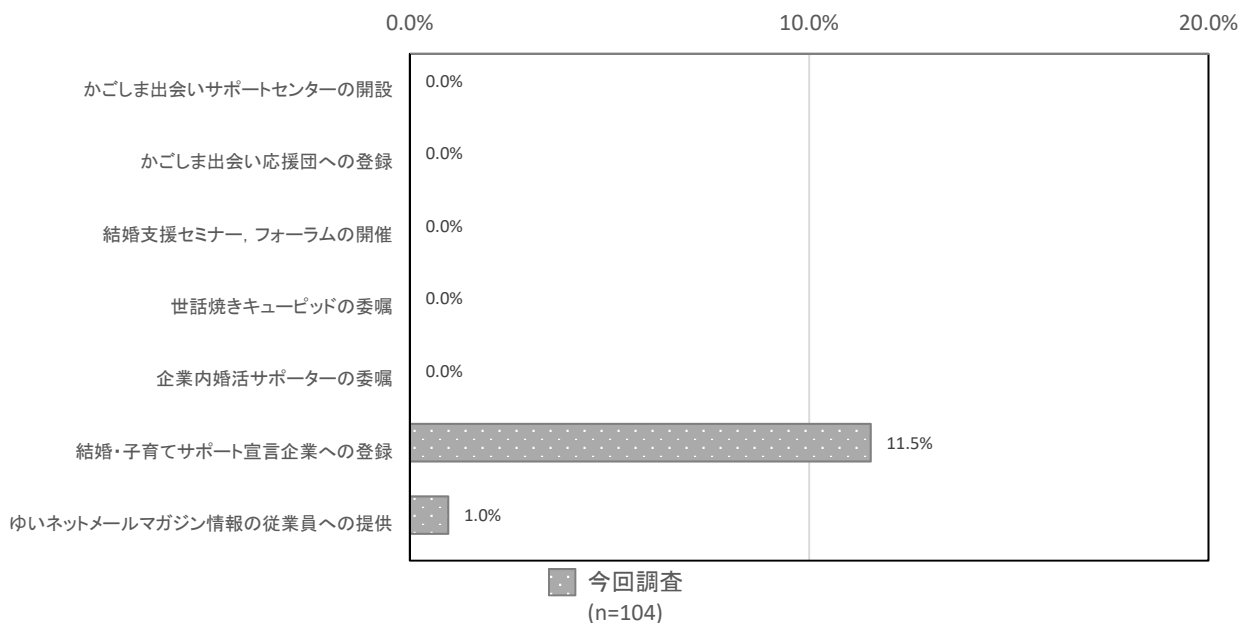
「知っている」

鹿児島県が実施している主な結婚支援事業で知っているものについては、「かごしま出会いサポートセンターの開設」が 29.8%で最も多く、次いで「結婚・子育てサポート宣言事業への登録」が 21.2%、「結婚支援セミナー、フォーラムの開催」が 15.4%となっている。



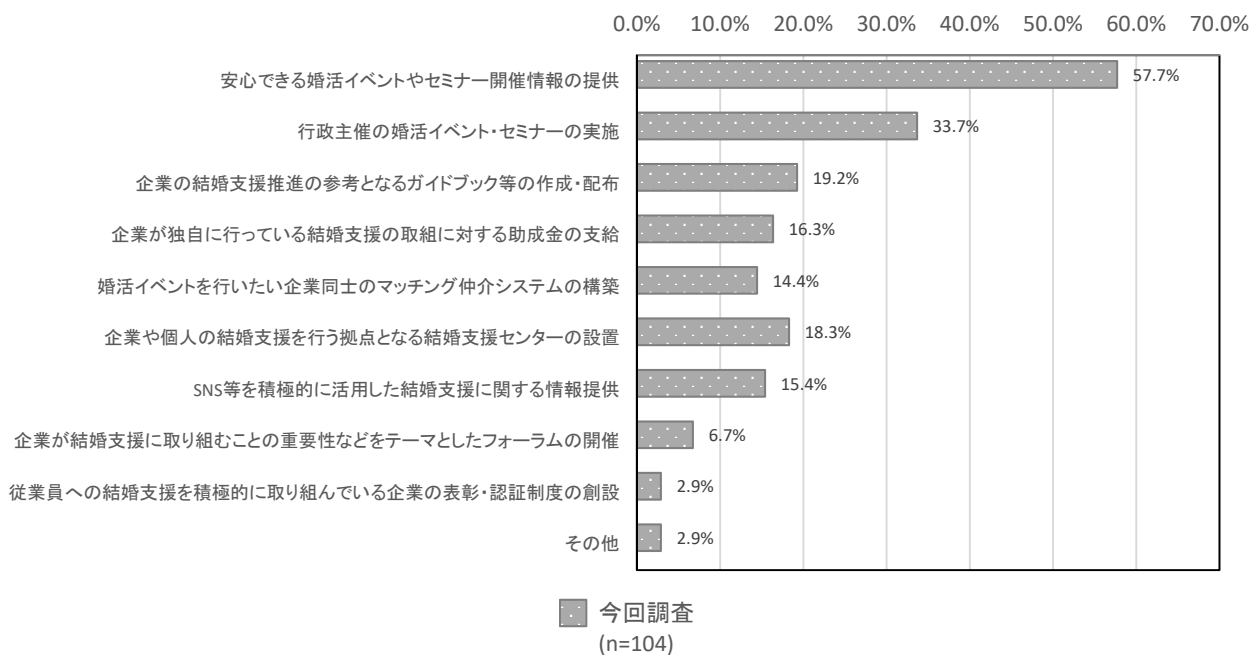
「取り組んでいる」

鹿児島県が実施している主な結婚支援事業で既に取り組んでいるものについては、「結婚・子育てサポート宣言事業への登録」が11.5%、「ゆいネットオールマガジン情報の従業員への提供」が1.0%となっている。



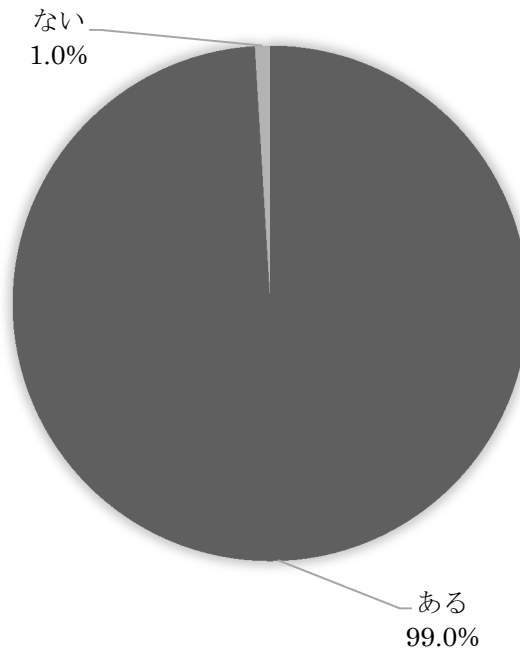
問15 行政に期待する結婚支援についてお答えください。(〇はいくつでも)

行政に期待する結婚支援については、「安心できる婚活イベントやセミナー開催情報の提供」が57.7%で最も多く、次いで「行政主催の婚活イベント・セミナーの実施」が33.7%、「企業の結婚支援促進の参考となるガイドブック等の作成・配布」が19.2%となっている。



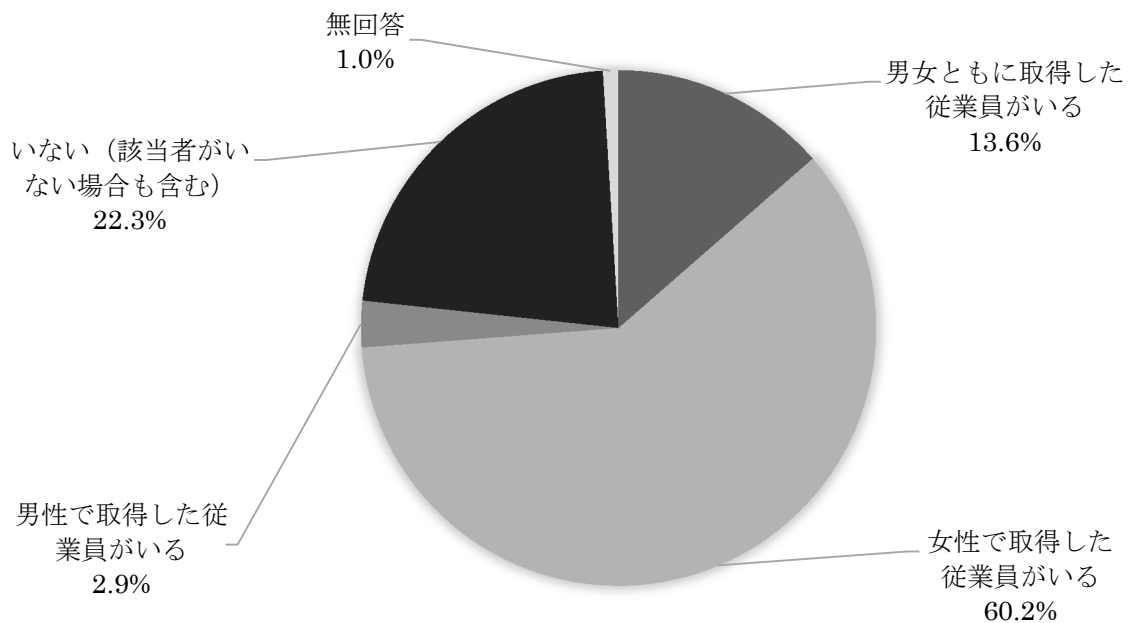
問 16 貴社の就業規則等には「育児休業制度」の規定はありますか。(〇はひとつ)

就業規則に「育児休業制度」の規定があるかについては、「ある」が99.0%、「ない」が1.0%となっている。



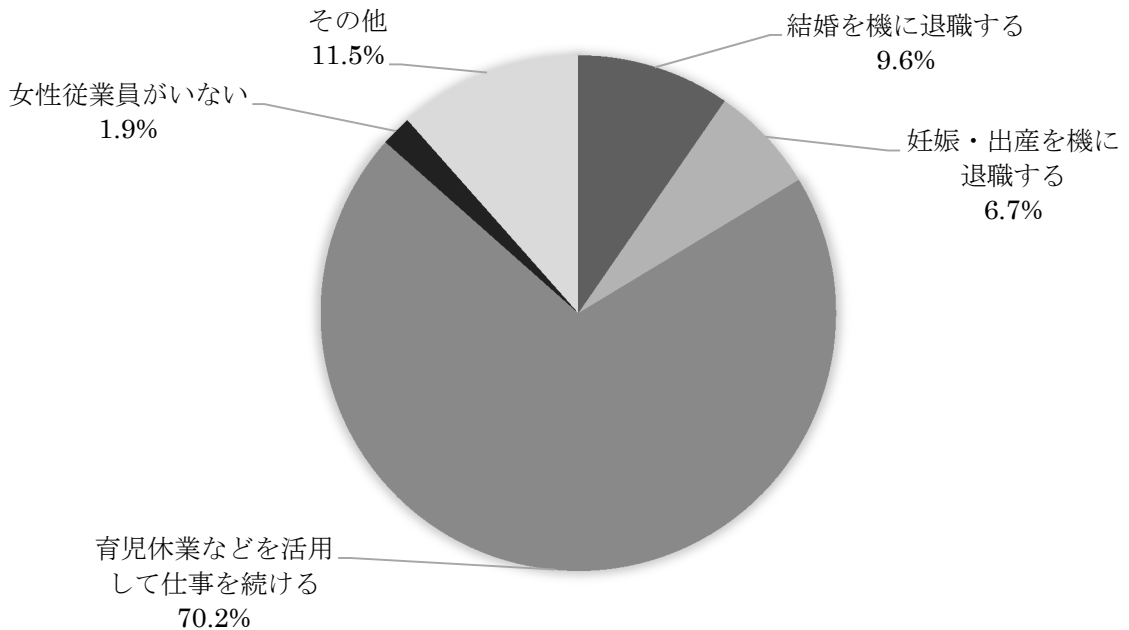
問 17 貴社ではこれまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。(〇はひとつ)

これまでに育児休業制度を利用した従業員がいたかについては、「女性で取得した従業員がいる」が60.2%で最も多く、次いで「いない(該当者がいない場合も含む)」が22.3%、「男女ともに取得した従業員がいる」が13.6%、「男性で取得した従業員がいる」が2.9%の順となっている。



問 18 貴社の女性の働き方として、どのような形が多いですか。(〇はひとつ)

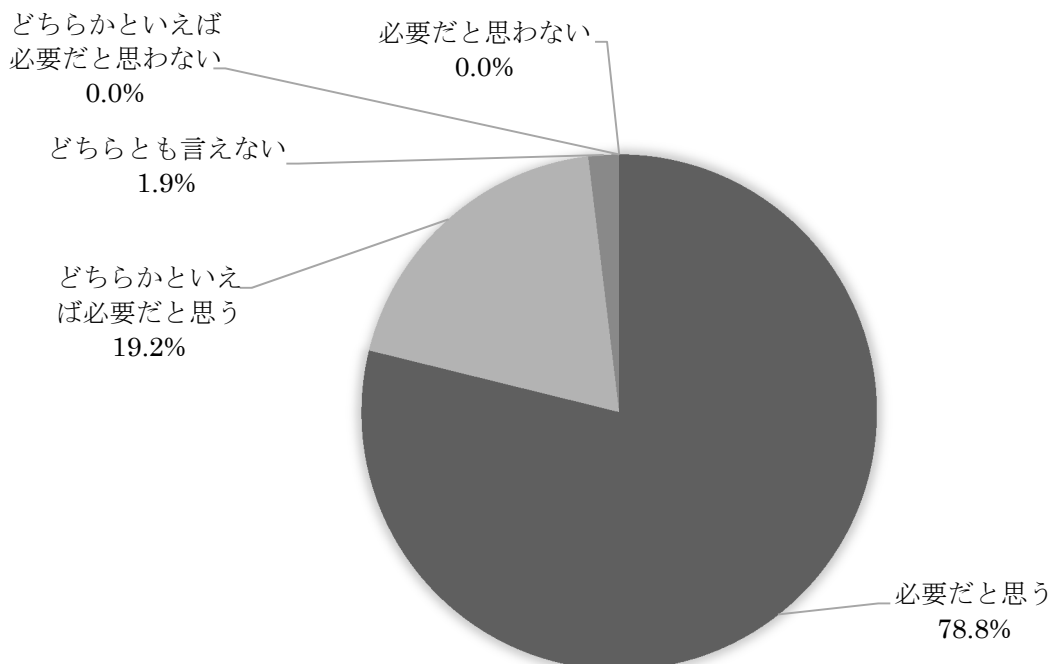
女性の働き方として、どのような形が多いかについては、「育児休業などを活用して仕事を続ける」が70.2%で最も多く、次いで「その他」が11.5%、「結婚を機に退職する」が9.6%となっている。



問 19 企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えていますか。(〇はひとつ)

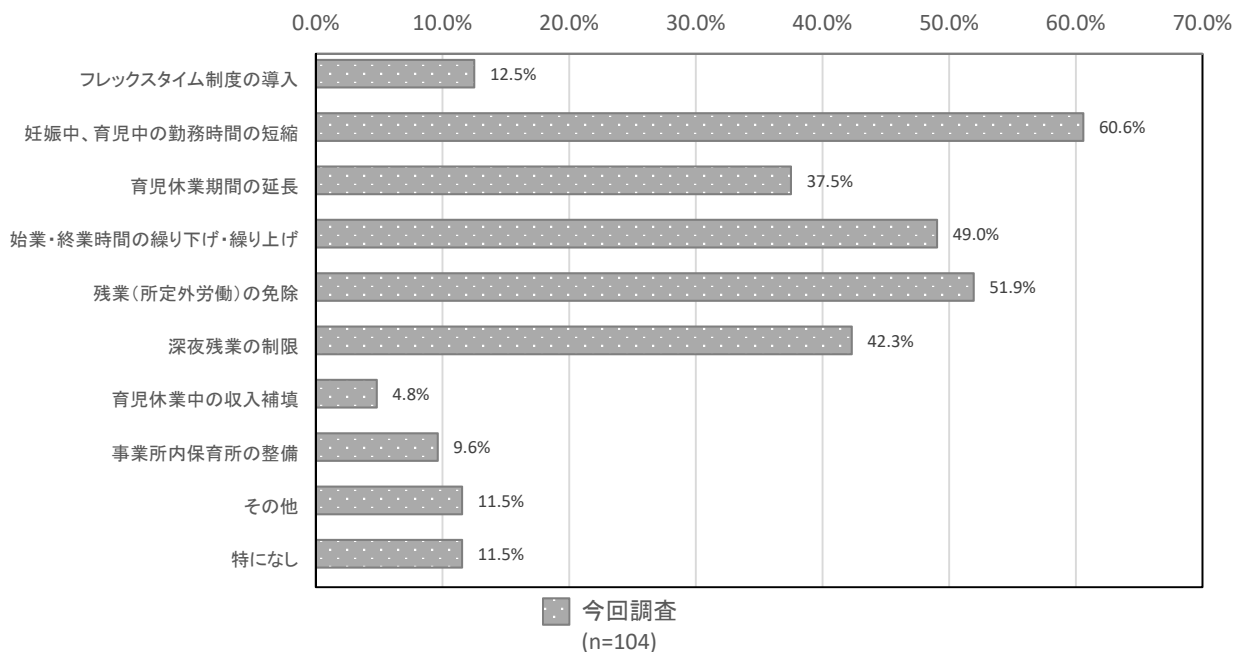
企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えているかについては、「必要だと思う」が78.8%、「どちらかといえば必要だと思う」が19.2%、「どちらかといえば必要だと思わない」が1.9%となっている。

「どちらかといえば必要だと思わない」・「必要だと思わない」と回答した企業はなかった。



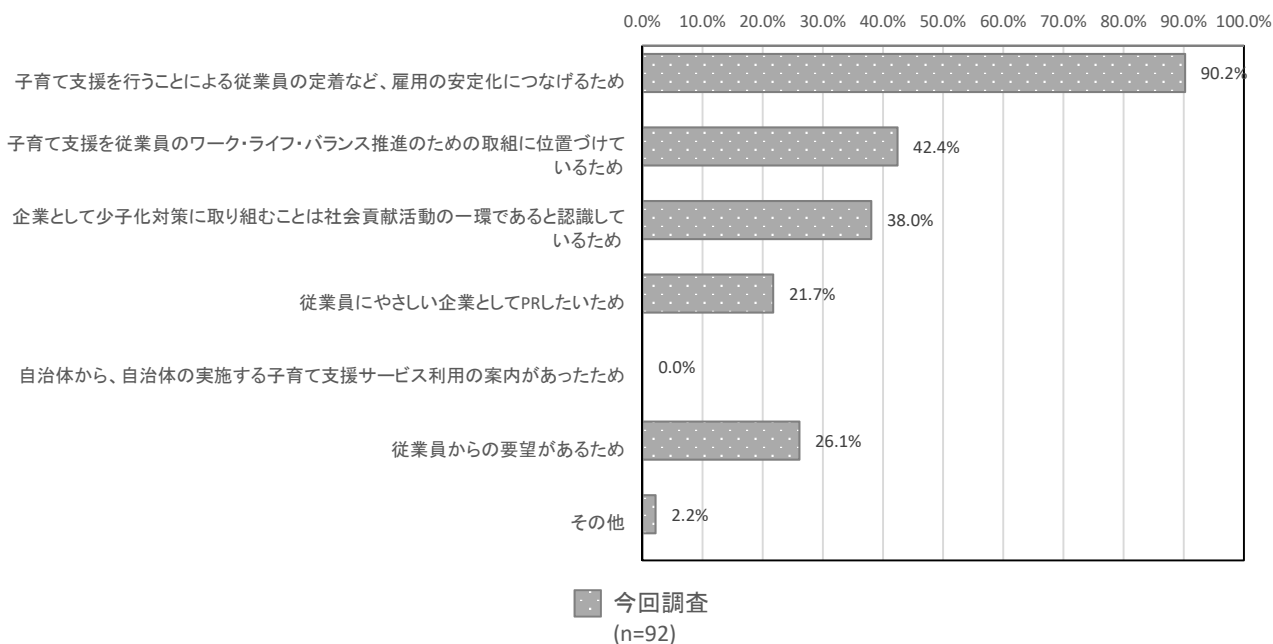
問20 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

取り組んでいる子育て支援の内容については、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が60.6%で最も多く、次いで「残業(所定外労働)の免除」が51.9%、「始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ」が49.0%となっている。



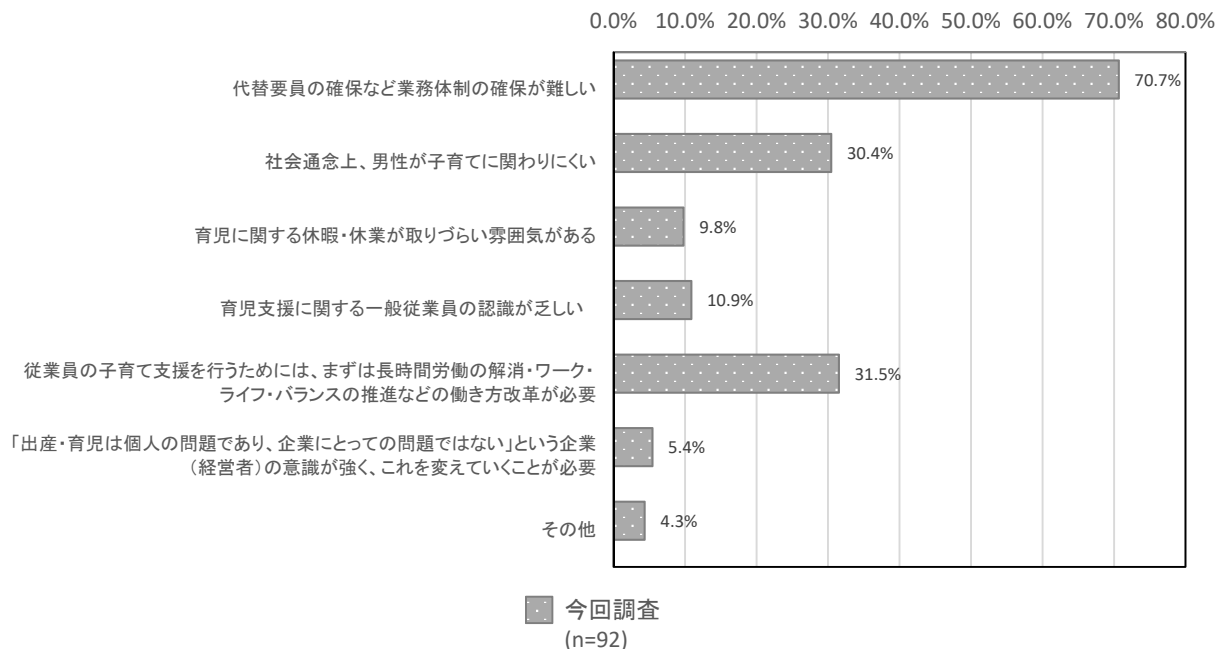
問21 子育て支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

子育て支援に取り組んでいる理由については、「子育て支援を行うことによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため」が90.2%で最も多く、次いで「子育て支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため」が42.4%、「企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため」が38.0%となっている。



問 2 2 企業が従業員の子育て支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

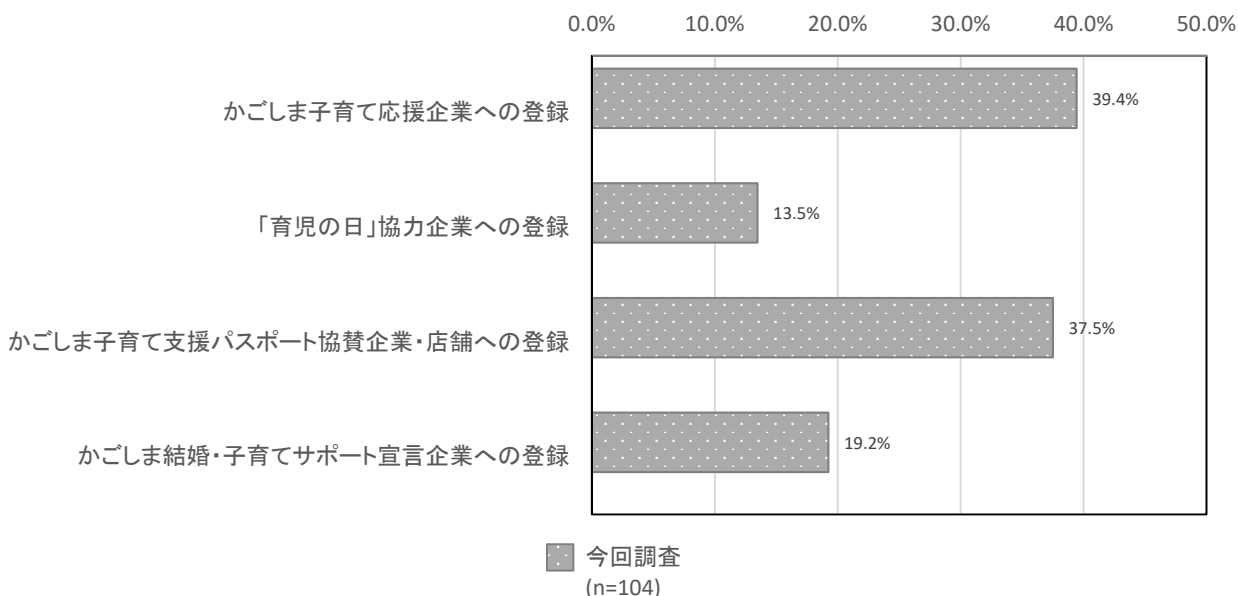
企業が従業員の子育て支援を行うことの課題については、「代替要因の確保など業務体制の確保が難しい」が 70.7%で最も多く、次いで「従業員の子育て支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進など働き方改革が必要」が 31.5%、「社会通念上、男性が子育てに関わりにくい」が 30.4%となっている。



問 2 3 鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。(〇はいくつでも)

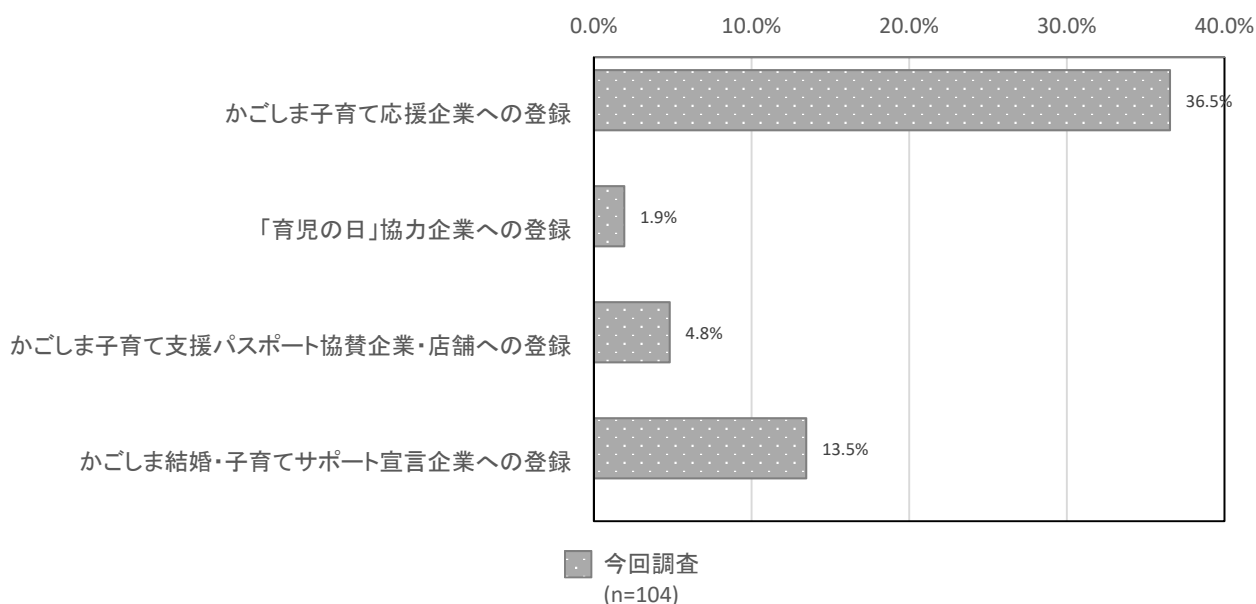
「知っている」

鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援で知っているものについては、「かごしま子育て応援企業への登録」が 39.4%で最も多く、次いで「かごしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録」が 37.5%、「かごしま結婚・子育て宣言企業への登録」が 19.2%、「育児の日」協力企業への登録」が 13.5%の順となっている。



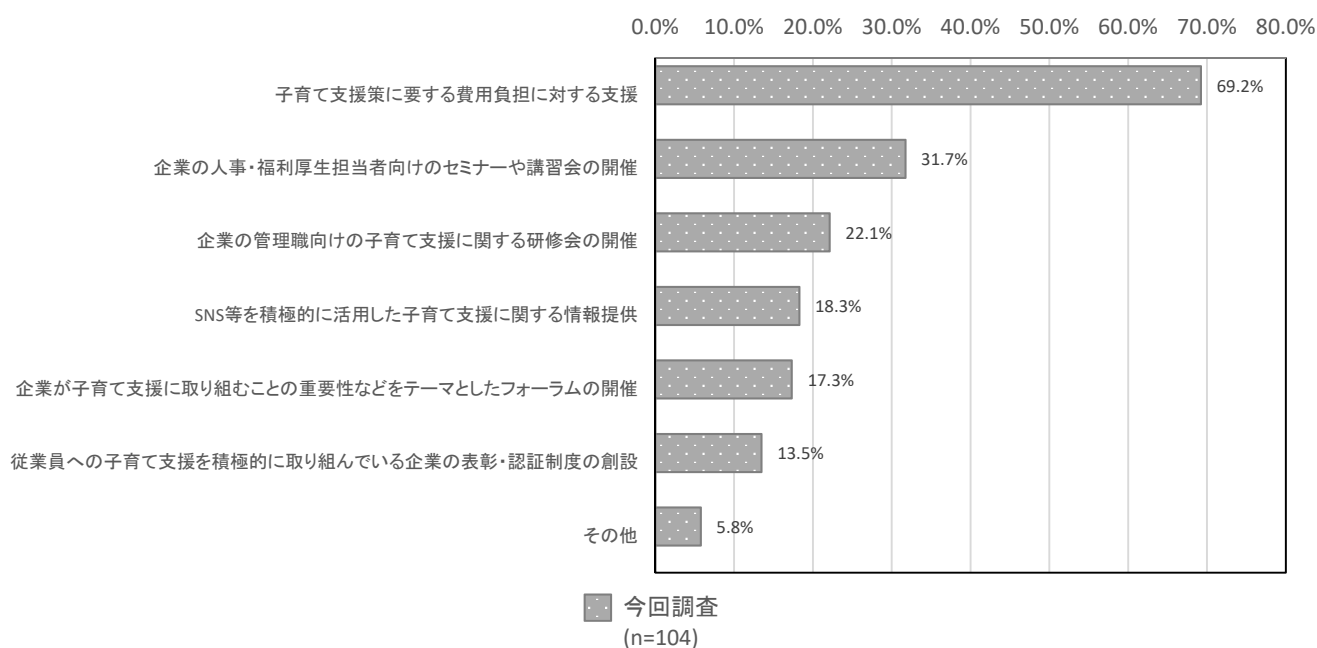
「取り組んでいる」

鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援に既に取り組んでいるものについては、「かごしま子育て応援企業への登録」が36.5%で最も多く、次いで「かごしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録」が13.5%、「かごしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録」が4.8%、「育児の日」協賛企業への登録」が1.9%の順となっている。



問24 行政に期待する子育て支援についてお答えください。(〇はいくつでも)

行政に期待する子育て支援については、「子育て支援策に要する費用負担に対する支援」が69.2%で最も多く、次いで「企業の人事・福利厚生担当者向けのセミナーや講習会の開催」が31.7%、「企業の管理職向けの子育て支援に関する研修会の開催」が22.1%となっている。



問25 少子化問題についてのご意見、この調査に対するご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

【寄せられた意見（抜粋）】

- 子育てはもちろん行政の積極的な支援も必要であると考えますが、何より周辺の住民の理解と協力が不可欠だと思います。ここで子供を育てたいと思わせる環境を、官民一体となって創っていただきたいと思います。
- 単に子供が増えれば、将来のためになるわけではない。しっかりと親が子に関わりを持つことが大事。施設の充実だけでなく、親・企業も環境を整えるべき。
- 企業はセクハラ・パワハラ等で、結婚・出産への関与が非常にしにくいことから、法を整備して取り組むべきである。
- 国のお金をどれだけ使うかの問題。結婚するしないは、個々の意識によるところが大きい。中学生までの経済的支援を充実させる事で、たくさんの子供を育てやすいようにしてはどうか。
- 女性の場合、仕事と育児の両立が難しい。これ以上、子供が増えると生活できないと思う人が多いと思います。子供手当も所得に応じて増やしたり、保育園、学校を無料化して欲しいです。
- 子育てをしていくための支援拡大（例えば子育て年金）。
- 魅力ある働く場があって若者が定着し、結婚・子育てとつながっていくのは当然の流れ。根本的な問題への取り組みや非婚化への教育等への注力を。
- 労働人口の確保は、重要課題と思われるので、出産・子育て・教育については、行政の助成を集中的に実施してほしい。
- この先、外国人労働者に頼らなければならないと思うと不安であります。将来を見ても、少子化問題の解決はとても必要なことと思います。
- 人口減少問題は、今後確実に到来する日本の抱える大きな課題。出産する年齢人口が減少するため、歯止めはかからない。また、人生観や文化、社会環境等多岐に渡る要因が影響していると考えます。今後地道に1つずつ、丁寧に時間をかけて取り組むほかはないのではないかと思います。

少子化等に関する県民意識調査

あなたのご意見が県政に反映されます

鹿児島県のこれからの少子化等の対策について
あなたのご意見をお聞かせください

調査へのご協力をお願い



鹿児島県では、結婚、妊娠、子育てに温かい社会の実現に向けて、総合的な少子化対策に取り組んでいます。

少子化は、未婚化・晩婚化の進行や第1子出産年齢の上昇、長時間労働、子育て中の孤立感や負担感が大きいことなど、様々な要因が複雑に絡み合って進行しております。

この調査は、県民の皆様の結婚、妊娠・出産、子育てについてのご意見、ご要望などを調査し、若い世代が結婚、妊娠・出産、子育てに対し、より前向きに考えられるような取組を行うための基礎資料とするものです。

平成30年10月

鹿児島県

■ 今回の調査内容 ■

I あなたのことについて

II 結婚観について

III 子育てについて

IV 仕事と育児の両立について

V 少子化問題について

回答方法

※回答期限 平成30年11月28日(水) <回答サイトのQRコード>

①インターネットで回答を行う場合

・以下のWebサイトにアクセスし、説明に従ってご回答ください。

<https://questant.jp/q/kagoshima-shoushika>



※インターネットでご回答いただいた方は、本調査票での回答は不要です。

②本調査票で回答を行う場合

・次のページの案内に従ってご回答をお願いします。

・記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。

(切手を貼る必要はありません。)

- この調査票は、満18歳以上(平成30年1月1日現在)の方々から、無作為に選び、送付させていただきました。
- この調査は無記名であり、あなたのプライバシーは必ず守られます。回答があなたであることが分かってしまうことは絶対にありませんので、ありのままをお答えください。
- この調査について、質問や不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

[問い合わせ先]

鹿児島県くらし保健福祉部 子育て支援課 幼保連携係

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 電話：099-286-2148 (担当：上村)

記入方法について

- この調査のご記入は宛名のご本人がお答えいただくようお願いします。なお、事情によりご本人が回答できない場合は、受け取られたご家族の方に、ご本人のお考えについて調査票への記入のご協力をお願いします。
- 回答は調査票にボールペンか鉛筆ではっきりとご記入ください。
- ご記入にあたっては、あてはまる番号を○で囲んでください。
(例) 1 2 ③ 4 5
- 質問ごとに○をつける数が違いますので、ご注意ください。
- 「その他」を答えに選んだ場合は、お手数ですがその内容を具体的に（ ）内にお書きください。

※この調査では、未婚・既婚、子供の有無で、お伺いする項目が異なります。

また、質問によっては、お示しする条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますので、説明にしたがって、最後までお進みください。

◆未婚で子どもがいない方	I あなたのことについてお伺いします。 II 結婚観についてお伺いします。 IV 仕事と育児の両立についてお伺いします。 V 少子化問題についてお伺いします。	P 1 P 4 P 1 4 P 1 7
◆未婚で子どもがいる方	I あなたのことについてお伺いします。 II 結婚観についてお伺いします。 III 子育てについてお伺いします。 IV 仕事と育児の両立についてお伺いします。 V 少子化問題についてお伺いします。	P 1 P 4 P 8 P 1 4 P 1 7
◆既婚で子どもがいない方 (離別・死別の方を含む)	I あなたのことについてお伺いします。 IV 仕事と育児の両立についてお伺いします。 V 少子化問題についてお伺いします。	P 1 P 1 4 P 1 7
◆既婚で子どもがいる方 (離別・死別の方を含む)	I あなたのことについてお伺いします。 III 子育てについてお伺いします。 IV 仕事と育児の両立についてお伺いします。 V 少子化問題についてお伺いします。	P 1 P 8 P 1 4 P 1 7

I はじめに、あなたのことについてお伺いします。

① あなたの性別と年齢を教えてください。(〇はひとつ)

※ 性別を選択することに違和感や抵抗感がある場合は、回答をいただかなくても結構です。

性別

1. 男性
2. 女性
3. その他

年齢

満 _____ 歳

② あなたは結婚されていますか。結婚されている場合は、配偶者の方の年齢を教えてください。

(〇はひとつ)

1. 結婚している → 配偶者の年齢 満 _____ 歳
2. 離別・死別
3. 未婚

③ あなたはお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、お子さんの人数を教えてください。

(〇はひとつ)

1. いる → お子さんの人数 _____ 人
2. いない

④ あなたのお住まいはどちらですか。(〇はひとつ)

1. 鹿児島地区 (鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村)
2. 南薩地区 (枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市)
3. 北薩地区 (阿久根市、出水市、薩摩川内市、さつま町、長島町)
4. 始良・伊佐地区 (霧島市、伊佐市、始良市、湧水町)
5. 大隅地区 (鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町)
6. 熊毛地区 (西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町)
7. 大島地区 (奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町)

⑥ 【⑤（A）あなたで「ご職業」を1～7、10と回答された方のみにおたずねします。】
平均的な1日のあなたの労働時間（残業を含む）と通勤時間を合計した時間はどの程度
ですか。（〇はひとつ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 2時間未満 | 2. 2時間以上4時間未満 |
| 3. 4時間以上6時間未満 | 4. 6時間以上8時間未満 |
| 5. 8時間以上10時間未満 | 6. 10時間以上12時間未満 |
| 7. 12時間以上14時間未満 | 8. 14時間以上16時間未満 |
| 9. 16時間以上 | |

⑦ あなたの世帯年収はどのくらいですか。（〇はひとつ）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万～400万円未満 |
| 3. 400万円～700万円未満 | 4. 700万円～1000万円未満 |
| 5. 1000万円以上 | 6. わからない・答えたくない |

⑧ あなたの世帯構成は以下のどれにあてはまりますか。（〇はひとつ）

※同居している家族の構成をお選びください

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| 1. 夫婦のみ | 2. 親と子どもの二世帯 | 3. 親と子と孫の三世帯 |
| 4. 一人暮らし | 5. その他（具体的に | ） |



II 結婚観についてお伺いします。

※問1～問20は、P1の ② で「3. 未婚」を選択した方のみお答えください。

問1 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 結婚するにはまだ若すぎるから
2. 結婚する必要性を感じないから
3. 今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから
4. 今は、趣味や娯楽を優先したいから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
7. 異性とうまくつき合えないから
8. 結婚資金が足りないから
9. 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
10. すでに結婚が決まっている
11. その他（具体的に)

問2 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）はいますか。(○はひとつ)

1. いる → 問3へ

2. いない → 問5へ

※問2で1に○をつけた方のみにおたずねします。

問3 あなたは、現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）と結婚する意志がありますか。(○はひとつ)

1. ある

2. ない

問4 現在お付き合いしている特定のパートナー（恋人）と出会ったきっかけは何ですか。(○はひとつ)

1. 学校
2. 学校以外のサークルやクラブ活動
3. 職場（アルバイト先を含む）
4. ボランティア活動
5. 友人や知人等からの紹介
6. 合コンや婚活パーティー
7. インターネット
8. その他（具体的に)

※問2で2に○をつけた方のみにおたずねします。

問5 あなたは、特定のパートナーとお付き合いしたいと思えますか。(○はひとつ)

1. 付き合いたい → 問6へ

2. 付き合いたくない → 問11へ

3. わからない → 問12へ

※問5で1に○をつけた方のみにおたずねします。

問6 あなたは、どのような出会い方（出会いの場）を望んでいますか。（○はひとつ）

1. 学校
2. 学校以外のサークルやクラブ活動
3. 職場（アルバイト先を含む）
4. ボランティア活動
5. 友人や知人等からの紹介
6. 合コンや婚活パーティー
7. インターネット
8. その他（具体的に _____）

問7 あなたは、出会いの場の提供があれば、利用してみたいですか。（○はひとつ）

1. 利用してみたいと思う
2. 利用してみたいと思わない

問8 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っていて、利用したことがある（利用している）
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

※かごしま出会いサポートセンターとは

会員登録システムを活用したマッチングやイベント情報の発信等を行い、結婚を希望する方向士の巡り会いを応援するための県が設置するセンターです。

問9 あなたは、「かごしま出会いサポートセンター」を利用してみたいと思いますか。（○はひとつ）

1. 利用してみたいと思う → 問12へ
2. 利用してみたいと思わない → 問10へ

※問9で2に○をつけた方のみにおたずねします。

問10 利用したくない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 利用する必要性を感じない
2. 自然な出会いがしたい
3. 恥ずかしい
4. 場所が遠い
5. 行く時間がない
6. 人の目が気になる
7. 利用の仕方が分からない
8. まだ結婚の意思がないから
9. その他（ _____ ）

※問5で2に○をつけた方のみにおたずねします。

問11 特定のパートナーと付き合いたくない理由はどのようなことですか。（○はひとつ）

1. 自分の趣味に力を入れたい
2. 恋愛が面倒である
3. 異性に興味がない
4. 異性と交際するのが怖い
5. 勉強や仕事に力を入れたい
6. 友人と過ごす時間を大切にしたい
7. 過去に恋愛で失敗した
8. その他（ _____ ）

問 12 将来子どもが欲しいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 欲しい | 2. できれば欲しい |
| 3. あまり欲しくない | 4. 欲しくない |
| 5. わからない | 6. その他 |

問 13 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えについて最も近いものはどれですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-------------------------------|---|----------|
| 1. できるだけ早く結婚したい | } | → 問 14 へ |
| 2. いずれ結婚したい | | |
| 3. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない | | |
| 4. 一生結婚するつもりはない | → | 問 20 へ |
| 5. その他 (具体的に |) | → 問 14 へ |

※問 14～19 は問 13 で 1～3 及び 5 に○をつけた方のみにおたずねします。

問 14 あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。(○は3つまで)

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|
| 1. 相手の学歴 | 2. 相手の職業 | 3. 相手の収入などの経済力 |
| 4. 相手の人柄 | 5. 相手の容姿 | 6. 共通の趣味の有無 |
| 7. 自分の仕事に対する理解と協力 | 8. 家事・育児に対する能力や姿勢 | |
| 9. 相手の家族関係 | 10. その他 (具体的に |) |

問 15 結婚生活をスタートさせるに当たって必要だと思う世帯年収はどれくらいだとお考えですか。(○はひとつ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万～400万円未満 |
| 3. 400万円～700万円未満 | 4. 700万円～1000万円未満 |
| 5. 1000万円以上 | 6. わからない |

問 16 あなたは、何歳までに結婚したいと思いますか。(○はひとつ)

1. 今すぐにも
2. 20～24歳
3. 25～29歳
4. 30～34歳
5. 35～39歳
6. 40歳～
7. こだわらない

問 17 将来結婚したいと思う理由は何ですか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 好きな人と一緒に暮らせる | 2. 家族を持ちたい |
| 3. 精神的な安らぎを得られる | 4. 寂しさから解放される |
| 5. 子どもが欲しい | 6. 経済的に安定する |
| 7. 老後が安心できる | 8. 親が安心する |
| 9. 社会に認められる | 10. 世話してくれる人が欲しい |
| 11. その他(具体的に |) |

問 18 結婚して子供ができた後、どのような働き方を望みますか。(○はひとつ)

1. 夫婦ともに働き続ける(育休、保育所等を利用して)
2. 夫婦どちらか一方が一旦退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職
3. 出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める
4. 結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める
5. わからない

※男性のみにおたずねします。

問 19 結婚して子供ができた後、積極的に子育てに関わる意思はありますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※問 13 で 4 に ○ を つ け た 方 の み に お た ず ね し ま す 。

問 20 将来結婚したくない理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 1人であるほうが気楽
 2. 自由な時間が減る
 3. 配偶者の親や親せきと付き合いなければならない
 4. 家事に縛られる
 5. 仕事をする上で障害となる
 6. 家族を扶養する責任ができる
 7. その他(具体的に
-)



Ⅲ 子育てについてお伺いします。

※問 21～問 34 までは、子どもをお持ちの方にだけおたずねします。

※既婚で子どもをお持ちでない方、未婚で子どもをお持ちでない方は問 35 へ進んでください。

問 21 あなたが、子育てをして感じたことについて、下の（A）～（H）の各項目にあてはまるものの番号に1つずつ○をつけてください。

		全くその通り	まあそのとおり	あまりそう思わない	そうは思わない
A	家族との会話がはずむようになった	1	2	3	4
B	配偶者との信頼が深まった	1	2	3	4
C	子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった	1	2	3	4
D	子育ての経験が仕事や趣味の活動に役立った	1	2	3	4
E	子育てによって自分も成長していると感じられる	1	2	3	4
F	自分の子どもは結構うまく育っていると思う	1	2	3	4
G	子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
H	子どもがかわいくてたまらない	1	2	3	4

問 22 あなたは、子育てをする上で悩みや不安がありますか。（○はひとつ）

- | | | |
|------------------|---|----------|
| 1. かなりある（かなりあった） | } | → 問 23 へ |
| 2. 少しはある（少しはあった） | | |
| 3. 特にない（特になかった） | → | 問 25 へ |

※問 22 で 1 または 2 に○をつけた方のみにおたずねします。

問 23 あなたの子育ての心理面での悩みはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 子育てについて配偶者や親の協力が得られない
2. 子育てというものが全般的によくわからない
3. 子どもの病気や心身の発育・発達の遅れが気になる
4. 子どものしつけや教育の仕方がよくわからない
5. 子どもとふれあう時間が少ない
6. 子育てに追われて自分の時間がもてない
7. 子どもを通じて近所づきあいや、子どもの親同士の付き合いが負担になる
8. 子どもの成績や勉強の指導が不安だ
9. 自分自身親として自信がない
10. 自分自身の体力や健康などに自信がない
11. 悩みを気軽に相談できる相手がいない
12. その他(具体的に _____)
13. 心理面での悩みは特にない

問 24 あなたの子育ての環境面での悩みはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 近所に子どもの友だちがいない
2. 近所に子どもを安心して遊ばせる場所がない
3. 近くに保育所や幼稚園など子どもを預ける場所がない
4. 近くに子どもがかかる医療機関がない
5. 学校の先生と親(ご自身)との連絡があまり取れない
6. 子どもがいじめられていても親(ご自身)や教師が気付いていない
7. 子どもの出産や育児にお金がかかる
8. 子どもの教育費や習いごとなどにお金がかかる
9. 住居が子育てに十分な広さではない
10. 社会環境や自然環境の悪化に不安がある
11. 食物の安全性に不安がある
12. 子育てと仕事や家事との両立がしにくい
13. 悩みを気軽に相談できる場がない
14. その他(具体的に _____)
15. 環境面での悩みは特にない

問 25 あなたが子育てをしていく上で、最も大変だった時期はいつですか。それぞれの時期について、あてはまる程度に○を付けてください。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(○はひとつ)

	大変	ある程度大変	あまり大変ではない	大変ではない	未経験
1. 乳幼児期	1	2	3	4	5
2. 小学生	1	2	3	4	5
3. 中学生	1	2	3	4	5
4. 高校生	1	2	3	4	5
5. 大学・専門学校	1	2	3	4	5

問 26 あなたは以下の子育て支援サービスをご存知ですか。また、利用したことがありますか。
 (※知っているかどうか、利用したことがあるか、それぞれに○をひとつずつ)

	知っているか (○をひとつ)		利用したこと (○をひとつ)	
	知っている	知らない	ある	ない
1. 子育て世代包括支援センター ^①	1	2	1	2
2. 子育て支援センター ^②	1	2	1	2
3. ファミリーサポートセンター ^③	1	2	1	2
4. 子育て短期支援（ショートステイ） ^④	1	2	1	2
5. 一時預かり ^⑤	1	2	1	2
6. 延長保育 ^⑥	1	2	1	2
7. 子育て支援パスポート ^⑦	1	2	1	2
8. 病児保育 ^⑧	1	2	1	2
9. 小児救急電話相談（#8000） ^⑨	1	2	1	2

※①子育て世代包括支援センター・・・保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に対応し、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療・福祉の関係機関との連絡調整を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に提供する施設で、地域の保健センター内や役場内に設置されています。

②子育て支援センター（地域子育て支援拠点）・・・公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う施設です。

③ファミリーサポートセンター・・・地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で支え合う会員組織です。

④子育て短期支援（ショートステイ）・・・保護者の病気、出産、仕事などの理由により一時的に家庭において、子どもを養育することが困難になった場合に、児童養護施設等で一定期間子どもを預かり保護者に代わって保護を行う事業です。

⑤一時預かり・・・家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間、保育所その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

⑥延長保育・・・認定こども園、保育所等で、通常の保育時間（保育所によって異なる）を超えて子供を預かる事業です。

⑦子育て支援パスポート・・・事業に協賛する企業や店舗が、パスポートを提示した対象世帯に、割引や独自の優待サービスなどを提供することで、子育て家庭を応援する仕組みです。鹿児島県内に在住する妊娠中の方及び18歳未満の子どもがいる世帯が対象です。

⑧病児保育・・・病気や病気の回復期にあるお子さんを、病院・保育所等の専用スペース等で、看護師等が一時的に保育等を行う事業です。

⑨小児救急電話相談（#8000）・・・夜間における子どもさんの急な病気・急なけがなどについて、看護師等が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行う事業です。

問 27 あなたは、子育て費用がご自身や世帯の家計に占める割合についてどのように感じていますか。(○はひとつ)

1. もっと子育てにお金をかけたい
2. もう少し子育てにお金をかけたい
3. ちょうどいい
4. もう少し子育てのお金を減らしたい
5. もっと子育てのお金を減らしたい

問 28 あなたは、お子さんの進学目標（最終学歴）をどのようにお考えですか。(○はひとつ)

1. 中学校まで
2. 高校まで
3. 専門学校まで
4. 短大・高専まで
5. 大学かそれ以上
6. わからない

問 29 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談する相手はだれですか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 自分や配偶者の親など、年上の親族
3. 自分や配偶者の兄弟姉妹など同世代の親戚
4. 友人や知人
5. 県や市町村などの公共機関
6. その他（具体的に)
7. 相談相手はいない

問 30 あなたは、子育てに関する情報をどのように入手していますか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 親族（親、兄弟姉妹など）
3. 近所の人、知人、友人
4. 子育てサークルの仲間
5. 保育所、幼稚園、学校
6. 市町村役場や市町村の機関
7. 市町村の広報やパンフレット
8. テレビ、ラジオ、新聞
9. 子育て雑誌
10. インターネット
11. コミュニティー誌
12. その他（具体的に)
13. 特にない

問 31 あなたは、男性が子育てに積極的に関わることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要ないと思う
4. 必要ないと思う

問 32 あなたの配偶者の育児への関わり方についておたずねします。次の項目についてあなたは配偶者のどのような点を評価しますか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 日常の家事をする
2. 子どもの日常の世話をする（食事・お風呂・トイレなど）
3. 子どもが病気のときの世話をする
4. 子どもとよく遊ぶ
5. 誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加する
6. 子どもの話をよく聞き、気持ちを理解する
7. 子どもの模範となる生活態度をとる
8. 子どものしつけをする
9. 子どもの発達や教育に関心が高い
10. 夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持つ
11. 夫婦で子育ての悩みを分かち合う
12. 子育てを楽しむ
13. その他（具体的に)
14. 特にない

問 33 あなたが配偶者の育児への関わり方について不満を感じている点についておたずねします。あなたが配偶者に対して不満に感じている点はなんですか。なお、子育てを既に終えた方は過去の経験についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 日常の家事をしない
2. 子どもの日常の世話をしない(食事・お風呂・トイレなど)
3. 子どもが病気のときの世話をしない
4. 子どもとよく遊ばない
5. 誕生日などのイベント、保育所・学校などの行事に熱心に参加しない
6. 子どもの話をよく聞かず、気持ちを理解しない
7. 子どもの模範となる生活態度をとらない
8. 子どものしつけをしない
9. 子どもの発達や教育に関心が薄い
10. 夫婦で子どもや子育てに関する話し合いをする場を持たない
11. 夫婦で子育ての悩みを分かち合わない
12. 子育てを楽しまない
13. その他(具体的に)
14. 特にない

問 34 あなたご自身にとって、以前(3年ほど前もしくはあなたご自身が子育てをされていた時期)と比べて、子育てはしやすくなりましたか。(〇はひとつ)

1. しやすくなった(理由:)
2. しにくくなった(理由:)
3. 変わらない
4. わからない
5. 比べられない



IV 仕事と育児の両立についてお伺いします。

※問 35～問 45 までは、既婚・未婚に関係なく全員がお答えください。

問 35 あなたは、子育て支援のために、企業に整備してほしい制度は何だと思えますか。なお、現在働いていない方も働いていると想定してお答えください。(○は3つまで)

1. フレックスタイム制度の導入※
2. 妊娠中、育児中の勤務時間の短縮
3. 育児休業期間の延長
4. 始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ
5. 残業（所定外労働）の免除
6. 深夜残業の制限
7. 育児休業中の収入補填
8. 事業所内保育所の整備
9. その他（具体的に)
10. 特になし

※フレックスタイム制度（時差出勤制度）・・・清算期間（最大で1カ月以内の一定の期間で労使協定で定めたもの）内での総労働時間を決めておいて、その清算期間内での各日の労働時間を労働者が決められるというものです。

問 36 あなたは、鹿児島県における男性の育児への関わり方について、どのような印象をお持ちですか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的にしていると思う | 2. 時々はしていると思う |
| 3. あまりしていないと思う | 4. 全くしていないと思う |

問 37 あなたは、今後、男性が女性とともに積極的に子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

1. 家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること
2. 企業中心という社会全体の仕組みを改めること
3. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
4. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
5. 夫婦ともに家事や育児の責任を担い、協力して行うこと
6. 家事や育児を男女がともに担えるような教育や育て方をすること
7. 男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること
8. その他（具体的に)



問 38 あなたは、男性も育児休業制度を利用できることを知っていますか。(○はひとつ)

1. 配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた
2. 配偶者が働いている場合にのみ取得できると知っていた
3. 男性が取得できるとは知らなかった

問 39 あなたは、男性が育児休業制度を利用することをどう思いますか。(○はひとつ)

1. 可能な限り取得したほうがよい
2. 取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない
3. あまり取得しない方がよい
4. 取得すべきではない
5. わからない
6. その他(具体的に)

問 40 あなたは、男性の育児休業の取得を促進するには何が重要だと思いますか。
(○は3つまで)

1. 職場(経営者・上司・同僚等)の理解の向上
2. 公的な所得保障制度の充実
3. 昇格等に影響しない人事制度の整備
4. 男性自身の意識の変化
5. 社会の理解の向上
6. 育児休業制度の周知・啓発
7. 男性が育児に関わりやすい内容の制度の見直し(分割取得など)
8. 事業主に対する代替要員確保のための助成制度
9. その他(具体的に)

問 41 あなたのお勤めの会社には育児休業制度の規定がありますか。(○はひとつ)

1. ある
2. ない
3. わからない

問 42 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。現在働いていない人は働いていると想定してお答えください。出産予定がない人は出産すると想定してお答えください。
(○はひとつ)

1. 利用したい → 問 45 へ
 2. 利用したいが難しい
 3. 利用したくない
 4. わからない → 問 45 へ
- } → 問 43 へ

※問 42 で 2 または 3 に ○ をつけた方のみにおたずねします。

問 43 あなたが育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）と思うのは、どのような理由からですか。（○は3つまで）

- | | | |
|----------------------------|----------|----------|
| 1. 職場に迷惑がかかるから | } | → 問 45 へ |
| 2. 職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから | | |
| 3. 仕事を離れると自分の能力が落ちるから | | |
| 4. 仕事を続けたいから | | |
| 5. 仕事を離れると昇進・昇格に影響するから | | |
| 6. 収入が減るから | | |
| 7. 退職するつもりだから | → 問 44 へ | |
| 8. 子どもを見てくれる人がいるので必要ないから | } | → 問 45 へ |
| 9. その他（具体的に | | |

※問 43 で 7 に ○ をつけた方のみにおたずねします。

問 44 あなたは、退職後、再就職を希望しますか。（○はひとつ）

1. できるだけ早い時期に再就職したい
2. 末子が小学校に入学したら再就職したい
3. 末子が中学校に入学したら再就職したい
4. 再就職はしたくない
5. その他（具体的に)

※実際に育児休業制度を利用した経験がある方におたずねします。

問 45 あなたは、育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できましたか。（○はひとつ）

1. スムーズに復帰できた
2. スムーズに復帰できなかった（理由：)

V 少子化問題についてお伺いします。

※問 46～問 65 までは、既婚・未婚に関係なく全員がお答えください。

問 46 少子化問題についてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

1. 大変関心がある
2. 多少関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない
5. わからない

問 47 あなたは、子どもの数が減少してきていることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 非常に問題である
2. やや問題である
3. あまり問題ではない
4. 全く問題ではない

問 48 あなたは、子どもの数が減少してきている原因は何だと思えますか。(○は3つまで)

1. 住宅事情が悪いから
2. 収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから
3. 出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから
4. 働く女性が増え、家庭と仕事の両立が困難だから
5. 結婚しない人が増えたから
6. 女性の高学歴化と職場進出などで結婚平均年齢が上昇したから
7. 夫婦二人の生活を充実させたいと考える人が増えたから
8. 子どもよりも自分の生活を充実させたいと考える人が増えたから
9. 介護や看護の必要な人が家族にいて、育児との両立が困難だから
10. 家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから
11. その他(具体的に)

問 49 あなたは、子どもの数が減少するとどのような影響が出てくると思えますか。(○は3つまで)

1. 子ども一人一人の教育を充実させることができる
2. 子どもが大切されることにより、子どもの生活が豊かになる
3. 受験戦争が緩和される
4. 住宅や食料に社会的なゆとりができる
5. 労働力不足に伴い、女性や高齢者、障害者の雇用が進む
6. 子どもの社会性を育む機会が減少する
7. 将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する
8. 将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する
9. その他(具体的に)
10. 特に大きな影響はない

問 50 あなたにとって理想とする子どもの数は何人ですか。(○はひとつ)

- 1. 1人
 - 2. 2人
 - 3. 3人
 - 4. 4人
 - 5. 5人以上
 - 6. 子どもを持つつもりはない
 - 7. わからない
- 問 51 へ
- 問 52 へ
- 問 53 へ

※問 50 で 1～5 に○をつけた方のみにおたずねします。

問 51 子どもを持ちたいのは、どのような理由からですか。(○は2つまで)

- 1. 生活が楽しく豊かになるから
- 2. 子どもを持つのは自然なことだから
- 3. 好きな人の子どもを持ちたいから
- 4. 夫婦関係を安定させるから
- 5. 子どもは将来の社会の支えになるから
- 6. 子どもは老後の支えになるから
- 7. 配偶者や親などの周囲が望むから
- 8. 子どもを持つことで周囲に認められるから
- 9. その他 (具体的に)

※問 50 で 6 に○をつけた方のみにおたずねします。

問 52 子どもを持ちたくないのは、どのような理由からですか。(○は2つまで)

- 1. 子どもが好きではないから
- 2. 子育てが大変だから
- 3. 子育てに自信がないから
- 4. 自分や夫婦だけの生活を大切にしたいから
- 5. 子どもを産むのは大変だから
- 6. その他 (具体的に)

問 53 あなたは、実際に何人の子どもを持ちたいですか。現在おられるお子さんとこれから持ちたいお子さんの数を含めてお答えください。(○はひとつ)

- 1. 1人
- 2. 2人
- 3. 3人
- 4. 4人
- 5. 5人以上
- 6. 子どもを持つつもりはない
- 7. わからない

※問 53 の実際に持ちたい子どもの数が、問 50 の理想の子どもの数より少ない方のみにおたずねします。

問 54 その理由はなんですか。(○は3つまで)

1. 収入に対して、子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 高年齢で産むのはいやだから
3. 育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから
4. 健康上の理由から
5. 子どもがのびのびと育つ社会環境ではないから
6. 欲しいけれどもできないから
7. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
8. 家が狭いから
9. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
10. 子どもを預かってもらえないから
11. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
12. 世間並みの子どもの数に合わせたいから
13. 一番末の子が定年までに成人して欲しいから
14. 配偶者が望まないから
15. その他(具体的に)

問 55 医学的に見ると、女性の妊娠する力は歳を重ねるにつれてだんだんと下がり始め、一定の年齢を過ぎると妊娠はかなり難しくなることをご存知ですか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 知らない

問 56 医学的に見ると、男性も年を重ねると作られる精子の数が減り、老化することをご存知ですか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 知らない



問 57 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてのあなた自身はどのようにお考えでしょうか。(それぞれに○はひとつ)
※必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

		まったく賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	全く反対
A	生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
B	男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
C	結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
D	どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
E	結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
F	結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
G	結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
H	結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
I	少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	1	2	3	4
J	いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
K	結婚していなくても、子どもを持っても構わない	1	2	3	4
L	結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	1	2	3	4
M	女性が最初の子どもの産むなら 20 代のうちがよい	1	2	3	4

問 58 本県でも、未婚化と晩婚化が進んでいますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。
(○は3つまで)

1. 女性の社会進出が盛んになり、女性の経済力がついたから
2. 都市化が進み、男女とも単身で生活がしやすい環境になっているから
3. 若いうちは、趣味や自分のやりたいことを優先したいと考える人が増えたから
4. 結婚適齢期という考え方について社会の意識が変化したから
5. フリーターなど定職につけず、収入の少ない若者が増えたから
6. 周りに結婚の世話をしてくれる人がいなくなったから
7. 過疎化の影響で周りに独身の異性が少ないから
8. 仕事が忙しく異性とつきあう余裕がなくなっているから
9. 結婚に魅力を感じないから
10. その他(具体的に)

問 59 あなたは、結婚を希望する人の結婚を支援する施策として何が重要だと思えますか。
(○は3つまで)

1. 安定した雇用環境を提供すること
2. 賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること
3. 結婚や住宅に対する資金援助等を行うこと
4. 出会いの場を提供すること
5. 結婚した方が有利となるような税制を行うこと
6. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
7. 若者の結婚を推奨するような啓発活動を行うこと
8. その他(具体的に)
9. 特にない
10. わからない

問 60 あなたご自身にとって、以前(3年ほど前)と比べて、仕事と家庭の両立はしやすくなりましたか。(○はひとつ)

- | | | |
|------------|---|----------|
| 1. しやすくなった | } | → 問 61 へ |
| 2. しにくくなった | | |
| 3. 変わらない | } | → 問 62 へ |
| 4. 分からない | | |
| 5. 比べられない | | |



※問 60 で 1 または 2 を選択した方のみにおたずねします。

問 61 その理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 保育サービス | 2. 育児休業制度 |
| 3. 短時間勤務制度 | 4. フレックスタイム制度 |
| 5. 始業・終業時刻の繰上げ・繰り下げ | 6. 所定外労働をさせない制度 |
| 7. 子育てサービス費用の援助措置等 | 8. 職場への復帰支援 |
| 9. 配偶者が出産の時の男性の休暇制度 | 10. 子どもの看護休暇 |
| 11. 育児等で退職した者に対する優先的再雇用制度 | 12. 子育て中の在宅勤務制度 |
| 13. 夫の家事・育児参加 | 14. 親族の育児援助 |
| 15. その他 | 16. 分からない |

※問 61 の具体的な内容を以下にご記入ください。

問 62 あなたは、少子化対策について、必要であると考えますか。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 必要である | 2. 必要でない | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

問 63 あなたは、子どもを健やかに産み育てるためには、国や県、市町村にどのようなことを期待しますか。(○は3つまで)

1. 児童手当、医療費助成などの経済的支援
2. 保育サービスの充実
3. 子育て中の親が集える場の整備
4. 育児休業などの家庭と仕事を両立できるような雇用環境の整備
5. 産科医療の充実
6. 小児医療の充実
7. 児童虐待の防止
8. 子どもを犯罪、交通事故から守る
9. 相談窓口の充実
10. 児童館等子どもの遊び場の整備
11. 教育環境の整備
12. 生活環境の整備（住宅の確保、道路交通環境の整備）
13. 過疎地における人口の増加のための定住促進
14. 未婚・晩産化対策（男女の新たな出会いへの支援）
15. 安定した雇用環境の創出
16. 家族の絆や子育ての喜びなどの意識の醸成・啓発
17. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた働き方の実現に向けた環境の整備
18. 少子化が進行した社会での医療・介護・年金制度をどのように維持するか等の具体的なイメージの提示
19. その他（具体的に)
20. 特にない

問 64 あなたは、以下の行政の取組についてどのように感じていますか。重要度、満足度をそれぞれお答えください。(○はひとつずつ)

		重要度				満足度			
		重要である	ある程度重要である	あまり重要でない	重要でない	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	不満である
A	結婚への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
B	妊娠・出産等に関する総合的な支援	1	2	3	4	1	2	3	4
C	地域における子供の発達段階に応じた子育ての支援	1	2	3	4	1	2	3	4
D	子育ての経済的負担の軽減	1	2	3	4	1	2	3	4
E	子どもの健康の確保及び推進	1	2	3	4	1	2	3	4
F	障がい児や要保護児童等への対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
G	子どもの貧困対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
H	子ども・子育てに安全・安心なまちづくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
I	鹿児島の特徴を生かした子育て施策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
J	子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
K	仕事と生活の両立の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
L	雇用の場の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
M	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
N	子育てを支援する生活環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
O	子どもの安全の確保の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
P	企業の少子化対策や両立支援の取り組みを促進	1	2	3	4	1	2	3	4

問 65 あなたは、将来子どもを安心して産み育てることができる社会づくりの推進や少子化対策を進めるためにどのような取り組みが必要と考えますか。ご自由にご意見などを記入してください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要です）をご利用のうえ、11月28日（水）までにご投函くださいますようお願いいたします。



少子化等に関する県民意識調査（事業所用）

貴社のご意見が県政に反映されます

鹿児島県のこれからの少子化等の対策について
貴社のご意見をお聞かせください

調査へのご協力をお願い

皆様には、日頃から県政に対しご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この度、鹿児島県では、県内の企業から無作為に抽出した事業所を対象として「少子化等に関する県民意識調査（事業所用）」を実施することといたしました。

この調査は、企業における少子化等への取組や実態等をお聞かせいただき、今後の少子化対策を充実させていくための基礎資料とするものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成30年10月

鹿児島県

*調査結果は、統計的に処理・分析を行い、調査の目的以外に使用することはありません。
*分析結果は公表いたしますが、事業所が特定されることは一切ございません。

ご記入に際してのお願い

1. この調査票は、総務・人事などのご担当の方にご記入をお願いいたします。
2. 本店、支店など複数の事業所がある企業の方は、企業全体ではなく、貴事業所のことでお答えください。
3. ご記入にあたっては、あてはまる番号を○で囲んでください。
(例) 1 2 ③ 4 5
4. 質問ごとに○をつける数が違いますので、ご注意ください。
5. 「その他」を答えに選んだ場合は、お手数ですがその内容を具体的に（ ）内にお書きください。

記入後は、平成30年11月16日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

[問い合わせ先]

鹿児島県くらし保健福祉部子育て支援課幼保連携係

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 電話：099-286-2148（担当：上村）

II 貴社の働き方についてお伺いします。

問1 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問2 貴社ではワーク・ライフ・バランスの取組についてどのように認識していますか。
(○は1つずつ)

現状	1. 取り組んでいる → 問3へ 2. あまり取り組んでいない 3. 全く取り組んでいない } → 問6へ
今後	1. 積極的に取り組むべき 2. ある程度取り組むべき 3. 現状のままで問題はない

※ワーク・ライフ・バランス・・・仕事と仕事以外の生活（家事、子育て、趣味やスポーツ、友人や地域との付き合い等）をバランスよく展開していくこと。

※問2の現状で1と回答した方にお尋ねします。

問3 貴社では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような取組をしていますか。
(○はいくつでも)

1. ワーク・ライフ・バランス推進に関する方針の策定
2. 完全週休2日制の導入
3. ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組
4. 短時間勤務制度の導入
5. フレックスタイム勤務の導入
6. 1日未満単位（半日、1時間単位等）での休暇取得など、年次有給休暇取得促進のための措置
7. ボランティア休暇、自己啓発休暇、リフレッシュ休暇など多様な休暇制度の導入
8. 在宅勤務制度の導入
9. 育児・介護休業等取得者の代替職員の雇用
10. 育児・介護休業等取得者への給付・貸付制度の導入
11. 研修の実施など、育児・介護休業から復職しやすい体制の整備
12. 再雇用制度の導入
13. 国の両立支援助成制度の活用
14. 各種制度利用促進のための従業員に向けた情報提供
15. 相談窓口の設置
16. その他（)

問4 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでよかったと思う内容はどれですか。
(○はいくつでも)

1. ワーク・ライフ・バランス推進に関する方針の策定
2. 完全週休2日制の導入
3. ノー残業デーの設定など時間外の勤務削減のための取組
4. 短時間勤務制度の導入
5. フレックスタイム勤務の導入
6. 1日未満単位(半日, 1時間単位等)での休暇取得など, 年次有給休暇取得促進のための措置
7. ボランティア休暇, 自己啓発休暇, リフレッシュ休暇など多様な休暇制度の導入
8. 在宅勤務制度の導入
9. 育児・介護休業等取得者の代替職員の雇用
10. 育児・介護休業等取得者への給付・貸付制度の導入
11. 研修の実施など, 育児・介護休業から復職しやすい体制の整備
12. 再雇用制度の導入
13. 国の両立支援助成制度の活用
14. 各種制度利用促進のための従業員に向けた情報提供
15. 相談窓口の設置
16. その他 ()

問5 貴社では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでどのようなメリットがありましたか。
(○はいくつでも)

1. 優秀な人材が退職しないですむ
2. 優秀な人材を採用することができる
3. 支援を受けた従業員の会社への忠誠心が高まり, 子育て復帰後, 貢献が期待できる
4. 従業員の労働意欲が向上する
5. 一時的に休みを取る従業員が増えることは, これまでの仕事の進め方を見直す契機となる
6. 従業員が仕事と育児や介護の両立に取り組む中で時間の管理がうまくなる
7. 育児や介護の経験や生活者の視点がビジネスに役立つ
8. 残業時間が減った
9. その他 ()

※問2の現状で2または3と回答した方にお尋ねします。

問6 貴社では、ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいない理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 育児・介護休業等を導入した場合の代替要員が確保できない
2. 従業員間に不公平感が生じる
3. 業務管理等が煩雑になり支障を来す
4. 人的余裕がない
5. 利益の減少やコストの増大により運営に影響が生じる
6. 現状で特に問題は生じていない
7. その他 ()

問7 ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政にどのようなことを希望しますか。
(○は3つまで)

1. ワーク・ライフ・バランスに関する相談窓口
2. 事業所向けの講習会の開催
3. 市民を対象とした理解促進・啓発
4. 市内事業所の取組事例の紹介、関連情報・ノウハウの提供
5. 他の事業所、団体等との情報交換の場の提供
6. 保育所、学童保育、介護施設などの充実
7. ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画の取り組みを推進する優良事業所の表彰
8. ワーク・ライフ・バランスを推進するための法律や制度、活用方法などに関する情報提供
9. その他 ()

問8 貴社で「イクボス宣言」という言葉を知っていますか。(○はひとつ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問9 貴社で「イクボス宣言」をされた方はいらっしゃいますか。(○はひとつ)

1. いる
2. いない
3. わからない

※イクボスとは

「部下や同僚等の育児や介護・ワーク・ライフ・バランス等に配慮・理解のある上司」のことです。イクボス宣言は、NPO 法人ファザーリングジャパンが行っているものでイクボスとしての宣言を対外的に行うものです。

III 結婚支援についてお伺いします。

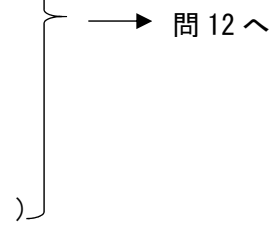
問10 若者の未婚化・晩婚化と、それに伴う少子化の進行は、企業の労働力不足や消費者人口の減少につながることから、企業の経済活動・持続的発展に影響を及ぼすと言われていますが、企業が従業員の結婚支援に取り組むことについてどう考えていますか。(○はひとつ)

1. 必要だと思う
 2. どちらかといえば必要だと思う
 3. どちらとも言えない
 4. どちらかといえば必要だと思わない
 5. 必要だと思わない
1. 必要だと思う } → 問11へ
2. どちらかといえば必要だと思う } → 問11へ
3. どちらとも言えない } → 問11へ
4. どちらかといえば必要だと思わない } → 問11へ
5. 必要だと思わない → 問14へ

※問 10 で 1～4 と回答した方にお尋ねします。

問 11 貴社で取り組んでいる結婚支援の内容についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 結婚に係る特別休暇の創設等の福利厚生制度の充実
2. 自治体又は地域の団体（商工会議所等）の結婚支援サービスの利用
3. 従業員がグループで行うイベント等への助成
4. 従業員向けの婚活イベント・セミナーの企画・開催
5. 民間結婚相談所等と連携して、従業員に安価な結婚相談サービスを提供
6. 従業員の結婚を応援する旨の宣言・公表
7. 企業内での世話焼き人の配置・育成
8. 従業員個人が行なう結婚活動への助成
9. その他（
10. 取り組んでない



※問 11 で 1～9 と回答した方にお尋ねします。

問 12 結婚支援に取り組んでいる理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 結婚することによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため
2. 結婚支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため
3. 企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため
4. 従業員にやさしい企業として PR したいため
5. 自治体から、自治体の実施する結婚支援サービス利用の案内があったため
6. 従業員からの要望があるため
7. その他（

問 13 企業が従業員の結婚支援を行うことの課題についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 結婚支援の取組はやり方次第でセクハラ・パワハラにつながるリスクがあるので、ガイドラインが必要
2. 結婚支援を継続的に実施するだけの相当のリソース（資金、労力など）が必要
3. 結婚支援の対象となる従業員の把握及び求められている支援の具体的な内容の把握が難しい
4. 従業員の結婚支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要
5. 「従業員の結婚は個人の問題であり、企業にとっての問題ではない」という企業（経営者）の意識が強く、これを変えていくことが必要
6. その他（

問 14 鹿児島県が実施している主な結婚支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。(〇はいくつでも)

	知っている	取り組んでいる
1. かがしま出会いサポートセンターの開設	1	2
2. かがしま出会い応援団への登録	1	2
3. 結婚支援セミナー、フォーラムの開催	1	2
4. 世話焼きキューピッドの委嘱	1	2
5. 企業内婚活サポーターの委嘱	1	2
6. 結婚・子育てサポート宣言企業への登録	1	2
7. ゆいネットメールマガジン情報の従業員への提供	1	2

※「かがしま出会いサポートセンター」とは

会員登録システムを利用したマッチングやイベントの情報発信を行い、結婚を希望する方同士のめぐり合いを応援するためのセンター。

※「かがしま出会い応援団」とは

かがしま出会いサポートセンターの会員同士の引き合わせを行う、レストランやホテルなどの登録会場のこと。

※「結婚支援セミナー、フォーラム」とは

独身男女向けのスキルアップセミナー等や、社会全体で結婚を応援する機運醸成するためのフォーラムを開催する事業。

※「世話焼きキューピッド」とは

地域において幅広いネットワークを持つ女性を県がボランティア活動員として委嘱し、その協力を得て婚活イベント等を行う事業。

※「企業内婚活サポーター」とは

企業の推薦を受け、企業内において結婚の相談・情報提供等を行うボランティア活動員。

※「結婚・子育てサポート宣言企業」とは

従業員の結婚支援及び子育て支援に積極的に取り組むとして県に登録した企業。

※「ゆいネットメールマガジン」とは

世話焼きキューピッドや市町村等が実施する出会いと交流のイベント情報などを希望者にメール配信する事業。

問 15 行政に期待する結婚支援についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 安心できる婚活イベントやセミナー開催情報の提供
2. 行政主催の婚活イベント・セミナーの実施
3. 企業の結婚支援推進の参考となるガイドブック等の作成・配布
4. 企業が独自に行っている結婚支援の取組に対する助成金の支給
5. 婚活イベントを行いたい企業同士のマッチング仲介システムの構築
6. 企業や個人の結婚支援を行う拠点となる結婚支援センターの設置
7. SNS等を積極的に活用した結婚支援に関する情報提供
8. 企業が結婚支援に取り組むことの重要性などをテーマとしたフォーラムの開催
9. 従業員への結婚支援を積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証制度の創設
10. その他 ()

IV 育児休業制度についてお伺いします。

問 16 貴社の就業規則等には「育児休業制度」の規定はありますか。(○はひとつ)

1. ある → 問 17 へ
2. ない → 問 18 へ

※問 16 で 1 と回答した方にお尋ねします。

問 17 貴社ではこれまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。(○はひとつ)

1. 男女ともに取得した従業員がいる
2. 女性で取得した従業員がいる
3. 男性で取得した従業員がいる
4. いない(該当者がいない場合も含む)

V 子育て支援についてお伺いします。

問 18 貴社の女性の働き方として、どのような形が多いですか。(○はひとつ)

1. 結婚を機に退職する
2. 妊娠・出産を機に退職する
3. 育児休業などを活用して仕事を続ける
4. 女性従業員がいない
5. その他 ()

問 19 企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えていますか。(○はひとつ)

- 1. 必要だと思う
 - 2. どちらかといえば必要だと思う
 - 3. どちらとも言えない
 - 4. どちらかといえば必要だと思わない
 - 5. 必要だと思わない
- 問 20 へ
- 問 23 へ

※問 19 で 1～4 と回答した方にお尋ねします

問 20 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1. フレックスタイム制度の導入
 - 2. 妊娠中、育児中の勤務時間の短縮
 - 3. 育児休業期間の延長
 - 4. 始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ
 - 5. 残業（所定外労働）の免除
 - 6. 深夜残業の制限
 - 7. 育児休業中の収入補填
 - 8. 事業所内保育所の整備
 - 9. その他（ ）
 - 10. 特になし
- 問 21 へ
- 問 23 へ

※問 20 で 1～9 と回答した方にお尋ねします

問 21 子育て支援に取り組んでいる理由をお答えください。(○はいくつでも)

- 1. 子育て支援を行うことによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため
- 2. 子育て支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため
- 3. 企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため
- 4. 従業員にやさしい企業として PR したいため
- 5. 自治体から、自治体の実施する子育て支援サービス利用の案内があったため
- 6. 従業員からの要望があるため
- 7. その他（ ）

問 22 企業が従業員の子育て支援を行うことの課題についてお答えください。
(○はいくつでも)

- 1. 代替要員の確保など業務体制の確保が難しい
- 2. 社会通念上、男性が子育てに関わりにくい
- 3. 育児に関する休暇・休業が取りづらい雰囲気がある
- 4. 育児支援に関する一般従業員の認識が乏しい
- 5. 従業員の子育て支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要
- 6. 「出産・育児は個人の問題であり、企業にとっての問題ではない」という企業（経営者）の意識が強く、これを変えていくことが必要
- 7. その他（ ）

問 23 鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。（〇はいくつでも）

	知っている	取り組んでいる
1. かがしま子育て応援企業への登録	1	2
2. 「育児の日」協力企業への登録	1	2
3. かがしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録	1	2
4. かがしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録	1	2

※「かがしま子育て応援企業」とは

一般事業主行動計画（次世代育成支援対策推進法に基づく）を策定した旨を労働局に届け出ており、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として県に登録した企業。

※「育児の日」協力企業とは

「育児の日」をノー残業デーに設定するなどの取組を行う企業を「育児の日」協力企業として県に登録した企業。

※「かがしま子育て支援パスポート協賛企業」とは

妊婦や18歳未満の子どもがいる世帯が協賛店でパスポートを提示すると、協賛店独自の子育て支援サービスの提供を受けることができる「かがしま子育て支援パスポート」事業の趣旨に賛同し、登録を受けた企業・店舗。

※「かがしま結婚・子育てサポート宣言企業」とは

従業員の結婚支援及び子育て支援に積極的に取り組むとして県に登録した企業。

問 24 行政に期待する子育て支援についてお答えください。（〇はいくつでも）

1. 子育て支援策に要する費用負担に対する支援
2. 企業の人事・福利厚生担当者向けのセミナーや講習会の開催
3. 企業の管理職向けの子育て支援に関する研修会の開催
4. SNS等を積極的に活用した子育て支援に関する情報提供
5. 企業が子育て支援に取り組むことの重要性などをテーマとしたフォーラムの開催
6. 従業員への子育て支援を積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証制度の創設
7. その他（）

問 25 少子化問題についてのご意見、この調査に対するご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要です）をご利用のうえ、11月16日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。